

令和元年度 スクーリングの手引（9月～2月）

東京スクーリング

10月期 (体育実技以外)	10月 5日(土)・6日(日),	} (体育実技以外) 通信教育部1号館ほか
	10月 12日(土)・13日(日)	
(体育実技のみ)	10月 12日(土)・13日(日)	} (体育実技のみ) 文理学部総合体育館 及び百周年記念館
	10月 26日(土)・27日(日)	
11月期	11月 16日(土)・17日(日),	} 通信教育部1号館ほか
	11月 23日(土)・24日(日)	
2月期 第1期	2月 1日(土)・2日(日),	} 通信教育部1号館ほか
	2月 8日(土)・9日(日)	
	第2期 2月 15日(土)・16日(日),	
	2月 22日(土)・23日(日)	

地方スクーリング

9月期	9月 14日(土)～16日(月)	仙台・大阪
10月期	10月 26日(土)～28日(月)	大垣・福岡

夜間スクーリング

秋期	10月 21日(月)～12月 17日(火)	通信教育部1号館
----	-----------------------	----------

スクーリング受講手続日程

	受講申込み開始日 (ポータルサイト)	※1 併用履修登録 締切日(必着)	履修登録締切日(必着) 併用レポート提出締切日(必着) 受講申込締切日(必着)	受講資格 審査結果 通知予定日	振込用紙 発送予定日	受講辞退 手続期限(必着)	受講料 振込期限	結果通知 予定
地方スクーリング (9月期) 【仙台・大阪】	7/26(金)	8/ 9 (金)	8/ 9 (金)	8/26(月)	8/26(月)	9/ 2(月)	9/ 9(月)	10月下旬
東京スクーリング (10月期)	8/21(水)	9/ 6(金)【前期生】 8/ 9(金)【後期生】	9/ 6 (金)	9/18(水)	9/18(水)	9/24(火)	10/ 1(火)	11月中旬
夜間スクーリング (秋期)	9/ 6(金)	9/20(金)【前期生】 8/ 9(金)【後期生】	9/20 (金)	10/ 1(火)	10/ 1(火)	10/ 8(火)	10/16(水)	1月下旬
地方スクーリング (10月期) 【大垣・福岡】	9/ 6(金)	9/20(金)【前期生】 8/ 9(金)【後期生】	9/20 (金)	10/ 3(木)	10/ 3(木)	10/10(木)	10/18(金)	12月上旬
東京スクーリング (11月期)	10/ 3(木)	10/18 (金)	10/18 (金)	10/29(火)	10/29(火)	11/ 6(水)	11/13(水)	12月下旬
東京スクーリング (2月期) 第1・2期	12/ 6(金)	12/20 (金)	12/20 (金)	1/15(水)	1/15(水)	1/22(水)	1/29(水)	3月末日
注意事項	ポータルサイト【24:00まで】		受講届提出者のみ送付します	5日経過しても届かない場合は会計課までお問合せください	窓口【事務取扱時間内必着】 郵送【必着】	VII 受講料の納入を参照してください。	ポータルサイトに掲載します	

- ※1 東京スクーリング(10月期)、夜間スクーリング(秋期)、地方スクーリング(10月期)は、併用履修登録締切日が前期生と後期生で異なります。併用方式での申込みをしない場合は、受講申込締切日までに履修登録を行ってください。
- ※2 令和元年度新入生(10月生)は、上記手続日程と異なる場合がありますので、「入学許可に伴う手続等案内」及び136ページVII 受講料の納入 2 振込用紙発送予定日を参照してください。
- ※3 申込期限直前は、ポータルサイトにアクセスが集中します。余裕をもって登録を行ってください。
- ※4 オープン受講の「受講許可通知書兼納金票」は上記受講料振込期限の1週間前頃に到着する予定です。

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学修では十分に学修効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみを受講する場合は**、スクーリングで1回受講・合格しても1科目分の修得単位としては認められないため、所定単位数を充足したことにはならず、**成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等に記載されません。**

大部分の科目において『学修要覧』にある科目の所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を必ず確認してください。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演 習 講 座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- 1 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- 2 超過人数の状況により新たに講座を増設し、受講者を分割して開講する場合があります。
- 3 上記1・2の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 4 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることがあります。
- 5 受講許可講座以外の講座の受講は認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目 次

I	講座の選定		VIII	受講準備	
1	受講講座の選定	2	1	使用教材の入手	140
2	「教職に関する科目」における新・旧科目について	3	2	「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行	142
3	「開講講座表」の見方	4	3	通学定期券の購入手続	142
II	東京スクーリング		4	「学割証」の発行について （長距離区間乗車時の学生割引制度）	143
1	開講日程	6	IX	受講及び試験	
2	実施会場	6	1	講座の受講	146
3	「体育実技」について 【東京スクーリング（10月期）開講】	6	2	試験の受験	146
◆	開講講座表及び講座内容（シラバス）		3	スクーリング結果の確認	147
・	10月期	8	X	受講期間中の学生生活	
・	11月期	26	1	受講にあたっての諸注意	148
・	2月期第1期	42	2	「千代田区生活環境条例」について	149
・	2月期第2期	52	3	緊急時の避難行動の指示について	149
III	地方スクーリング		XI	オープン受講	150
1	開催地及び開講日程	62	XII	各種用紙	
2	実施会場	62		「為替」送付時の注意事項	152
◆	開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）			履修届	153
・	9月期 仙台	63		<受講届>	
・	9月期 大阪	67		東京スクーリング（10月期）	155
・	10月期 大垣	71		東京スクーリング（11月期）	157
・	10月期 福岡	75		東京スクーリング（2月期）第1・2期	159
IV	夜間スクーリング			地方スクーリング（9月期）	161
1	開講日程	80		地方スクーリング（10月期）	163
2	実施会場	80		夜間スクーリング（秋期）	165
3	開講講座	81		オープン受講届（在学生用）	167
◆	開講講座表及び講座内容（シラバス）			オープン受講届（社会人等（卒業生用））	169
・	月曜日	82		スクーリング受講講座変更届	171
・	火曜日	89		<受講申込辞退願>	
・	水曜日	97		東京スクーリング（10月期）	173
・	木曜日	106		東京スクーリング（11月期）	175
・	金曜日	114		東京スクーリング（2月期）第1・2期	177
V	講座の申込方法			地方スクーリング（9月期）	179
1	受講手続の流れ	122		地方スクーリング（10月期）	181
2	履修登録をする	123		夜間スクーリング（秋期）	183
3	講座を申し込む	127		教材配本申請書	185
4	受講講座の変更・追加 （用紙で変更を行う場合）	131		教材購入用紙（丸沼書店用）	187
VI	申込講座の許可と不許可			教材購入願（通信教育教材用）	189
1	受講資格審査結果通知を確認する	132		通学定期乗車券発行控	191
2	講座振り分け及び受講不許可について	133		学割証交付願	193
3	許可講座を辞退する	134		証明書交付願	195
VII	受講料の納入			教員免許状取得見込証明書用確認書	197
1	受講料	136		休暇依頼状（勸奨状）申込書	199
2	振込用紙発送予定日	136	付録		
3	納入期限	136		交通案内・校舎案内	201
4	納入方法	137			

I 講座の選定

1 受講講座の選定

① 受講講座を選ぶ

東京・地方スクーリングともに各期から1講座、夜間スクーリングでは、月曜日から金曜日までの各曜日から1講座（最多5講座）を申込みできます。各自、入学時に配付された『学修要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学修計画を立てた上で受講申込みをしてください。

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるものではありません。自分の学年・学科（専攻）及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

(1) 配当学年による受講制限

ア 1 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4 学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできませんので注意してください。

(3) シラバスによる受講制限

シラバスに、過去のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合もしくは以下に該当する講座は、受講できません。

過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

- a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。
- b 担当講師が同一である。
- c 講義内容が全く同一である。

※講義内容を参照し、授業計画等が全く同一の場合は申込みできません。

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、**必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて、許可された講座を受講してください**（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

※受講届提出者は、「受講資格審査結果通知」を確認してください。

③ 他のスクーリングとの日程重複や会場移動に伴う講座受講に関する注意点について

以下に該当する場合、講座の受講に支障がでる場合がございますので、ご自身で確認の上、受講申込を行ってください。

夜間スクーリング（秋期）月・金曜日の授業と、地方スクーリングの授業を受講する場合

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成23年度に下表の「教職に関する科目」4科目については、科目名称が変更となり、平成23年度1学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
T10300	教育の思想	T10200	教育原論
T21400	道徳教育の研究	T21300	道徳教育の理論と方法
T21600	特別活動の研究	T21500	特別活動論
T30700	教育カウンセリング論	T30600	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生	入学年度	入学形態	
	平成23年度	1学年入学生	
	平成24年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 科目履修生	
	平成25年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 3学年編入・再入学生 科目履修生	
	平成26年度以降	全入学生	

3 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（4桁）には、この講座コードを記入してください。	
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。	
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。	
4	開講単位数	受講講座の合格により修得できる単位数です。	
5	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。多くの講座の充当科目は1講座につき1科目ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（6桁）には、この科目コードを記入してください。	
6	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「×印」が記載されています。	
7	制限・注意	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。
		受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
8	オープン受講	オープン受講ができない講座には「×印」が記載されています。 記載がない講座はオープン受講申込可です。	

Ⅱ 東京スクーリング

1 開講日程

開講期		日程	授業時間	
10月期 (体育実技以外)	10月	5日(土)	13:00～18:30	
		6日(日)	9:00～16:30	
		12日(土)	13:00～18:30	
		13日(日)	9:00～16:00 <試験も含む>	
11月期	11月	16日(土)	13:00～18:30	
		17日(日)	9:00～16:30	
		23日(土)	13:00～18:30	
		24日(日)	9:00～16:00 <試験も含む>	
2月期	第1期	2月	1日(土)	13:00～18:30
			2日(日)	9:00～16:30
			8日(土)	13:00～18:30
			9日(日)	9:00～16:00 <試験も含む>
	第2期	2月	15日(土)	13:00～18:30
			16日(日)	9:00～16:30
			22日(土)	13:00～18:30
			23日(日)	9:00～16:00 <試験も含む>

※各期ごとに全日程の出席が必要です。

※授業時間内に休憩時間を設けます。

※各期から1講座のみ申込みできます。

※10月期「体育実技」のみ授業日程、授業時間及び実施会場が異なるため、注意してください。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行う予定です。ただし、東京スクーリング(10月期)の「体育実技」のみ、世田谷キャンパスの文理学部校舎で行う予定です。

名 称	日本大学通信教育部1号館及び本学校舎周辺
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区九段南4-8-28
交通案内	市ヶ谷駅から徒歩3分

※授業講堂は、ポータルサイトにて事前にお知らせします。

3 「体育実技」について【東京スクーリング(10月期)開講】

「体育実技」は、他の講座と異なり文理学部総合体育館及び百周年記念館で受講します。以下の事項をよく確認してください。

a 開講日程【雨天決行】

日程	授業時間
10月12日(土)	18:00～21:30
10月13日(日)	9:00～17:00
10月26日(土)	18:00～21:30
10月27日(日)	9:00～17:00

※東京スクーリング(10月期)の他講座と授業時間及び会場が異なります。

b 実施会場

日本大学文理学部総合体育館及び百周年記念館(後掲「文理学部案内図」参照)

c 持参物

- ・ 運動のできる服装（トレーニングウェア等）
- ・ 室内用運動靴
- ・ 健康保険証
- ・ 筆記用具
- ・ スクーリングの手引
- ・ 領収書

d 「体育実技」の集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

e 受講について

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体障害の理由で実技自体の参加が困難であると思われる方は、受講申込前（「受講届」提出前）に教務課に連絡してください（TEL 03-5275-8911）。

f 注意事項

- ・ ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・ 更衣室は、文理学部総合体育館にあります。
- ・ 貴重品は、各自で管理してください。
- ・ 日曜日の昼食は、周辺に飲食店が少ないため各自が持参することを強く勧めます。

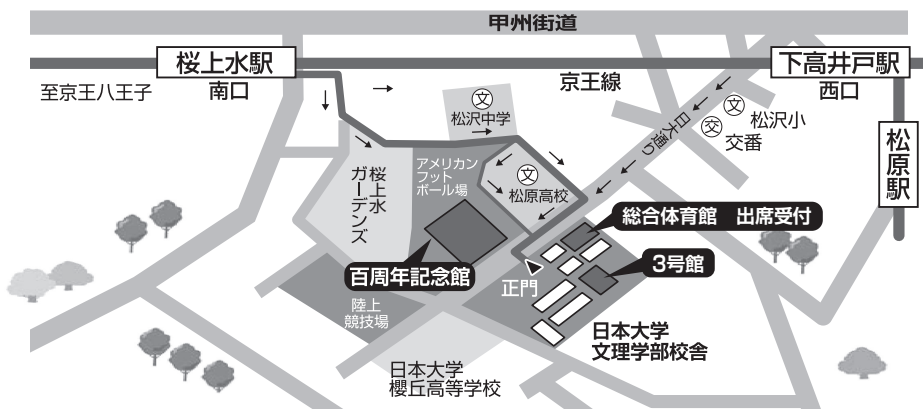
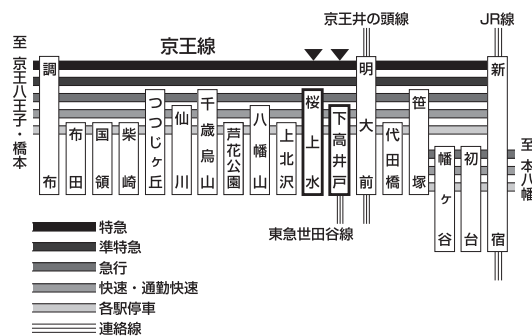
〈文理学部案内図〉

（住 所）

東京都世田谷区桜上水3-25-40

（交通案内）

京王線下高井戸駅又は、桜上水駅下車
徒歩約10分



◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京

10月期

日	程	授業時間	備考
10月 5日	土	13:00～18:30	※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。 ※体育実技は授業時 間及び会場が異な ります。本誌6ペー ジを参照してくだ さい。
10月 6日	日	9:00～16:30	
10月12日	土	13:00～18:30	
10月13日	日	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の10月期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	
KA01	英 語 A	マイケル ロイ	1	C10100	英 語 I	×	1年 2年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してくだ さい。
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III			
				C10400	英 語 IV			
KA02	体 育 実 技 A	高橋 正則	1	J101S0	体 育 実 技 I	×	1年	・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。
				J102S0	体 育 実 技 II			
KA03	民 法 I	大杉 麻美	2	K20200	民 法 I		条件 参照	・ 法律学科のみ申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込 可。
KA04	国語学演習Ⅰ～Ⅲ	杉山 俊一郎	1	M401S0	国語学演習Ⅰ	×	3年	・ 国文学専攻のみ申込可。
				M402S0	国語学演習Ⅱ			
				M403S0	国語学演習Ⅲ			
KA05	イギリス文学史Ⅱ	野呂 有子	2	N30100	イギリス文学史Ⅱ		2年	
KA06	スピーチコミュニケーションⅠ	アレックス ブラウン	1	N30900	スピーチコミュニケーションⅠ		2年	
KA07	英語学演習A	桑山 啓子	1	N401S0	英語学演習Ⅰ	×	3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。
				N402S0	英語学演習Ⅱ			
				N403S0	英語学演習Ⅲ			
KA08	英米文学演習A	佐藤 秀一	1	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。
				N405S0	英米文学演習Ⅱ			
				N406S0	英米文学演習Ⅲ			
KA09	西洋思想史Ⅱ	石井 友人	2	P30600	西洋思想史Ⅱ		2年	
KA0A	東洋史演習Ⅰ・Ⅱ	綿貫 哲郎	1	Q403S0	東洋史演習Ⅰ	×	3年	・ 史学専攻のみ申込可。 ・ I, IIのどちらに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。
				Q404S0	東洋史演習Ⅱ			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 講 条 件	受 講 条 件
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件		
KA0B	租 税 論	鶴 藤 俊 英	2	R31700	租 税 論		2年			
KA0C	金 融 論	谷 川 孝 美	2	R31800	金 融 論		2年			
KA0D	商 品 学	松 本 竜 一	2	S30300	商 品 学		2年			
KA0E	教育の社会学	廣 田 照 幸 雲 川 けい か	2	T20100	教育の社会学	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。		
KA0F	国語科教育法Ⅱ	野 澤 拓 夫	2	T20400	国語科教育法Ⅱ	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。		
KA0G	博物館資料保存論	青 木 繁 夫	2	Y20700	博物館資料保存論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語 A〕

マイケル ギルロイ

- ◆**授業概要** To increase ones awareness about life in English.
- ◆**学修到達目標** To explain, express, listen to and generally function in English on aspects of general culture. Express your thinking and your feelings.
- ◆**授業方法** Students will work individually in pairs and in groups to complete in class exercises. Activities include reading, writing, role-plays and discussions.
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	Introduction - Getting to know your teacher / each other
	事前学修	Enthusiasm, dictionary, notebook, pens, etc.
	事後学修	Be prepared with textbook, dictionary, etc.
2 回	授業内容	"The Friendlier the Better" (Social Networking)
	事前学修	Text or photocopy.
	事後学修	Review lesson.
3 回	授業内容	"Single at Last" (Lifestyles)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review lesson.
4 回	授業内容	"Kids Will Be Kids" (Parenting Styles)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review the first three units from textbook.
5 回	授業内容	"School Days" (Education)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review lesson.
6 回	授業内容	"Growing, Growing" (Population)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review lesson.
7 回	授業内容	"Vital Signs" (Social Health)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review lesson.
8 回	授業内容	"I Protest!" (Social Movements)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review today's four units.
9 回	授業内容	"Good Job 1" (Unemployment and Society)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review lesson.
10 回	授業内容	"Good Job 2" (Employment Trends)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review lesson.
11 回	授業内容	"A Matter of Class" (Social Stratification)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review lesson.
12 回	授業内容	"The Text is the Message" (Language)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review today's four units.
13 回	授業内容	"Crime Doesn't Pay" (Social Deviance)
	事前学修	Preview this unit.
	事後学修	Review lesson.
14 回	授業内容	Presentation Preparation.
	事前学修	Ideas / materials for presentation.
	事後学修	Final prep for presentation.
15 回	授業内容	Presentation.
	事前学修	'Poster' and notes for presentation.
	事後学修	None.

- ◆**教科書** 丸沼『Everyday Sociology』Jim Knudsen NAN' UN-DO 1,836 円（税込）（送料 300 円）
〔当日資料配布〕 Supplementary materials
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** Grades will be allocated on the basis of attendance, participation and completed assignments.

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔体育実技A〕

高橋 正則

◆**授業概要** 現代の高齢社会において、健康を維持・増進するためには、適度な運動習慣を生活習慣に取り込むことが求められる。そこで、まず自己の体力の現状を把握し、身体運動の必要性について認識を高める。そして、年齢や体力に応じた運動参加への具体的方法を理解し、スポーツ実践を通して、他者とコミュニケーションを図る能力を養う。そのためにも、日頃より1日20分以上の連続歩行や軽い柔軟運動の実施を心がけ、コンディショニングの維持が大切である。

◆**学修到達目標** この授業では、多くの運動やスポーツの実践を通して、その楽しさや具体的方法を学び、自らが身体活動を継続して実施することの重要性を認識する。また、スポーツを通して、他者とのコミュニケーションを深め、社会的スキルを向上させることができることを習得する。

◆**授業方法** 原則、天候に左右されない体育館内での授業とし、いくつかの小グループに分かれ、体力測定をはじめとする様々な運動やネット型スポーツを中心としたスポーツを体験する。

◆授業計画（各90分）

1回	授業内容	ガイダンス：集中授業における運動の効果とリスク・施設の使用法・注意事項の説明、グループ分けと準備体操の実施。
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
2回	授業内容	体力測定の実施と評価：5種目（閉眼片足立ち、握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び）、具体的な説明の実施。測定後、各測定項目の基準値と比較照合し、自己評価する。
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
3回	授業内容	卓球：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、サーブ、ボールの回転とショットとの関係、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
4回	授業内容	卓球：ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
5回	授業内容	卓球：ルールの理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
6回	授業内容	バドミントン：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
7回	授業内容	バドミントン：サーブ、ハイクリアー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
8回	授業内容	バドミントン：ルールの理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
9回	授業内容	ミニテニス：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、ボールの回転とショットとの関係、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
10回	授業内容	ミニテニス：サーブ、ハイクリアー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
11回	授業内容	ミニテニス：ルールの理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
12回	授業内容	バレーボール（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
13回	授業内容	バレーボール（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
14回	授業内容	ソフトバレーボール：ルールの理解、試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
15回	授業内容	グループ別対抗ソフトバレーボール大会（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。

◆**教科書** 使用しない。

◆**参考書** 丸沼『健康・スポーツ教育論』日本大学文理学部体育学研究室編 八千代出版 1,836円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよび自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度によって総合的に評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔民法 I〕

大杉 麻美

◆**授業概要** 本講義では、民法第 1 編（民法総則）を対象とし講義を行う。「誰が」「どのように」権利を行使することができるのか（権利の主体）、自らの意思をどのように相手に伝えるか（意思表示）、「他人」に法律行為をかわってもらうことは可能か（代理）、権利はいつまで行使することができるか（時効）等について講義を行う。

◆**学修到達目標** (1) 私法の基本的な考え方について説明することができる。
 (2) 専門用語を理解し、それぞれの意味について簡単に説明することができる。
 (3) (1)(2)で理解した内容をもとに、具体的事例に対する解決策を考えることができる。

◆**授業方法** 教科書及びまとめ資料（パワーポイントにて投影）を用いて、民法の基礎的解説を行い、基礎的事項の理解を目指す。必要に応じて、具体的な問題を解き、解説を行うことで知識の定着をはかる。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 民法の体系と基本的考え方：民法の指導原理を解説する。 事前学修 教科書の目次を確認し、該当箇所に事前に目を通しておくこと。 事後学修 講義内で学んだ用語の意味を確認し、具体的事例を整理しておくこと。
2 回	授業内容 人の「能力」について：権利能力・意思能力・行為能力の違いを解説する。 事前学修 未成年者がひとりで行えること、できないことを考えてみる。 事後学修 教科書を用いて、様々な「能力」の違いを整理しておくこと。未成年者の法律行為について、一人でできること / できないことを文章にまとめてみる。
3 回	授業内容 制限行為能力者制度について解説する。権利能力の終期について解説する。 事前学修 成年後見制度・高齢者の消費者被害について調べてみる。 事後学修 教科書を読んで、成年後見制度について文章にまとめてみる。
4 回	授業内容 「法律行為」とは何かについて解説する 事前学修 身近にある「契約」について具体的事例をあげてみる。 事後学修 公序良俗が適用される具体的場面につき、教科書にあげられている事例を整理する。
5 回	授業内容 「意思表示」の考え方・種類について解説する。 事前学修 意思表示の基本的考え方について教科書を読んで確認しておくこと。 事後学修 心裡留保・通謀虚偽表示の違いについて教科書を用いて整理しておくこと。
6 回	授業内容 「瑕疵ある意思表示」について具体的事例を用いて解説する。 事前学修 教科書にある「詐欺」「強迫」の具体的事例をあげてみる。 事後学修 教科書を用いて「詐欺」「強迫」のルールを整理しておくこと。
7 回	授業内容 「代理」の基本的考え方を解説する：代理の法律関係、代理権の濫用 事前学修 契約を締結する際に「代理人」が存在する場合の法律関係について考えてみる。 事後学修 教科書を用いて、代理の三面関係、代理権の濫用について整理しておくこと。
8 回	授業内容 「代理」の発展的考え方を解説する：復代理・無権代理 事前学修 「代理人」が「代理行為」をすることができない場合について考えてみる。 事後学修 教科書を用いて、「復代理」の考え方について整理しておくこと。
9 回	授業内容 無権代理と表見代理の違いについて解説する。 事前学修 「代理権」を持たない人と持っているようにみえる人の違いを考えてみる。 事後学修 「無権代理」と「表見代理」の違いについて教科書を用いて文章にまとめてみる。
10 回	授業内容 「表見代理」の種類について解説する。 事前学修 無権代理人に代理権があるようにみえる場合について考えてみる。 事後学修 「表見代理」の類型について教科書を用いて具体的に文章にまとめてみる。
11 回	授業内容 「無効」と「取消し」の違いについて解説する。 事前学修 教科書で解説している「無効」の意義と「取消し」の意義について確認しておくこと。 事後学修 「無効」と「取消し」の違いについて教科書を用いて具体的に文章にまとめてみる。
12 回	授業内容 「条件」「期限」「時効」について解説する。 事前学修 法律における「時」の役割について考えてみる。 事後学修 教科書を用いて「条件」「期限」「時効」の違いを整理しておくこと。
13 回	授業内容 「時効」の種類について解説する：取得時効と消滅時効 事前学修 「権利」を請求することができなくなる具体的場面を考えてみる。 事後学修 取得時効・消滅時効の違いを整理しておくこと。
14 回	授業内容 「法人」の仕組みについて解説する。物権法の「物」について整理する。 事前学修 「法人」にはどのような種類があるか、あげてみる。 事後学修 法人の種類について整理しておくこと。権利の客体の考え方についてまとめておくこと。
15 回	授業内容 質疑応答 / 授業内試験 事前学修 これまでの講義で理解できていない点を整理しておくこと。 事後学修 わからなかった問題を解きなおしておくこと。

◆**教科書** 丸沼『日評ベーシック・シリーズ 民法総則【補訂版】』原田昌和・寺川永・吉永一行 日本評論社 2018 1,944 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 試験（100%）

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国語学演習Ⅰ～Ⅲ〕

杉山 俊一郎

◆**授業概要** 鎌倉時代初期に活躍した天台宗の僧、慈円(1155～1225)によって書かれた史論書『愚管抄』を取り上げ、そこに見られる国語史的な特色について研究する。授業は演習形式で行う。本文の解説、調査、考察等の作業を通して、国語史研究の実際を学ぶとともに、各自の興味・関心をかたちにすることでどのようなアプローチが有効であるかについても考える。

◆**学修到達目標** 本演習における学修到達目標は次の三点である。

- ① 調査文献に見られる言語事象について、国語学的な視座で考え、説明できるようになる。
- ② 言語史研究に必要な文献資料やツールの探し方、取り扱い方が理解できるようになる。
- ③ 学術研究として成り立たせるためにはどのような手続きが必要なのかを理解できるようになる。

◆**授業方法** 演習科目なので、全員が発表を行う。発表は二回行い、第一回が翻字・語釈・現代語訳(逐語訳)等の基礎的調査、第二回が任意の言語事象に絞ったより深い調査である。なお、必要に応じて、報告時の討議で明らかになった追加課題についてレポートを課すことがある。

◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容: イントロダクション 授業の概要や進め方を説明する。また、本授業の対象である鎌倉時代の国語史上における位置づけについて解説する。 事前学修: 通信教育教材などを読んで、鎌倉時代の国語史上における位置づけについて理解しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料や授業内に紹介する参考文献にあたって国語史の全体的な流れをおさえること。
2回	授業内容: 資料概説『愚管抄』について説明する。特に、当該資料が国語史上どのような意義を有するののかについて解説する。 事前学修: 事前配布資料や参考書を読んで、当該資料の概要についておさえておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料や授業中に紹介する参考文献にあたって当該資料の国語史上における位置づけについて理解すること。
3回	授業内容: 翻字作業の実際、受講者による発表と討議 具体例に基づきながら、翻字の際の注意点について説明する。あわせて、翻字の限界についても考える。 事前学修: くずし字辞典などを参照しながら予め担当箇所の翻字を行っておくこと。 事後学修: 授業内容を確認しながら改めて担当箇所の翻字に修正点がないか確認すること。
4回	授業内容: 漢字表記語の読みの推定、受講者による発表と討議 ふりがなのない漢字表記語が、当時どのように読まれていたのかを推定する方法や、そのために用いる工具書にはどのようなものがあるのかについて解説する。 事前学修: 国語辞典、古語辞典、漢和辞典などを参照しながら担当箇所に出現する漢字表記語の読みを推定しておくこと。 事後学修: 漢字表記語の読みを推定する方法を整理すること。また、授業内に紹介する工具書の使用方法や注意点についても確認しておくこと。
5回	授業内容: 清濁の推定、受講者による発表と討議 清濁を推定する方法や、そのために用いる工具書にはどのようなものがあるのかについて解説する。 事前学修: 国語辞典、古語辞典、漢和辞典などを参照しながら担当箇所中の語の清濁について推定しておくこと。 事後学修: 清濁を推定する方法を整理すること。また、授業内に紹介する工具書の使用方法や注意点についても確認しておくこと。
6回	授業内容: 歴史的仮名遣いととの比較、受講者による発表と討議 調査資料中に見られる仮名表記語が歴史的仮名遣いと異なっている場合の注意点を解説する。 事前学修: 担当箇所中に歴史的仮名遣いと異なっている箇所がないか確認しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理・確認した上で、当該資料中の仮名遣いの傾向について調べること。
7回	授業内容: 句読点の付与、受講者による発表と討議 古典注釈書における全体的な傾向性を確認しつつ、句読点や釣括弧の付け方について検討する。 事前学修: 予め担当部分について句読点や釣括弧を付けておくこと。 事後学修: 全体の討議を踏まえて担当箇所修正点がないか確認すること。
8回	授業内容: 構文解析、受講者による発表と討議 古典文の構造について解説する。語の係り受けを中心としつつ、古典文の解析に特に注意が必要な構文についても説明を加える。 事前学修: 文法書や古語辞典を参照して、予め担当部分の係り受けや構文などについて検討しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料や授業中に紹介する参考文献にあたって古典文の構造に習熟すること。
9回	授業内容: 語の意味・用法の調査①—語義の分析—、受講者による発表と討議 語の意味・用法を特定するための着眼点について解説する。 事前学修: 国語辞典、古語辞典などを参照して、担当箇所中の単語のそれぞれがどのような意味・用法に該当するのかを検討しておくこと。 事後学修: 語義記述のための着眼点について整理しておくこと。また、国語辞典や古語辞典の見方、情報の引き出し方についてもおさえること。
10回	授業内容: 語の意味・用法の調査②—時代性からの分析—、受講者による発表と討議 語の意味・用法の時代性について検討する。また、或る語が当該資料中に存在する(存在しない)ということ国語史上どのように位置付けるかについても考える。 事前学修: 『日本国語大辞典(第二版)』『古語大鑑』をはじめとする国語辞典、古語辞典を参照しながら担当箇所中に見られる語の意味・用法と時代性について確認しておくこと。 事後学修: 国語辞典や古語辞典の見方、情報の引き出し方についておさえること。
11回	授業内容: 語の意味・用法の調査③—位相的観点による分析—、受講者による発表と討議 語の意味・用法と位相の関係について検討する。また、それを踏まえた用例分類の方法について解説する。 事前学修: 『日本国語大辞典(第二版)』『古語大鑑』をはじめとする国語辞典、古語辞典を参照しながら担当箇所中に見られる語の意味・用法と位相の問題について確認しておくこと。 事後学修: 国語辞典や古語辞典の見方、情報の引き出し方についておさえること。
12回	授業内容: 用例収集の方法、受講者による発表と討議 用例収集のためのツールや方法について、実例を挙げて解説する。 事前学修: 事前配布資料や参考書を読んで、用例収集にはどのようなツールや方法があるか確認しておくこと。 事後学修: 用例収集のためのツールや方法には、それぞれどのようなメリット・デメリットがあるのかをおさえ、自身の調査に適したものを選択できるようにすること。
13回	授業内容: 文章論的解析の実際、受講者による発表と討議 『愚管抄』の文章構造について、特に文の切れ続き(長さ)、接続詞の使用、文末表現の諸点に注目して検討する。 事前学修: 参考書参照して、担当箇所だけでなく、当該資料全体がどのような構成・構造で書かれているのかを検討しておくこと。 事後学修: 授業の内容を踏まえ、他の文献資料ではどのようなようになっていくのかを確認すること。
14回	授業内容: 文体史的観点による分析、受講者による発表と討議 『愚管抄』に見られる言語事象、または当該資料全体が、文体史的に見てどのように位置付けられるのかについて検討する。 事前学修: 通信教育教材や参考書を読んで、「文体」「和漢混濁文」などの用語について理解を深めておくこと。 事後学修: 授業中に紹介する参考文献にあたって当該資料の文体史上の位置づけについて、各自でさらに検討を加えてみる。
15回	授業内容: まとめ 授業のまとめを行う。各発表の講評も行い、本授業の到達点と課題をまとめる。 事前学修: 各自で発表中に指摘された問題点や討議の内容などをまとめ、今後の課題について述べられるようにしておくこと。 事後学修: 授業全体の振り返りを行い、国語史研究の基本的な手続きの取り方、各種ツールの取り扱い方、用例分析の方法などをおさえること。

◆**教科書** 事前資料送付 事前にプリント配布。

教材 『国語学講義 M30400』 通信教育教材(教材コード000088) 3,000円(送料込)

◆**参考書** 丸沼『日本語研究法【古代語編】』青葉ことばの会編 おうふう 1998年 3,024円(税込)(送料300円)

丸沼『ガイドブック日本語史』大木一夫 ひつじ書房 2013年 2,376円(税込)(送料300円)

『日本語学研究事典』飛田良文編 明治書院 2007年

〈上記の本は図書館等を利用して下さい。〉

◆**成績評価基準** 第一回、第二回発表及び質疑応答への参加100%。場合によっては出席態度を加味し、レポートを課す。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔イギリス文学史Ⅱ〕

野呂 有子

- ◆**授業概要** 指定テキストを基にしながら、教師が個々の作家と作品について、伝統と作家個人の独創性について説明する。特に、個々の作家および作品の特徴的な部分を具体的に提示し、それを音読・吟味しながら理解を深める。単なる作家と作品リストの羅列としてではなく、生きた作家および作品として流れを追うことを主眼とする。
- ◆**学修到達目標** 1. 受講生が、英国ロマン派から始まり、現代に至る大きな流れの中で、偉大な先人（シェイクスピアやミルトン等）から継承した伝統と作家個人の独自性という観点から、個々の作家と作品について鑑賞し理解することによって、英文学の全体像を把握し、英文学を学ぶ意義を理解し、それについて説明できる。2. 受講生自身が特に興味を持つ作家や作品の位置を理解し、それについて説明できる。3. 国際共通語としての英語の母胎についての知見を深め、取得した知識と技能を運用して、中学校・高等学校における英語の授業で教鞭を取る際に、学習者が正確な発音、リズム、抑揚を身につけるよう配慮しながら指導するとともに、文学の楽しさ、英語の語法に親しめる技能を取得できる。
- ◆**授業方法** ターン前半はテキストに沿いながら広く英文学の歴史の基本知識を解説し、後半は必要に応じて資料を配布して個々の英文学作品の具体的な内容を部分的に鑑賞する。授業の後半にその日の主要テーマに関するリアクションペーパーの提出を求める場合がある。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	授業の進め方、オリエンテーション、英文学と英文学史の意義を説明し、その背景を解説する。導入（偉大な先人、シェイクスピア、ミルトン、そして英語聖書）を行う。
	事前学修	テキスト 122 から最終ページまでを概観し、全体の流れを掴んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容	「ロマン主義の時代」から、ワーズワースおよびコーリッジの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 122 から 136 までを読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
3 回	授業内容	スコットの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 137 から 142 までを読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
4 回	授業内容	バイロン、シェリー夫妻およびキーツの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 122 から 145 までの該当箇所を読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容	オースティンおよびディケンズの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 140 から 168 までの該当箇所を読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容	テニソン、ブラウニング、アーノルドの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 124 から 164 までの該当箇所を読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容	「ラファエル前派」の詩人たち、メレディス、ラスキンの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 148 から 189 までの該当箇所を読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
8 回	授業内容	サッカー、ブロンテ姉妹、およびジョージ・エリオットの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 169 から 174 までの該当箇所を読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9 回	授業内容	ヘンリー・ジェームズ、イエイツおよびオーデンの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 185 から 201 までの該当箇所を読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容	ディラン・トマス、H.G. ウェルズおよびジョン・ゴールズワージーの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 202 から 226 までを読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11 回	授業内容	サマセット・モーム、E.M. フォスターおよびヴァージニア・ウルフの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 206 から 211 までの該当箇所を読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
12 回	授業内容	ジェームズ・ジョイス、D.H. ロレンス、オルダス・ハクスリーおよびキャサリン・マンズフィールド、の作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 212 から 221 までの該当箇所を読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
13 回	授業内容	ジョージ・オーウェル、グレーム・グリーンおよび不条理演劇の作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 212 から 229 までの該当箇所を読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容	ジョージ・バーナード・ショー、I.A. リチャード、およびウィリアム・エンブソンを経て、終わりまでの作品について説明し、具体的な作品の内容に触れ、英文学史における作品の意義について解説する。
	事前学修	テキスト 230 から 232 までを読み、事前配付資料の指定箇所の英語単語を調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
15 回	授業内容	試験および解説
	事前学修	前回までの授業で学んだイギリス文学作品の歴史的意義と内容について理解し、しっかりとノートに纏めておくこと。
	事後学修	授業内容を確認・整理して、自分のイギリス文学史理解が適切か否かを再確認すること。

- ◆**教科書** 〔函沼〕『イギリス文学の歴史— An Outline History of English Literature』 芹沢栄著 開拓社 2,808 円（税込）（送料 300 円）
事前資料送付 〔当日資料配布〕担当教師が作成して、通信教育部を通して事前、また、授業開始時に暫時配付する。
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 授業参加意識の高さ（20%）、授業時に行うミニ・レポート（20%）、最終日に行う本試験（受講者自身による手書きノート持ち込み可。コピー類は一切不可：60%）の三点を基にして総合的に評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【スピーチコミュニケーションⅠ】

アレックス ブラウン

◆**授業概要** Speech Communication 1 offers students an opportunity to communicate with other students in an open setting. We will model various language structures throughout the course and practice using the target language with others in groups both large and small.

◆**学修到達目標** Our overall objective is to accelerate student's progress in speaking and prepare for everyday communication. We also aim to master various grammatical structures and phrasal verb usage with a focus on fluency.

◆**授業方法** Speech Communication 1 is a topic based course that presents objectives in a fun and interactive manner. The teacher will provide hand-outs as the course progresses and you will have the chance to practice the material with various members in the class.

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: Prepare a 10 sentence student profile including hobbies and interests. 事前学修: Getting to know you: here we'll introduce each other and review the class orientation. 事後学修: Go over the pronunciation activity that was introduced in class.
2回	授業内容: List 10 activities that people do to stay in shape in Japan. 事前学修: The class will focus on things we like to do to keep fit. Role-play practice is the main focus. 事後学修: Complete the fill in the blank activity for homework.
3回	授業内容: Rehearse the dialogue that was given for homework. 事前学修: The topic of this lesson is regular and irregular verbs. Role play: Things I Like Doing. 事後学修: Make a list of your daily routines to discuss next class.
4回	授業内容: Prepare 7 questions regarding daily routines. 事前学修: In groups, we'll check our survey questions. Ask 4 students the questions in your survey. 事後学修: Write a report of your survey's findings.
5回	授業内容: Look over your notes for the next topic 'Important Firsts'. 事前学修: Go over the vocabulary with your group members and complete the first story of the topic. 事後学修: Make 3 quiz questions for next class. Follow the guidelines given.
6回	授業内容: Prepare to host, Quiz Time for the members in your group. 事前学修: This class gives us the chance to create stories using Simple Past and Past Continuous. 事後学修: Finish your stories for Student A and Student B.
7回	授業内容: Make corresponding questions for Student A and Student B. 事前学修: In new groups, we'll take turns asking and answering the questions for the current activity. 事後学修: Review the grammar given in the previous two chapters.
8回	授業内容: Prepare to talk about your favorite restaurants. 事前学修: Topic 3: Eat, Drink and Be merry. 事後学修: Finish the activity entitled Requests (Can/Could/Would).
9回	授業内容: Prepare a Restaurant Review about your favorite restaurant. 事前学修: In groups of 3 students, give your report in a natural speaking presentation. Looking at notes is fine. Reading off of a script with zero eye contact is not so good. 事後学修: Go over the role play entitled Extraordinary Restaurants.
10回	授業内容: Rehearse the previous role play so you feel comfortable performing the roles for show-time. 事前学修: Show Time gives students a chance to perform the various interactions of a restaurant setting. 事後学修: Go over notes for the next topic, Appearance and Personality.
11回	授業内容: Prepare to describe your own appearance to a partner. 事前学修: We will brainstorm vocabulary and use our descriptions to describe various people in our lives. 事後学修: Finish the activities if you haven't already done so in class.
12回	授業内容: Read over the story, What's She Like? 事前学修: Today's lesson looks at comparatives and superlatives. 事後学修: Finish the class work activities to be checked next class.
13回	授業内容: Read over the role play, My Family. 事前学修: This class aims to work with new vocabulary regarding personality as well as some opposite meanings. 事後学修: Prepare to talk about who you are like in your family.
14回	授業内容: Review the previous topics. 事前学修: Test Review. The teacher will provide a checklist of things to study for the tests. 事後学修: Study the checklist for the speaking test.
15回	授業内容: Study the grammar for the writing test. 事前学修: A speaking test in a group format will be given as well as a short writing test. 事後学修: Congratulations on finishing Speech Communication 1.

◆**教科書** None

◆**参考書** None

◆**成績評価基準** Grading is based on class work and participation along with a small report (70%). A speaking test in group format is 15%. The written test is 15%.

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語学演習 A〕

桑山 啓子

- ◆ **授業概要** 「英語学」にはどのような分野が含まれるのか、その中で「英語史」はどのようなことを研究する学問なのかを説明し、英語が成立した頃から現代英語まで、どのように変化してきたかを授業で学びます。
- ◆ **学修到達目標** 「英語」という言語がどのような複雑な歴史をたどって現代英語に到達したのかを学び、英文科の学生が必要とする知識として説明できるようになること、授業で使用するテキストを読むことで英文の参考文献を読めるようになるのを目的とします。
- ◆ **授業方法** テキストは David Crystal の 'The History of English' を使う。Chapter 1, Chapter 2 は必要なところを読んでいき、Chapter 3 を中心に読む。テキスト本文の英語を和訳しながら、内容を説明する。学生は個人、またはグループでの発表で担当する部分の和訳と説明を行う。
- ◆ **授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	ガイダンス（授業の進め方等に関する説明）/ 「英語学」とはどのような学問であるのか、「英語学」の分野についての説明 / イギリスの歴史と英語史の概略を説明 / Chapter 1: Old English (pp. 1 ~ 10) 重要なところを中心に説明。
	事前学修	「英語史」に関する参考書に目を通して英語がどのように変化してきたかを概略的にとらえる。テキスト Chapter 1 を読み、参考書を使用しながら内容を理解する。
	事後学修	テキスト本文を読み直して、授業で学んだところをよく復習する。
2 回	授業内容	Chapter 1 Old English: pp. 3 ~ 10 の復習。 / pp. 10 ~ 20: 全体の説明と重要なところを英文和訳。
	事前学修	テキスト Chapter 1 (pp. 1 ~ 10) を読み、参考書を使用しながら内容を理解する。
	事後学修	Chapter 1 Old English: pp. 3 ~ 20 をよく読み直して、分からない英文和訳する。内容が分からないところは参考書を使用して内容を理解する。
3 回	授業内容	Chapter 1 Old English: pp. 10 ~ 20 の復習。 / pp. 20 ~ 25: 全体の説明と重要なところを英文和訳。 Old English の復習と全体的な説明。
	事前学修	Chapter 1 Old English: pp. 10 ~ 25 をよく読み英文を和訳して、参考書を使用して内容を理解する。
	事後学修	Chapter 1 Old English: 総復習。分からないところをピックアップして英文の和訳と内容を確認する。
4 回	授業内容	Chapter 2 Middle English: Middle English の時代のイングランドの歴史などを説明 / テキスト pp. 26 ~ 33 を読みながら Middle English の特徴を説明する。実際の文献も現代英語訳を参考に読んでみる。
	事前学修	Middle English の時代背景を歴史の本や英語史の本で調べる。テキスト pp. 26 ~ 33 を読み、分からない英文は和訳、内容が分からないところは参考書を使用して調べる。
	事後学修	Middle English について授業で学んだところを事前学修で学んだものと合わせて復習する。テキスト pp. 26 ~ 33 を復習して分からないところ参考書で調べる。
5 回	授業内容	Chapter 2 Middle English: テキスト pp. 26 ~ 33 の復習。 テキスト pp. 33 ~ 40 1.1 英文を和訳しながら内容を説明する。 Middle English の特徴を説明
	事前学修	テキスト pp. 26 ~ 40 1.1: 英文を和訳しながら内容を把握。分からないところを参考書で調べる。
	事後学修	授業で学んだテキスト pp. 26 ~ 40 1.1 を英文を読みながら内容を確認する。
6 回	授業内容	Chapter 2 Middle English: テキスト pp. 33 ~ 40 1.1 の復習。 テキスト pp. 40 1.2 ~ 45 を和訳しながら内容を説明する。 Middle English の特徴を説明。 Chaucer の Canterbury Tales の原文を見ながら Middle English 読みしている CD で聴く。
	事前学修	テキスト pp. 33 ~ 45 を和訳しながら内容を理解する。分からないところを参考書で調べる。
	事後学修	授業で学んだところを復習する。
7 回	授業内容	Chapter 2 Middle English: テキスト pp. 40 1.2 ~ 45 を復習。 テキスト pp. 46 ~ 52 を和訳しながら内容を説明する。 Middle English の特徴を説明。 Middle English の復習。
	事前学修	テキスト pp. 40 1.2 ~ 52 を和訳しながら内容を理解する。分からないところを書きだして、参考書で調べる。
	事後学修	授業で学んだところを復習する。テキストの Middle English 全体の復習。
8 回	授業内容	Chapter 3 Early Modern English: Early Modern English について説明する。 テキスト pp. 53 ~ 58 を和訳しながら内容を説明する。
	事前学修	Early Modern English はどのような特徴があるのか参考書で調べる。 テキスト pp. 53 ~ 58 を和訳しながら内容を確認する。
	事後学修	授業で学んだところを復習する。 pp. 53 ~ 58 の内容を確認する。
9 回	授業内容	Chapter 3 Early Modern English: テキスト pp. 53 ~ 58 を復習。 テキスト pp. 58 ~ 62 を和訳しながら内容を説明する。
	事前学修	pp. 53 ~ 58 の内容を確認してテキスト pp. 58 ~ 62 を和訳しながらその内容を理解する。
	事後学修	授業で学んだところを復習する。 pp. 53 ~ 58 の内容を確認する。
10 回	授業内容	Chapter 3 Early Modern English: テキスト pp. 58 ~ 62 を復習。 pp. 62 ~ 67 を和訳しながら内容を説明する。
	事前学修	pp. 62 ~ 67 を和訳しながら内容を確認する。分からないところを参考書で調べる。
	事後学修	テキスト pp. 58 ~ 67 を授業で学んだことと合わせて復習。
11 回	授業内容	Chapter 3 Early Modern English: pp. 62 ~ 67 を復習。 テキスト pp. 65 ~ 70 を和訳しながら内容を説明する。
	事前学修	pp. 65 ~ 70 を和訳しながら内容を参考書等を確認する。
	事後学修	授業で行ったところを復習する。
12 回	授業内容	Chapter 3 Early Modern English: テキスト pp. 65 ~ 70 を復習。 pp. 71 ~ 77 を和訳しながら内容を説明する。
	事前学修	pp. 71 ~ 77 を和訳しながら内容を確認する。分からない点を調べる。
	事後学修	テキスト pp. 65 ~ 77 を復習。分からないところを参考書で調べる。
13 回	授業内容	Chapter 3 Early Modern English: テキスト pp. 71 ~ 77 を復習。 pp. 78 ~ 84 を和訳しながら内容を説明する。
	事前学修	pp. 71 ~ 77 を読み直す。
	事後学修	テキスト pp. 71 ~ 84 を復習。 pp. 78 ~ 84 を和訳しながら内容を確認する。
14 回	授業内容	Chapter 3 Early Modern English: テキスト pp. 78 ~ 84 を復習。 Early Modern English のまとめ。
	事前学修	Chapter 3 Early Modern English を読み直す。
	事後学修	Early Modern English の特徴などについて復習する。
15 回	授業内容	試験と解説。
	事前学修	試験範囲のところをよく見ておく。特に授業で大切であると説明したところを中心に復習する。
	事後学修	試験に出題されたところを中心にこのスクーリングで学んだところをよく復習する。

- ◆ **教科書** 丸沼『英語学入門』 David Crystal 著・久保内・山縣・他 2 名編注 金星堂 2,916 円（税込）（送料 300 円）
- ◆ **参考書** 丸沼『ベーシック英語史』 家入葉子著 ひつじ書房 1,728 円（税込）（送料 300 円）
「変化に重点を置いた英語史」 小倉美知子著 英宝社
上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。
丸沼『英語の「なぜ？」に答える はじめての英語史』 堀田隆一著 研究社 2,376 円（税込）（送料 300 円）
- ◆ **成績評価基準** 4 日間出席することを前提に評価します。（評価内容：授業への取り組みや授業時に行う予習や復習の確認小テスト等 20%、授業時の発表状況 20%、試験 60%）

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英米文学演習 A】

佐藤 秀一

◆**授業概要** 20世紀世界文学界の巨匠ともいえる W. Faulkner の短篇は、いわば長編への縮図であり小宇宙である。短篇の魅力が長編の世界に緊迫感をもってそのまま拡大されている。Faulkner の作品の短篇、長編を問はず有機的に関連しあうその宇宙を理解できるように心掛ける。

◆**学修到達目標** この短篇四篇はいずれも Faulkner の天分を華やかに示す、力のこもった名作で、それぞれ深い味わいを持っているばかりではなく、これら四つの作品を読み通すことによって Faulkner の全作品系列の織り成す世界の重要な一面と彼のもっとも中心的なテーマのいくつかを知ることができる。

◆**授業方法** 受講生には分担された箇所を翻訳し、アウトラインあるいは内容を要約し、手法、描写、コンテンツ等において感動した点、疑問点、問題点を発表してもらう。ときには、ペアワーク、グループワーク等を通してそれに基づいてディスカッションをし、鑑賞して行く。

◆**履修条件** 作家、作品に興味を持ち、授業に積極的に参加すること。

◆授業計画 (各 90 分)

1回	授業内容：授業の進め方、オリエンテーション、アメリカ文学の政治的、文化的背景について説明。 事前学修：W. Faulkner に関する人と生涯、作品について調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認しておくこと。
2回	授業内容：初めに“Wash”を読んで行く。担当箇所を発表してもらう。 事前学修：テキスト1頁から10頁までを予め読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、確認しておくこと。
3回	授業内容：前回の授業を確認し、11頁から20頁を解説を交えながら未読して行く。 事前学修：テキスト11頁から20頁を一語一語単語を調べ読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、読んだ箇所の問題点をまとめること。
4回	授業内容：“Wash” 作品全体の総括。“Pantaloon in Black” を読む。 事前学修：テキスト21頁から30頁を読み、自分の考え、をまとめておくこと。 事後学修：“Wash” の内容、問題点を整理しておくこと。次の作品についてメモしておくこと。
5回	授業内容：作品を精読しながら、新婚夫婦愛の描写を味わう。 事前学修：前回の授業の内容を整理し、テキスト31頁から40頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をよく理解し、まとめておくこと。
6回	授業内容：41頁から50頁をよみ妻を失った夫の思いを鑑賞して行く。 事前学修：テキストをよく読み、自分の考え、をまとめておくこと。 事後学修：授業での内容を整理し、しておくこと。
7回	授業内容：一語一語単語の意味確認しながら未読して行く。 事前学修：テキスト51頁から60頁を単語を確認しながら読んでおくこと。 事後学修：意味を確認し、ノートに整理しておくこと。
8回	授業内容：文体の特徴、表現法等に注意しながら読んで行く。 事前学修：表現法等に注意品が61頁から70頁まで読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、理解しておくこと。
9回	授業内容：“Pantaloon in Black” を読み、まとめる。“Delta Autumn” を味読する。 事前学修：“Pantaloon in Black” の思いをまとめておくこと。“Delta Autumn” を71頁から80頁を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、確認し、理解しておくこと。
10回	授業内容：“Delta Autumn” を解説を加えながら読んで行く。 事前学修：テキスト81頁から90頁の単語を調べながら読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、確認しておくこと。
11回	授業内容：“Delta Autumn” から“Barn Burning” を読んで行く。 事前学修：作品の内容を想像しながら91頁から100頁まで読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、理解しておくこと。
12回	授業内容：作品の内容の展開を想像しながら読んで行く。 事前学修：作品の前々回からの内容を整理しながら101頁から110頁まで読んでおくこと。 事後学修：受講生には分担された箇所を翻訳し、授業の内容を整理し、作品のアウトラインを確認しておくこと。
13回	授業内容：作品の内容を解説をしながら読んで行く。 事前学修：テキスト111頁から120頁まで作品の内容を想像しながら読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、理解しておくこと。
14回	授業内容：“Barn Burning” を読み終えた後、これまで読んだ全作品の総括。 事前学修：前回の授業の内容を事前にまとめて確認しておくこと。 事後学修：これまでの授業内容を整理し、確認しておくこと。
15回	授業内容：これまで読んだ全作品のまとめと試験。 事前学修：個々の作品への鑑賞したことを整理し、まとめておくこと。 事後学修：授業内容確認し、理解して自分の鑑賞したことを再確認する。

◆**教科書** 丸沼『フォークナー短篇集』大橋健三郎解説註釈 研究社 1,944円(税込)(送料215円)

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 授業への参加度(予習、発表、受講状況、貢献度)40%、試験60% 毎回出席することを前提として評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔西洋思想史Ⅱ〕

石井 友人

- ◆**授業概要** 近代的な理性は、宗教的、政治的迷妄と対峙し、18 世紀には、^{くさ} ^{ぶさ} 蒙きを啓く運動としての啓蒙主義をもたらすことになりました。しかし、他方で、近代は理性が持つ様々な問題や限界が顕わになっていく過程でもありました。理性の可能性と限界づけがどのように考察されてきたのかを、18、19 世紀の主要な哲学者、思想家の学説に触れながら、考えていきます。
- ◆**学修到達目標** 哲学の基本用語を確認しながら、近代哲学についての基礎的な理解を得る事を目的とします。あわせて、18 世紀以降、近代の哲学者たちが、理性の運動をどのようなものであると考え、また、どのような限界、問題点を持つと考えていたのかを理解することを目的とします。
- ◆**授業方法** 配布プリントと教科書（辞書的・資料集的な副読本扱いになります）を用いて講義形式で行いますが、質疑応答を取り入れ、受講生からの積極的な参加を期待します（講義の進度により、扱う思想家の範囲を変更することもある）。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 カントに至る流れをデカルトとヒュームを通して確認する。 デカルト、懐疑による形而上学の復興 形而上学とは何か？
	事前学修 教科書のデカルトの項目に目を通しておくこと。
	事後学修 形而上学という言葉は後にも出てくるので確認しておくこと。
2 回	授業内容 ヒューム、懐疑による形而上学の解体
	事前学修 教科書のヒュームの項目に目を通しておくこと。
	事後学修 ヒュームの懐疑の主要論点を確認しておくこと。
3 回	授業内容 カント、形而上学は学問になるか？ 形而上学と仮象
	事前学修 教科書のカントの批判哲学の項目に目を通しておくこと。
	事後学修 仮象についての教科書の記載は簡潔にすぎる。各自で補っておくのが望ましい。
4 回	授業内容 カント、実践理性において形而上学は可能か？ 自由の可能性について。
	事前学修 教科書のカントの道徳哲学の項目に目を通しておくこと。
	事後学修 自由は可能であるのか、また『純粹理性批判』のアンチノミーとの関係がどのようなものであったか確認しておくこと。
5 回	授業内容 カント、二つの判断力について。自然（必然）と自由
	事前学修 前 2 回のカントについての講義を確認しておくこと。
	事後学修 三批判のなかの『判断力批判』の位置づけがどのようなものであるのかについて考えてみる。
6 回	授業内容 ヘーゲル、弁証法とは何か？『精神現象学』を中心に考える。
	事前学修 教科書のヘーゲルの項目に目を通しておくこと。
	事後学修 弁証法というのがどのような運動であるのかを考えておくこと。
7 回	授業内容 ヘーゲル、絶対知とは何か？『精神現象学』を中心に考える。
	事前学修 ヘーゲルにおける弁証法とは何かを確認しておくこと。
	事後学修 精神の展開について、段階ごとにまとめておくこと。
8 回	授業内容 理性という主題について考える。啓蒙についてとり上げるか、または市民社会（国家）についてとり上げる。
	事前学修 カント的な理性批判とヘーゲル的な理性の哲学の違いについて考えてみる。
	事後学修 理性という主題について、具体的に考えていくための例を各自で考えてみて欲しい。
9 回	授業内容 ヘーゲルへの批判Ⅰ. キルケゴール、普遍に回収されないもの、美的なものと思弁的なもの
	事前学修 教科書のキルケゴールの項目に目を通しておくこと。またヘーゲルにおける普遍性について考えておくこと。
	事後学修 いかなる立場から普遍性への批判がなされているのか、大枠をまとめておくこと。
10 回	授業内容 キルケゴール、実存の三段階について。
	事前学修 美的なものについて確認しておくこと。
	事後学修 キルケゴール自身の弁証法がどのようなものであるか確認しておくこと。
11 回	授業内容 ヘーゲルへの批判Ⅱ. マルクス、労働の概念を考える。 意識を規定しているのは何か？ 上部構造・下部構造について。
	事前学修 教科書のマルクスの項目に目を通しておくこと。
	事後学修 疎外の概念についてまとめておくこと。
12 回	授業内容 マルクス、資本主義的経済への批判の一端を、「価値」を起点に考える。
	事前学修 労働の概念について確認しておくこと。
	事後学修 多様な内容を持つ言葉である「価値」について、再考しておくこと。
13 回	授業内容 マルクス以降の思想、啓蒙と資本主義との結びつきを考えるか、または所有権について考える。
	事前学修 教科書第二章第九節の「新しい知性と現代への批判」の冒頭「近代の理性への批判」に目を通しておくこと。
	事後学修 近代理性が生み出した所有権や啓蒙といった考え方の可能性と問題点を考えておくこと。
14 回	授業内容 まとめ
	事前学修 講義で分からなかった部分を洗い出しておくこと。
	事後学修 教科書、配布資料等、授業内容を確認しておくこと。
15 回	授業内容 試験（レポートに変えることもあります）
	事前学修 試験は記述式で行い、範囲、問題は、あらかじめ告知する。ノートに要点をあらかじめまとめておくことが望ましい。
	事後学修 各思想家の著作に実際に触れてみることを望ましい。理解を深める最善の方法です。

- ◆**教科書** 教材『西洋思想史Ⅱ P30600』通信教育教材（教材コード 000570）2,400 円（送料込）
この教材は市販の『もういちど読む 山川倫理』小寺聡編（山川出版社）（2011 年）と同一です。）
〔当日資料配布〕当日配布プリント
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 全出席を前提に、試験（80%）と授業への参加度（20%）により総合的に評価、尚、試験はレポートへの変更の場合もある。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」[学生番号] および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔東洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

綿貫 哲郎

◆**授業概要** 主に「東洋史」（特に中国史）の卒業論文を書く学生は、日本語だけでなく中国語の論文を参照したいものです。そのような学生を対象に、中国語で書かれた論文を読むためのスキルを身につけます。時間をかけて中国語の論文を日本語に翻訳する作業をつうじて、よく使われる中国語の文法やフレーズなどを会得すれば、今以上に論文の内容を理解することができるようになります。

◆**学修到達目標** グループごとに分かれ、一段落ごとに中国語の論文を日本語に翻訳・発表し、最後に清書します。難解な訳文と歴史用語については他のグループと一緒に辞書を引きます。中国語は話せなくても構いません。ただし、通常以上の日本語能力・語彙（を学ぶ覚悟）を必要とします。

◆**授業方法** 講義に用いるテキストは、中国の前近代史または中国民族史に関するものを予定しています。受講者予定者には、教務課より事前に資料を送付するので、指示に従い準備してください。翻訳ミスをおそれる必要はありません。最初は誰でも初心者であり、間違えてこそ伸びることができるからです。中国語の文章にじっくり取り組み日本語に翻訳する機会をしっかりとらない貴重な経験ではないでしょうか。

◆授業計画（各90分）

1回	授業内容：ガイダンス、授業の進め方・発表の仕方など 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：プリントの確認
2回	授業内容：グループ翻訳作業 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
3回	授業内容：グループ翻訳作業 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
4回	授業内容：グループ発表（1）・まとめ 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
5回	授業内容：グループ翻訳作業 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
6回	授業内容：グループ翻訳作業 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
7回	授業内容：グループ発表（2）・まとめ 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
8回	授業内容：グループ翻訳作業 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
9回	授業内容：グループ翻訳作業 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
10回	授業内容：グループ発表（3）・まとめ 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
11回	授業内容：グループ翻訳作業 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
12回	授業内容：グループ翻訳作業 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
13回	授業内容：グループ翻訳作業 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
14回	授業内容：グループ発表（4） 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（誤訳・歴史用語などの確認）
15回	授業内容：総まとめ 事前学修：参考書に目を通しておくこと 事後学修：翻訳作業内容の再確認（翻訳した文章全体）

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリントを配布します。中国語辞典（中日辞典）を持参してください。中国語辞典を買うならば知大中国語辞典編纂処編『中日大辞典』（大修館書店）の初版本が望ましいです。手に入らなければ、例文がたくさん載っている辞書を用意して下さい。コンパクトな辞書は、この授業には役に立ちません。また別途、国語辞典（日本語辞典）の持参を勧めます。

◆**参考書** 『シリーズ世界歴史大系・中国史4巻：明-清』松丸道雄ほか編 山川出版社 1999年【購入義務はありません】
『紫禁城の栄光：明・清全史』岡田英弘・神田信夫・松村潤 講談社学術文庫 2006年【購入義務はありません】
『大清帝国への道』石橋崇雄 講談社学術文庫 2011年【購入義務はありません】

◆**成績評価基準** 授業参画度（60%）・発表（40%）。最終試験はおこなわない。
毎回中国語辞典を持参しない学生は出席を認めない。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔租税論〕

鵜藤 俊英

◆**授業概要** 日本の国家（地方公共団体）の財政の収入源は、ほぼ税金である。国の財政状態の現状を把握・理解し、そこにある問題点を解決する方法を検討する。本講座では、税理士の実務経験を踏まえ、現実に施行されている租税制度を基に研究していく。初学者にも理解できるよう、わかりやすい副教材・資料を用いて、具体的なテーマを設定の上、実社会でも問題とした内容をもとに授業を進めていくアクティブラーニング型講座である。

◆**学修到達目標** まず、日本の財政の現状が今後の国の在り方にどのように影響するのかを理解し、そこにある問題点を指摘・説明できる。

次に、その問題点を解決するために必要と考えられる税制度を模索し、現状の税制度の問題点と合わせ、どのような税制度への改善策があるのかを指摘できるようになる。

◆**授業方法** 各講義でのテーマについて、必要に応じて補助教材等を使用しながら解説する。各授業の最後に、そのテーマについてのリアクション・ペーパー（小論文）を記述し、提出を求める。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：日本の財政状態の現状を把握する。 事前学修：ネットニュースなどで、事前に調べておくこと。 事後学修：当日配布資料を再読する。
2 回	授業内容：財政再建には何をすべきかを検討する。 事前学修：税と国債について調べておくこと。 事後学修：国の借金について再考する。
3 回	授業内容：所得課税、消費課税、資産課税について説明する。 事前学修：所得税、消費税について調べておくこと。 事後学修：来年度の税制改正について調べてみる。
4 回	授業内容：所得税の納税義務について説明する。 事前学修：所得税は、だれがどんな時に収めるのか考えてみる。 事後学修：日本で納める所得にかかる税について再考する。
5 回	授業内容：「所得」とは何かについて説明する。 事前学修：どんな経済的利得があるのか考えてみる。 事後学修：税金が課せられる経済的利得について再考する。
6 回	授業内容：収入から経費を引く、について説明する。 事前学修：経費にはどんなものがあるか、考えてみる。 事後学修：「簿記」を調べてみる。
7 回	授業内容：どんな種類の所得があるのか説明する。 事前学修：日本の所得税の所得について調べておくこと。 事後学修：包括的所得概念について再考する。
8 回	授業内容：サラリーマンと所得税について説明する。 事前学修：現在あるいは将来負担する所得税について調べておくこと。 事後学修：自分が負担する所得税と富裕層が負担する所得税との差について再考する。
9 回	授業内容：法人犠牲説と法人実在説の意味するところを説明する。 事前学修：法人犠牲説と法人実在説を調べておくこと。 事後学修：グローバル企業の行う租税回避について再考する。
10 回	授業内容：法人所得の課税について説明する。 事前学修：ベイスルー課税とパスルー課税について調べておくこと。 事後学修：抽象概念としての法人課税について再考する。
11 回	授業内容：消費税について説明する。 事前学修：間接税について調べておくこと。 事後学修：益税・税の転嫁について再考する。
12 回	授業内容：軽減（複数）税率と消費課税について説明する。 事前学修：身の回りの軽減税率について考えてみる。 事後学修：インボイスと付加価値税について再考する。
13 回	授業内容：相続税について説明する。 事前学修：相続について調べておくこと。 事後学修：相続税と富裕税との考え方の違いを再考する。
14 回	授業内容：理解度の確認 事前学修：リアクションペーパーに記した自分の考えをまとめておくこと。 事後学修：再考すべき点を再確認し、まとめてみる。
15 回	授業内容：試験及び解説 事前学修：前回の授業でまとめたものと教科書を読み比べておくこと。 事後学修：本講座で指摘した問題点を再確認する。

◆**教科書** 丸沼『よくわかる税法入門 13 版』三木義一編著 有斐閣 2,268 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 通材『租税論 R31700』通信教育教材（教材コード 000467）4,050 円（送料込）
〈この教材は市販の『新版租税論』高木勝一（八千代出版）と同一です。〉

◆**成績評価基準** テスト 60%、小論文 30%、授業参画度 10%

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔金融論〕

谷川 孝美

◆**授業概要** 金融取引が行われる場を金融市場と言います。また、金融取引では銀行などの金融機関が重要な役割を果たしています。この講義では、金融に関する基本的な知識、理論を学び、多様な金融市場、金融機関の機能を理解し、また、戦後日本の金融制度の変遷を知ることで、現代の金融問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆**学修到達目標** この講義では、わが国の金融制度を理解することを目指し、具体的には以下のことを目標とする。

1. 貨幣の定義、金利の決定などの基礎的な事柄を学び、説明できるようになる。
2. 情報の非対称性、エージェンシー理論などを理解し、銀行などの金融仲介機関を説明できるようになる。
3. 多様な金融市場を理解し、説明できるようになる。
4. 日本における戦後の金融制度の変遷を理解し、説明できるようになる。

◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基本的な事柄を中心に、全体的かつ平易な解説をする予定です。また、授業計画を開講日数にあわせて4回に分けますが、講義の進行状況によっては前後することもあります。なお、この講義では中央銀行、金融政策は取り扱いません。

◆授業計画 (各 90 分)

1回	授業内容: 授業の進め方・オリエンテーション・金融、金融市場とは何か 事前学修: テキストの「はじめに」をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業内で用いられた専門用語や説明を確認し、理解すること。
2回	授業内容: 貨幣の歴史、貨幣の定義 事前学修: テキスト第1章、第1,2節をよく読んでおくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
3回	授業内容: 貨幣供給と貨幣需要 事前学修: テキスト第1章、第3節貨幣の定義をよく読み、確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時紹介する資料を確認すること。
4回	授業内容: 金利の基本概念 事前学修: テキスト第2章、第2,3節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、実際に金利計算をして理解を深めること。
5回	授業内容: 資金循環から見た日本の金融制度の特徴 事前学修: テキスト第6章、第2節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
6回	授業内容: 日本の金融市場1 (インターバンク市場、短期金融市場) 事前学修: テキスト第5章、第1,2節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
7回	授業内容: 日本の金融市場2 (長期金融市場) 事前学修: テキスト第5章、第1,2節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
8回	授業内容: 日本の金融市場3 (金融派生商品市場、外国為替市場) 事前学修: テキスト第5章、第1,2節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
9回	授業内容: 銀行の機能と役割 事前学修: テキスト第7章、第1節銀行をよく読み、確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
10回	授業内容: 信用創造とは何か 事前学修: テキスト第7章、第1節銀行をよく読むこと。また、第2回、第5回の講義内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、実際に信用乗数を計算して理解を深めること。
11回	授業内容: 金融における情報の非対称問題 (情報生産、フリーライド、重複問題) 事前学修: テキスト第3章、第3,4節をよく読み、情報生産、フリーライド、重複問題を確認すること。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
12回	授業内容: 金融制度の戦後史1 (競争制限的規制) 事前学修: テキスト第6章、第3節日本の金融システムの歴史をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
13回	授業内容: 金融制度の戦後史2 (金融の自由化、規制緩和、日本版ビッグバン) 事前学修: テキスト第6章、第3節日本の金融システムの歴史をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
14回	授業内容: 理解度の確認 事前学修: 配布された資料を熟読し、内容を確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書などで、講義内容をよく確認し理解すること。
15回	授業内容: 試験および解説 事前学修: 前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修: 今回の授業内容を再確認し、理解を深めること。

◆**教科書** 教材『金融論 R31800』通信教育教材 (教材コード 000540) 1,950 円 (送料込)
事前資料送付 (当日資料配布) 必要に応じて、事前および当日プリント配布予定

◆**参考書** 丸沼『ベーシックプラス 金融論』家森信善 中央経済社 2,376 円 (税込) (送料 300 円)
丸沼『現代の金融入門【新版】』池尾和人 筑摩書房 928 円 (税込) (送料 215 円)
丸沼『日本の金融制度 第3版』鹿野嘉昭 東洋経済新報社 4,536 円 (税込) (送料 500 円)

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に授業への取り組み、小テストや平常点などにより総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔商品学〕

松本 竜一

◆**授業概要** 消費者の欲求が複雑化し、その求めに応じて生み出された商品も多様化している。そのため、日常世界に大量に溢れている商品を、社会やその成員である消費者へ届けるためにはさまざまな仕組みを理解しなくてはならない。本講義では、商品とは何か学び、それらをつなげる仕組みであるマーケティングについて学修していく。また、商品は消費者の自己を表明するための手段ともなり得るため、消費者の心理についても検討していく。

◆**学修到達目標** 本講義では、日常生活の中で絶えず関わり続ける商品の役割について理解し、その基礎的な内容や特徴を学んでいく。また、関連分野であるマーケティングなどの知見を手掛かりに、商品を検討していくことで、幅広い知識修得を目指す。以上の内容を通じ、商品の意義や、商品と接する消費者、現代社会のあり方を洞察する力を身につけていく。そして、商品に関わるさまざまな現象を論理的に説明できるようになることを目的とする。

◆**授業方法** 原則として、配布資料とパワーポイントによる講義形式で行う。講義の前半部分では各テーマに沿った内容や、キーワードについてパワーポイントを視覚資料として提示し、それをまとめた配布資料を活用して学んでいく。講義の後半部分では当日の講義テーマに関連した内容や、それを軸に検討すべき課題を設定し、小論文の作成を行う。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	イントロダクション 授業進行の方法や成績評価について説明する。また、商品とは何かについて概説する。
	事前学修	現代社会の特徴について整理する。
	事後学修	配布資料を整理し、身の回りに存在する商品のコンセプトについて調べる。
2 回	授業内容	品質の構造 商品の品質の構造や、消費者の購買特性に応じた商品分類について説明する。
	事前学修	商品購買時の意思決定プロセスについて検討しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、価格と品質の構造について理解する。
3 回	授業内容	商品とパッケージ 商品の開発戦略と、それに付随したデザインやパッケージングの重要性について説明する。
	事前学修	商品のパッケージングの意義について検討しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、商品のデザインについて事例を検討する。
4 回	授業内容	商品とブランド 商品に関わるブランド概念について説明する。
	事前学修	商品に付加されたさまざまなブランドについて検討しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、商品のブランドについて事例を検討する。
5 回	授業内容	商品と流行 流行概念と商品の関係について説明する
	事前学修	現代の流行商品について検討しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、商品が流行するメカニズムについて事例を用いて検討する。
6 回	授業内容	意思決定のシステム 消費者の思考のメカニズムを説明し、購買時の意思決定について学ぶ。
	事前学修	消費者がどのようなことを連想しながら商品と向き合っているかについて検討しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、消費者がどのように商品を記憶し学習しているかを検討する。
7 回	授業内容	非合理的な消費者の意思決定 行動経済学のキーワードを参照し消費者の心理と購買行動の関係について説明する。
	事前学修	行動経済学の分野について目を通しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、消費者の心理と購買行動について事例を検討する。
8 回	授業内容	商品と知覚 消費者の五感とマーケティングの関係について説明する。
	事前学修	身の回りの商品をどのように知覚しているかについて検討しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、知覚のプロセスについて検討する。
9 回	授業内容	商品と自己形成 商品を通じて消費者が自己を形成していく過程について説明する。
	事前学修	自己を表現するために商品がどのような役割を担っているかについて検討しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、商品の社会的な役割について検討する。
10 回	授業内容	文化と商品 文化や準拠集団と商品の関係について説明する。
	事前学修	消費行動と文化の影響について検討しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、消費行動に影響を与える文化的要因、社会的要因について検討する。
11 回	授業内容	商品とマーケティング マーケティング 4.0 までの流れを概説する。
	事前学修	マーケティングの理論について検討しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、インターネットとマーケティングの関係について検討する。
12 回	授業内容	商品とサービス・マーケティング サービス・マーケティングの概念から商品研究の視点を説明する。
	事前学修	サービスの特性について検討しておく。
	事後学修	配布資料を整理し、現代社会で需要が増すと考えられるサービスについて事例を用いて検討する。
13 回	授業内容	商品とブランド・マーケティング① 商品のブランドを強化するためのマーケティング戦略について説明する。
	事前学修	ブランドの知識や連想がどのように形成されているかについて検討する。
	事後学修	配布資料を整理し、強いブランドを持つ連想ネットワークの構造について検討する。
14 回	授業内容	商品とブランド・マーケティング② 商品のブランドを強化するために当該ブランドとは関係のない要素を活用する手法について説明する。
	事前学修	現代社会で影響力の大きいと考えられる人や組織について検討する。
	事後学修	配布資料を整理し、ブランドを強化するためにどのような商品がどのような人や組織と結びついているかについて事例を用いて検討する。
15 回	授業内容	総括及び試験
	事前学修	14 回目までの内容を整理する。
	事後学修	各授業内で学んだ内容や事例を確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日プリント配布

◆**参考書** 〔教材〕『商品学 S30300』通信教育教材（教材コード 000401）2,850 円（送料込）
〈この教材は市販の『現代商品論 第二版』見目洋子・神原理（白桃書房）と同一です。〉

◆**成績評価基準** テスト（60%）、講義内の課題（20%）、平常点（20%）で評価する。テスト、講義内の課題（小論文）では、学修の成果を確認する。平常点は、講義への取り組みを評価する。これらを総合的に考慮し成績評価を行う。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔教育の社会学〕

廣田 照幸・雲川 けいか

◆**授業概要** 最初に教育社会学がどんな学問なのかを略述し、学校の社会化機能、選抜機能、収容機能の整理を中心に、学校を見ていく視点を理解させる。次いで、学校を巡る近年の様々な状況の変化を歴史とデータとの両面から考え、考えるべき理論的諸課題を理解させる。その次に、子供の生活の変化を踏まえた指導上の課題を、特に指導の困難性の性格についてデータや事例をもとに考えさせたいので、考えるべき理論的課題を理解させる。次いで、近年の教育政策の動向と教育について説明し、考えるべき理論的課題を理解させる。次いで、地域との連携、学校安全の問題を説明して諸事項を理解させる。その次に、諸外国の教育事情や教育改革の動向について、世界同時的に起きている教育改革の例などをとり上げて説明し、考えるべき理論的課題を理解させる。

◆**学修到達目標** 現代教育のさまざまなトピックを社会的な視点から考察することで、教育を広い社会的文脈に位置づけて理解できるようにすることをめざす。近現代社会における学校の性格や社会的役割を多面的に理解し、学校で生起している諸問題を理解し、適切な情報の吟味、学校経営や指導の考え方ができるようになる。

◆**授業方法** 講義形式で行いつつ、適宜、グループでの討論などを挿入したい。復習と質問・討議の時間も設けたい。受講者は、社会の変化の中での教育の役割について、いろいろと考えをめぐらせながら講義を受講してもらいたい。それゆえ、授業の3倍程度の時間をかけて、あらかじめ参考図書や新聞・雑誌などを通して予習しておくことが求められる。また、政治や法、経済・外交など、広い知識や関心を持つ者ほど得るものが大きいはずである。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容：教育社会学とは何か——学校の社会化機能、選抜機能、収容機能の整理を中心に 事前学修：学校が何をする場所なのかを、いろいろ思い描いて考えてみる 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
2回	授業内容：学校を巡る近年の様々な状況の変化(1)——昔の学校と今の学校 事前学修：いろいろな情報から昔の学校を考えてみる 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
3回	授業内容：学校を巡る近年の様々な状況の変化(2)——児童生徒に関する調査データから 事前学修：いろいろな情報から、今の児童生徒の世界の理解に努める 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
4回	授業内容：学校を巡る近年の様々な状況の変化(3)——考えるべき理論的諸課題 事前学修：理論的概念や理論的命題を使えるよう、難しい散文に慣れておく 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
5回	授業内容：子供の生活の変化を踏まえた指導上の課題(1)——指導の困難性をどうみるか 事前学修：いろいろな情報から、今の学校が抱える困難についての理解に努める 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
6回	授業内容：子供の生活の変化を踏まえた指導上の課題(2)——考えるべき理論的諸課題 事前学修：理論的概念や理論的命題を使えるよう、難しい散文に慣れておく 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
7回	授業内容：地域との連携——地域との連携・協働による学校教育の意義と方法、及び開かれた学校づくり 事前学修：「地域」とは何かを考えてみる 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
8回	授業内容：学校安全への対応——学校での事件、事故及び災害と、危機管理や事故対応 事前学修：リスクマネジメントに関わるセンスを磨いておく 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
9回	授業内容：近年の教育政策の動向と教育(1)——教育行政の仕組みと政策 事前学修：高校の公民科の内容を思い出しておく 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
10回	授業内容：近年の教育政策の動向と教育(2)——考えるべき理論的諸課題 事前学修：理論的概念や理論的命題を使えるよう、難しい散文に慣れておく 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
11回	授業内容：諸外国の教育事情や教育改革の動向(1)——グローバル化の中の世界の教育改革 事前学修：高校の地理や歴史の内容を思い出しておく 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
12回	授業内容：諸外国の教育事情や教育改革の動向(2)——さまざまな国の事例を通して考える 事前学修：高校の地理や歴史の内容を思い出しておく 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
13回	授業内容：諸外国の教育事情や教育改革の動向(2)——考えるべき理論的諸課題 事前学修：理論的概念や理論的命題を使えるよう、難しい散文に慣れておく 事後学修：講義内容を復習しつつ、配布資料の諸事項の理解を深めること
14回	授業内容：講義全般をふり返る復習と質問 事前学修：自分で考え、何かに疑問を持つという態度を養っておく 事後学修：講義内容を復習しつつ、自分なりに納得・理解した点をさらに深めること
15回	授業内容：質問への応答と全体での総括討議 事前学修：自分の考えを言葉にして他人に伝えるというスキルに慣れておく 事後学修：講義内容を復習しつつ、他の受講生の意見や教員の補足説明から理解さらに深めること

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 様々な種類の資料を配布しながら講義を行う。

◆**参考書** 丸沼『格差・秩序不安と教育』 広田照幸 世織書房 3,888円(税込)(送料350円)
『よくわかる教育社会学』 酒井朗・中村高康・多賀太 ミネルヴァ書房 2012年
〔上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〕

丸沼『ヒューマニティーズ 教育学』 広田照幸 岩波書店 1,512円(税込)(送料300円)

◆**成績評価基準** 最後に行う試験結果を重視するが、授業への取り組み、講義の合間に書いてもらうペーパーも加味する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国語科教育法Ⅱ〕

野澤 拓夫

- ◆**授業概要** 理論面としてテキスト中の『「学習指導要領」の歴史と課題』から中学校・高等学校における国語科教育の変遷について把握する。併せて現在国語科教育に求められている「思考力、判断力、表現力を伸ばすための指導計画と授業研究」について検討する。また、よい授業とは何かを「授業評価」の観点から分析し、それを支える指導力・教授法について高校 1 年生を対象とした「国語総合」の教材により、模擬授業を通して確認していく。
- ◆**学修到達目標** 戦後の「学習指導要領」の変遷を確認することで、それぞれの時代に求められた国語科教育とはどのようなものであったのかを理解することが出来る。それをふまえることで、新しい時代に求められている国語科教育の実現に必要な「よい授業とは何か」、それを支える「指導力・教授法とはどんなものか」について、具体的な教材に即した実践を通して、その適否が判断できるようにする。「授業評価」の実際とその必要性を理解することが出来る。
- ◆**授業方法** 初日の理論を基に 2 日間からグループごとに効果的な授業方法を検討しつつ模擬授業を実施する。その具体的な展開から全体で議論を重ね、教授法の適否についての考察・評価を行う。実験的な教育実践例（DVD）を紹介し、これらについても分析・検討を行う。模擬授業・教育実践例に対して個人に評価シートの提出を求める。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	ガイダンスとして授業の進め方を説明する。グループを編成し、本シラバスに提示した現代文・古文・漢文の 3 分野 8 教材を用いた模擬授業の分担（グループ・発表者）を決める。よい模擬授業の実現に向けて、「授業評価」の観点を参照しつつ、その条件について討議する。
	事前学修	本シラバスに提示した現代文・古文・漢文の 3 分野 9 教材を読んでおくこと。また「よい授業」の条件には何が挙げられるかを考えておくこと。「評価」の意味について考えておくこと。
	事後学修	討議内容を整理するとともに、授業内容と配布資料とを確認し、理解を深めておくこと。
2 回	授業内容	『国語科教育法Ⅱ』のテキストにより、国語科教育の変遷について解説する。それをふまえて「学習指導要領解説」を参照し、新しい時代に求められる資質・能力を育むための国語科教育について解説する。また、「思考力、判断力、表現力を伸ばす」ための授業形態のひとつである「アクティブ・ラーニング」や、その力の評価を目指した「2020 年大学入試改革」についても解説する。
	事前学修	テキストと「学習指導要領解説」に目を通しておくこと。
	事後学修	授業内容と配布資料を確認し、国語科教育に要求されている事項を理解しておくこと。
3 回	授業内容	教育実践例「パネルディスカッションの授業」(DVD) の紹介を通して、従来型の授業にとらわれない授業形態について解説する。グループごとに担当する教材の性格を分析し、模擬授業の準備に入る。配布された指導案のフォームを用いて、「よい指導案」作りに取り組む。
	事前学修	指導案を作成するうえでの留意点をインターネット等であらかじめ調べておくこと。
	事後学修	授業内容をふまえ、各グループごとに担当する模擬授業の指導方法・授業形態について検討、決定しておくこと。
4 回	授業内容	現代文 詩「二十億年の孤独」(78～81 頁) の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、適切と思われる指導方法を考え、授業プランを立てておくこと。 ※当該教材による模擬授業を担当するグループについては、発表者を中心に協働して教材のジャンルや性格に適した指導方法・授業形態を選択し、意欲的な授業プランを立てること。それに基づいた学習指導案を作成し、必要に応じてワークシートなども用意すること。
	事後学修	授業内容を確認し、詩教材の扱い方について整理し、教育現場で求められる指導力について把握しておくこと。 ※模擬授業を担当したグループについては、授業内容をふまえて、ふりかえりを行い、その成果を共有しておくこと。
5 回	授業内容	古文 説話「老僧の水練」(238～240 頁) の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、古文・説話という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、古文教材の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
6 回	授業内容	漢文 故事「虎の威を借る狐」(306～307 頁) の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、漢文・故事という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、漢文教材の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
7 回	授業内容	現代文 小説「とんかつ」(98～109 頁) の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、小説という教材の性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、小説の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
8 回	授業内容	古文 和歌「四季の歌（紀貫之・大伴家持・藤原定家）」(266～268 頁) の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、前の古文で学んだ留意点を活かした授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
9 回	授業内容	漢文 史伝「死せる孔明生ける仲達を走らす」(316～318 頁) の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、前の漢文で学んだ留意点を活かした授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
10 回	授業内容	現代文 評論「想像するちから」(56～63 頁) の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、評論という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、評論教材の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
11 回	授業内容	古文・漢文の授業を担当するうえで、避けては通れない文語文法と訓点・訓読、句形の指導法について解説する。
	事前学修	古文・漢文について、これまでどのような指導を受けたかをふりかえっておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、古文・漢文固有の指導法について、実践を前提に整理しておくこと。
12 回	授業内容	古文 随筆・徒然草「花は盛り」(250～251 頁) の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、古文・随筆という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
13 回	授業内容	漢文 唐詩「送元二使安西・早發白帝城」(323～324 頁) の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、漢詩という教材の性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
14 回	授業内容	教育実践例として、2 回目の授業で取り上げたアクティブ・ラーニングのひとつである「学習ゲーム」(漢字・音読・作文に関するもの) を DVD で紹介し、その教育的な意図と効果について分析・検討する。
	事前学修	2 回目の授業で解説されたアクティブ・ラーニングの内容について確認しておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、アクティブ・ラーニングをどのようにしたら、授業に取り入れられるのかについて考えておくこと。
15 回	授業内容	試験
	事前学修	14 回の授業のふりかえりを行い、試験のための準備をしておくこと。
	事後学修	試験問題（課題）について、正しい理解と適切な解答ができたかを確認しておくこと。

- ◆**教科書**
 - 丸沼『新訂 国語科教育学の基礎』森田信義・山元隆春 漢水社 2,700 円（税込）（送料 300 円）
 - 丸沼『新編 国語総合』高校 1 年教科書 教育出版 17 教出 国総 343 910 円（税込）（送料 300 円）
 - 丸沼『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 国語編』文部科学省 312 円（税込）（送料 300 円）
 - 丸沼『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 国語編』文部科学省 620 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 国語・古語・漢和の各辞書
- 丸沼『国語科 重要用語事典』高木まさき他 明治図書 3,197 円（税込）（送料 350 円）
- ◆**成績評価基準** 授業参画度（30%）、提出物（30%）、試験（40%）により総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔博物館資料保存論〕

青木 繁夫

◆**授業概要** 博物館は、展示室等の空間、蓄積した資料・情報・研究成果、展示や教育普及活動の実践など、博物館ならではの多くの特徴を有している。この特徴を生かすためには資料を保存し、それを活用するシステムを確立する必要がある。本講義では資料材質や製作方法、使用方法などの基本機能、なぜ保存しなければならないのか、そしてなぜ活用しなければならないのかを学びながら、そのような活動が地域活とどう結びついているかを理解してもらう。

◆**学修到達目標** 博物館活動は、主として実物資料を展示・活用することによって成り立っている。展示が頻繁に行われるならば資料は消耗することになる。資料を持続的に展示活用するには、劣化・損傷のリスクを小さくしなければならない。そのためには資料が劣化するメカニズムを知り、取り扱や展示収蔵方法に関する知識を取得する必要がある。授業では、保存知識とリスク軽減対策について基礎的な能力を養うことを目的としている。

◆**授業方法** 毎回授業時に資料を配布する。その資料とパワーポイントを使用して授業を行う。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	<p>授業内容: 博物館資料の保存の意義 * 授業の進め方の説明。 * 博物館資料はどのような性質を持っているか。 * 博物館資料をなぜ保存しなければならないのか。</p> <p>事前学修: 「博物館資料論」に関する文献を読んでおくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を確認して理解しておくこと。</p>
2回	<p>授業内容: 博物館資料の製作技術 * 日本画・甲冑・陶磁器の材質と製作技術 * 資料の機能と使用方法</p> <p>事前学修: 「図解日本画用語事典」東京美術、「図説甲冑のすべて」PHP出版、「陶芸を学ぶ」角川書店などを読んでおくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を整理して理解しておくことと、工芸品や彫刻・油絵など授業で取り上げなかった分野の製作技術などについても理解を深めておくこと</p>
3回	<p>授業内容: 博物館資料の劣化と損傷 * リスク管理 * 劣化・損傷の要因</p> <p>事前学修: テキスト『博物館資料保存論』朝倉書店を読んでおくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を理解しておくこと。特に劣化メカニズムについてはすべての基本になるためよく理解しておくこと。</p>
4回	<p>授業内容: 博物館照明 * 博物館照明とは。 * 光色・色温度・照度など。 * 光による劣化 * 照明光源・照明基準</p> <p>事前学修: テキスト『博物館資料保存論』朝倉書店を読んでおくこと。博物館で照明の実例を見ておくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を理解しておくこと。資料を好ましい状態より良く見せるためには必須の技術のため、博物館に行き実例を批判的な目でよく見ること</p>
5回	<p>授業内容: 博物館の温度・湿度管理 * 温度・湿度変化による劣化。 * 湿度とは、湿湿度の管理基準。 * 湿度調整。</p> <p>事前学修: テキスト『博物館資料保存論』朝倉書店を読んでおくこと。博物館で温度・湿度測定あるいは調湿剤の使用実例を見ておくこと</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を理解しておくこと。</p>
6回	<p>授業内容: 博物館の空気汚染 * 野外展示物および室内展示物に関する空気汚染の影響。 * 空気汚染のモニタリング</p> <p>事前学修: テキスト『博物館資料保存論』朝倉書店を読んでおくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を理解しておくこと。屋外に展示してあるブロンズ像などの錆の状態をよく観察しておくこと。</p>
7回	<p>授業内容: 博物館資料の虫害とカビ * 虫の種類と虫害の特徴 * カビの発生・成長の特徴</p> <p>事前学修: テキスト『博物館資料保存論』朝倉書店を読んでおくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を理解しておくこと。</p>
8回	<p>授業内容: IPM および防除対策 * IPM とは * 燻蒸による対策</p> <p>事前学修: テキスト『博物館資料保存論』朝倉書店を読んでおくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を理解しておくこと。ウェブサイトを開覧して実際の対策例などを調べておくこと</p>
9回	<p>授業内容: 博物館・美術におけるリスク管理 * 博物館におけるリスクとは * 事故の例について * 火災事例について * 自然災害の事例について</p> <p>事前学修: 博物館に行き、展示施設、展示設備、展示の状況と観覧者の様子などをよく観察し、博物館の展示について利用者として理解しておくこと。博物館のウェブサイトを開覧し、リスク管理について情報を収集し、理解を深めておくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートして授業内容を理解しておくこと。</p>
10回	<p>授業内容: 東日本大震災における文化財被害とレスキュー活動 * 被害の状況について * 現場でのレスキューについて * 一時保管場所での応急処理について</p> <p>事前学修: 文化財レスキューに関するウェブサイトを開覧して情報収集をして理解を深めておくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートして授業内容を理解しておくこと。文化財レスキューのワークショップなどが開催されているのでウェブサイトなどで調べ参加して経験すればよい。</p>
11回	<p>授業内容: 保存修復概論 * 考古資料の保存理念 * 修復記録について。</p> <p>事前学修: 『博物館資料の臨床保存学』武蔵野美術大学出版局、「修復の理論」三元社を読んでおくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を理解しておくこと。</p>
12回	<p>授業内容: 出土金属製品の保存・修復 * 腐食について。 * 修復処置について。 * 修復後の保存管理について。</p> <p>事前学修: 『保存科学入門』角川書店を読んでおくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を理解しておくこと。博物館で修復の状態などを見ておくことよい。</p>
13回	<p>授業内容: 史跡の保存整備と野外博物館 * 史跡整備の理念 * 史跡整備と保存技術 * 史跡の活用と保存</p> <p>事前学修: 史跡整備に関するウェブサイトを開覧して情報を集め、理解を深めておくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を理解しておくこと。ウェブサイトを開覧して整備報告書や保存管理計画書などを探していくつかの整備例を比較してその違いをまとめておくことよい。</p>
14回	<p>授業内容: 野外博物館の役割と保存 * 動態保存について * 近代化遺産の保存について</p> <p>事前学修: 近代化遺産や動態保存に関するウェブサイトを開覧して情報を集め、理解を深めておくこと。</p> <p>事後学修: 配布資料を読み、ノートした授業内容を理解しておくこと。特に動態保存については実例を調べること。</p>
15回	<p>授業内容: 評価試験の実施と解説</p> <p>事前学修: 配布資料をよく読み、ノートを見て授業内容の理解を深めておくこと。</p> <p>事後学修: 試験後の解説を聞いて、不十分な部分の理解を深めること。</p>

◆**教科書** **教材**『博物館資料保存論 Y20700』通信教育教材(教材コード000477)4,550円(送料込)
 <この教材は市販の『文化財保存環境学 第2版』三浦定俊ほか(朝倉書店)と同一です。>
当日資料配布 授業当日配布する講義資料

◆**参考書** **丸沼**『文化財の保存環境』東京文化財研究所編 中央公論美術出版 2,052円(税込)(送料300円)
丸沼『博物館資料の臨床保存学』神庭信幸 武蔵野美術大出版局 2,160円(税込)(送料300円)
丸沼『博物館資料保存論』石崎武志編 講談社 2,376円(税込)(送料300円)

◆**成績評価基準** 授業終了時に実施する試験によって成績評価を行う。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京

11月期

日	程	授業時間	備考
11月16日	土	13:00～18:30	※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。
11月17日	日	9:00～16:30	
11月23日	土	13:00～18:30	
11月24日	日	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の11月期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	
KC01	心 理 学	須永 範明	2	B12100	心 理 学		1年	
KC02	英 語 B	賀美 真之介	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英 語 II		2年	
				C10300	英 語 III			
				C10400	英 語 IV			
KC03	中国語Ⅲ・Ⅳ	泉 朝子	1	F10300	中 国 語 Ⅲ		2年	・ Ⅲ, Ⅳのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				F10400	中 国 語 Ⅳ			
KC04	民 法 Ⅳ	根本 晋一	2	K30300	民 法 Ⅳ		2年	
KC05	国 文 学 概 論	加藤 清	2	M20200	国 文 学 概 論		条件 参照	・ 国文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込 可。
KC06	英 文 法	真野 一雄	2	N20200	英 文 法		条件 参照	・ 英文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込 可。
KC07	英 語 史	齊藤 雄介	2	N30300	英 語 史		2年	
KC08	英米文学特殊講義A	北原 安治	2	N31200	英米文学特殊講義		2年	
KC09	英米事情Ⅱ	鈴木 ふさ子	2	N31600	英米事情Ⅱ	×	2年	・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。
KC0A	哲学基礎講読	石井 友人	2	P20100	哲学基礎講読		条件 参照	・ 哲学専攻のみ1学年以上申 込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込 可。
KC0B	日本史特講Ⅰ	八馬 朱代	2	Q30800	日本史特講Ⅰ		2年	
KC0D	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	堀川 徹	1	Q401S0	日本史演習Ⅰ	×	3年	・ 史学専攻のみ申込可。 ・ I, IIのどちらに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。
				Q402S0	日本史演習Ⅱ			
KC0E	経 済 開 発 論	田宮 憲	2	R31400	経 済 開 発 論		2年	
KC0F	人文地理学概論	小倉 眞	2	T22200	人文地理学概論		2年	
KC0G	英語科教育法Ⅳ	市川 泰弘	2	T30400	英語科教育法Ⅳ	×	3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

(心理学)

須永 範明

◆**授業概要** 心理学は、人間のこころの働きを科学的に研究する学問です。この講義では、心理学の代表的な領域から、情動・動機づけ、発達、社会・経済行動の3領域について解説します。学生の皆さんにはこれらの知見を学ぶことを通して、現代心理学の人間に対する見方・考え方に触れていただきます。

◆**学修到達目標** 1. 3つの領域(情動・動機づけ、発達、社会・経済行動)の基礎的知識をいくつか説明することができる。
2. 心理学が人間をどのようなものと考えているか、自分の言葉でおおまかに述べるができる。

◆**授業方法** もっぱら講義の形式を取ります。パワーポイントで要点をスクリーンに表示しながら、授業を進めていきます。必要に応じて補足資料を配布します。また、簡単なデモンストレーションを交えることや、ビデオを映すことがあります。随時、質問に答えます。

◆授業計画 (各 90 分)

1回	授業内容: オリエンテーション 授業の内容・進め方を説明します。次に、科学である心理学の定義、特質、主たる研究領域を解説します。 事前学修: 教科書第1章「1.1.1心理学の起源」、「1.2.2感覚と知覚の研究」、「1.3.3進化論の影響」、「1.4.20世紀初頭の動向」、「1.5現代心理学の展開」を読んでください。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分を復習して、理解した内容を確認してください。
2回	授業内容: 情動とは何か、情動の指標 情動の定義と本質的な特徴を説明します。次に、情動の測定方法について解説します。 事前学修: 教科書第6章「6.1情動とは何か?」、「6.2情動の指標」を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、情動の定義、特徴、測定方法についての理解を確認してください。
3回	授業内容: 情動の理論情動の理論 情動の生起過程に関する代表的な理論を解説します。 事前学修: 教科書第6章「6.3情動の理論」を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、情動の理論についての理解を確認してください。
4回	授業内容: 情動の機能、動機づけの概念 情動の働きを説明します。続いて、動機づけという概念について解説します。 事前学修: 教科書第6章「BOX 6.4情動の機能」、「6.6.1動機づけの概念」を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、情動の機能、動機づけの概念についての理解を確認してください。
5回	授業内容: 動機づけの種類 さまざまな動機づけについて解説します。 事前学修: 教科書第6章「6.6.2動機づけの種類」を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、多様な動機づけについてまとめてください。
6回	授業内容: 発達の定義と関連概念、発達の法則性 発達とは何か説明し、類似の概念と発達の法則性について解説します。 事前学修: 教科書第7章「7.1発達心理学の成立と展開」および配付資料を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、発達の定義と関連概念、発達の法則性についての理解を確認してください。
7回	授業内容: ピアジェの発達段階理論 ピアジェの認知的発達理論について解説します。 事前学修: 教科書第7章「7.2.1発達区分が発達段階か」および配付資料を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、ピアジェの理論についての理解を確認してください。
8回	授業内容: ピアジェへの批判と新たな観点 ピアジェ理論への批判について解説し、他者との関わりという観点について説明します。 事前学修: 教科書第7章「7.2.2文化の中の発達、発達の領域固有性-ピアジェ批判」、「7.2.3他者との関わりの中での発達」を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、ピアジェ理論への批判と、他者との関わりという観点についての理解を確認してください。
9回	授業内容: 発達における遺伝と環境の役割 遺伝と環境が発達にはたす役割について解説します。 事前学修: 教科書第7章「7.3『氏か育ちか』」を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、発達における遺伝と環境の役割についての理解を確認してください。
10回	授業内容: 有能な子ども、成人の発達 乳幼児は高い能力をもつことを解説します。また、成人した後も発達は続くことを説明します。 事前学修: 教科書第7章「7.4誰の発達を研究するか」を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、乳幼児の能力および成人期の発達についての理解を確認してください。
11回	授業内容: 経済行動とは何か、ゼロの魅力 経済行動とはどのようなものか説明します。続いて、価格をゼロ円に設定することの効果について解説する。 事前学修: 配付資料の該当箇所を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、経済行動およびゼロ円の効果についての理解を確認してください。
12回	授業内容: 感応度の遞減性、社会規範と市場規範 変化に対する感応度が変わること、それが購入の判断を左右していることを解説します。続いて、社会規範と市場規範という2つの異なるルールが社会的行動に与える影響について述べます。 事前学修: 配付資料の該当箇所を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、感応度の遞減性および2つの規範についての理解を確認してください。
13回	授業内容: 先延ばしの問題 決めたのに実行を先延ばしてしまう傾向について解説します。 事前学修: 配付資料の該当箇所を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、先延ばしの問題とその対策についての理解を確認してください。
14回	授業内容: 予測の効果 どういう経験をするのかを予測することと実際の経験との関係を解説します。 事前学修: 配付資料の該当箇所を読んでください。 事後学修: 配付資料を活用して授業内容を整理し、予測の効果についての理解を確認してください。
15回	授業内容: 試験および解説 事前学修: 前回までの配付資料とノートを見直し、授業内容の理解を再確認してください。 事後学修: 自身の理解が適切であったか確認してください。

◆**教科書** 丸沼『心理学への招待 [改訂版] こころの科学を知る』 梅本堯夫・大山正編著 サイエンス社 2,700円(税込)(送料300円)

◆**参考書** 丸沼『予想どおりに不合理 早川文庫NF』ダン・アリエリー著 早川書房 972円(税込)(送料300円)

◆**成績評価基準** 課題(50%)と試験(50%)に基づいて評価します。課題は、1日目から3日目の最終の授業時間に課す予定です。なお、原則、毎回出席することは、成績評価の前提となります。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語 B〕

賀美 真之介

◆**授業概要** 英作文を練習問題を通して学習する。また、英作文に必要な、英文法の知識と、自然な日本語文から、英訳しやすい日本語文に直す技術も学習する。

◆**学修到達目標** 日本人英語学習者によく見られる誤用を分析することで、それが日本語的な発想に基づいていることを確認する。そのような発想を英語的な発想に切り替えることで、適格で、誤解のない英文を作成できるようになることを目標とする。

◆**授業方法** テキストの内容をまとめたハンドアウトをもとに講義を進める。練習問題の解説に重点を置く。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	主語（適格な英語の主語）、動詞（動詞の意味的な分類）、形容詞（形容詞を使った構文）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
2 回	授業内容	主語（適格な英語の主語）、動詞（動詞の意味的な分類）、形容詞（形容詞を使った構文）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
3 回	授業内容	主語（適格な英語の主語）、動詞（動詞の意味的な分類）、形容詞（形容詞を使った構文）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
4 回	授業内容	主語（適格な英語の主語）、動詞（動詞の意味的な分類）、形容詞（形容詞を使った構文）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
5 回	授業内容	主語（適格な英語の主語）、動詞（動詞の意味的な分類）、形容詞（形容詞を使った構文）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
6 回	授業内容	主語（適格な英語の主語）、動詞（動詞の意味的な分類）、形容詞（形容詞を使った構文）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
7 回	授業内容	副詞（特定の環境で生起する副詞）、助動詞（論理的な説明を加える）、時制（主に完了形）、接続詞（順接と逆接）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
8 回	授業内容	副詞（特定の環境で生起する副詞）、助動詞（論理的な説明を加える）、時制（主に完了形）、接続詞（順接と逆接）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
9 回	授業内容	副詞（特定の環境で生起する副詞）、助動詞（論理的な説明を加える）、時制（主に完了形）、接続詞（順接と逆接）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
10 回	授業内容	副詞（特定の環境で生起する副詞）、助動詞（論理的な説明を加える）、時制（主に完了形）、接続詞（順接と逆接）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
11 回	授業内容	副詞（特定の環境で生起する副詞）、助動詞（論理的な説明を加える）、時制（主に完了形）、接続詞（順接と逆接）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
12 回	授業内容	副詞（特定の環境で生起する副詞）、助動詞（論理的な説明を加える）、時制（主に完了形）、接続詞（順接と逆接）
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
13 回	授業内容	学習したことを確認する、誤文訂正問題
	事前学修	1～12 回で学習したことを再確認しておくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
14 回	授業内容	学習したことを確認する、誤文訂正問題
	事前学修	1～12 回で学習したことを再確認しておくこと。
	事後学修	テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
15 回	授業内容	まとめ、補遺、試験（60 分）
	事前学修	試験範囲の学習をしておくこと。
	事後学修	授業を通じて、理解できない点があった場合は、e-mail 等で質問すること。

◆**教科書** 丸沼『英語モードが身につくライティング』大井恭子・伊藤文彦著 研究社 2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 平常点（40%）試験（60%）毎回出席することを前提として評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔中国語Ⅲ・Ⅳ〕

泉 朝子

◆**授業概要** 難しいと言われる中国語の発音。せっかく中国語に興味をもって、発音でつまずき、あきらめてしまう人も少なくありません。この講義では発音指導を中心に、基礎となるピンインと声調を理解するところから二種類の課題文を正確に発音できるようにするまで、時間をかけて丁寧に学んでいきます。発音以外にも翻訳やクイズに挑戦したり、中国国歌を歌ってみるなどして、さまざまな角度から中国語への興味を深めてほしいと思います。

◆**学修到達目標** 発音の基礎となるピンインと声調をしっかりと学び、二種類の課題文を正確に発音できるようになります。また、グループワークなどの主体的な学びを通して、中国語に馴染みましょ。

◆**授業方法** 発音指導を中心に、説明→全体練習→グループ練習および個別指導を繰り返す(履修者が多い場合、個別指導ができない可能性もありますが、極力実施したいと思います)、二日目と三日目に一種類ずつ課題文を発表してもらいます。また、翻訳やクイズにはグループで取り組みます。いろいろなレベルの方が参加する講義ですので、教えたり教えられたりしながら中国語への理解を深めていきましょう。

◆**履修条件** 「中国語Ⅰ・Ⅱ」を履修済みか望ましいですが、履修中でもかまいません。平成 29 年度東京スクーリング「中国語Ⅲ・Ⅳ」(11 月期)との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容: ガイダンス, ピンインについて 事前学修: 自分が中国語を学びたい理由を明確にしておく 事後学修: ガイダンスの内容を確認する
2回	授業内容: ピンインの発音練習(全体), 中国語のドラマ鑑賞 事前学修: ピンイン練習用の配布資料に目を通しておく 事後学修: ピンイン練習用の配布資料を使って発音を復習する
3回	授業内容: 課題文(1)の翻訳, 翻訳発表, 講評と解説 事前学修: 課題文(1)に目を通しておく 事後学修: 他者の翻訳発表をふまえて翻訳の推敲をする。翻訳で間違っていたところがあれば直し、なぜ間違っていたのかを理解する。
4回	授業内容: 声調の発音練習(全体), 声調変化のルール・声調記号のふり方・ピンインの書き方のルールを学ぶ 事前学修: 声調練習用の配布資料に目を通しておく 事後学修: 声調変化のルール・声調記号のふり方・ピンインの書き方のルールを復習する
5回	授業内容: 課題文(1)の発音練習(全体, グループ練習/個別指導) 事前学修: 課題文(1)に目を通して、これまでに習った内容を応用してみる 事後学修: 課題文(1)の発音を復習する
6回	授業内容: 課題文(1)の発表, 中国語のドラマ鑑賞 事前学修: 課題文(1)の発音練習を行う 事後学修: 課題文(1)を実際に使ってみる
7回	授業内容: ピンイン・声調の復習 事前学修: ピンイン・声調に関してこれまでに習った内容を確認する 事後学修: ピンインのしくみ・声調の特徴を理解できているか確認する。間違っていたところがあれば直し、なぜ間違っていたのかを理解する。
8回	授業内容: 中国国歌を歌う 事前学修: YouTube などを利用して中国国歌を聴いておく 事後学修: 中国国歌を歌ってみる
9回	授業内容: ピンイン・声調・単語クイズ 事前学修: ピンイン・声調練習用の配布資料を使って発音を練習する 事後学修: クイズで間違っていたところがあれば直し、なぜ間違っていたのかを理解する
10回	授業内容: リスニングクイズ, 中国語のテレビ番組鑑賞 事前学修: ピンイン・声調練習用の配布資料を使って発音を練習する 事後学修: クイズで間違っていたところがあれば直し、なぜ間違っていたのかを理解する
11回	授業内容: 課題文(2)の翻訳, 翻訳発表, 講評と解説 事前学修: 課題文(2)に目を通しておく 事後学修: 他者の翻訳発表をふまえて翻訳の推敲をする。翻訳で間違っていたところがあれば直し、なぜ間違っていたのかを理解する。
12回	授業内容: ピンイン・声調の復習 事前学修: ピンイン・声調に関してこれまでに習った内容を確認する 事後学修: ピンインのしくみ・声調の特徴を理解できているか確認する。間違っていたところがあれば直し、なぜ間違っていたのかを理解する。
13回	授業内容: 課題文(2)の発音練習(全体, グループ練習/個別指導) 事前学修: 課題文(2)に目を通して、これまでに習った内容を応用してみる 事後学修: 課題文(2)の発音を復習する
14回	授業内容: 課題文(2)の発表, 中国語のアニメ鑑賞 事前学修: 課題文(2)の発音練習を行う 事後学修: 課題文(2)を実際に使ってみる
15回	授業内容: まとめ 事前学修: これまでに習った内容でわからなかったところがないか確認する 事後学修: 誰かに中国語を教える

◆**教科書** 〔当日資料配布〕

◆**参考書** (本・電子・スマートフォンなど形態は問わないが辞書の携帯が望ましい)

◆**成績評価基準** 平常点 40% (主にグループワークへの参加度, 発音練習への取り組み姿勢で評価します)
発表 60% (発音の発表を行ってもらいます。発音には個人差がありますので、各人がスクーリングの4日間ですべてだけ上達したかをもとに評価します)

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例: 「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔民法Ⅳ〕

根本 晋一

- ◆**授業概要** 債権各論の各パート、すなわち、契約総論、契約各論、事務管理、不当利得、不法行為を学修する。
- ◆**学修到達目標** 民法学における債権法の位置づけ、債権総論と債権各論の関係、債権各論の意義と体系、主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所ですした専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより、シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 2018 年度、2019 年度「民法Ⅳ」（根本）との積み重ねは不可。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：GD 債権総論と債権各論の関係 債権各論の内容 など 事前学修：必要なし 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
2 回	授業内容：【契約総論】 法律行為としての契約 契約の意義 契約自由の原則 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
3 回	授業内容：契約自由の原則の制限 契約の種類 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
4 回	授業内容：契約の成立 申込の効力 承諾の効力 契約締結上の過失 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
5 回	授業内容：双務契約の特殊な効力 同時履行の抗弁権 危険負担 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
6 回	授業内容：危険負担における債務者主義の原則 債権者主義の例外 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
7 回	授業内容：第三者のためにする契約 契約の解除 解除 解約告知 合意解除 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
8 回	授業内容：法定解除と約定解除 解除権行使の効果 直接効果説 解除と登記 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
9 回	授業内容：【契約各論】 典型契約と非典型契約 権利移転（売買）型契約 贈与 売買 交換 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
10 回	授業内容：貸借型契約 消費貸借 使用貸借 賃貸借 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
11 回	授業内容：労務供給（サービス提供）型契約 雇用 請負 委任 寄託 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
12 回	授業内容：互譲型契約 和解 その他の契約 終身定期金 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
13 回	授業内容：【事務管理】 委任との違い 遺失物法との関係 【不当利得】 公序良俗違反と不法原因給付 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
14 回	授業内容：【不法行為】 制度趣旨 一般的不法行為の成立要件 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
15 回	授業内容：特殊的不法行為の成立要件 共同不法行為 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み

- ◆**教科書** なし
- ◆**参考書** 教材『民法Ⅳ』 通信教育教材（教材コード 000355）3,100 円（送料込）
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度や質疑応答 20%。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学概論〕

加藤 清

◆**授業概要** 「国文学」とは何かという視点は容易なものではありません。そこで、「国文学」とはどのような学問大系としてあるのか各研究方法について、特に古典文学（上代文学）作品を通して解説します。そして、各研究方法の特質や課題について考察することにより、「国文学」に対する捉え方はどうであるかという視点に展開させます。

◆**学修到達目標** 「国文学」についての研究の方法を理解し、そのことから個々が個別の作品と向かいあったときに、それぞれの文学観を持てるようになることを目標にします。

◆**授業方法** 講義形式での授業となります。文学研究方法ではあるが、授業ではできるだけ作品にふれ講読（解釈と解説）を加えながら、その特色を解説します。そのことから「国文学」に対する捉え方について考察を加えます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：「国文学」の範囲の基礎的な説明をします。とくに古代文学についてその特色を説明します。 事前学修：文学ジャンルについて調べてみる。 事後学修：『万葉集』『古事記』『日本書紀』など個別の特性を理解する。
2 回	授業内容：文献学的方法① 古典文学の研究の基礎となる、定本の確立について解説します。 事前学修：「底本」「校合」「校本」の意味を知っておく。 事後学修：「校訂」の具体的な作業内容について理解する。
3 回	授業内容：解釈学的方法① 『古事記』の冒頭を例に挙げ、「訓詁」の意義について解説します。 事前学修：仮名以前の表記として漢字が使用されていたことを理解しておく。 事後学修：漢字を「よむ」ことが解釈と関わることを理解する。
4 回	授業内容：解釈学的方法② 『古事記』『日本書紀』の説話を例に挙げ、解釈を通して「作品論」を説明します。 事前学修：「神功皇后」とはどのような人物か知っておく。 事後学修：「作品」として描かれた世界の違いについて整理し、理解する。
5 回	授業内容：文芸学的方法① 言語芸術の基礎となる詩的世界観について概要を学びます。『万葉集』の「東歌」を例に挙げて、「抒情詩」という視点について解説します。 事前学修：「東歌」とはどのような歌か調べておく。 事後学修：「抒情詩」という概念について整理し、理解する。
6 回	授業内容：文芸学的方法② 『万葉集』の「寄物陳思」の歌を例に挙げ、「景」と「心」の問題について解説します。 事前学修：『万葉集』の「相聞」とはどのような歌か調べておく。 事後学修：心情を述べる「比喩」としての「景」について、その発生からの展開を理解する。
7 回	授業内容：歴史・社会学的方法① 『万葉集』の時代区分の方法を取り上げ、歴史と歌との関係という視点を解説します。 事前学修：「壬申の乱」「平城京」「律令制」とはどのような出来事か調べておく。 事後学修：時代の画期のなかで和歌の展開を捉えた場合の、特質について整理し、理解する。
8 回	授業内容：歴史・社会学的方法② 『万葉集』第二期の歌人から、「柿本人麻呂」を取り上げ、その歌の時代性について解説します。 事前学修：「宮廷歌人」とはどのような存在であったか調べておく。 事後学修：「柿本人麻呂」の「天皇讚美」の手法について理解する。
9 回	授業内容：歴史・社会学的方法③ 『万葉集』第三期の歌人「大伴旅人」「山上憶良」「高橋虫麻呂」の歌を例にして、その時代性と歌の在り方について解説し、「作者論」の視点を説明します。 事前学修：「律令官人」とはどのような存在であったか調べておく。 事後学修：各歌人が「世間」と対峙しながら、そこに何をしようとしたのか整理し、理解する。
10 回	授業内容：歴史・社会学的方法④ 『万葉集』第四期の歌人から「大伴家持」を取り上げ、『万葉集』の終焉とその後の『古今集』への展開を解説します。 事前学修：「氏族社会」「国風暗黒時代」とはどのようなものであったか調べておく。 事後学修：時代の変質と「歌集」の成立の関わりについて整理し、理解する。
11 回	授業内容：民俗学的方法① 『風土記』の伝承を例に挙げ、伝承文学の背後にある精神文化について解説します。 事前学修：「来訪神」とはどのような存在であるか理解しておく。 事後学修：「来訪神」に対する信仰と説話との関わりについて理解する。
12 回	授業内容：国語学的方法① 「上代特殊仮名遣い」について解説し、歌の解釈への応用について説明します。 事前学修：「音韻」「いろは歌」「あめつちの詞」について理解しておく。 事後学修：「上代特殊仮名遣い」の問題点を整理し、歌の表記と解釈の関係を理解する。
13 回	授業内容：文学史的方法① 各作品にみられる「聖徳太子」を例にあげ、表現様式の伝統的継承とはどのようなものか解説します。 事前学修：「聖徳太子」とはどのような人物であるか知っておく。 事後学修：個々の作品が描く特定の人物像が、どのような点で共通しているのかを「作品論」として理解する。
14 回	授業内容：文学史的方法② 各作品にみられる「雄略天皇」「ヤマトタケル」を例に、古代英雄像の特質について説明します。 事前学修：「雄略天皇」「ヤマトタケル」とはどのような人物であるか知っておく。 事後学修：個々の作品が描く特定の人物像が、どのような点で共通しているのかを「作品論」として理解する。
15 回	授業内容：比較文学的方法① 『古事記』『因幡の素ウサギ』の神話を例に挙げ、比較神話学の諸問題を解説します。 事前学修：「大国主神」とはどのような存在か知っておく。 事後学修：世界で共通する要素をもつ神話について、その問題点を整理し、理解する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 筆記試験（100%）

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英文法〕

真野 一雄

- ◆**授業概要** 英文学専攻の学生として必要な英文法知識を全般的により深く修得します。
- ◆**学修到達目標** テキスト本文の解説、補足説明を行います。設問の練習問題も行います。必要に応じて別途、練習問題を行うこともあります。章末の応用問題は時間の関係で割愛します（解答はポータルに掲載します）。
- ◆**授業方法** テキストを読み、練習問題の解答を用意しておいてください。
- ◆**履修条件** 平成 30 年度東京スクーリング（11 月期）「英文法」との積み重ね不可
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 第 1 章 基本文 1.1 基本文型 事前学修 テキスト p.1-p.6 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
2 回	授業内容 第 1 章 基本文型 1.2 「(代) 名詞 + 動詞 + to 不定詞」 事前学修 テキスト p.6-p.9 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
3 回	授業内容 第 1 章 基本文型 1.3 基本文型に入らない構文 事前学修 テキスト p.9-p.11 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
4 回	授業内容 第 2 章 文の構造 2.1 句と節 事前学修 テキスト p.13-p.16 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
5 回	授業内容 第 2 章 文の構造 2.2 構造上の文の種類 2.3 意味による文の種類 事前学修 テキスト p.16-p.23 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
6 回	授業内容 第 2 章 文の構造 2.4 文の意味階層 2.5 音声による文の分類 事前学修 テキスト p.24-p.31 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
7 回	授業内容 第 3 章 動詞 3.1 動詞の分類 3.2 動詞の形態 事前学修 テキスト p.33-p.35 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
8 回	授業内容 第 3 章 動詞 3.3 時制と相 3.4 現実の「時」と動詞の形態 事前学修 テキスト p.35-p.48 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
9 回	授業内容 第 3 章 動詞 3.5 文法形式の観点から 3.6 法 事前学修 テキスト p.48-p.54 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
10 回	授業内容 第 4 章 否定 4.1 否定の基本的な特徴 4.2 否定の種類 事前学修 テキスト p.55-p.59 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
11 回	授業内容 第 4 章 否定 4.3 否定の各種表現：否定の作用域の観点から 事前学修 テキスト p.59-p.65 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
12 回	授業内容 第 4 章 否定 4.4 否定と複文、等位構造 4.5 否定と疑問文、命令文、感嘆文 事前学修 テキスト p.65-p.71 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
13 回	授業内容 第 5 章 助動詞 5.1 助動詞の種類 5.2 助動詞の配列 5.3 法助動詞に諸特徴 事前学修 テキスト p.73-p.79 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修
14 回	授業内容 第 5 章 助動詞 5.4 個々の助動詞の意味と用法 事前学修 テキスト p.79-p.88 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
15 回	授業内容 試験とその解説 事前学修 第 1～5 章の総復習をし、重要事項を正確に理解しておく。 事後学修 第 1～5 章の総まとめをし、英文構造の理解を徹底させる。

- ◆**教科書** 丸沼『大学生のための現代英文法』開拓社 2,376 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**参考書** 丸沼『現代英文法講義』安藤真雄 開拓社 7,128 円 (税込) (送料 500 円)
丸沼『英文法解説』江川泰一郎 金子書房 1,836 円 (税込) (送料 500 円)
丸沼『ジーニアス総合英語』大修館書店 1,620 円 (税込) (送料 350 円)
- ◆**成績評価基準** 全出席を前提に、試験 100% で評価の予定。(試験は途中退場なしです)

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

(英語史)

齊藤 雄介

◆**授業概要** 今日の英語、すなわち現代英語は、古英語、中英語、近代英語における言語変化を経て現在の表現形式に至っており、現代英語の文法だけでは説明がつかないこともあります。例えば、現代英語の knight はその綴りにもかかわらず、なぜ /nait/ (ナイト) と発音するのでしょうか。そこで本科目では、上に挙げた各時代の英語の重要な言語的特徴を学ぶことにより、英語が現在までに辿ってきた基本的な変化を理解することを目標とします。

◆**学修到達目標** 古英語から現代英語に至る英語の歴史的变化を考察することにより、現代英語のみでは説明のつかない文法事項を説明できるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 授業で主にピックアップするのは5章から 14 章ですので、特にその部分に目を通しておいください。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: ガイダンス 授業の方法、テキスト、及び英語史という分野について説明します。 事前学修: テキストの 1 ページから 6 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
2 回	授業内容: 英語の外面史と借入語 英国の外面史と英語にはどのような語が借入されたのかについて学びます。 事前学修: テキストの 9 ページから 15 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
3 回	授業内容: 語彙の歴史、文字、発音 もともと英語にはどのような語彙があり、歴史的にその綴りや発音がどう変化したのかを学習します。 事前学修: テキストの 17 ページから 31 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
4 回	授業内容: 名詞の発達 英語における普通名詞の歴史的な変化について学びます。 事前学修: テキストの 33 ページから 39 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
5 回	授業内容: 人称代名詞の発達 英語における人称代名詞の歴史的な変化について学んでいきます。 事前学修: テキストの 41 ページから 47 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
6 回	授業内容: 指示代名詞と関係代名詞 今回は指示代名詞と関係代名詞の歴史的な変化を学びます。 事前学修: テキストの 49 ページから 55 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
7 回	授業内容: 語形変化の衰退 前回までの授業までで扱ってきた名詞の語形変化が衰退したためどのような変化が起こったのかを学習します。 事前学修: テキストの 57 ページから 63 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
8 回	授業内容: 主節と従属節 今回は節の従属関係の歴史的な変化を学習します。 事前学修: テキストの 65 ページから 70 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
9 回	授業内容: 動詞の発達 動詞の語尾変化を中心に扱い、その語尾の歴史的な発達について学びます。 事前学修: テキストの 71 ページから 76 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
10 回	授業内容: 非人称動詞と過去現在動詞 非人称動詞と過去現在動詞の歴史的な変化について学習します。 事前学修: テキストの 77 ページから 82 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
11 回	授業内容: be と have 及び分詞 主に完了形と受動態に焦点を当て、それらの歴史的な発達について学びます。 事前学修: テキストの 83 ページから 89 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
12 回	授業内容: 不定詞と動名詞 現代英語においては同様に使用されることがある不定詞と動名詞の歴史的な発達について学習します。 事前学修: テキストの 91 ページから 96 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
13 回	授業内容: 否定構文と助動詞 do 否定構文と助動詞 do の歴史的な発達について学びます。 事前学修: テキストの 97 ページから 102 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
14 回	授業内容: 言語の揺れ 今回は現代英語の集合名詞、前置詞の揺れ、形容詞、副詞について学びます。 事前学修: テキストの 103 ページから 109 ページを読んでおくこと。 事後学修: テキスト及びプリントを参考に、授業の内容をノートに整理し、該当箇所の内容を確認し、理解すること
15 回	授業内容: 学習内容のまとめ及び最終試験 事前学修: 4 章から 14 章までの内容を中心に復習しておくこと 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること

◆**教科書** 丸沼『ベーシック英語史』ひつじ書房 1,728 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 英和辞典を毎回持参してください。
適宜プリントを配布します。

◆**成績評価基準** 授業参加度 (10%)、最終試験 (90%) * 毎回出席していることを前提に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英米文学特殊講義 A〕

北原 安治

◆ **授業概要** シェイクスピアの詩型である「弱強 5 歩脚の無韻詩（ブランクヴァース）」の基本を学び、当時のエリザベス女王の時代のカトリックとプロテスタントの闘争の歴史を学び、それが作品にどのような影響を及ぼしているかなどを学ぶ。四大悲劇のあらすじと名せりふを原典から学ぶ。四大悲劇の『ハムレット』『リア王』『マクベス』『オセロ』はどの翻訳本でも良いので読んでおくこと。新訳は角川文庫の河合祥一郎の訳本である。またケネス・ブラナーの 1996 年 2 枚組の DVD 『ハムレット』は完全版なのでおすすめ。ただ時代背景が 19 世紀に設定されている。『シェイクスピア 映画大全集』（DVD10 枚組 BCP-057）が 2 千円くらいで買えるので参考にするばよい。『蜷川幸雄とシェイクスピア』角川書店 2015 もおすすめ。インターネットの YouTube の 100 分で名著、シェイクスピア『ハムレット』河合祥一郎 解説の映像を見ておく。

◆ **学修到達目標** シェイクスピアの作品に親しみ、映像を多用して、時代背景や文化などを総合的に学習して全体的基本理解を得ることができるようになる。

◆ **授業方法** 映像を多用する。蜷川幸雄のシェイクスピア劇もみせる。通信のテキストを使い、シェイクスピアの章（pp.163～199）を解説しながら進めていくが、目安として pp.163～173 まで読めれば良いと思う。尚最後の部分の『アントニーとクレオパトラ』は省略の予定。その代わりに代表作『ハムレット』を併読する。やさしい現代英語に書き直したのではなく原典を読む。『ハムレット』は講義中にプリント配布予定。『ハムレット』は通信のテキストと関係のあるところを読む。講義当日配布の『ハムレット』の原典は英文が難しいので、原典から和訳などの試験は出さない。

◆ 授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 映像教材をみる。韻律の基本理解としてテキスト『英米文学概説 0086 English Literature 英文ラーナー』の 75 ページから 77 ページまで英文を読みながら解説する。 事前学修 『英詩を味わう―韻律美の構造』1997 深井龍雄（著）などを読み、韻律について予習をする。講義該当箇所の文法構造を把握して和訳をやっておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
2 回	授業内容 映像教材をみる。163 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。劇をテキストで読む場合と観客となって目で見るとの違いを考える。 事前学修 テキストに『ハムレット』からの引用があるので、どういう場面なのか、どう訳するのかを、翻訳書を見ながら予習しておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
3 回	授業内容 映像教材をみる。164 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。ハムレットと親友ホレーシオの出会いのシーンの解説をする。 事前学修 講義該当箇所の英文の S.V.O などの構造分析と和訳。『ハムレット』の該当箇所をまよもって見ておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
4 回	授業内容 映像教材をみる。165 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。劇作家が物語を提示する方法について考える。 事前学修 講義該当箇所の英文の S.V.O などの構造分析と和訳。『マクベス』の該当箇所をまよもって読んでおく。悲劇に喜劇が入り交ることについてテキストの注を見ながら考えておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
5 回	授業内容 映像教材をみる。166 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。劇作家が物語を提示する方法について考える。 事前学修 講義該当箇所の英文の S.V.O などの構造分析と和訳。劇を分析する際の要素の分け方について考えておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
6 回	授業内容 映像教材をみる。167 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。劇作家が物語と筋を構成するやり方について考える。 事前学修 講義該当箇所の英文の S.V.O などの構造分析と和訳。『テンペスト』のあらすじと登場人物の関係を調べておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
7 回	授業内容 映像教材をみる。168 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。劇の構造と全体的雰囲気構成について考える。 事前学修 講義該当箇所の英文の S.V.O などの構造分析と和訳。『ハムレット』の該当箇所を調べておく。シェイクスピアのあらすじの提示の仕方について考えておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
8 回	授業内容 映像教材をみる。169 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。劇の言葉の使い方について考える。散文と韻文の違いについて考える。 事前学修 講義該当箇所の英文の S.V.O などの構造分析と和訳。『オセロ』の悪役イアゴの人物造形について考えておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
9 回	授業内容 映像教材をみる。170 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。劇の言葉の使い方について考える。中世の道徳劇とシェイクスピアの劇の違いについて考える。 事前学修 講義該当箇所の英文の S.V.O などの構造分析と和訳。中世の道徳劇はだれが主催して何が目的でどんな登場人物が出てくるか考えておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
10 回	授業内容 映像教材をみる。171 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。劇の筋や構成について学ぶ。 事前学修 講義該当箇所の英文の S.V.O などの構造分析と和訳。ソフォクレスの『オイディプス王』とエリオットの『寺院の殺人』のあらすじを理解しておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
11 回	授業内容 映像教材をみる。172 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。劇の筋や構成について学ぶ。エリオットの『寺院の殺人』の構成について学ぶ。 事前学修 講義該当箇所の英文の S.V.O などの構造分析と和訳。エリオットの『寺院の殺人』のあらすじを理解しておく。登場人物の関係を理解しておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
12 回	授業内容 映像教材をみる。173 ページの英文を読み解説して正しい訳を学ぶ。劇の筋や構成について学ぶ。『マクベス』と『オセロ』の構成について学ぶ。 事前学修 講義該当箇所の英文の S.V.O などの構造分析と和訳。『オセロ』の英文の訳ができるようにしておく。登場人物の関係を理解しておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
13 回	授業内容 『ハムレット』の映画を見る。蜷川幸雄の日本版になる場合もある。『ハムレット』の原典を精読して、リズムや語の使い方を学ぶ。復讐の遅延について考える。 事前学修 講義初日配布のハンドアウト（プリント）の講義該当箇所の英文の文法構造と和訳。『ハムレット』のあらすじを理解しておく。 事後学修 講義該当箇所の事前の予習と講義の正しい訳を見比べて、復習する。
14 回	授業内容 『ハムレット』の映画を見る。蜷川幸雄の日本版になる場合もある。『ハムレット』の原典を精読して、リズムや語の使い方を学ぶ。カトリックとプロテスタントの関係について考える。 事前学修 講義初日配布のハンドアウト（プリント）の講義該当箇所の英文の文法構造と和訳。『ハムレット』のあらすじを理解しておく。登場人物の関係を理解しておく。 事後学修 講義でやった全体の復習。試験の準備。
15 回	授業内容 試験。ノートや辞書などの持ち込みなし。テキストの指定ページ和訳（範囲すべてでは長いので、講義でやったところを短く限定する。どのページを出すかは事前に教える）と小論文を出す。 事前学修 テキストの和訳の試験範囲を訳せるようにしておく。文法に基づく直訳でよい。あらかじめまとめている小論文の構成を理解しておく。 事後学修 講義でやった全体の復習。講義で興味を持った劇を DVD で見る。

◆ **教科書** 教材 『英米文学概説 / 英語文学概説 N20300/N20400 English Literature 英文ラーナー』
通信教育教材（教材コード 000041）3,150 円（送料込）

〈この教材は市販の『ENGLISH LITERATURE』 Laurence D. Lerner 著（英宝社）と同一です。〉

◆ **参考書** 『英文学をどう読むか』 L.D. ラーナー 著 深瀬基寛 翻訳 英宝社 1969 年 絶版（講義では使いません）
『シェイクスピア『ハムレット』』 河合祥一郎 著 NHK テレビテキスト 100 分 de 名著 YouTube に映像があります。（講義では使いません）
『謎解き『ハムレット』：名作のあかし』 河合祥一郎 著 ちくま学芸文庫（講義では使いません）

◆ **成績評価基準** 授業への取り組みや小テストなどの総合評価。皆出席すること。試験は限定箇所の英文和訳と小論文。小論文は『ハムレット』について各自でテーマを見つけて論じる。1,000 字以上書く。ひとつのテーマ（たとえば「復讐の遅延」）で 1,000 字以上書いてもよいし、複数のテーマ（たとえば「復讐の遅延」500 字「ハムレット」のオイディプス・コンプレックス 500 字）で書いてもよい。100 分試験。『ハムレット』の主要登場人物名は日本語で問題文のあとにヒントとして印刷しておく。試験のときに辞書やノートの持ち込みはできません。予習テストや予習ノート調べをする場合がある。pp.163～173 の英文を手書きでノートに写し、訳をつけるのが予習と最初が、なかなか時間がとれない学生もいるので、予習ノート検査は最低限の予習として、pp.163～166 つまり最初から 4 ページ分は必ず、英文をノートに手書きで写し訳をつけてくる。もちろんそれ以上予習してきててもよい。翻訳本参照。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英米事情Ⅱ〕

鈴木 ふさ子

- ◆ **授業概要** イギリス文学や英語そのものを学ぶ際に、イギリスという国の事情を知ることでより深い理解が生まれる。英米事情Ⅱでは、指定テキスト(イギリス人が書いたエッセイ集 *Realise Britain*)を読み、各Unitに出てくるトピックを手掛かりにイギリスに関する地理的、社会的、文化的知識を身につけ、さらに関連事項の解説をする。エッセイの内容や関連事項を踏まえてクラスメイトと議論することでイギリスと日本の比較、イギリスの独自性について考察し、イギリスの全体像を把握していく。
- ◆ **学習到達目標** 英語圏の文学や語学を学ぶために必要なイギリスに関する知識を修得することを目標とします。そのために、イギリスの歴史、地理、社会、文化について英文で理解する英語力を身につけ、クラスの人たちと意見交換をし、まとめる力をつけ、ご自身でイギリスという国の基本事項を説明できるように細部だけでなく、全体像を自分で説明できる力をつけることを目的とする。
- ◆ **授業方法** 指名された学生にテキストの各UnitのExerciseに答えてもらい、トピックに関する英文を訳してもらおう。Exerciseや訳についての解説と地理やトピックに関する説明を加えながらUnitの内容を把握していく。グループに訳を発表してもらおう。あるいは大意を説明してもらおうこともある。各日ともにグループでその日に進んだ内容をまとめ、質問に対する答えを考えて提出する。授業時には適宜プリントや映像、音声なども用いて視覚的、聴覚的な面からもイギリスについて解説する。
 ※ Unit 12, 14, 15 は今回扱わない。
 ※ クラスサイズによっては授業方法が変更になる場合もあるのでご了承ください。
- ◆ **履修条件** 2018年度東京スクーリング(11月期)の同担当者による同科目を履修した者は不可とする。
- ◆ **授業計画 (各90分)**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	【ガイダンスとイントロダクション】 授業の進め方、成績評価について確認し、グループ分けする。イギリスの地理、基本事項について解説をする。 イギリスとはどのような国なのかの基本事項を調べておく。 授業時に作ったノートや使用したプリントを復習し、イギリスに関する知識を身につける。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 1・【地理】 (1) England ① 指名した学生に Unit 1 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、イギリス人の性格的な特徴について議論し、グループで質問に答える。質問に関する解説を行う。England の特徴を解説する。 Unit 1 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 1 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者の考えるイギリス人の性格について考察し、他の意見なども探してみる。England について復習する。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 2・【地理】 (2) England ②・【トピック】 ロンドンを象徴するもの 指名した学生に Unit 2 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、ロンドンの特徴について議論し、グループで質問に答える。質問に関する解説を行う。England の特徴、ロンドンを象徴するものについて解説する。 Unit 2 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 2 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者の考えるロンドンの象徴について考察し、他の意見なども探してみる。England について復習する。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 3・【地理】 (3) Scotland ①・【トピック】 映画 007 指名した学生に Unit 3 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、イギリス映画 007、イギリス人にとってのヒーローについて議論し、グループで質問に答える。質問に関する解説を行う。Scotland の特徴、映画 007 について解説する。 Unit 3 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 3 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、イギリスの真のヒーローは誰かを考察し、他の意見なども探してみる。Scotland について復習する。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 4・【地理】 (4) Scotland ②・【トピック】 イギリスの店 指名した学生に Unit 4 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、イギリスの町並みの変化について議論し、グループで質問に答える。質問に関する解説を行う。Scotland の特徴、イギリスの店について解説する。 Unit 4 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 4 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、イギリスの変化について考察し、他の意見なども探してみる。Scotland について復習する。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 5・【地理】 (5) Wales ①・【トピック】 イギリスの天気 指名した学生に Unit 5 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、イギリスの天気について議論し、グループで質問に答える。質問に関する解説を行う。Wales の特徴を解説する。イギリスの天気について解説する。 Unit 5 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 5 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者の考えるイギリスの天気について考察し、他の意見なども探してみる。Wales について復習する。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 6・【地理】 (6) Wales ②・【トピック】 イギリスのこトワズ 指名した学生に Unit 6 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、イギリスのイデオロギについて議論し、グループで質問に答える。質問に関する解説を行う。Wales の特徴を解説する。イギリスのこトワズについて解説する。 Unit 6 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 6 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者の考えるイギリスのイデオロギについて考察し、他の意見なども探してみる。Wales について復習する。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 7・【地理】 (7) Northern Ireland ①・【トピック】 英王室・サッチャー首相の時代 指名した学生に Unit 7 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、エリザベス女王について議論し、グループで質問に答える。質問に関する解説を行う。Wales の特徴を解説する。英王室、サッチャー首相の時代について解説する。 Unit 7 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 7 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者のエリザベス女王についての意見について考察し、他の意見なども探してみる。Northern Ireland について復習する。サッチャー政権の時代のイギリスについて復習する。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 7 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者のエリザベス女王についての意見について考察し、他の意見なども探してみる。Northern Ireland について復習する。 Unit 8 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 8 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者の Shakespeare についての意見を考察し、他の意見なども探してみる。Shakespeare の代表作に関するプリントを復習する。Northern Ireland について復習する。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 9・【トピック】 イギリスの料理 指名した学生に Unit 9 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、イギリスの料理について議論し、グループで質問に答える。質問に関する解説を行う。イギリスの料理について解説する。 Unit 9 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 9 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者のイギリスの料理についての意見を考察し、他の意見なども探してみる。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 10・【トピック】 連合王国イギリス 指名した学生に Unit 10 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、連合王国イギリスの問題についてグループで議論し、質問に答える。質問に関する解説を行う。イギリスの成立の過程について解説する。 Unit 10 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 10 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者の考える連合王国イギリスの問題について考察し、現在のイギリスの抱える問題も探し、考察する。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 11・【トピック】 ザ・ビートルズ 指名した学生に Unit 11 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、連合王国イギリスの問題についてグループで議論し、質問に答える。質問に関する解説を行う。Northern Ireland の特徴を解説する。ビートルズの歌の聞き取りなど。 Unit 11 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 11 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者のビートルズについての意見を考察し、他の意見なども探してみる。授業で扱ったビートルズの楽曲や知識について復習する。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	【テキスト】 Unit 113・【トピック】 イギリスのスポーツ 指名した学生に Unit 10 の Exercise に答え、内容を訳してもらい、連合王国イギリスの問題についてグループで議論し、質問に答える。質問に関する解説を行う。イギリスのスポーツについて解説する。 Unit 13 を指名された時にきばきと答えられる形で訳して文章にしておく。逐語訳だけでなく、筆者が全体として何を言おうとしているのか答えられるように内容を把握しておく。Unit の最後に付された Exercise を解く。 Unit 13 でうまく訳せなかったところや Exercise を復習し、筆者の考えるイギリスのスポーツについて考察し、他の意見なども探してみる。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	全体の総まとめを行い、イギリスという国についてクラスで意見交換を行う。 これまで学んできたことを総復習し、参考文献等を読み、自分なりのイギリス像を言えるようにしておく。 授業で出したノートを復習し、クラスで出たいろいろな意見を総合してイギリスという国について自分の考えをまとめる。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	試験を実施し、その後解説を行う。 11月期スクーリングで学んだことを復習し、イギリスに関する基本的な知識を整理する。グループやクラスで議論したことを総合して様々なトピックに関して自分の考えをまとめる。 試験でできなかったところを見直してイギリスについての知識を再確認する。

- ◆ **教科書** 〔五洲〕『Realise Britain イギリス不思議再発見』 金星堂 1,944円 (税込) (送料 300円)
- ◆ **参考書** 〔五洲〕『イギリス文化 55 のキーワード』 ミネルヴァ書房 2,592円 (税込) (送料 300円)
- ◆ **成績評価基準** 無遅刻・無欠席を前提に、授業への参加・積極性・グループでのアクティビティ (30%)、試験 (70%)

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学基礎講読〕

石井 友人

- ◆**授業概要** デカルト『情念論』を読んでいきます。デカルトは身心二元論が有名ですが、『情念論』では、身心合一が主題となり、精神と身体が浸透し、交錯することで生じる感情や欲求の多様な在り様が描き出されます。身体から影響される魂の受動として情念は分析されますが、では、魂には能動としての情念はあるのでしょうか？ 理性の哲学者であるデカルトが、理性と感情、精神と身体という両極の間で揺れ動くものとしての人間をどのように分析したのか考えていきます。また、私たち自身の感情の在り方についても考えていければと思います。
- ◆**学修到達目標** 『情念論』と幾つかのテキストを読む事を通して、西洋哲学の基本用語と問題意識を学び、哲学書を独力で読んでいくのに必要な力を身につけていく事を目的とします。また、併せて、近代黎明期の感情論を通して、西欧的な人間観の一端に触れられればと思います。
- ◆**授業方法** 教科書と配布プリントにより講義形式で行いますが、質疑応答を取り入れ、受講者からの積極的な参加を期待します。細部より、内容把握を優先して、大づかみに読んでいきたいと思えます。授業の一部は、教科書を離れて、哲学的な背景を説明する事にさく予定です。尚、授業計画は網羅的に記載されていますが、実際の講読では、ここからいくつかのトピックを選択することになると思われま（講読の進度によっては授業計画を変更することもある）。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	身心二元論について、身心合一について、『デカルト＝エリザベト往復書簡』を読む。
	事前学修	デカルト哲学の基本的な枠組みについて調べておくこと。また、講義では『情念論』全体に目を通すことはできないので、講義が始まる前に通読しておくことが望ましい。
	事後学修	身心の区別、また合一について、まとめておくこと。
2 回	授業内容	『情念論』の原題 <i>Les Passions de l'âme</i> は「魂の受動」の意味だが、まず精神と身体相互の影響関係が論じられる。動物精気など、身体の生理学的な説明を読んでいく。
	事前学修	『情念論』第 1 部第 1 節から 16 節まで読んでおくこと。
	事後学修	あらためて身体にしか属さないものと精神にしか属さないものについてまとめておくこと。
3 回	授業内容	精神の二つの機能。意志（能動）と知覚（受動）。精神において情念（passion）と呼ばれる受動について。
	事前学修	第 17 節から 29 節まで読んでおくこと。感覚も情念も同じ精神の受動であるが、どのように異なるのか、考えておくこと。
	事後学修	精神における能動と受動の区別、また感覚と情念との違いについて確認しておくこと。
4 回	授業内容	身心合一の解剖学的な説明。精神の身体に対する支配力。精神の情念に対する支配力。
	事前学修	第 30 節から 45 節まで読んでおくこと。解剖学的な説明については有名な部分ではあるが、詳しくは立ち入らない。各人で確認しておくこと。
	事後学修	身体と精神とが、それぞれ、どのように互いに対して働きかけるのか、確認しておくこと。
5 回	授業内容	理性と情念との関係。何が情念への支配を可能にするのか。
	事前学修	第 46 節から 50 節まで読んでおくこと。理性とは何か、確認しておくこと。
	事後学修	理性とは何か、その情念への関係はどのようなものが、確認しておくこと。
6 回	授業内容	基本情念の説明に入る。いくつの基本情念があるのか？「驚き」について。
	事前学修	『情念論』第 2 部第 51 節から 78 節まで読んでおくこと。
	事後学修	基本情念の分類についてまとめておくこと。「驚き」は、後の「高邁」とも関係する重要な情念である。後の講義のためにもよく理解し、説明できるようにしておくこと。
7 回	授業内容	前回の続き。また、残りの基本情念について（1）それらの特徴について。
	事前学修	第 79 節から 95 節まで読んでおくこと。第 95 節から 111 節までは授業では直接は扱わない。
	事後学修	「驚き」と他の基本情念との違いについて確認しておくこと。
8 回	授業内容	前回の続き。また、残りの基本情念について（2）表情、顔色、涙、笑いなど、情念の身体における表れについて。
	事前学修	第 112 節から 136 節まで読んでおくこと。
	事後学修	日常的な例を考えてみる。
9 回	授業内容	残りの基本情念について（3）それらの効用について。
	事前学修	第 137 節から 141 節まで読んでおくこと。
	事後学修	生存に関わる以外の効用についてもまとめておくこと。
10 回	授業内容	残りの基本情念について（4）効用の続き、「欲望」の統御の重要性。
	事前学修	第 142 節から 148 節まで読んでおくこと。
	事後学修	次回以降の「高邁」とも関わるため、情念の統御の問題について、よく考えておいてほしい。
11 回	授業内容	特殊情念について「高邁」の情念について（1）「高邁」と徳、「高邁」の分析は本書の最も重要な部分である。能動的な情念はあり得るだろうか？
	事前学修	『情念論』第 3 部第 149 節から 162 節まで読んでおくこと。
	事後学修	高邁とは何か、自分なりに考えてみる。
12 回	授業内容	「高邁」の情念について（2）また、それ以外の幾つかの特殊情念を取り上げて考察する。
	事前学修	『情念論』第 3 部第 163 節以降を読んでおくこと。どの情念を取り上げたいか、考えておいて下さい。
	事後学修	高邁について整理しておくこと。また、能動的な情念が可能か考えておくこと。
13 回	授業内容	前回に続いて、いくつかの特殊情念を取り上げて考察する。人は情念に対し何が出来るのか。
	事前学修	『情念論』第 3 部の前回で決定した部分と、211 以降の部分を読んでおくこと。
	事後学修	『情念論』における、魂の受動性と能動性について考えてみる。
14 回	授業内容	まとめ 身心問題から始めて
	事前学修	講義で分からなかった部分を洗い出しておくこと。
	事後学修	教科書、配布資料等、授業内容を確認しておくこと。
15 回	授業内容	試験（授業へ変更することもある）
	事前学修	試験範囲はあらかじめ告知する。教科書の範囲を資料と合わせて熟読し、あらかじめノートに要点を整理しておくことが望ましい。
	事後学修	あらためて、『情念論』を通読してみてください。あるいは、スピノザの『エチカ』など、他の哲学者による感情の分析にも触れてみて下さい。

- ◆**教科書** 丸沼『情念論』 デカルト 谷川多佳子訳 岩波文庫 907 円（税込）（送料 215 円）
- ◆**参考書** 講義の中で紹介します。
- ◆**成績評価基準** 全出席を前提に、試験（80%）と授業への参加度（20%）により総合的に評価する、尚、試験はレポートへの変更の場合もある。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史特講Ⅰ〕

八馬 朱代

- ◆**授業概要** 日本の天皇制を考える上で、その先例として取り上げられる奈良時代の天皇や皇位継承、女帝などについて史料を通して、この時代の皇位継承がどのようにおこなわれたのかについて学ぶ。奈良時代の皇位継承問題、女帝の即位、大仏造立、宇佐八幡神託事件、平安時代の薬子の変などを取り上げ、古代の天皇の皇位継承について考察し、奈良時代の天皇、政治と神祇信仰との関わりについて説明していきます。
- ◆**学修到達目標** 奈良時代の天皇の皇位継承問題と神祇信仰との関わりについて解説します。特に奈良時代の政治と深く関わりのある宇佐八幡宮を取り上げ、奈良時代の皇位継承や宇佐八幡神託事件などについて説明します。奈良時代の政治と宗教との関わりを理解し、律令国家における神祇の果たした役割について説明できることを目標とします。
- ◆**授業方法** 配布したプリントを使用して講義を行います。適宜、授業で史料を読むので、史料の読み方を学んでもらいたい。また、授業で参考文献や史料を紹介するので、各自、図書館で手にとってみるように心がけてください。
- ◆**履修条件** 2016年度昼間スクーリング（前期）「日本史特講Ⅰ」との積み重ねは不可。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: オリエンテーション・古代の神祇信仰とは何か。八幡神とは何か。最初に授業の進め方を説明する。次に古代の神祇信仰と八幡神について説明する。 事前学修: 近所の神社や興味のある神社について調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、配布したプリントを読み、授業内容を確認しておくこと。
2 回	授業内容: 宇佐地方の特色 宇佐八幡宮のある宇佐地域の特色を説明する。 事前学修: プリントの該当部分を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認し、ノートを整理しておくこと。
3 回	授業内容: 隼人の乱と藤原広嗣の乱 八幡神に関係の深い内乱を取り上げ、史料を使用して説明する。 事前学修: プリントの該当部分と『概説書』の奈良時代の部分を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業内容とプリントを確認し、ノートをまとめておくこと。
4 回	授業内容: 奈良時代前期の対外関係について 奈良時代以前と奈良時代の対外関係について説明する。 事前学修: プリントの該当部分を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業内容と史料を確認し、ノートをまとめておくこと。
5 回	授業内容: 八幡神と対外関係について 新羅と八幡神との関係について、史料を使用して説明する。 事前学修: プリントの該当部分と史料を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認して、授業で扱った史料を読んでおくこと。
6 回	授業内容: 女帝について 奈良時代の女帝の即位や不改常典などについて説明する。 事前学修: プリントの該当部分を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業で読んだ史料と授業内容を確認しておくこと。
7 回	授業内容: 聖武天皇の即位について 持統天皇から聖武天皇までの皇位継承について、史料を用いて説明する。 事前学修: 配布プリントを事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容と史料を確認し、ノートをまとめておくこと。
8 回	授業内容: 大仏造立と八幡神について 聖武天皇の仏教政策と大仏造立と八幡神との関係について説明する。 事前学修: プリントの該当部分と史料を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を確認し、授業で扱った史料を読んでおくこと。
9 回	授業内容: 聖武天皇以後の皇位継承問題 孝謙天皇の即位後の皇位継承問題について、史料を使用して説明していく。 事前学修: プリントの該当部分を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業内容とプリントを確認し、ノートをまとめておくこと。
10 回	授業内容: 淳仁天皇と孝謙太上天皇との関係 淳仁天皇と孝謙太上天皇、光明子との関係について説明する。 事前学修: 配布プリントと史料を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業内容と授業で扱った史料を確認し、ノートを整理しておくこと。
11 回	授業内容: 称徳天皇の皇位継承問題について 称徳天皇の皇位継承問題と道鏡について、史料を通して解説していく。 事前学修: プリントの該当部分を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業で読んだ史料と授業内容を確認しておくこと。
12 回	授業内容: 宇佐八幡神託事件について 宇佐八幡神託事件の経緯と称徳天皇後の皇位継承について、史料を使用して説明する。 事前学修: プリントの該当部分と八幡神託事件の史料を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業内容と史料を確認し、ノートをまとめておくこと。
13 回	授業内容: 薬子の変について 薬子の変の経緯とその後の天皇制への影響について説明していく。 事前学修: 配布プリントと『概説書』などの桓武天皇から嵯峨天皇の時代を事前に読んでおくこと。 事後学修: 授業内容と授業で扱った史料を確認し、ノートにまとめておくこと。
14 回	授業内容: 理解度の確認 事前学修: 授業で配布したプリントをよく読み、重要な部分についてノートをまとめておくこと。 事後学修: 授業で指摘されたことをプリントやノートで確認し、ノートを整理しておくこと。
15 回	授業内容: 試験と解説 事前学修: 前回の授業内で指摘したことについて、配布プリントとノートで確認しておくこと。 事後学修: 授業内容を確認して、試験の内容についてプリントやノートで再確認しておくこと。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日、プリントを配布します。
- ◆**参考書** 授業中に適宜紹介します。
- ◆**成績評価基準** 最終試験 70%、平常点・小テスト 30% ※毎回出席することを前提として、総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史演習 I・II〕

堀川 徹

- ◆**授業概要** 卒業論文を執筆するにあたり、取り上げるテーマについて過去どのような研究・議論がなされてきたか、先行研究をまとめることは、卒業論文で取り組む課題を明らかにする上で重要な意義をもつ。そこで本授業では日本史に関する学術論文を読み、論文読解能力を養うとともに、受講生全員で議論することで日本史の各テーマの理解を深める。また、先行研究をまとめ、自らの行いたい研究の現在地を理解・確認し、自分なりの課題・アプローチ方法を見出す。本授業では、「課題を解くこと」ではなく、「課題を見つけること」を目的とする。なお、日本古代史分野で卒論を執筆する予定のものが受講することが望ましいが、それ以外の学生も歓迎する。授業計画は受講者数によって若干の変更がある可能性もある。なお、本授業は報告と討議からなるので、積極的な参加を求める。
- ◆**学修到達目標** 論文を正しく読み解き理解し、課題を見つけることができる。日本古代史の最新の研究状況を理解することができる。報告に対して積極的に自らの意見を述べることができる。各人の報告に対して課題を見つけ出し、指摘することができる。
- ◆**授業方法** 初回授業のみ講義形式で行う。2回目以降は各人の報告をもとにした演習形式で行う。受講者はこのスクーリングでは 1 人あたり 2 回の報告を予定している。
 - 1 回目（1、2 日目を予定）の報告では、自らが卒業論文で執筆しようとしているテーマについて、これまでどのような研究・議論がなされてきたかを紹介してもらおう。ここでは複数の学術論文等を読み、過去の議論の内容（どのような人が学術論文においてどのような主張をしているか、そしてそれに対してどのような批判があるか等）をまとめ、そのうえで現在どのような課題があるか、自分で見つけた課題（今後そのテーマを深めるためにどのような課題を解決する必要があるか）を報告してもらおう。ここではマクロな視点になって、研究の現在地を確認することと課題を見つけることを目的とする。
 - 2 回目（3、4 日目を予定）の報告では、2001 年以降に発表された学術論文 1 編を、自らの興味・関心に沿って選択し（できるだけ新しいものが望ましい）、その論文の内容を各章・節ごとに筆者がどのような主張をしているか、その根拠とともに詳細に紹介してもらおう。そのうえでその論文の主張に対する批判や自分が見つけた課題を報告してもらおう。ここでは学術論文を読み解くとともに、ミクロな視点から個別の課題を見つけることを目的とする。
 - いずれの報告も「課題を解くこと」が目的ではなく、「課題を見つけること」が目的である。
 - また、いずれの報告も報告者自身がレジュメ（A 3 用紙 2～3 枚程度＝A 4 用紙 4～6 枚程度）を作成し、受講生に配布したうえで報告を行う。報告時間は 1 人 30 分から 40 分を予定している。詳細は事前に送付する資料を確認のこと。
 - ※なお、本授業の履修を希望する学生は、履修が確定した後に上記課題にとりかかるのでは遅すぎるため、シラバスが公開されてからできるだけ早く、履修の確定を待たずに上記課題にとりかかる（先行研究をまとめる、または論文を読み要約を作成しておく等）ことが望ましい。論文を読んで他者に紹介するためには、自分がしっかりと理解しておく必要があり、そのための時間はかなりかかる。
 - ※1 回目の報告で扱う先行研究は、学術書や学術雑誌に掲載された学術論文を対象とし、一般向けの書籍は対象としないこと。学術書は古代史分野では吉川弘文館、塙書房、同成社、岩波書店、八木書店、雄山閣、思文閣、岩田書院、高志書院等から発行されたハードカバーの書籍が代表的なので、学術雑誌やそれらに掲載された論文を読むことが望ましい。なお、学術書は高価なものなので、文理学部図書館等で借りて読むことを勧める。学術雑誌については次を参照のこと。
 - ※2 回目の報告で使用する学術論文は、学術雑誌の『史学雑誌』『歴史学研究』『日本史研究』『ヒストリア』『日本歴史』のいずれかに掲載されており、かつ「特集」、「論文」、「研究」、「研究ノート」のいずれかのジャンルに掲載されているものに限る。そのほかのジャンルは対象としないこと。上記学術雑誌以外に掲載論文を扱う場合は事前に担当教員まで相談のこと。自らが興味・関心のあるテーマの論文を探す際には、『史学雑誌』が毎年 5 月号で特集する「回顧と展望」が有益である。これらは自ら大学の図書館等で探して読むこと。ただし 1 回目の報告で使用する学術論文はこの限りではない。他の学術雑誌等に掲載された論文も可とする。レジュメは任意の形式で作成してもらおうが、基本的な作成方法については事前に送付する資料でも紹介する。作成方法がわからない場合は、自ら十分に要約を作成するなどして各論者の主張とその根拠をまとめておくこと。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 日本古代史の研究手法—論文の読み方（講義） 事前学修 自らが興味のあるテーマについて、論文を読んでみる。 事後学修 講義内容をふまえて、もう一度同じ論文を読んでみる。
2 回	授業内容 3 年次の学生 A・B による報告。先行研究をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 複数の学術論文を読み、先行研究をまとめる。その際に現在の到達点と課題を明らかにする。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度先行研究をまとめなおしてみる。
3 回	授業内容 3 年次の学生 C・D による報告。先行研究をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 複数の学術論文を読み、先行研究をまとめる。その際に現在の到達点と課題を明らかにする。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度先行研究をまとめなおしてみる。
4 回	授業内容 3 年次の学生 E・F による報告。先行研究をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 複数の学術論文を読み、先行研究をまとめる。その際に現在の到達点と課題を明らかにする。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度先行研究をまとめなおしてみる。
5 回	授業内容 3 年次の学生 G・4 年次の学生 a による報告。先行研究をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 複数の学術論文を読み、先行研究をまとめる。その際に現在の到達点と課題を明らかにする。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度先行研究をまとめなおしてみる。
6 回	授業内容 4 年次の学生 b・c による報告。先行研究をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 複数の学術論文を読み、先行研究をまとめる。その際に現在の到達点と課題を明らかにする。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度先行研究をまとめなおしてみる。
7 回	授業内容 4 年次の学生 d・e による報告。先行研究をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 複数の学術論文を読み、先行研究をまとめる。その際に現在の到達点と課題を明らかにする。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度先行研究をまとめなおしてみる。
8 回	授業内容 4 年次の学生 f・g による報告。先行研究をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 複数の学術論文を読み、先行研究をまとめる。その際に現在の到達点と課題を明らかにする。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度先行研究をまとめなおしてみる。
9 回	授業内容 3 年次の学生 A・B による報告。選択した論文をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 選択したものだけでなく、それに関連する複数の学術論文を読みその内容を理解する。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度その論文を読みなおしてみる。
10 回	授業内容 3 年次の学生 C・D による報告。選択した論文をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 選択したものだけでなく、それに関連する複数の学術論文を読みその内容を理解する。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度その論文を読みなおしてみる。
11 回	授業内容 3 年次の学生 E・F による報告。選択した論文をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 選択したものだけでなく、それに関連する複数の学術論文を読みその内容を理解する。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度その論文を読みなおしてみる。
12 回	授業内容 3 年次の学生 G・4 年次の学生 a による報告。選択した論文をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 選択したものだけでなく、それに関連する複数の学術論文を読みその内容を理解する。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度その論文を読みなおしてみる。
13 回	授業内容 4 年次の学生 b・c による報告。選択した論文をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 選択したものだけでなく、それに関連する複数の学術論文を読みその内容を理解する。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度その論文を読みなおしてみる。
14 回	授業内容 4 年次の学生 d・e による報告。選択した論文をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 選択したものだけでなく、それに関連する複数の学術論文を読みその内容を理解する。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度その論文を読みなおしてみる。
15 回	授業内容 4 年次の学生 f・g による報告。選択した論文をまとめたものを報告する（演習） 事前学修 選択したものだけでなく、それに関連する複数の学術論文を読みその内容を理解する。 事後学修 討議の内容をふまえて、もう一度その論文を読みなおしてみる。

◆**教科書** 事前資料送付 初回は講義形式で行うが、事前に送付した資料を持参のこと。

〔当日資料配布〕 2 回目以降は各人の報告レジュメ。

◆**参考書** 使用しない

◆**成績評価基準** 報告内容（80%） 質疑応答の内容（20%）

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経済開発論〕

田宮 憲

◆**授業概要** この授業では、発展途上国の開発問題について、主に経済学的アプローチを用いながら解説します。具体的には以下のトピックスについて学修します。(1) 開発とは何か、(2) 戦後の開発問題の歴史の変遷、(3) さまざまな開発理論、(4) 開発戦略としての貿易、対内直接投資問題。上記トピックスについて、教科書に従って、解説します。

◆**学修到達目標** 経済開発に関する歴史・理論・政策の基本を整理し、戦後の開発理論・開発戦略の変遷を理解することを学修目標とします。具体的には、本講義の受講によって、受講生は、(1)「開発」という概念の整理、(2) 開発問題の歴史的展開、(3) 開発理論の変遷、(4) 実際の開発戦略の諸形態を理解し、説明できるようになります。

◆**授業方法** 授業計画に記された各回の内容について、講義中心に授業を構成します。各時間の最後に受講生自ら、リフレクション・ノート（授業の振り返りノート）をまとめ、各回の学修の定着を図ります。そのまとめが記述式テストの準備になるように配慮します。ただし、受講人数により、授業構成、授業方法を変更することがありますので、ご了承ください。

◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容：ガイダンスおよび開発経済の全体像の解説 事前学修： 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
2回	授業内容：「開発」とは何か。その一般的な定義、概念について解説します。 事前学修：指定教科書のpp.1～10を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
3回	授業内容：発展途上国の特徴について。発展途上国の定義、共通点、相違点について解説します。 事前学修：指定教科書のpp.11～20を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
4回	授業内容：開発問題の歴史的展開（1）。植民地支配から戦争直後の開発問題について解説します。 事前学修：指定教科書のpp.21～30を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
5回	授業内容：開発問題の歴史的展開（2）。第三世界の連帯、国連の関わり等について解説します。 事前学修：指定教科書のpp.30～37を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
6回	授業内容：開発問題の歴史的展開（3）。プレビッシュ報告、新国際経済秩序について解説します。 事前学修：指定教科書のpp.37～47を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
7回	授業内容：開発問題の歴史的展開（4）。後開発途上国、新興工業国について解説します。 事前学修：指定教科書のpp.48～60を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
8回	授業内容：経済発展段階説、ハロッド＝ドーマー型成長理論等の初期の開発理論について解説します。 事前学修：指定教科書のpp.61～65を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
9回	授業内容：二重経済発展理論、従属理論等の構造論的理論モデルについて解説します。 事前学修：指定教科書のpp.65～69を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
10回	授業内容：発展途上国経済における新自由主義的アプローチの有益性と限界について解説します。 事前学修：指定教科書のpp.69～73を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
11回	授業内容：ソーシャル・キャピタルと経済発展の関係について解説します。 事前学修：指定教科書のpp.80～84を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
12回	授業内容：発展途上国と国際貿易との関わり、経済発展と国際貿易の関係について解説します。 事前学修：指定教科書のpp.123～130を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
13回	授業内容：輸出促進戦略、輸入代替戦略等の貿易戦略を解説します。 事前学修：指定教科書のpp.130～136を読んでください。 事後学修：授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
14回	授業内容：授業の総まとめ 事前学修：前回までの授業内容を指定教科書、リフレクション・ノートをもとに復習してください。 事後学修：記述式テストの準備
15回	授業内容：記述式テスト 事前学修： 事後学修：

◆**教科書** 教材『経済開発論 R31400』通信教育教材（教材コード000577）3,050円（送料込）
 〈この教材は市販の『経済開発のエッセンス』辻忠博（創成社）と同一です。〉

◆**参考書** 特に指定しません。

◆**成績評価基準** (1) 授業への主体的参加（各授業におけるリフレクション・ノート等の提出） 30%
 (2) 論述式テスト（経済開発における諸問題に関するテスト） 70%
 成績評価規準・基準を記したルーブリックを配布します。また毎回出席することを単位取得の前提とします。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔人文地理学概論〕

小倉 眞

- ◆**授業概要** 地理学は自然環境と社会との関係について分析・整理する学問であることを念頭に置き、環境条件としての気候、地域社会の自然的特徴、人口の偏在性と食料の関係、工業発展と地域条件、日本の工業立地の特徴、都市化と都市の構造などについて、地理学的視点から理解・整理できるよう心掛ける。また、地図作業等も取り入れ読図についても学修する。
- ◆**学修到達目標** 環境（自然・社会）の地域の特徴や変動と、これに対応しながら展開する世界の地域社会の多様性と社会発展について分析・整理し、地域が持つ特質を位置づけることによって、地理学の基本的視角について学修することができる。同時に教科目としての教育視点について修得することができる。
- ◆**授業方法** 配布するレジメおよび資料（地図・統計・写真等）を用いて授業を進める。授業は基本的には講義形式で行うが、受講者数によっては特定のテーマについて討議を設定することもある。
*色鉛筆（赤・橙・黄・茶・緑等）を準備すること
- ◆**履修条件** 2018 年度東京スクーリング（11 月期）「人文地理学概論」との積み重ね不可
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：人文地理学はどのような学問か—地理学における位置づけを中心として— 事前学修：地理学の構成について事前に調べておくこと 事後学修：レジメに基づいて系統地理学の位置づけや「地域」との関係について整理すること
2 回	授業内容：世界全図の作成方法と特徴・利用について解説する—メルカトルの航海図を中心として— 事前学修：世界全図として利用されている各種地図について調べてみる 事後学修：地図の性格やその特徴について整理すること
3 回	授業内容：地図作業と読図について解説する—地形図の大和郡山、黒部川扇状地を中心— 事前学修：配布された地形図の確認とその特徴について事前に整理してみる 事後学修：配布されたプリントに従って残りの地図作業と読図を行う（翌週にレポートとして提出）
4 回	授業内容：気候分布のメカニズムとその特徴について解説する—世界の気候地域について— 事前学修：レジメ 3 頁を見て世界の大気候について整理してみる 事後学修：気候区分図に基づいて西岸海洋性気候地域の分布と気候の特徴についてまとめること
5 回	授業内容：世界人口とその偏在について説明する 事前学修：レジメ 5 頁をみて世界人口の現状と特徴について整理してみる 事後学修：先進国と発展途上国の人口増加の特徴・相違についてまとめる
6 回	授業内容：食料供給と人口収容力の関係について考察する 事前学修：レジメ 4～5 頁をみてその特徴について考えてみる 事後学修：人口収容力と経済発展との関係について整理すること
7 回	授業内容：自然環境と地域社会の成立・展開について考察する—集落立地の原理— 事前学修：資料の「村落の立地と村落の発展」などについて事前に読んでおく 事後学修：条里制地割と村落構造について整理すること
8 回	授業内容：日本の農村社会の特質と、現在の農村・農業について解説する 事前学修：水利社会について事前に調べてみる 事後学修：日本の伝統文化と社会的構成の変化について整理すること
9 回	授業内容：資源の偏在と工業立地・発展について検証する 事前学修：レジメ 15・16 頁をみて資源産出量の特に多い地域・国を整理してみる 事後学修：特にレアメタルの工業的利用と産出国についてまとめる
10 回	授業内容：英国における工業立地と自然的・社会的関係について考察する 事前学修：産業革命期の英国の綿織物工業の立地について調べてみる 事後学修：英国の資源分布と工業立地の関係について整理する
11 回	授業内容：日本における高度経済成長期の工業立地移動及び現在の工業分布について考察する 事前学修：配布資料の「日本の工業」の分布状況と特色について見ておく 事後学修：日本における資源の賦存と高度経済成長下における工業立地移動について整理すること
12 回	授業内容：オーストラリア・アメリカにおける資源の賦存と鉱業・工業・経済の特徴について考察する 事前学修：レジメ 9～14 頁を読んでおくこと 事後学修：世界有数の資源国オーストラリア・アメリカ合衆国の工業発展の相違・特徴について整理すること
13 回	授業内容：世界の都市化と都市構造理論について検証する 事前学修：レジメ 17～19 頁を読んでおくこと 事後学修：日本における都市化の状況と問題点について整理する
14 回	授業内容：小地域における地域変容について地理学的視点から考察する（黒部川扇状地地域の例） 事前学修：黒部川扇状地の地図作業と読図を完成しておく 事後学修：地域が持つ特性と地域変容について整理する
15 回	授業内容：試験及び解説 事前学修：前回指摘した内容について整理すること 事後学修：地域の諸現象と地理学の関係について確認する

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕当日プリント配布
- ◆**参考書** 〔教材〕『人文地理学概論 T22200』通信教育教材（教材コード 000422）1,650 円（送料込）
地図帳（高等学校等で使用の地図帳）
- ◆**成績評価基準** テスト（70%）、レポート（15%）、授業の参画度（15%）により総合的に評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定
東京
10月期
東京
11月期
東京
2月1期
東京
2月2期
仙台
9月期
大阪
9月期
大垣
10月期
福岡
10月期
夜間
曜日
夜間
曜日
水曜日
夜間
曜日
木曜日
夜間
曜日
金曜日
夜間
曜日
申込方法
講座の
許可
申込講座の
許可
受納料の
納入
受講準備
受講及び
試験
受講中の
学生生活
オープン
受講
各種用紙
付録

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

(英語科教育法Ⅳ)

市川 泰弘

- ◆**授業概要** 本講義では英語を教える目的を見据え、日本の英語教育の現状を踏まえながら、いままで提案されてきた第2言語習得理論を概観し、英語以外の言語での成果をみながらそれぞれの理論が実際の英語教育にどのように生かすことができるかを考察していく。
- ◆**学修到達目標** 本講義の目標は、1) 第2言語習得理論の概要を理解し、2) これらの理論が実際の英語教育へどのように生かすことができるかをまとめ、3) 具体的方策を考えて行くことである。さらに個々の内容は当然学生・生徒のモチベーション・能力の違いによって変化していくものであるから、その変化に対応できる能力および対応の基盤となる英語力を修得し、様々な教えるための方策を作成できるようにすることを目指す。
- ◆**授業方法** テーマを設定し、グループディスカッションを行い、発表をしてもらいます。テーマに関する資料は事前あるいは当日配布し、決められた時間で内容をまとめ、議論を進めて行きます。テーマごとにその日の最後にレポートを作成、提出してもらいます。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の歴史について：行動主義を概観し、それに沿った資料を踏まえてテーマディスカッションを行い、最後にレポートを作成し、提出する。 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の歴史について：生得主義を概観し、それに沿った資料を踏まえてテーマディスカッションを行い、最後にレポートを作成し、提出する。 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の歴史について：対照分析を概観し、それに沿った資料を踏まえてテーマディスカッションを行い、最後にレポートを作成し、提出する。 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の歴史について：認知主義を概観し、それに沿った資料を踏まえてテーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の歴史について：オーラルアプローチを概観し、それに沿った資料を踏まえてテーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の歴史について：ナチュラルアプローチを概観し、それに沿った資料を踏まえてテーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の歴史について：コミュニカティブアプローチを概観し、それに沿った資料を踏まえてテーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の歴史について：Task-based Approach を概観し、それに沿った資料を踏まえてテーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の歴史について：その他のアプローチを概観し、それに沿った資料を踏まえてテーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の具体的対応について小学校の英語教育を中心に、配布した資料を使いながら、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。Part I 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の具体的対応について小学校の英語教育を中心に、配布した資料を使いながら、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。Part II 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の具体的対応について中学校での英語教育を中心に、配布した資料を使いながら、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。Part I 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の具体的対応について中学校での英語教育を中心に、配布した資料を使いながら、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。Part II 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の具体的対応について高等学校での英語教育を中心に、配布した資料を使いながら、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。Part I 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	第二言語習得理論の具体的対応について高等学校での英語教育を中心に、配布した資料を使いながら、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。Part II 参考文献の授業内容に関わる部分を読みまわめておくこと。 配信資料を復習し、ポイントを整理しておくこと。

◆**教科書** 資料を作成し、配布します。

- ◆**参考書**
 - 【丸沼】『英語教師のための第二言語習得論入門』白井恭弘 大修館書店 1,296円(税込)(送料300円)
 - 【通材】『英語科教育法Ⅳ T30400』通信教育教材(教材コード000227) 3,300円(送料込)
 - 〈この教材は市販の『Second Language Acquisition』Ellis Rod (三善 Oxford University Press) と同一です。〉
 - 【丸沼】『Teaching by Principles - An Interactive Approach to Language Pedagogy (4th Edition)』Brown, H.D. pearson 5,389円(税込)(送料500円)

◆**成績評価基準** 講義内でのディスカッション、発表、レポートなどで総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京 2月期 第1期

日	程	授業時間	備考
2月 1日	土	13:00～18:30	※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。
2月 2日	日	9:00～16:30	
2月 8日	土	13:00～18:30	
2月 9日	日	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の2月期第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単 開 位 数	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
Q1A1	英 語 C	中 村 則 子	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	×
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
Q1A2	憲 法	齋 藤 康 輝	2	K20100	憲 法	×	条件 参照	・ 法学部のみ1学年以上申込 可。 ・ 上記以外は2学年以上申込 可。	
Q1A3	国 文 学 史 I	木 村 一	2	M30100	国 文 学 史 I	×	2 年		
Q1A4	英 作 文 II	アレックス ブラウ	2	N30500	英 作 文 II	×	2 年	・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
Q1A5	英 語 学 演 習 B	山 岡 洋	1	N401S0	英 語 学 演 習 I	×	3 年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N402S0	英 語 学 演 習 II				
				N403S0	英 語 学 演 習 III				
Q1A6	東 洋 思 想 史 II	泉 朝 子	2	P30700	東 洋 思 想 史 II	×	2 年		
Q1A7	日 本 史 特 講 II	堀 川 徹	2	Q30900	日 本 史 特 講 II	×	2 年		
Q1A8	金 融 機 関 論	谷 川 孝 美	2	S311S0	金 融 機 関 論	×	2 年		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語C】 オープン受講：不可

中村 則子

◆**授業概要** きわめて簡単な英語の初級レベルのテキストを使う。初級より上の英語力のある学生には簡単すぎて退屈と思われる可能性がある。授業を進めやすいように、極力、レベルの均一化を図りたい。従って、英語を専門に学ぶ学生等、英語力中級以上の学生は受講を避けてほしい。
NY を題材にした簡単な英会話を視聴しながら、演習問題を解いていく。NYC を舞台にした映画を見て、レポートを提出する。最後に試験を行う。

◆**学修到達目標** 英語を使ったコミュニケーションや文法の基礎を身につけていく。NYC を舞台にした映画を見ることで、さらに英語の世界が好きになる。最終的な目標は英語の総合能力を養うことにある。

◆**授業方法** テキストに沿って、英文を視聴し、演習問題を行うことで、英語のコミュニケーションと4技能を習得していく。まずビデオで音声を確認し、英文を音読して発表してもらう。また、NYC を舞台にした映画（ティファニーで朝食を）を鑑賞、レポートの提出をしてもらう。近くの学生とペアワークをしてもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおこわりしておく。

◆**履修条件** 2018, 2019年度の「英語」(中村則子)のうち、同テキストを使用した講座との積み重ねは不可

◆授業計画 (各 90 分)

1回	授業内容: ガイダンス (授業の進め方, 参考書の説明等) 及び Scene 1 It's So Nice to Meet You 事前学修: シラバスをよく読み, テキストの学習範囲をよく予習しておくこと。 事後学修: ガイダンスで指示された部分をノートに整理する。演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。テキストの英文音読
2回	授業内容: Scene 1 It's So Nice to Meet You 及び Scene 2 Is He a Popular Professor? 事前学修: 演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習 事後学修: 演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。英文音読
3回	授業内容: Scene 2 Is He a Popular Professor? 及び Scene 3 He Showed Me "a" Way 事前学修: 演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習 事後学修: 演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。英文音読
4回	授業内容: Scene 3 He Showed Me "a" Way 及び Scene 4 For Here or To Go? 事前学修: 演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習 事後学修: 演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。英文音読
5回	授業内容: Scene 4 For Here or To Go? 及び Scene 5 She is so beautiful 事前学修: 演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習 事後学修: 演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。英文音読
6回	授業内容: Scene 5 She is so beautiful と映画鑑賞 (ティファニーで朝食を) 事前学修: 演習問題の予習と映画の大筋把握しておく。 事後学修: 演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。映画の内容整理
7回	授業内容: 映画鑑賞 事前学修: 映画の内容を大筋で把握しておく。 事後学修: 映画の中で聞き取れた会話を書き留め, 見解を含めたレポート作成。
8回	授業内容: Scene 1-5のまとめ, 質問解説 事前学修: 今まで学習したテキストの内容を整理し, 質問があれば書き留めておく。 事後学修: 質問の解答解説を整理し, 学習した英文の内容を全て理解する。英文音読
9回	授業内容: Scene 6 Catching a Cab 事前学修: 演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習 事後学修: 演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。英文音読
10回	授業内容: Scene 6 Catching a Cab 及び Scene 7 How Romantic! 事前学修: 演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習 事後学修: 演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。英文音読
11回	授業内容: Scene 7 How Romantic! 及び Scene 8 I'm Not Feeling Well 事前学修: 演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習 事後学修: 演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。英文音読
12回	授業内容: Scene 8 I'm Not Feeling Well 及び Scene 9 Tickets 事前学修: 演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習 事後学修: 演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。英文音読
13回	授業内容: Scene 9 Tickets 事前学修: 演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習 事後学修: 演習問題の解答をノートに整理し, 英文の内容が理解できるようにする。英文音読
14回	授業内容: Scene 6-9のまとめ, 質問解説, 試験準備 事前学修: 今まで学習したテキストの内容を整理し, 演習問題等を確認する。 事後学修: 質問の解答解説を整理し, 学習した英文の内容を全て理解する。英文音読
15回	授業内容: 試験と解説 事前学修: 今まで学習したテキストの試験範囲を解答できるようにする。レポート作成提出 事後学修: 試験の解答が適切であったかどうか確認する。今まで学習した部分を繰り返し復習する。

◆**教科書** 丸沼『Hello New York!』土屋武久他著 金星堂 2,700円 (税込) (送料 300円)

◆**参考書** ガイダンスにて指示。適宜プリント配布。中型辞書は毎回持参。

◆**成績評価基準** 発表を含めた授業への取り組み, 試験による総合評価。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔憲法〕

齋藤 康輝

- ◆**授業概要** 憲法は国の最高法規であり、国民主権・人権尊重・平和主義などの基本原則をベースに民主主義を実現することを目的とした「国家統治の基本法」であり、「人権保障のバイブル」である。
本講義では、日本国憲法の重要箇所の条文解釈を行うが、同時に、最新の憲法問題（判例）を取り上げる。できる限り多く世界各国の憲法の話もしたいと考えている。
- ◆**学修到達目標** 憲法の基礎知識を習得するとともに、「立憲主義」の意義を確実に理解した上で、憲法の重要問題（論点）について自分の意見が言えるようになることを目標とする。憲法は私たちの日常生活と密接な関係を持っていることを実感できるようにしたい。さらに、諸外国の憲法を学ぶことで、日本国憲法の内容についていっそう理解を深めることも大事である。
- ◆**授業方法** 憲法を身近なものとして実感できるように「興味深くわかりやすい授業」を心がける。シラバスどおりに授業を行うので、事前に教科書をよく読み、授業終了後は復習もすること。また、判例を解説するさい、必ず板書するので、ノートを持参し、書き写してほしい。板書の時間以外は、パワーポイントによるプレゼンを多用し、DVD などの視聴覚教材も活用したいと考えている。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：憲法総論（「命にかかわる憲法～9条の平和主義と人間の尊厳」） 事前学修：教科書 1～8 頁をよく読んでおくこと。できる限り教科書を通読してスクーリングに臨むこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
2 回	授業内容：日本憲法史 事前学修：教科書 9～16 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
3 回	授業内容：天皇制、国民主権 事前学修：教科書 17～24 頁、165 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
4 回	授業内容：平和主義 事前学修：教科書 25～38 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
5 回	授業内容：基本的人権総論 事前学修：教科書 39～68 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
6 回	授業内容：法の下の平等 事前学修：教科書 69～78 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
7 回	授業内容：精神的自由 事前学修：教科書 79～110 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
8 回	授業内容：人身の自由 事前学修：教科書 111～124 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
9 回	授業内容：経済的自由 事前学修：教科書 125～140 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
10 回	授業内容：社会権 事前学修：教科書 141～154 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
11 回	授業内容：人権と統治の融合 事前学修：教科書 163～196 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
12 回	授業内容：国会、内閣（議院内閣制）、財政 事前学修：教科書 177～206 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
13 回	授業内容：裁判所、違憲審査制、憲法の最高法規性 事前学修：教科書 207～228 頁、243～246 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
14 回	授業内容：地方自治 事前学修：教科書 229～242 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所と配付資料をしっかりと復習すること。
15 回	授業内容：世界の憲法、日本国憲法の将来 事前学修：教科書 247～261 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：スクーリングの学習で得た新知見を振り返り、忘れないようにしっかりと復習すること。

- ◆**教科書** 丸沼『Next 教科書シリーズ憲法』第 2 版 齋藤康輝・高畑英一郎編 弘文堂 2,268 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 憲法条文テストの成績も含めた平常点（30%）、スクーリングの最終試験（70%）。
4 日間出席することを前提として評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定
10月期
東京
11月期
東京
2月1期
東京
2月2期
東京
9月期
仙台
9月期
大阪
10月期
大垣
10月期
福岡
月曜日
夜間
火曜日
夜間
水曜日
夜間
木曜日
夜間
金曜日
夜間
申込方法
講座の
許可あり
申込講座の
納入
受講料の
受講準備
試験及び
受講生の
生活
オープン
受講
各種用紙
付録

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学史Ⅰ〕

木村 一

◆**授業概要** 国文学史とは、国文学を歴史的に捉えるものである。ただし、ただ作品や事項を時系列に並べるのではなく、それぞれの時代の作品なり事項なりが、どのような背景をもって生じているのかということ、作品をもって把握する必要がある。それゆえに、実際の作品を読みながら、時代背景を捉えていく。

◆**学修到達目標** 講義対象とするのは平安時代の『源氏物語』である。対象とする巻は、「桐壺」である。『源氏物語』の冒頭巻である「桐壺」を読むことによって、当時の物語というものがどのような性質をもつものであって、それがどのような制度下で史的流れの中に成立したのかということが説明できるようになる。

◆**授業方法** 実際に『源氏物語』の「桐壺」巻を読み、講義する。テキストは口語訳付きのものをを用いるが、ストーリーを追うことが第一義ではない。作品を読むことで、その時代背景を探る。当時の人びとが、どのようなものの捉え方をしたのかということを探る。受講生は積極的にノートをとること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：導入・どのように進めるか・諸注意・『源氏物語』の時代とは 事前学修：『源氏物語』の時代を捉えておく。 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理を確実にしておくこと。テキストの読み込み。
2 回	授業内容：物語とは・紫式部とその時代・桐壺巻講読 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
3 回	授業内容：後宮と一夫多妻ということ 事前学修：桐壺巻の登場人物の把握 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
4 回	授業内容：帝の更衣への御おぼえまばゆし 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
5 回	授業内容：更衣に皇子誕生、方々の憎しみつもの 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
6 回	授業内容：若宮三歳になり、袴着の儀・更衣病む 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
7 回	授業内容：「女」であること 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
8 回	授業内容：無心の若宮、更衣の里に退出す 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
9 回	授業内容：更衣の葬送 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
10 回	授業内容：若宮の神才と美貌、内裏を圧倒する 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
11 回	授業内容：高麗人の相人 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
12 回	授業内容：源氏元服の儀、左大臣家の婿となる 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
13 回	授業内容：先帝の四宮入内 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
14 回	授業内容：源氏、藤壺を慕う 事前学修：桐壺巻の読み込み 事後学修：講義ノートを基に、講義内容の整理。
15 回	授業内容：試験 事前学修：これまでの総復習・資料・ノートの整理と対策 事後学修：

◆**教科書** 丸沼『源氏物語 1 第 1 巻 桐壺・帚木・空蝉・夕顔（古典セレクション）』阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男
小学館 1,728 円（税込）（送料 300 円）
〔当日資料配布〕必要に応じ補足資料を当日配布する

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提とし、受講状況（20%）・試験（80%）で総合的に評価する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔英作文Ⅱ〕

アレックス ブラウン

- ◆**授業概要** This is a four-day intensive writing course that requires students to do group work, however, students have the freedom to work on their own essays. Your teacher will guide you through the various steps of the writing process in a workshop-like environment.
- ◆**学修到達目標** The focus of the course will be on the writing process of a five-paragraph essay. Through this process students will produce two essays during the course. The teacher will discuss the essay topics in class.
- ◆**授業方法** Together, students will work on developing ideas for their essays. Sentence and paragraph structures will be covered during this period. Active participation is expected by all students in pursuit of our academic writing goals.
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: Prepare a self-introduction. 事前学修: Orientation. 事後学修: Study the writing process.
2 回	授業内容: Study notes on topic sentences. 事前学修: Practice writing topic sentences. 事後学修: Research topics for Essay 1.
3 回	授業内容: Discuss your topic in your group. 事前学修: Brainstorm topic ideas. 事後学修: Finish the activity on supporting sentences.
4 回	授業内容: Prepare your answers for the activity. 事前学修: Supporting your ideas grammatically is the focus of the activities. 事後学修: Study the grammar points covered in the lesson.
5 回	授業内容: Prepare answers for the editing activity. 事前学修: Go through the editing checklists for Essay 1. 事後学修: Edit Essay 1.
6 回	授業内容: Review the comments section for editing essays. 事前学修: Complete the editing checklist for your partner's essays. 事後学修: Prepare your final draft for Essay 1.
7 回	授業内容: Pass in Essay 1. 事前学修: Complete the activity on comparative essays. 事後学修: Research, list and discuss your essay ideas for the next essay.
8 回	授業内容: Follow the guidelines as you prepare your ideas for Essay 2. 事前学修: Group discussions for the next topics will be the basis of the lesson. 事後学修: Complete the assigned writing activity at home.
9 回	授業内容: Summarize your activity in thirty seconds. 事前学修: Today's class is devoted to essay construction. 事後学修: Complete the re-write of Essay 2.
10 回	授業内容: Prepare your revised edition of Essay 2. 事前学修: Peer-editing of Essay 2. 事後学修: Complete the grammar check-list exercise.
11 回	授業内容: Submit Essay 2. 事前学修: This lesson looks at aspects of grading essays. 事後学修: Read your notes for plot-driven essays.
12 回	授業内容: Prepare your 20 % plot summary. 事前学修: Plot-driven group activity. 事後学修: Complete your plot-driven story.
13 回	授業内容: Re-read your plot-driven story for group presentations. 事前学修: Creative writing activity focusing on dialogue. 事後学修: Practice your free-writing activity.
14 回	授業内容: Prepare to present a summary of the previous activity. 事前学修: This lesson focuses on character building in a group generated format. 事後学修: Re-write two of the characters created in class.
15 回	授業内容: Prepare a character summary. 事前学修: Complete the character story board with an effective plot point. 事後学修: Here's to a fun four days!

- ◆**教科書** No textbook is needed. The teacher will provide daily handouts.
- ◆**参考書** None
- ◆**成績評価基準** Students will be graded on two essays with strong consideration on class work and group participation.

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定
10月
期京
11月
期京
2月
1期京
2月
2期京
9月
期台
9月
期阪
10月
期垣
10月
期福
岡
月曜
日
夜曜
日
火曜
日
水曜
日
木曜
日
金曜
日
講座の
申込
方法
許可
不可
申請
料の
納入
受講
準備
試験
及び
学生
生活
オー
プン
各種
用紙
付
録

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語学演習 B】

山岡 洋

◆**授業概要** この講義では、日本語で書かれた文法書を用いて、動詞に関わる意味論の概念を理解していく。具体的には、法 (mood)・時制 (tense)・アスペクト (aspect)・態 (voice) という範疇が何を意味し、それらがどのような意味を表すのかを学んでいく。

◆**学修到達目標** 英語学の動詞に関わる意味論の概念を、具体的な言語現象を通して理解する。例えば、一見奇妙な受動態に見える Have you ever been had? はどのような意味になるのか。受動態にできる場合とできない場合はどのように分けられるのか。英語の微妙な感覚を養うには本質的な原理について学んでゆく。今回は、「時制 (tense)」「態 (voice)」などに焦点を当てて、第 5 章第 1 節を中心に説明をしていく。

◆**授業方法** 原則として、教員側からの講義の形式で行っていく。但し、教員側からできるだけ頻りに学生側に対して疑問を投げ掛け、極力「双方向的な」授業にしていく。予めテキストには目を通しておくこと。

◆授業計画 [各 90 分]

1 回	授業内容: An Introduction to the course: What is "semantics"? 事前学修: 教科書 pp. 210-216 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、配布プリントを見ながら再確認する。
2 回	授業内容: 動詞 (verbs) とは 事前学修: 教科書 pp. 210-222 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 210-222 を見ながら再確認する。
3 回	授業内容: 助動詞 事前学修: 教科書 pp. 222-228 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 222-228 を見ながら再確認する。
4 回	授業内容: 法 事前学修: 教科書 pp. 228-235 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 228-235 を見ながら再確認する。
5 回	授業内容: 法助動詞 (can, may) 事前学修: 教科書 pp. 235-244 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 235-244 を見ながら再確認する。
6 回	授業内容: 法助動詞 (must, その他) 事前学修: 教科書 pp. 244-252 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 253-255 を見ながら再確認する。
7 回	授業内容: アスペクトと時制・現在時制・過去時制 事前学修: 教科書 pp. 252-257 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 252-257 を見ながら再確認する。
8 回	授業内容: 未来表現 (will, be going) 事前学修: 教科書 pp. 257-262 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 257-262 を見ながら再確認する。
9 回	授業内容: 未来表現 (現在進行形・現在時制・will + 進行形など) 事前学修: 教科書 pp. 262-266 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 262-266 を見ながら再確認する。
10 回	授業内容: 完了形 事前学修: 教科書 pp. 266-270 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 266-270 を見ながら再確認する。
11 回	授業内容: 進行形 事前学修: 教科書 pp. 270-272 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 270-272 を見ながら再確認する。
12 回	授業内容: 受動態 事前学修: 教科書 pp. 272-277 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 272-277 を見ながら再確認する。
13 回	授業内容: 理解度確認 事前学修: これまでの授業の内容を改めて見直し、特に日英語の共通点・相違点を確認する。 事後学修: 最終試験に備えて、持ち込む参考資料の整理を行う。
14 回	授業内容: 最終試験とその解説 事前学修: 最終試験に備えて、持ち込む参考資料のどこに何が書いてあるのかの確認をする。 事後学修: 自分の試験の答案を確認し、教科書の該当箇所と照合する。
15 回	授業内容: 最終試験の解説 事前学修: 自分の試験の答案を確認し、教科書の該当箇所と照合する。 事後学修: 授業内容を確認して、自分の意味論に関する理解が適切かどうかを再確認する。

◆**教科書** 丸沼『新英文法概説』山岡洋 開拓社 2014 3,780 円 (税込) (送料 500 円)
[当日資料配布] 当日配付資料あり

◆**参考書** 丸沼『現代英文法講義』安藤貞雄 開拓社 2005 7,128 円 (税込) (送料 500 円)
丸沼『英文法解説』江川泰一郎 改訂三版 金子書房 1991 1,836 円 (税込) (送料 500 円)
丸沼『英文法総覧』安井稔 改訂版 開拓社 1996 2,674 円 (税込) (送料 500 円)

◆**成績評価基準** 授業参加度 (20%)、最終試験 (80%)

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔東洋思想史Ⅱ〕

泉 朝子

- ◆**授業概要** この講義では、東洋思想の辺境を延々と歩き続けているような孤高の中国現代文学作家、残雪（CanXue）の作品を深く味わいます。きわめて個人的かつ不思議な残雪の作品を丁寧に読み込みながら、現代東洋思想の最先端ともいべきその思想を理解するとともに、古来文学が掘り続け、しかしながら永遠に底を打つことのない「人間とは何か」というテーマに正面から向き合います。（対象時期：1980 年代～現在）
- ◆**学修到達目標** 残雪の作品を初めて読んだとき、多くの人は理解や共感を拒まれたような狐につつまれたような気持ちになるかもしれません。本講座では、作品とじっくり向き合う過程で自分自身と向き合い、かつ教室の皆さんのさまざまな考えに耳を傾けることで、最初はとて読み解けそうもないと思っていた作品に、最後には自分なりの答えを見出せていることが目標です。
- ◆**授業方法** ディスカッション中心の講義です。ディスカッションを重ねながら、残雪の作品「アメジストローズ」を解説します。他者の考えを聞くことで自分の思考が活性化するようなインタラクティブな講義にしたいと思っています。最後に作品解説の結果を発表してもらいます。
- ◆**履修条件** 平成 28・29・30 年度に行われた泉担当の「東洋思想史Ⅰ」を履修済みであることが望ましい。中国語は読めなくてかまいません。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ガイダンス 事前学修: 可能な範囲で残雪の作品に触れておく 事後学修: 残雪の作品「アメジストローズ」を読んでおく
2 回	授業内容: 残雪の作品「アメジストローズ」を読む、グループディスカッション 事前学修: 残雪の作品「アメジストローズ」を読んでおく 事後学修: ディスカッションで得た内容をまとめる
3 回	授業内容: 全体ディスカッション、発表原稿を書く 事前学修: ディスカッションの準備をする 事後学修: ディスカッションで得た内容をまとめる、発表原稿を推敲する
4 回	授業内容: 時間の流れを整理する 事前学修: 時間の流れを整理して書き出しておく 事後学修: 時間の流れをノートにまとめる
5 回	授業内容: 登場人物とその関係性を整理する 事前学修: 登場人物とその関係性を整理して書き出しておく 事後学修: 登場人物とその関係性をノートにまとめる
6 回	授業内容: あらすじを整理する 事前学修: あらすじを整理して書き出しておく 事後学修: あらすじをノートにまとめる
7 回	授業内容: グループディスカッション、発表原稿を書く 事前学修: ディスカッションの準備をする 事後学修: ディスカッションで得た内容をまとめる、発表原稿を推敲する
8 回	授業内容: 全体ディスカッション 事前学修: ディスカッションの準備をする 事後学修: ディスカッションで得た内容をまとめる
9 回	授業内容: 登場する人物・もの・出来事はなにを象徴しているのか？ 事前学修: 登場する人物・もの・出来事が象徴していることについて自分の考えを書き出しておく 事後学修: 登場する人物・もの・出来事が象徴していることについてノートにまとめる
10 回	授業内容: 登場人物の関係性・あらすじはなにを象徴しているのか？ 事前学修: 登場人物の関係性・あらすじが象徴していることについて自分の考えを書き出しておく 事後学修: 登場人物の関係性・あらすじが象徴していることについてノートにまとめる
11 回	授業内容: グループディスカッション、発表原稿を書く 事前学修: ディスカッションの準備をする 事後学修: ディスカッションで得た内容をまとめる、発表原稿を推敲する
12 回	授業内容: 全体ディスカッション 事前学修: ディスカッションの準備をする 事後学修: ディスカッションで得た内容をまとめる
13 回	授業内容: 最終発表 事前学修: 発表の準備をする 事後学修: 発表で得た内容をまとめる
14 回	授業内容: 最終発表、講師解説紹介 事前学修: 発表の準備をする 事後学修: 発表で得た内容をまとめる
15 回	授業内容: 残雪について人物紹介、まとめ 事前学修: 発表原稿提出前の最終確認をする 事後学修: 残雪の他の作品を読んでみる

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕
- ◆**参考書** 使用しない
- ◆**成績評価基準** 平常点 40%（積極的に発言してください）
発表もしくは小論文 60%（他者を納得させる発表を行ってください。履修者が多く発表を行うのが難しい場合は、小論文を提出してもらいます）

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史特講Ⅱ〕

堀川 徹

- ◆**授業概要** 本講義では古代から近世の対外関係を取り上げます。古来より日本列島は常に周辺の民族、社会、国家と関係を持ち、かつ影響を受けながらその歴史を歩んできました。そこで、各時代における諸外国と日本の関係性に着目することで、古代から近世を捉えなおします。軸となる概論と当該時期の注目すべきテーマを各論として設定し、各時代の対外関係をマクロな視点とミクロな視点の両方から捉えることで、その具体像を考察します。
- ◆**学修到達目標** 日本前近代史における対外関係の在り方を学び、多面的に理解し、説明できるようになることを目的とする。日本前近代史における対外関係の影響について学び、説明できるようになることを目的とする。世界史のなかで日本史を理解できるようになることを目的とする。それぞれの時代の対外関係の特徴について学び、説明できるようになることを目的とする。
- ◆**授業方法** パワーポイントを使用した講義形式で実施する。講義内容を適宜配布プリントに書き込みながら学修する。なお、1日目と2日目は主に古代の対外関係について講義を行う。3日目と4日目は主に中世・近世の対外関係について講義を行う。2日目と4日目の最後には理解度を確保するための筆記テストを実施する。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容: 対外関係史とは何かを考える。 事前学修: 自らの興味・関心がある時代の対外関係史について学んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
2回	授業内容: 東アジア世界の成立—概論(1) 3世紀から6世紀の対外関係の在り方とその影響について考える。 事前学修: 3世紀から6世紀の政治史について、高校日本史程度の知識を蓄えておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
3回	授業内容: 東アジア世界論—各論(1)-1 古代日本を考えるうえで重要な東アジア世界論という枠組み・概念についてどのような研究がなされてきたかを考える。 事前学修: 東アジア世界論という研究概念について、辞書等で調べて理解しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
4回	授業内容: 文字の伝来と渡来人—各論(1)-2 古代日本の文字の伝来の様子を考える。また、渡来人の諸相とその影響について考える。 事前学修: 古代において中国大陸や朝鮮半島から輸入された文化とそれを支えた人について学んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
5回	授業内容: 律令国家と東アジア—概論(2) 7世紀から9世紀の対外関係の在り方とその影響、変遷について考える。 事前学修: 7世紀から9世紀の政治史について、高校日本史程度の知識を蓄えておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
6回	授業内容: 隋唐と日本—各論(2)-1 遣隋使と遣唐使に焦点をあて、その概要と日本に与えた影響について考える。 事前学修: 遣隋使と遣唐使について調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
7回	授業内容: 古代の国際交易—各論(2)-2 9世紀には対外関係の主軸は交易に移る。その国際交易が日本に与えた影響について考える。 事前学修: 国際交易の在り方とその変遷について調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
8回	授業内容: 中間試験および解説 ここまで学んできた内容について、理解度をはかる試験を実施するとともに、その解説を行う。 事前学修: これまで配布した資料を熟読し、不明な点は辞書等で調べて解決しておくこと。 事後学修: 授業内容を確認・理解して、古代の対外関係についてその変遷を説明できるようにしておくこと。
9回	授業内容: 通交・通商圏の拡大—概論(3) 10世紀から12世紀の東アジア諸国の変動について考える。 事前学修: 10世紀から12世紀の政治史について、高校日本史程度の知識を蓄えておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
10回	授業内容: 東シナ海の宋海商—各論(3)-1 中世初期における海商や貿易の在り方とその影響、変遷について考える。 事前学修: 古代の交易の在り方と中世の交易の在り方についてその違いを理解しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
11回	授業内容: 海を渡った文物—各論(3)-2 対外関係のなかの物流と、それを支えた知識(通訳)について考える。 事前学修: 対外関係を支えた物流の在り方と通訳について自分なりに考え、調べてみること。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
12回	授業内容: 倭寇と「日本国王」—概論(4) 13世紀から16世紀の対外関係の在り方とその影響について考える。 事前学修: 13世紀から16世紀の政治史について、高校日本史程度の知識を蓄えておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
13回	授業内容: 蒙古襲来と異文化接触—各論(4)-1 蒙古襲来について、東アジアという視点から考える。 事前学修: 蒙古襲来について、高校日本史程度の知識を蓄えておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
14回	授業内容: 近世的世界の成立—概論(5) 16世紀から17世紀の対外関係の在り方とその影響について考える。 事前学修: 16世紀から17世紀の政治史について、高校日本史程度の知識を蓄えておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。また、授業内で出てきた用語について、辞書等で調べ理解を深めておくこと。
15回	授業内容: 期末試験および解説 ここまで学んできた内容について、理解度をはかる試験を実施するとともに、その解説を行う。 事前学修: これまで配布した資料を熟読し、不明な点は辞書等で調べて解決しておくこと。 事後学修: 授業内容を確認・理解して、中世・近世の対外関係についてその変遷を説明できるようにしておくこと。

- ◆**教科書** (当日資料配布)
- ◆**参考書** 使用しない
- ◆**成績評価基準** 試験(100%)。2日目と4日目に行う試験から判定します。

注意 E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔金融機関論〕

谷川 孝美

◆**授業概要** 本講義は、金融機関の役割、機能などに焦点をあて、金融取引や基礎理論等を解説する。具体的には貨幣の機能、金融市場などの金融論の基礎や金融機関の基本的な機能等の概説からはじめ、金融機関の存在理由を情報の非対称性、エージェンシー理論、コスト問題などから解説する。さらに、Fin Tech などの技術革新や規制緩和などの環境変化による金融機関への影響を考察することで、金融機関の将来を考える一助となることを目的とする。

◆**学修到達目標** 日々の生活における決済や金融取引には銀行、証券会社など、多様な金融機関が関係している。金融機関論では、これらをふまえて以下のことを目標とする。

1. 貨幣の定義、金利などの金融に関する基本的な事柄などを学び、説明できるようになる。
2. 銀行、証券会社などの金融機関が果たしている機能、役割を理解し、説明できるようになる。
3. さまざまな金融機関、金融市場を含めた我が国の金融システムなどを理解し、考察できるようになる。

◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基本的な事柄を中心に、全体的かつ平易な解説をする予定です。また、授業計画を開講日数にあわせて 4 回に分けますが、講義の進行状況によっては前後することもあります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 授業の進め方・オリエンテーション・金融機関論で学ぶことやその対象を解説する。 事前学修 テキスト『金融論』の「はじめに」をよく読んでおくこと。 事後学修 授業内で用いられた専門用語や説明を確認し、理解すること。
2 回	授業内容 金融機関を理解するための金融取引、貨幣の定義 事前学修 テキスト第 1 章をよく読んでおくこと。 事後学修 講義内容の確認として、貨幣の定義、金融取引を再確認すること。
3 回	授業内容 長期、短期の指標金利およびその決定 事前学修 テキスト第 2 章をよく読んでおくこと。 事後学修 講義内容や講義で紹介する事例などを確認すること。
4 回	授業内容 情報の非対称性問題、逆選択、モラルハザード、金融機関の情報生産を考える。 事前学修 テキスト第 3 章をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
5 回	授業内容 直接金融、間接金融、市場型間接金融 事前学修 テキスト第 6 章をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
6 回	授業内容 預金取扱金融機関としての銀行の機能と役割 事前学修 テキスト第 7 章第 1 節および配付資料をよく読んでおくこと。 事後学修 講義で紹介する銀行など、預金取扱金融機関について参考文献などで確認すること。
7 回	授業内容 協同組織金融機関の機能と役割 事前学修 配付資料をよく読んでおくこと。また、第 4 回の講義を確認しておくこと。 事後学修 参考文献や講義時に紹介するウェブサイトなどで、信用金庫や信用組合の現状を確認すること。
8 回	授業内容 直接金融における証券会社の機能と役割 事前学修 テキスト第 7 章第 2 節および配付資料をよく読んでおくこと。 事後学修 講義時に紹介するウェブサイト、参考文献などで証券会社の現状等を確認すること。
9 回	授業内容 保険会社の機能と役割 事前学修 テキスト第 7 章第 3 節および配付資料をよく読んでおくこと。 事後学修 生命保険会社、損害保険会社を参考文献および講義時に紹介する資料などで確認すること。
10 回	授業内容 消費者金融、リース会社などノンバンクの機能と役割 事前学修 配付資料をよく読んでおくこと。 事後学修 講義時に紹介する資料などで、ノンバンクの現状等を確認すること。
11 回	授業内容 公的金融機関の機能と役割 事前学修 配付資料をよく読んでおくこと。 事後学修 講義時に紹介する資料などで、公的金融機関の現状等を確認すること。
12 回	授業内容 金融機関に対する規制、監督 事前学修 配付資料をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料や講義時に紹介する資料などで、講義内容を確認すること。
13 回	授業内容 FinTech などの金融機関を取り巻く環境変化 事前学修 配付資料をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料や講義時に紹介する資料などで、講義内容を確認すること。
14 回	授業内容 理解度の確認 事前学修 配布された資料を熟読し、内容を確認しておくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書などで、講義内容をよく確認し理解すること。
15 回	授業内容 試験および解説 事前学修 前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修 今回の授業内容を再確認し、理解を深めること。

◆**教科書** **教材**『金融論 R31800』通信教育教材（教材コード 000540）1,950 円（送料込）
事前資料送付〔当日資料配布〕必要に応じて、事前および当日プリント配布予定

◆**参考書** **丸沼**『ベーシックプラス 金融論』家森信善 中央経済社 2,376 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『日本の金融制度 第 3 版』鹿野嘉昭 東洋経済新報社 4,536 円（税込）（送料 500 円）

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に授業への取り組み、小テストや平常点などにより総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京
2月期
第2期

日	程	授業時間	備考
2月15日	土	13:00～18:30	※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。
2月16日	日	9:00～16:30	
2月22日	土	13:00～18:30	
2月23日	日	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の2月期第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
Q1B1	英 語 D	佐藤 万里世	1	C10100	英 語 I	×	1年 2年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	×
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
Q1B2	民 法 II A	根本 晋一	2	K30100	民 法 II		2年		
Q1B3	国 文 学 史 II	布村 浩一	2	M30200	国 文 学 史 II		2年		
Q1B4	異文化間コミュニケーション概論	大庭 香江	2	N31700	異文化間コミュニケーション概論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
Q1B5	英米文学演習B	山下 登子	1	N404S0	英米文学演習I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N405S0	英米文学演習II				
				N406S0	英米文学演習III				
Q1B6	哲 学 概 論	齋藤 隆	2	P30300	哲 学 概 論		2年		
Q1B7	考 古 学 概 説	浜田 晋介	2	Q30500	考 古 学 概 説		2年		
Q1B8	観 光 事 業 論	服部 伊人	2	S32000	観 光 事 業 論		2年		×

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語D〕 オープン受講：不可

佐藤 万里世

◆**授業概要** この授業では、アメリカでベストセラーとして支持を集めている Chicken Soup for the Soul から編集された教科書を使用します。各章は500語前後の短編で構成されていますので、集中力を保ちながら文章の構造を理解し、英文で物語を読む力を養います。

◆**学修到達目標** ①文章の構造を理解できる。
②英語で書かれた物語の内容を理解し、味わうことができる。

◆**授業方法** 学生には輪読形式でテキストの音読と日本語訳をしてもらいます。また時間に余裕があれば、授業の内容に沿ってディスカッションや作文、映像資料を取り入れます。なお、下記の授業計画はあくまで予定であり、受講者のレベルやクラスの人数により授業内容を変更する場合もあります。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス 事前学修：シラバスをよく読む。教科書を購入し、各自読んでおく。 事後学修：再度シラバスを確認し、次回以降の講義に備える。
2回	授業内容：基礎的な文法の復習 事前学修：英語の参考書の文型の個所を再読しておく。 事後学修：文型の練習問題を見直し、理解を深める。
3回	授業内容：第一章 The Circus 事前学修：p.47の注を参考にして、第一章を各自日本語に訳しておく。 事後学修：分詞構文の確認をしておく。
4回	授業内容：第一章 The Circus 事前学修：p.47の注を参考にして、第一章を各自日本語に訳しておく。 事後学修：新しく学んだ文法事項を再度確認し、理解を深める。
5回	授業内容：第一章 The Circus 事前学修：p.2の練習問題を解いてみる。 事後学修：不明な点がないように第一章の和訳を再読する。
6回	授業内容：第二章 Puppies For Sale 事前学修：p.50の注を参考にして、第一章を各自日本語に訳しておく。 事後学修：新しく学んだ文法事項の確認をする。
7回	授業内容：第二章 Puppies For Sale 事前学修：p.50の注を参考にして、第一章を各自日本語に訳しておく。 事後学修：新しく学んだ文法事項を再度確認し、理解を深める。
8回	授業内容：第二章 Puppies For Sale 事前学修：p.6の練習問題を解いてみる。 事後学修：不明な点がないように第二章の和訳を再読する。
9回	授業内容：第三章 The Flower 事前学修：p.50の注を参考にして、第一章を各自日本語に訳しておく。 事後学修：新しく学んだ文法事項を再度確認し、理解を深める。
10回	授業内容：第三章 The Flower 事前学修：作品の語り手の職業は何なのか文章を通して考えておく。練習問題も見えておく。 事後学修：新しく学んだ文法事項を再度確認し、理解を深める。
11回	授業内容：第四章 Bopsy 事前学修：p.53の注を参考にして、第一章を各自日本語に訳しておく。 事後学修：新しく学んだ文法事項の確認をする。
12回	授業内容：第四章 Bopsy 事前学修：p.53の注を参考にして、第一章を各自日本語に訳しておく。 事後学修：新しく学んだ文法事項の確認をする。
13回	授業内容：第四章 Bopsy 事前学修：p.12の練習問題を解いてみる。 事後学修：不明な点がないように第二章の和訳を再読する。
14回	授業内容：第一章から第四章までのまとめ 事前学修：各自再度ノートを見直し、不明な点を講師に質問できるようにしておく。 事後学修：日本語訳、文法事項を再度確認し、試験に備える。
15回	授業内容：試験 解説 事前学修：文法事項を再度確認し、試験に備える。 事後学修：試験問題を見直す。

◆**教科書** 丸沼『ショート・ショート・ストーリーズ II』高橋潔編 郁文堂 1,620円(税込)(送料215円)

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、授業への取り組み(発表等)・テストにより総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔民法Ⅱ A〕

根本 晋一

- ◆**授業概要** 物権法総論、占有権、所有権、用益物権（地上権、永小作権、地役権、入会権）、法定担保物権（留置権、先取特権）、約定担保物権（質権、抵当権）、非典型担保、のうち、法定担保物権から非典型担保までを学修する。
- ◆**学修到達目標** 民法学における物権法の位置づけ、物権と債権の異同、物権に関する主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所で示した専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより、シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 根本の民法Ⅱ（前半・物権法総論他）と、根本以外の民法Ⅱとの積み重ね可
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 GD 【担保物権法総論】 担保制度（債権の履行確保の手段） 担保の種類 など 事前学修 前半授業の最終回の板書 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
2 回	授業内容 担保物権の意義 典型担保と非典型担保 法定担保物権と約定担保物権 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
3 回	授業内容 担保物権の通有性 附従性 随伴性 不可分性 物上代位性 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
4 回	授業内容 【担保物権法各論】 法定担保物権 「留置権」 成立要件 債権と物との牽連性 消滅原因 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
5 回	授業内容 法定担保物権 「先取特権」 一般先取特権 動産先取特権 不動産先取特権 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
6 回	授業内容 約定担保物権 「質権」 成立要件 対抗要件 流質契約の禁止 など 事前学修 その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
7 回	授業内容 留置的効力 優先弁済的効力 費用還請求権 転質 など 事前学修 その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修 前回授業時の板書事項の再確認
8 回	授業内容 約定担保物権 「抵当権」 成立要件 対抗要件 抵当権の効力が及ぶ目的物の範囲 付加一体物 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
9 回	授業内容 果実 賃借権 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
10 回	授業内容 物上代位 第三取得者との関係 代価弁済 抵当権消滅請求 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 前回授業時の板書事項の再確認
11 回	授業内容 抵当権の処分 共同抵当 根抵当 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
12 回	授業内容 【非典型担保】 権利移転型 「譲渡担保」 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
13 回	授業内容 動産譲渡担保 不動産譲渡担保 債権譲渡担保 集合物 集合債権 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
14 回	授業内容 「仮登記担保」 停止条件付代物弁済契約 代物弁済予約 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み
15 回	授業内容 権利留保型 「所有権留保」 など 事前学修 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修 その日のうちの板書事項の読み込み

- ◆**教科書** 指定しない。
- ◆**参考書** 教材『民法Ⅱ』 通信教育教材（教材コード 000408）2,500 円（送料込）
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度や質疑応答 20%。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔異文化間コミュニケーション概論〕

大庭 香江

- ◆**授業概要** 1. テキストで異文化間コミュニケーションについての解説を読み、例題を通して問題を掘り下げます。
2. 英語論文を読み、異文化間コミュニケーションの実際について考察を行います。
3. 日本とそれ以外の国の文化についてディスカッションを行います。

- ◆**学修到達目標** 異文化間コミュニケーションとは文化的背景の異なる人同士のコミュニケーションですが、国籍の同じ日本人同士でも文化的背景が一緒であるとは限りません。出身地、男女、世代によっても文化的背景は異なります。私たちは日常的にも異文化間コミュニケーションを経験しているのです。

本授業では、異文化間コミュニケーションについて述べられた英語論文や、エクササイズを通して、英語が使われている国や地域の文化を理解し、多様な文化的背景を持った人々との交流を通しての文化の多様性及び異文化交流の意義について考え、異文化間コミュニケーションの現状と課題を学び、実践していきます。

また、SNS を利用した異文化交流を行い、日本大学に在籍している留学生と日本とそれ以外の国の文化についてのディスカッションする機会を設けます。

- ◆**授業方法** テキストの解説と、アクティビティを行います。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: 異文化間コミュニケーションとは何かについての考察 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
2 回	授業内容: コミュニケーションの定義 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
3 回	授業内容: ステレオタイプ 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
4 回	授業内容: 言語コミュニケーション 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
5 回	授業内容: 非言語コミュニケーション 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
6 回	授業内容: ジェスチャー 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
7 回	授業内容: 時間の感覚 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
8 回	授業内容: 空間の感覚 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
9 回	授業内容: コミュニケーションスタイルとスキルの分析 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
10 回	授業内容: 双方向コミュニケーション 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
11 回	授業内容: アサーティブ・コミュニケーション 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
12 回	授業内容: 異文化間コミュニケーション・シミュレーションの実践 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
13 回	授業内容: 日本文化を紹介する：SNS を利用した異文化交流 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
14 回	授業内容: 日本とそれ以外の国における文化的行動規範の違いについて：日本大学に在籍している留学生とのディスカッション 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
15 回	授業内容: 英語圏の文化についての考察 まとめ、及び試験 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる

- ◆**教科書** 関沼『異文化コミュニケーション論』八島 他著 松柏社 2,592 円（税込）（送料 300 円）

- ◆**参考書** 特になし

- ◆**成績評価基準** 試験、レポート、及び、授業参加度。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英米文学演習B〕

山下 登子

◆**授業概要** 19世紀英文学史の中でも重要な作家とされるハーディの作品に触れることで、文化的背景の学習や文学の読み方、思想の理解につながるように心がけたい。文学の価値を少しでも理解できる場となるように努めたい。

◆**学修到達目標** イギリス19世紀の小説家 Thomas Hardy (1840-1928) の小説の一部を読むことで、作品及び作家の理解を深めることを目標とする。

◆**授業方法** 本文の音読と和訳を受講生が発表する精読形式と、担当箇所の内容をグループで要約し発表する形式で、作品を読み進める。随時、問題点や意見の発言を求める。購読範囲は「Part III- At Melchester viii. ~ x. (三部 メルチェスターで 8章~10章)」

◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容: ガイダンス・授業の進め方について・グループ分け 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
2回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
3回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
4回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
5回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
6回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
7回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
8回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
9回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
10回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
11回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
12回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
13回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
14回	授業内容: ・Part III- At Melchester viii. より精読 ・グループワーク (担当箇所の読み合わせと要約) 事前学修: 教材プリントの学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
15回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: 学習した範囲全体の復習をし、分からない点がないか確認をすること。 事後学修: 授業の内容及び、試験の内容を確認し、復習をすること。

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリント配布

◆**参考書** 中型以上の英和辞書（電子辞書可）
『日陰者ジュード（上・下）』川本静子訳 中公文庫
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**成績評価基準** 予習・発表・受講状況・グループワーク（50%）、試験（50%）。毎回出席することを前提として評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学概論〕

齋藤 隆

- ◆**授業概要** 中世末から近世への移行を概観し、R. デカルトと F. ベーコンに始まる近世哲学の二大潮流と、カントからヘーゲルに至る流れを、認識論を中心に解説する。
- ◆**学修到達目標** 近世哲学の二大潮流（合理論と経験論）を批判的に総合統一したカントの批判哲学とヘーゲルに至る流れを理解する。
- ◆**授業方法** テキストと印刷物を用いて、講義中心に授業をすすめる。
質問は随時受け付ける。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	ミュートスからロゴスへ プラトンとアリストテレス
	事前学修	テキストの P.25～39 を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
2 回	授業内容	スコラ哲学の終焉
	事前学修	テキストの P.57～58, P.110～112 を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
3 回	授業内容	ルネッサンスと宗教革命
	事前学修	事前送付の印刷物の当該箇所を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
4 回	授業内容	ルネッサンス期の自然研究
	事前学修	テキストの P.60～63 を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
5 回	授業内容	デカルトと大陸合理論の哲学(1)
	事前学修	テキストの P.64～72 を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
6 回	授業内容	デカルトと大陸合理論の哲学(2)
	事前学修	テキストの P.114～117, P.217～219 を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
7 回	授業内容	ベーコンと英国経験論の哲学(1)
	事前学修	テキストの P.118～125 を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
8 回	授業内容	ベーコンと英国経験論の哲学(2)
	事前学修	テキストの P.219～221 を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
9 回	授業内容	カントの批判哲学(1)
	事前学修	テキストの P.76～78, P.126～128 を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
10 回	授業内容	カントの批判哲学(2)
	事前学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
	事後学修	テキストの P.225～226 を 2～3 回読む。
11 回	授業内容	ドイツ観念論の哲学者
	事前学修	テキストの P.78～80 を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
12 回	授業内容	ヘーゲルの哲学
	事前学修	テキストの P.80～82, P.227～228 を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
13 回	授業内容	ヘーゲル以後の哲学の展開
	事前学修	事前送付の印刷物の当該箇所を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
14 回	授業内容	哲学の方法 認識論の概論的説明
	事前学修	事前送付の印刷物の当該箇所を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。
15 回	授業内容	哲学の分類 存在論の概論的説明
	事前学修	事前送付の印刷物の当該箇所を 2～3 回読む。
	事後学修	講義ノートを見ながら内容を確認する。

- ◆**教科書** 教材『哲学 B10700』通信教育教材（教材コード 000404）3,650 円（送料込）
〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齋藤隆（北樹出版）と同一です。〉
- ◆**参考書** 事前資料送付 事前送付の印刷物
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提にして最終回に行なう試験によって判断する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔考古学概説〕

浜田 晋介

- ◆**授業概要** 考古学は過去の人びとが製作し、使用したものを材料に、その当時の人びとの社会・文化・交流・集団組織など解明していく学問である。そのため文献の有無にかかわらず、モノ資料が存在すれば成立する学問であり、発掘調査によって研究材料を得るとことに特徴がある。こうした特徴を持つ日本考古学研究のこれまでの成果の概要を、旧石器時代から弥生時代までを対象に紹介する。
- ◆**学修到達目標** 日本における考古学の方法とその研究理論を学ぶことによって、旧石器時代、縄文時代、弥生時代が、これまでどのように研究されてきたか。これらの遺跡から何が導き出されてきたのか。遺跡の発掘調査から、各時代の社会をどのように推測してきたのか。について、調査の具体的な事例を通して、概要を理解することができる。
- ◆**授業方法** 毎回配布（あるいはまとめて配布）するプリントと、プロジェクターに写す発掘調査や出土遺物などの画像・動画をもとに、プロジェクターに出す説明分をノートに書き取りながら、説明を加えていく授業形態をとる。受講者数が少ない場合は毎回配る出席票の裏面に、質問を記入してもらう方式をとります。
- ◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容: 考古学とは何か? 考古学の学問特性と他の近接分野(文献史学・古生物学など)との相違。これからの授業の進め方を理解する。 事前学修: 「考古学」という学問がどのようなことを行うのか、事前に調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
2回	授業内容: 考古学の研究方法1 層位・遺構の切り合いと型式学的研究方法を理解する。 事前学修: 第1回目配布した、第2回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
3回	授業内容: 考古学の研究方法2 絶対年代の求め方を理解する。第1回目から第3回目までのテスト 事前学修: 事前に配布した、第3回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
4回	授業内容: 旧石器時代の研究史と旧石器時代像 日本における旧石器時代の研究の歴史と、そこから得られた旧石器時代像について理解する。 事前学修: 事前に配布した、第4回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
5回	授業内容: 旧石器時代の生活をさぐる 日本における旧石器時代の遺跡の発掘事例から、当時のことをどのように復原しているのかを理解する。 事前学修: 事前に配布した、第5回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
6回	授業内容: 縄文時代像 縄文時代の研究成果から、縄文時代はどのような時代であったのかを理解する。 事前学修: 事前に配布した、第6回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
7回	授業内容: 縄文時代研究史 縄文時代の研究の歴史を知り、縄文時代の研究がどのように解釈されてきたのかを把握する。 事前学修: 事前に配布した、第7回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
8回	授業内容: 縄文時代の生業を探る 縄文時代の食に関わる活動は、どのようなものであったか、を遺跡の調査資料から推測し、理解する。第4回目から第8回目までのテスト 事前学修: 事前に配布した、第8回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
9回	授業内容: 縄文時代の集落と墓 縄文時代の人びとの住まいである集落と、死後に葬られる墓を素材に、縄文時代の社会を理解する。 事前学修: 事前に配布した、第9回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
10回	授業内容: 弥生時代研究史 弥生時代の研究がどのように進んだのか。また、弥生時代の認識がどのように変化してきたのかを、研究史を題材に理解する。 事前学修: 事前に配布した、第10回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
11回	授業内容: 弥生時代像 弥生時代の研究成果から、弥生時代がどのような時代であったかを理解する。第9回目から第11回目までのテスト 事前学修: 事前に配布した、第11回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
12回	授業内容: 弥生時代の生業をさぐる 弥生時代の食に関わる活動は、どのようなものであったか、を遺跡の調査資料から推測し、理解する。 事前学修: 事前に配布した、第12回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
13回	授業内容: 弥生時代の集落と墓 弥生時代の人びとの住まいである集落と、死後に葬られる墓を素材に、弥生時代の社会を理解する。 事前学修: 事前に配布した、第13回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
14回	授業内容: 旧石器時代～弥生時代のまとめ これまで行ってきた旧石器時代から弥生時代の内容を振り返り、それぞれの時代の内容や特性を理解する。 事前学修: 事前に配布した、第1回目から14回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で行った内容を整理しておくこと。
15回	授業内容: もう二つの文化 弥生時代以降、農業を主とした生業としない北海道と南西諸島に着いて理解し、江戸時代末まで続く日本をとりまく3つの文化について把握する。 事前学修: 事前に配布した、第15回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。

- ◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリント配布
- ◆**参考書** [丸沼]『弥生文化読本』六一書房 3,240円(税込)(送料350円)
- ◆**成績評価基準** 授業内を行う3回の小テスト(45%)と最終日の試験(55%)。毎回出席することを前提として評価します。

注意 E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔観光事業論〕 オープン受講：不可

服部 伊人

- ◆**授業概要** 地域で展開される様々な観光事業は観光を通じた地域振興（産業振興や雇用の場の確保、所得の向上、道路や下水道・病院の整備などの生活基盤施設整備、伝統文化の継承、新たな文化の創造など）および地域の個性的な魅力を育てることで、住民にとってそれが地域への誇りと愛着となり、住みよい地域になる。そのような地域に旅行者も訪れたいとなるといった観光を通じたまちづくりを目指している。そのような観光事業について解説をする。
- ◆**学修到達目標** 地方創生政策として「観光を通じた地域振興」が目目されている。観光によって交流人口を増やし雇用の場、所得の向上による経済の拡大で地域に賑わいを創ることにある。しかし観光者の個人化、多様化した志向、他観光地との競争の激化、情報環境の変化により情報提供の多様化する下で適切な対応が求められる。訪れたい地域として選択される個性的な魅力をもつまちづくりが求められる。そのための観光戦略が考えられるようにしたい。
- ◆**授業方法** 配布した資料をもとに、教材の内容も取り入れながら、さらに内容の理解を図るために具体的な事例を取り入れて解説をする。
- ◆**履修条件** 2019 年東京スクーリング（5 月期）「観光事業論」との積み重ね不可
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 観光産業と観光事業 観光産業の定義と種類、観光ビジネスの特徴、観光のサービスの特質について解説し、観光事業の意味、観光事業を担う人や組織、観光事業の構造を解説する。
	事前学修 教材の 1～14 頁を読んでおくこと。
	事後学修 授業の内容、教材の該当部分と合わせて理解を進めておくこと。
2 回	授業内容 観光振興と地域の現状を捉える。観光振興として地域の目指す方向性や実施する施策を策定するには、まず地域の現状を正確に捉えることが必要であり、その現状把握の内容について解説する。
	事前学修 教材の 75～81 頁を読んでおくこと。
	事後学修 授業の内容と教材の該当部分とを合わせて理解をする。
3 回	授業内容 観光振興の策定と資金計画 観光計画の策定の目的や必要性、手順について解説、事業を進めるための資金、資金の一つである依存財源について解説する。
	事前学修 教材の 87～94 頁を読んでおくこと。
	事後学修 授業内容を整理し教材の該当部分と併せて理解をする。
4 回	授業内容 観光振興と資金計画 事業を進めるための資金、資金の一つである自主財源について事例をもとに解説する。
	事前学修 教材の 229～238 頁を読んでおくこと。
	事後学修 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分を併せて理解を進める。
5 回	授業内容 観光資源・観光施設の活用 観光による地域の活性化に大きな要因を持つのは観光資源・観光施設の存在である。観光行為の対象となる観光資源・観光施設について解説する。
	事前学修 教材の 59～62 頁を読んでおくこと。
	事後学修 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分を併せて理解を進める。
6 回	授業内容 観光資源・観光施設の保全 観光資源は一度手を加えると復元の長い時間や年月を要したり、復元が困難な場合もある。従って開発の最初から保全・保護に配慮が求められる。ここでは観光資源の活用と保全の両立について解説をする。
	事前学修 教材 97～105, 121～135 頁を読んでおくこと。
	事後学修 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
7 回	授業内容 観光立国と地方創生政策 観光立国を実現するために地方創生政策が策定された。地方における定住人口の減少に伴う問題を、観光は交流人口の増加による消費の拡大、雇用創出で補うと期待される。その観光がどのように機能するか解説する。
	事前学修 教材の 19～36 頁を読んでおくこと。
	事後学修 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
8 回	授業内容 地域への誘客戦略 観光地の持続的な発展には観光客が継続して訪れてくれることが必要である。地域への誘客戦略として地域の伝統文化を観光資源にする新たな観光スタイルについて解説する。
	事前学修 教材の 221～228 頁を読んでおくこと。
	事後学修 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
9 回	授業内容 地域への誘客戦略 少子高齢化現象に伴い国内観光客が減少している。それに対して新たな市場として急速に増加しているのが訪日外国人観光客である。この訪日外国人観光客の受け入れについて解説をする。
	事前学修 教材の 20～28, 113～114, 242～244 頁を読んでおくこと。
	事後学修 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
10 回	授業内容 訪日外国人観光客への対応 増加する訪日外国人観光客を地域経済の活性化につなげていくのかなどを解説する。
	事前学修 マスコミなどで取り上げられる訪日外国人観光客の観光行動に関心を持つようにして下さい。
	事後学修 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
11 回	授業内容 訪日外国人観光客への対応 訪日外国人観光客の旅行形態の変化に対して受け入れ地域の対応について解説をする。
	事前学修 マスコミなどで取り上げられる訪日外国人観光客の観光行動に関心を持つようにして下さい。
	事後学修 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
12 回	授業内容 地方創生と滞在型観光 観光対象を観るのに、これまで一か所を短期間で済ませてきた観光者たちを、これからは連泊あるいは数か所を移動し滞在日時・期間を長期化させることが地域経済の活性化につながると政府は奨励する。この滞在型観光について解説する。
	事前学修 滞在型観光について記された書籍を読んでおくこと。
	事後学修 配布資料をもとに授業内容を整理し理解をする。
13 回	授業内容 地方創生と着地型観光 国は滞在化に結び付けて地域独自の観光魅力を体験できる「体験型旅行」や地域でツアーの企画・造成・販売が完結する「着地型旅行」を推進する。この地域発プログラムによる着地型観光について解説する。
	事前学修 教材の 229～238 頁を読んでおくこと。
	事後学修 配布資料をもとに授業内容を整理し理解を進める。
14 回	授業内容 授業全体を振り返り理解の確認をする。
	事前学修 授業の流れに沿って配布資料をもとに授業内容をノートに整理しておくこと。
	事後学修 授業内容を整理したノートの内容を理解すること。
15 回	授業内容 試験および解説
	事前学修 配布資料をもとに、前回の授業で指摘したことを参考に授業内容を整理しておくこと。
	事後学修 試験の回答内容について授業ノートを参考に再確認し、内容の理解を深める。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕

◆**参考書** 〔教材〕『観光事業論 S32000』通信教育教材（教材コード 000417）2,350 円（送料込）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、テストなどにより総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

Ⅲ 地方スクーリング

1 開催地及び開講日程

開講期	開催地	日程	授業時間
9月期	仙 台 大 阪	9月 14日(土)	9:30～18:30
		15日(日)	9:00～18:30
		16日(月)	9:00～16:00 <試験も含む>
10月期	大 垣 福 岡	10月 26日(土)	9:30～18:30
		27日(日)	9:00～18:30
		28日(月)	9:00～16:00 <試験も含む>

※いずれの日程も授業時間内に休憩時間を設けます。

※各期から1開催地1講座のみの申込みです。

2 実施会場

開催地別の会場は下表のとおりです。

会場における具体的な授業講堂は、受講生あてに通知にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に会場にて掲示します。

なお、各会場の使用にあたって、以下の事項に注意してください。

【注意事項】

- ・自家用車・バイクの通学を禁止します。
- ・指定された場所以外での喫煙を禁止します。
- ・各自、ゴミは持ち帰ってください。
- その他、会場の使用上の注意を守ってください。

開講期	開催地	会 場	会場案内
9月期	仙 台	ショーケー株式会社	63 ページ
	大 阪	近畿大学 東大阪キャンパス	67 ページ
10月期	大 垣	大垣日本大学高等学校	71 ページ
	福 岡	リファレンス駅東ビル	75 ページ

※「会場」は後掲の「開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）」に開催地別に掲載。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 9月期 仙台

日	程	授業時間	備考
9月14日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
9月15日	日	9:00～18:30	
9月16日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	
NCA1	国文学講義Ⅰ (上代)	近藤 健史	2	M30500	国文学講義Ⅰ (上代)		2年	
NCA2	スピーチコミュニケーションⅡ	リチャード キャラカー	1	N31000	スピーチコミュニケーションⅡ		2年	
NCA3	東洋史入門	高綱 博文	2	Q202S0	東洋史入門	×	2年	

仙台 ショーケー株式会社
(本館ビル)
仙台市青葉区五橋2-11-1

- ・地下鉄五橋駅から徒歩1分
- ・JR 仙台駅から徒歩15分

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学講義 I（上代）〕

近藤 健史

- ◆**授業概要** 『万葉集』における東国の歌について講義する。地域的には、関東北部や東北の歌であり、内容的には、陸奥国の歌、東歌、防人歌について、風土との関係から読み解く。
- ◆**学修到達目標** 文学と風土との関係について、『万葉集』の歌を例として学修することで、文学作品を読み解く基礎的な知識や方法を身につけ、文学作品を理解した結果や調査結果を発表できるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 基本的には講義である。また、仙台市におけるスクーリングであることから、万葉時代に陸奥国の国府で大伴家持が赴任した多賀城を訪れ実地調査・学修をする。調査・学修の後、報告会をして理解を深める。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 授業の進め方、『万葉集』における東国の在り方について講義する。 事前学修 『万葉集』の成立、構成、特色などについて調べておくこと。 事後学修 『万葉集』の成立と東国の関係を理解しておくこと。
2 回	授業内容 古代における東国の歴史や文化について講義する。 事前学修 参考文献などで、古代の東国について調べておくこと。 事後学修 授業内容や配布資料などで、万葉時代の東国の歴史や文化を理解しておくこと。
3 回	授業内容 東国の文学と風土について講義する。 事前学修 万葉歌の地名から歌枕になった例について、調べておくこと。 事後学修 万葉時代以降の東国を詠んだ作品と風土について理解しておくこと。
4 回	授業内容 『万葉集』における「陸奥国の歌」について講義する。 事前学修 『万葉集』にある「陸奥国の歌」の数や在り方を調べておくこと。 事後学修 「陸奥国の歌」の特色について理解しておくこと。
5 回	授業内容 大伴家持の「陸奥国に金を出だす詔書を賀す歌」を読み解く。 事前学修 注釈書などで、大まかな意味を調べておくこと。 事後学修 奈良大仏と黄金、家持歌と詔書などの関係について理解しておくこと。
6 回	授業内容 古代における多賀城について講義する。 事前学修 多賀城の歴史や役割などについて調べておくこと。 事後学修 万葉時代の多賀城の役割について理解しておくこと。
7 回	授業内容 『万葉集』の「東国の歌」について講義する。 事前学修 『万葉集』の東国に関する歌について調べておくこと。 事後学修 東国に関する歌の数や在り方について理解しておくこと。
8 回	授業内容 『万葉集』の「東歌」を読み解く。 事前学修 巻 14 の「東歌」を読んでおくこと。 事後学修 「東歌」の風土的背景や文化的背景、歌の特色について理解しておくこと。
9 回	授業内容 多賀城現地調査・校外学修、東北歴史博物館にて古代東北の歴史と文化を学修する。 事前学修 家持が赴任した万葉時代をポイントにして、調査内容を考えておくこと。 事後学修 報告会に備えて、調査した内容を整理しておくこと。
10 回	授業内容 埋蔵文化財調査センター展示室にて、古代都市多賀城について学修する。 事前学修 家持が赴任した頃の万葉時代をポイントに調査内容を考えておくこと。 事後学修 報告会に備えて、調査した内容を整理しておくこと。
11 回	授業内容 大伴家持が陸奥探察使兼鎮守將軍として赴任していた多賀城政庁址や歌碑を見学する。 事前学修 家持が赴任した場所、歌について調べておくこと。 事後学修 報告会に備えて、調査した内容を整理しておくこと。
12 回	授業内容 万葉集時代の防人について講義する。 事前学修 防人の役割や出身地などについて調べておくこと。 事後学修 防人の政治的背景や社会的背景を理解しておくこと。
13 回	授業内容 『万葉集』の「防人歌」を読み解く。 事前学修 巻 20 「防人歌」について読んでおくこと。 事後学修 「防人歌」の特色について理解しておくこと。
14 回	授業内容 『万葉集』の防人歌を読み解く。 事前学修 巻 20 「防人歌」の後半部を読んでおくこと。 事後学修 「防人歌」の特色について理解しておくこと。
15 回	授業内容 まとめ、レポート作成 事前学修 これまでの授業内容を振り返り、整理してレポート作成の準備しておくこと。 事後学修 文学と風土、東国の万葉歌について再確認しておくこと。

- ◆**教科書** 丸沼『訳文 万葉集』森淳司 笠間書院 1,944 円（税込）（送料 500 円）
- ◆**参考書** 『蝦夷の古代史』工藤雅樹 平凡社新書
 <上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。>
 丸沼『古代を考える 多賀城と古代東北』青木和夫・岡田茂弘編 吉川弘文館 3,240 円（税込）（送料 350 円）
 『古代東北と王権—日本書紀の語る蝦夷—』中路正恒 講談社現代新書
 <上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。>
- ◆**成績評価基準** レポート 80%、報告会 20%

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定
10月期
11月期
2月1期
2月2期
9月期
9月期
10月期
10月期
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
申込方法
許可不可
納入
受講準備
試験及び
学生生活
オープン
各種用紙
付録

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔スピーチコミュニケーションⅡ〕

リチャード キャラカー

- ◆**授業概要** Students will learn the fundamental rules of crafting and delivering an English oral presentation. Topics to be covered will be how to organize a presentation into a speech that incorporates three aspects: a verbal message, a vocal message and a visual message. The students will gain practice reviewing their classmates' written and spoken texts and commenting on them.
- ◆**学修到達目標** Lectures will include warm up discussions and conversations, learning the fundamentals of presentations, watching examples of presentations, practicing each aspect of a presentation, writing and evaluating each other's presentations, and finally delivering the presentations.
- ◆**授業方法** Each class will begin with a discussion of one of the messages necessary for delivering an effective oral presentation. Then examples of presentations which incorporate that message will be observed and commented upon. After that, students will practice the message in a controlled environment. Finally the students will give a presentation on each of the three topics to be covered in the course.
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: Introduction to the Course 事前学修: Read about the Three Vs of an effective oral presentation pages 2-3 事後学修: Review the model speech from The Film <i>The Candidate</i> .
2回	授業内容: Discuss the most important aspect of an effective oral presentation - The audience 事前学修: Read about the Curse of Knowledge, S-U-C-C-E-S and the Vocal Message pages 2-3. 事後学修: Review the Vocal Message in preparation for the Introduction Speeches.
3回	授業内容: Students deliver Introduction Speeches 事前学修: Read about the Verbal Message page 5. 事後学修: Review The Verbal Message pages 5-7.
4回	授業内容: Discuss Unexpected beginnings and hooking the audience. 事前学修: Read about the Hook as a discourse device page 6. 事後学修: Review the different devices to get the audience's attention page 3.
5回	授業内容: Learn about the Visual Message 事前学修: Read about para-linguistics page 4. 事後学修: Review the Clinton-Bush Debate video and effective para-linguistics.
6回	授業内容: Understand the importance of Concrete examples within the Verbal Message 事前学修: Read about how to incorporate supporting details into the Verbal Message pages 3 & 6. 事後学修: Review the model speech from the TED Talk "Start with Why."
7回	授業内容: Students Deliver Hobby Speeches 事前学修: Complete the Hobby Speech outline on page 23 事後学修: Review the Hobby speech and complete the self-evaluation form (Supplementary handout).
8回	授業内容: Building personal Credibility with your audience 事前学修: Read about the second C in S-U-C-C-E-S why the audience should listen to you. pages 6 事後学修: Review Building Credibility page 6.
9回	授業内容: Discuss finding a benefit for the audience 事前学修: Read about different techniques to benefit the audience page 16. 事後学修: Review how the Microsoft advertisement benefits the audience page 16.
10回	授業内容: Brainstorming topics and supporting information for job speeches. 事前学修: Read about the Job speech page 25. 事後学修: Review the job speech topics and decide main points for outline on page 26.
11回	授業内容: Telling stories to make presentations more concrete 事前学修: Read about storytelling page 3. 事後学修: Review Connecting with your audience through stories page 3.
12回	授業内容: Discuss Call to Action, Using Visuals, and Questions and Answers 事前学修: Read about how to use slides, and answering questions effectively page 8. 事後学修: Review The Brain Lady Video, "6 Things Everyone needs to know about Oral Presentations".
13回	授業内容: Students Deliver Job Speeches 事前学修: Read about the Vocal Message page 7. 事後学修: Watch and critically evaluate job speeches using worksheet on page 25
14回	授業内容: Go over all the information covered in the class until now. 事前学修: Read about the Three Vs of public speaking pages 2-26 事後学修: Review the Three Vs of an effective oral presentation.
15回	授業内容: Final Examination 事前学修: Read about the three Vs of an effective oral presentation pages 2-26 事後学修: Review your speeches on video

- ◆**教科書** 後日ポータルサイトに掲載
- ◆**参考書** 後日ポータルサイトに掲載
- ◆**成績評価基準** Evaluation will be based on the following: an in-class examination; Introduction Speech (10%); A Hobby Speech (20%); A Job Speech (30%); and class participation.

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔東洋史入門〕

高綱 博文

- ◆**授業概要** 本授業は、中国近現代史研究するための手順・知識・技術・情報を基礎的に学修する。また、日中文化交流史入門の一環として「魯迅と仙台」をテーマとして学修すると共に関連史跡を見学する。
- ◆**学修到達目標** 本授業は、中国近現代史研究のための基礎的な方法・知識・技術などを学修して東洋史の面白さを理解してもらうとともに、更に研究の志す方々に少しでも役立つことを目標とする。
- ◆**授業方法** 報告担当者を決め、発表・討論・質疑応答の形式で進める。授業の一環として東北大学史料館・仙台市博物館を見学する。なお、授業開始の1ヶ月ほど前に資料を送付します。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：中国・中国史の概要と学び方 事前学修：配布資料を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
2 回	授業内容：日本における東洋史学について 事前学修：配布資料を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
3 回	授業内容：中国近現代史研究をなぜ学ぶのか 事前学修：テキストⅡ-4を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
4 回	授業内容：中国近現代史研究の手順 事前学修：テキストⅠ-1を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
5 回	授業内容：研究史の整理 事前学修：テキストⅠ-1を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
6 回	授業内容：日中関係史という枠組み 事前学修：テキストⅠ-2を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
7 回	授業内容：日中関係文化交流史—「魯迅と仙台」を中心に 事前学修：配布資料を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
8 回	授業内容：「魯迅と仙台」に関する史跡見学（1） 事前学修：配布資料を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
9 回	授業内容：「魯迅と仙台」に関する史跡見学（2） 事前学修：配布資料を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
10 回	授業内容：歴史と理論 事前学修：テキストⅠ-3を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
11 回	授業内容：周縁から見た中国近現代 事前学修：テキストⅡ-6を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
12 回	授業内容：中国近現代史研究の技法（1）—図書館・文書館 事前学修：テキストⅢ-7を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
13 回	授業内容：中国近現代史研究の技法（2）—統計資料 事前学修：テキストⅢ-8を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
14 回	授業内容：中国近現代史研究の技法（3）—インターネット 事前学修：テキストⅢ-9を学修しておくこと。 事後学修：授業内容の要点を確認しておくこと。
15 回	授業内容：まとめ、試験 事前学修：授業内容の要点を確認しておくこと。 事後学修：再度、授業内容の要点を確認しておくこと。

- ◆**教科書** 丸沼『中国近現代史研究のスタンダード』田中比呂志・飯島渉編 研文出版 1,944 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 発表・討論（50%）、レポート（25%）、授業参画度（25%）により総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定
10月期
東京
11月期
東京
2月1期
東京
2月2期
東京
9月期
仙台
9月期
大阪
10月期
大垣
10月期
福岡
月曜日
夜間
火曜日
夜間
水曜日
夜間
木曜日
夜間
金曜日
夜間
申込方法
講座の
許可
申込講座の
納入
受講料の
受講準備
試験及び
受講中の
学生生活
オープン
受講
各種用紙
付録

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 9月期 大阪

日	程	授業時間	備考
9月14日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
9月15日	日	9:00～18:30	
9月16日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	
NCB1	政 治 学	関根 二三夫	2	B11700	政 治 学		1	
NCB2	英米文学演習C	新井 英夫	1	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				N405S0	英米文学演習Ⅱ			
				N406S0	英米文学演習Ⅲ			
NCB3	商 業 政 策	新島 裕基	2	S31000	商 業 政 策		2	

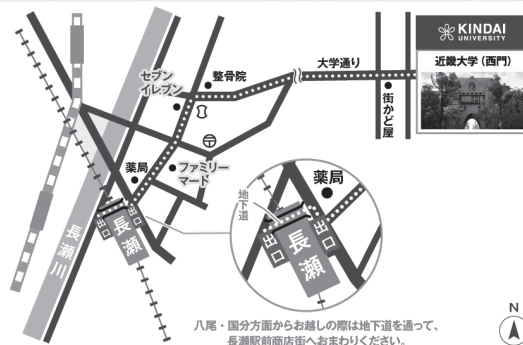
大阪

近畿大学東大阪キャンパス

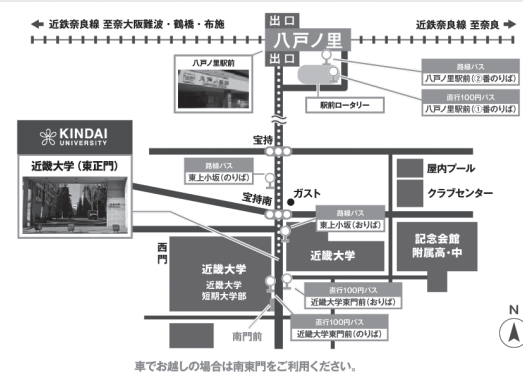
東大阪市内小若江3-4-1

- ・JR・近鉄大阪線「長瀬」駅から徒歩約10分
- ・近鉄奈良線「八戸ノ里」駅から徒歩約20分

近鉄大阪線・長瀬駅からの経路



近鉄奈良線・八戸ノ里駅からの経路



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔政治学〕

関根 二三夫

◆**授業概要** 基礎教育としての講義を行います。政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力、国家、議会政治、立法部と行政部、選挙、政党、圧力団体、コミュニケーション、リーダーシップについて学びます。

◆**学修到達目標** 議会や大統領もしくは内閣の動きを見ますと、政治が難しい現象のように思われます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会や個人の発展に寄与するために役立ちます。この講義においては、政治が我々の生活に大きな影響を及ぼすと同時に、我々にとって身近な現象であることを学びます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習及び復習が必要になります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 政治学の変遷 事前学修 参考書の第 1 章第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
2 回	授業内容 政治の概念 事前学修 参考書の第 1 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
3 回	授業内容 政治の本質 事前学修 テキストの第 1 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
4 回	授業内容 政治権力 事前学修 テキストの第 1 章第 2 節及び参考書の第 2 章第 4 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
5 回	授業内容 国家 事前学修 参考書の第 3 章を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
6 回	授業内容 議会政治 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
7 回	授業内容 立法部と行政部（議院内閣制） 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
8 回	授業内容 立法部と行政部（大統領制） 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
9 回	授業内容 選挙（選挙制度及び選挙区） 事前学修 テキストの第 3 章第 3 節及び参考書の第 5 章第 1 節及び第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
10 回	授業内容 選挙（代表選出の形態） 事前学修 テキストの第 3 章第 3 節及び参考書の第 5 章第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
11 回	授業内容 政党（概念及び特徴・形態） 事前学修 テキストの第 3 章第 4 節及び参考書の第 4 章第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
12 回	授業内容 政党（機能及び問題点） 事前学修 テキストの第 3 章第 4 節及び参考書の第 4 章第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
13 回	授業内容 圧力団体 事前学修 テキストの第 3 章第 5 節及び参考書の第 4 章第 3 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
14 回	授業内容 コミュニケーション 事前学修 参考書の第 6 章第 3 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
15 回	授業内容 リーダーシップ 事前学修 参考書の第 2 章第 5 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。

◆**教科書** 教材『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード 000279）2,100 円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『改訂版 教養政治学』岩井奉信・黒川貢三郎・関根二三夫他 南窓社 3,132 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30% ※試験同様、質問や理解度チェック等の平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英米文学演習C〕

新井 英夫

- ◆**授業概要** ノーベル文学賞受賞作家で日系英国人のカズオ・イシグロ (Kazuo Ishiguro 1954-) の『浮世の画家』(An Artist of the Floating World 1986) を読みます。作品を多面的な視点から読み、作品がどのように時代、政治、社会制度等と結びついているのかを考えます。また、読み方の多重性を意識することを通して、小説そのものの読み方の新たな方向性について考察するきっかけとします。
- ◆**学修到達目標** 現代英国において活躍している日系英国人作家カズオ・イシグロの『浮世の画家』を読み、次に掲げる各号の目標を達成しましょう。
 - ①現代英国小説の読解に必要な英語力がどの程度ものであるかを知ることができるようになる。
 - ②作品の構造、人物関係を明確に説明できるようになる。
 - ③臨床社会学における「自己物語論」を作品解釈に応用できるようになる。
 - ④作品のテーマについて説得力のある論を展開できるようになる。
- ◆**授業方法** 演習形式のスタイルを採ります。ただし授業が単なる日本語訳及び感想の発表大会に終わることのないように、結論に至るプロセスを皆さんには大切にしてもらいたいと思っています。グループ活動なども取り入れる予定ですので、英語が苦手な方の受講も歓迎です。また「英文を読む」と「小説を理解する」との差異を学生たちに理解してもらうべく、小説の読み方も丁寧に指導します。英文学科で学ぶ学生たちの「入門講座」となるように授業を展開できればと考えています。
- ◆**履修条件** 2016年度夏期スクーリングにおいて、新井が担当する英米文学演習を受講したものは、授業内容が同一のため、履修を認めないこととする。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容：【講義】カズオ・イシグロの人物像に迫る。 事前学修：カズオ・イシグロの『浮世の画家』を通読する。 事後学修：講義で解説したカズオ・イシグロの評価について復習する。
2回	授業内容：【発表】事前学修の成果をグループ内で共有する。 事前学修：カズオ・イシグロの『浮世の画家』を通読し、その感想をまとめる。 事後学修：グループ内の他者の意見と自分の意見の違いを意識する。
3回	授業内容：【演習&解説】「1948年10月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1948年10月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1948年10月」の内容を復習する。
4回	授業内容：【演習&解説】「1948年10月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1948年10月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1948年10月」の内容を復習する。
5回	授業内容：【演習&解説】「1948年10月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1948年10月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1948年10月」の内容を復習する。
6回	授業内容：【演習&解説】「1949年4月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1949年4月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1949年4月」の内容を復習する。
7回	授業内容：【演習&解説】「1949年4月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1949年4月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1949年4月」の内容を復習する。
8回	授業内容：【演習&解説】「1949年4月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1949年4月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1949年4月」の内容を復習する。
9回	授業内容：【演習&解説】「1949年11月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1949年11月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1949年11月」の内容を復習する。
10回	授業内容：【演習&解説】「1949年11月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1949年11月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1949年11月」の内容を復習する。
11回	授業内容：【演習&解説】「1949年11月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1949年11月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1949年11月」の内容を復習する。
12回	授業内容：【演習&解説】「1950年6月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1950年6月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1950年6月」の内容を復習する。
13回	授業内容：【演習&解説】「1950年6月」の範囲を当日配布資料に基づきすすめる。 事前学修：「1950年6月」の範囲の内容を把握する。 事後学修：講義で解説した「1950年6月」の内容を復習する。
14回	授業内容：【演習&発表】小論文を作成し、グループ内で発表する。 事前学修：これまでの授業をふりかえり、マスの成長について考えをまとめる。 事後学修：グループ内の他者の意見と自分の意見の違いを意識する。
15回	授業内容：【試験&まとめ】試験とこれまでの授業のまとめを行う。 事前学修：これまでの授業内容を復習する。 事後学修：『浮世の画家』以外のカズオ・イシグロの作品を1冊読む。

- ◆**教科書** 事前資料送付（当日資料配布）
- ◆**参考書** 丸沼『浮世の画家』カズオ・イシグロ 早川書房 972円（税込）（送料215円）
『An Artist of the Floating World』Kazuo Ishiguro Faber Fiction Classics
〈上記の本は、丸沼書店では取り扱っていませんので、Amazon等で購入してください。〉
- ◆**成績評価基準** 授業内活動（40%）＋最終試験（60%）。欠席者には単位を認定しません。また遅刻は各時限につき10点減点とします。遅刻は各時限の授業開始から15分までとし、それ以降は欠席扱いとなります。早退は原則として認めません。総得点が0点を下回る場合には、0点として評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔商業政策〕

新島 裕基

- ◆**授業概要** 「商業政策」のうち、小売業者間の水平的競争（ヨコの関係）に関わる諸問題について学びます。
- ◆**学修到達目標** ・商業政策の各論として、振興政策と調整政策の目的や展開について理解すること。
・「経済活動としての商業」と「生活基盤としての都市」のあり方にかかわる商業まちづくり政策の理論や展開について理解すること。
- ◆**授業方法** ・スクリーンにスライド資料を投影しながら講義を進める（配布資料あり）。
・その日のまとめとして、毎日、最終時間に授業内テストを実施する（計3回）。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ガイダンス：流通の役割と機能 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
2 回	授業内容: 商業の存在意義 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
3 回	授業内容: マーケティングの登場と商業 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
4 回	授業内容: 小売業の業種と業態 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
5 回	授業内容: 1 日目のまとめ：授業内テスト 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
6 回	授業内容: 振興政策の形成 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
7 回	授業内容: 振興政策の限界と拡充 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
8 回	授業内容: 調整政策の形成 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
9 回	授業内容: 大規模小売店舗法による出店規制強化から規制緩和へ 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
10 回	授業内容: 2 日目のまとめ：授業内テスト 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
11 回	授業内容: 商業まちづくり政策の展開 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
12 回	授業内容: 「まちづくり3法」の概要 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
13 回	授業内容: 「まちづくり3法」の見直しと政策効果 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
14 回	授業内容: 地域商業の魅力再構築に向けて 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
15 回	授業内容: 3 日目のまとめ：授業内テスト 事前学修: 新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修: 講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。

- ◆**教科書** 丸沼『流通政策入門〔第4版〕』渡辺達朗 中央経済社 2016年 3,024円（税込）（送料300円）
事前資料送付 教科書とほぼ同じ内容のスライドを投影して講義を進めますので、教科書の購入は必須ではありません（事前配布資料あり）。
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 平常点評価：100%
 <内訳>
 授業内テスト：100%（1～2日目：各30%／3日目：40%）

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 10月期 大垣

日	程	授業時間	備考
10月26日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
10月27日	日	9:00～18:30	
10月28日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン 講	
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年		受 講 条 件
NEA1	体育実技B	佐藤 紀子	1	J101S0	体育実技Ⅰ	×	1年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	×
				J102S0	体育実技Ⅱ				
NEA2	英米文学特殊講義B	野呂 有子	2	N31200	英米文学特殊講義		2年		
NEA3	英語科教育法ⅠA	小澤 賢司	2	T20900	英語科教育法Ⅰ	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
				T23800	英語科教育法Ⅰ (新免)				

大垣 大垣日本大学高等学校
大垣市林町6-5

・JR大垣駅北口から徒歩約10分

注意 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座の
選定
10月期
東京
11月期
東京
2月1期
東京
2月2期
東京
9月期
仙台
9月期
大阪
10月期
大垣
10月期
福岡
月曜日
夜間
火曜日
夜間
水曜日
夜間
木曜日
夜間
金曜日
夜間
申込方法
講座の
許可
申込講座の
納入
受講料の
受講準備
試験及び
受講中の
学生生活
オープン
受講
各種用紙
付録

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔体育実技B〕 オープン受講：不可

佐藤 紀子

◆**授業概要** スポーツは体を動かすという本能的な欲求に応え、楽しさや喜びをもたらす、体力の向上やストレスの発散など、心身の両面にわたる健康の維持・増進に資する。そのスポーツを生涯にわたり継続していく方法について、主として「バレーボール」「卓球」を通して学ぶ。多様な人々がスポーツを楽しむためのルールや用具の工夫についても考える。視聴覚資料や疑似体験等をまじえながら障害のある人のスポーツを体験する。

◆**学修到達目標** スポーツのルールや用具を理解し、より多くの人が参加できる方法について理解を深める。
高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性はますます重要になってきている。運動・スポーツの実践を通して、その楽しさや重要性を認識し、運動習慣を身に付けることを目標とする。

◆**授業方法** 主として「バレーボール」「卓球」のゲームを実施しながら、通常のルールでのゲーム、ルールや用具を工夫したゲームをおこなう。性別、年齢、運動の得手不得手、障害の有無に関係なく、皆が楽しめるスポーツについて考え、実践する。施設等の事情により、競技や順番が変更となる場合がある。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	ガイダンス（授業の目的、進め方、安全の確保等について理解する） ストレッチング、アイスブレイキングと自己紹介を兼ねたレクリエーションゲーム
	事前学修	シラバスを読んで授業の流れを理解しておくこと。
	事後学修	授業の目的について理解を深める。
2 回	授業内容	ドッジボール、ドッジビー ルールの確認、ゲームの実施
	事前学修	ドッジボールの概要について自身で調べておくこと。
	事後学修	ドッジボールのルール・用具の変更について理解を深めておくこと。
3 回	授業内容	体力測定（握力、長座体前屈、上体おこし、反復横跳び等）、自己評価、体力要素についての解説
	事前学修	体力測定の方法について自身で調べておくこと。
	事後学修	自身の体力の現状について把握し、理解しておくこと。
4 回	授業内容	バレーボール（1） ルールの確認、ボールを使っでの準備運動、チームづくり
	事前学修	バレーボールの概要について自身で調べておくこと。
	事後学修	バレーボールのルールについて復習し、理解を深めておくこと。
5 回	授業内容	バレーボール（2） 通常のルール・用具によるゲームの実施
	事前学修	基本的なバレーボールの技術について自身で調べておくこと。
	事後学修	自分自身、チームメイト、対戦相手のゲーム中の様子を観察し、皆が楽しめる方法について考えておくこと。
6 回	授業内容	ソフトバレーボール（1） バレーボールの発祥・ルールの変遷、ソフトバレーボールルールの確認、ボールを使っでの準備運動、チームづくり
	事前学修	ソフトバレーボールの特徴について自身で調べておくこと。
	事後学修	バレーボールとソフトバレーボールの違いについて復習し、理解を深めておくこと。
7 回	授業内容	ソフトバレーボール（2） ゲームの実施
	事前学修	ソフトバレーボールのルールについて自身で調べておくこと。
	事後学修	ソフトバレーボールの利点について復習し、理解を深めておくこと。
8 回	授業内容	風船バレーボール（1） 基本ルールの確認、風船を使っでの準備運動
	事前学修	風船を使う利点と欠点について自身で考えておくこと。
	事後学修	風船バレーボールの対象者について復習し、理解を深めておくこと。
9 回	授業内容	風船バレーボール（2） 様々なルールでのゲーム
	事前学修	皆が楽しめるルールについて自身で考えておくこと。
	事後学修	風船バレーボールの特徴を把握し、ルール工夫とその対象者について理解を深めておくこと。
10 回	授業内容	多様なバレーボール 映像視聴 障害のある人のために工夫されたスポーツ体験（1） 視覚制限体験
	事前学修	障害のある人がバレーボールを実施するために必要なルールや用具の工夫について自身で考えておくこと。
	事後学修	視覚以外の感覚について復習し、理解を深めておくこと。
11 回	授業内容	障害のある人のために工夫されたスポーツ体験（2） サウンドテーブルテニス（視覚に障害のある人のために工夫された卓球）体験
	事前学修	視覚障害のある人がスポーツを行なうための工夫について、自身で考えておくこと。
	事後学修	視覚障害のある人がスポーツを実施するための具体的な工夫について理解を深めておくこと。
12 回	授業内容	卓球（1） ダブルス戦 ルールの確認、ラケット・ボールを使った準備運動、チームづくりづくり、ゲームの実施
	事前学修	卓球ダブルス戦の基本的なルールを自身で調べておくこと。
	事後学修	卓球のルールについて復習し、理解を深めておくこと。
13 回	授業内容	卓球（2） ダブルス戦 ゲームの実施
	事前学修	卓球ダブルス戦の基本的なルールを自身で調べておくこと。
	事後学修	卓球のルールについて復習し、理解を深めておくこと。
14 回	授業内容	バレーボールゲーム大会 受講生の皆が楽しめるルール、用具でのゲームの実施、チームづくり、ゲームの実施
	事前学修	受講生が楽しめるためのルール、用具の工夫を各自考えておくこと。
	事後学修	多様な人が楽しむためのルール、用具の工夫のポイントについて理解を深めておくこと。
15 回	授業内容	バレーボール大会 ゲームの実施 まとめ
	事前学修	受講生が楽しめるためのルール、用具の工夫を各自考えておくこと。
	事後学修	多様な人々が楽しむためのルール、用具の工夫のポイントについて復習し、今後の自身の運動継続の方法について再確認すること。

◆**教科書** 使用しない

◆**参考書** 使用しない

◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよび自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度によって総合的に評価する。毎回出席することを前提として評価するので、体調調整、参加すること。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英米文学特殊講義B〕

野呂 有子

◆**授業概要** 指定テキストを基にしなが、教師が個々の作家と作品について、伝統と作家個人の独創性について説明する。特に、個々の作家および作品の代表的な部分を具体的に提示し、それを音読・吟味しながら理解を深める。単なる作家と作品リストの羅列としてではなく、生きた作家および作品として流れを追うことを主眼とする。

◆**学習到達目標** 1. 受講生が、ペイオウルフから始まり、英国ロマン派以前までの大きな流れの中で、個々の作家と作品について鑑賞し理解することによって、英文学の全体像を把握し、英文学を学ぶ意義を理解し、それについて説明できる。2. 受講生自身が特に興味を持つ作家や作品の位置を理解し、それについて説明できる。3. 国際共通語としての英語の母胎についての知見を深め、取得した知識と技能を運用して、中学校・高等学校における英語の授業で教鞭を取る際に、学習者が正確な発音、リズム、抑揚を身につけるよう配慮しながら指導するとともに、文学の楽しさ、英語の語法に親しませる技能を取得できる。

◆**授業方法** ターン前半はテキストに沿いながら広く英文学の歴史の基本知識を解説し、後半は必要に応じて資料を配布して個々の英文学作品の具体的な内容を部分的に鑑賞する。授業の後半にその日の主要テーマに関するリアクションペーパーの提出を求める場合がある。

◆授業計画 (各90分)

1回	授業内容: 授業の進め方, オリエンテーション, 英文学と英文学史の意義を説明し, その背景を解説する。 事前学修: テキスト1から121までを概観し, 全体の流れを掴んでおくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
2回	授業内容: 古期英語・中期英語の時代1—ペイオウルフとチョーサーの作品について説明し, 具体的な作品の内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト1から11までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
3回	授業内容: 古期英語・中期英語の時代2—マロリーの作品について説明し, 具体的な作品の内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説し, キャクストンの果たした役割, 背景となるルネッサンス時代について講釈する。 事前学修: テキスト12から15までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
4回	授業内容: 古期英語・中期英語の時代3—宗教改革, 英語翻訳聖書の数々, エリザベス一世の作品, ワイアットとサレーについて説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト16から30までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
5回	授業内容: 古期英語・中期英語の時代4—スペンサーと『妖精の女王』について説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト18から30までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
6回	授業内容: 古期英語・中期英語の時代5—サー・フィリップ・シドニーと『詩の弁護』について, さらに妹ペンブルック伯爵夫人と詩篇英語翻訳について説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト21から32までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
7回	授業内容: シェイクスピア以前, シェイクスピア, エリザベス一世およびジェームズ・チャールズの時代について説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト33から41までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
8回	授業内容: シェイクスピア, 宮廷仮面劇, ジョン・ダンについて説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト42から67までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
9回	授業内容: イングランド革命/ピューリタン革命—ジョン・ミルトンおよび『楽園の喪失』について説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト68から80までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
10回	授業内容: ジョン・バニヤン, トマス・ブラウン, トマス・ホップズについて説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト70から87までの該当箇所を読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
11回	授業内容: 王政復古, サミュエル・ピープス (日記文学), 名誉革命, ジョン・ロック, 科学の発展について説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト82から88までの該当箇所を読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
12回	授業内容: ポープ, スティールとアディソン (ジャーナリズム) について説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト89から101までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
13回	授業内容: 小説の始まり—デフォー, スウィフト, リチャードソン (書簡体小説), フィールドング, スターンについて説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト102から113までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
14回	授業内容: 辞書と伝記—サミュエル・ジョンソン, ジェームズ・ボズウェル, 劇および書簡について説明し, 具体的な作品内容に触れ, 英文学史における作品の意義について解説する。 事前学修: テキスト114から121までを読み, 事前配付資料の指定個所の英語単語を調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配付資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
15回	授業内容: 試験および解説 事前学修: 前までの授業で学んだイギリス文学作品の歴史的意義と内容について理解し, しっかりとノートに纏めておくこと。 事後学修: 授業内容を確認・整理して, 自分のイギリス文学史理解が適切か否かを再確認すること。

◆**教科書** 汎用『イギリス文学の歴史—An Outline of English Literature』 芹沢栄著 開拓社 2,808円 (税込) (送料300円)

◆**参考書** 担当教師が作成して、通信教育部を通して事前、また、授業開始時に暫時配付する。

◆**成績評価基準** 授業参加意識の高さ (20%)、授業時に行うミニ・レポート (20%)、最終日に行う本試験 (受講者自身による手書きノート持ち込み可。コピー類は一切不可: 60%) の三点を基にして総合的に評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談 (連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定
10月
期
東京
11月
期
東京
2月
1期
東京
2月
2期
東京
9月
期
仙台
9月
期
大阪
10月
期
大垣
10月
期
福岡
月
曜
日
夜
間
火
曜
日
夜
間
水
曜
日
夜
間
木
曜
日
夜
間
金
曜
日
夜
間
申
込
方
法
講
座
の
許
可
不
可
申
込
講
座
の
受
講
料
の
納
入
受
講
準
備
受
講
及
び
試
験
受
講
料
の
受
講
生
生
活
オ
ー
プ
ン
受
講
各
種
用
紙
付
録

〔英語科教育法 I A〕

小澤 賢司

◆授業概要 中学校および高等学校における英語科教育を扱う本授業では、以下の4点について学修します。

- ①学習指導要領および教科用図書（教科書）について
- ②年間・学期・単元・各回の指導計画（学修到達目標）について
- ③小・中・高における英語科教育の連携のあり方について
- ④その他、英語科教育において必須となる諸項目について

◆学修到達目標 「授業概要」で挙げた4つの点について、正しく理解し、自らの言葉で説明できるようになることを本授業の目標とします。その目標を達成するためには、授業計画の各回に示されている教科書の章を必ず読んでおくことが求められます。また、読んできた内容や授業での講義を元に小レポートの提出やグループ討議を求められることがありますので、未読状態だと授業に参画できないだけでなく、授業評価にも大きく影響します。英語科教育に携わる者として、過去・現在・未来に渡る英語科教育に関する知識や情報、動向等には常に注意を向けるようにしましょう。

◆授業方法 授業は大きく「概論（講義）」パートと「グループ討議」パートに分かれます。概論パートでは、各回に示されている内容の講義および教科書では触れられていない内容についての補足説明を行います。グループ討議パートでは、各回のテーマについて、受講者同士で話し合いをおこなってもらい、小レポートないしは発表という形で自己研鑽に励んでいただきます。必要に応じて、プリントも配布する予定です。3日間のスクーリングですので、全 15 回の授業計画は、1日でも5回分進むとご考え下さい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 英語教育の目的 事前学修 第 1 章をよく読んでおくこと。 事後学修 授業内で提示された課題を行う。
2 回	授業内容 学習指導要領：概論、グループ討議 事前学修 第 2 章をよく読んでおくこと。 事後学修 グループで話し合った内容を整理しておくこと。
3 回	授業内容 第二言語習得理論と外国語教授法：概論、グループ討議 事前学修 第 6 章をよく読んでおくこと。 事後学修 授業内で提示された課題を行う。
4 回	授業内容 指導計画：概論 事前学修 第 3 章をよく読んでおくこと。 事後学修 指導計画（年間・学期・単元）について正しく理解しておくこと。
5 回	授業内容 英語指導と教科用図書：概論、グループ討議 事前学修 第 3 章をよく読んでおくこと。 事後学修 グループで話し合った内容を整理しておくこと。
6 回	授業内容 英語指導と教科用図書：グループ討議（発表準備） 事前学修 発表準備のために有益な案を考えておくこと。 事後学修 発表ハンドアウトを作り、時間までに提出すること。
7 回	授業内容 英語指導と教科用図書：発表 事前学修 発表練習をしておくこと。 事後学修 他グループの発表内容を整理しておくこと。
8 回	授業内容 英語指導と教科用図書：発表（予備日） 学習指導案：概論 事前学修 発表練習をしておくこと。第 4 章をよく読んでおくこと。 事後学修 学習指導案について正しく理解しておくこと。
9 回	授業内容 学習指導案：グループ討議（発表準備 初日） 事前学修 発表準備のために有益な案を考えておくこと。 事後学修 グループで話し合った内容を整理しておくこと。
10 回	授業内容 学習指導案：グループ討議（発表準備 二日目） 事前学修 発表準備のために有益な案を考えておくこと。 事後学修 発表ハンドアウトを作り、時間までに提出すること。
11 回	授業内容 学習指導案：発表 事前学修 発表練習をしておくこと。 事後学修 他グループの発表内容を整理しておくこと。
12 回	授業内容 学習指導案：発表（予備日） 事前学修 発表練習をしておくこと。 事後学修 他グループの発表内容を整理しておくこと。
13 回	授業内容 英語教師論：グループ討議 事前学修 第 9 章をよく読んでおくこと。 事後学修 グループで話し合った内容を整理しておくこと。
14 回	授業内容 小学校英語教育と中学校・高等学校英語教育の連携：概論、グループ討議 事前学修 第 10 章をよく読んでおくこと。 事後学修 グループで話し合った内容を整理しておくこと。
15 回	授業内容 最終レポートおよびまとめ 事前学修 最終レポートのための準備をしておくこと。 事後学修 全ての学修内容を復習しておくこと。

◆教科書 丸沼『総合的英語科教育法』 村野井仁・渡部良典・尾関直子・富田祐一 成美堂 2,808 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 『中学校学習指導要領』 文部科学省 352 円（税込）（送料 350 円）

『高等学校学習指導要領』 文部科学省 819 円（税込）（送料 350 円）

※現行、新とも用意してください。

丸沼『基礎から学ぶ英語科教育法』 岡田圭子・ブレダ・ハヤシ・嶋林昭治・江原美明 松柏社 2,700 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準 授業参画度（40%）、小レポートおよび発表（30%）、最終レポート（30%）

※3日間全ての授業に出席することを前提としています。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 10月期 福岡

日	程	授業時間	備考
10月26日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
10月27日	日	9:00～18:30	
10月28日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位数	充当科目		制限・注意		受オープン
				科目コード	科目名	併用	配当学年	
NEB1	商法Ⅱ	松嶋 康尚	2	K30600	商法Ⅱ		2年	
NEB2	英語学演習C	山岡 洋	1	N401S0	英語学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N402S0	英語学演習Ⅱ			
				N403S0	英語学演習Ⅲ			
NEB3	国際経済論	前野 高章	2	R31100	国際経済論		2年	

福岡 リファレンス駅東ビル

福岡市博多区博多駅東1-16-14

JR博多駅（筑紫口）から徒歩5分

リファレンス会議室は博多駅周辺に3ヶ所ございます。お間違えないよう、ご注意ください。

注意 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔商法Ⅱ〕

松嶋 康尚

- ◆**授業概要** 会社法に関する基本的な法知識の習得を目的とする。
税との関わりなど実務に関連する部分も、適宜取り上げていきたい。
- ◆**学修到達目標** 会社法に関する基本的な法知識（さらなる研究をしていく上での基礎知識）を習得すること。
会社法関連の条文は多いので全ての条文について理解してもらうことは不可能であるが、少なくともどこを調べれば良いか自分で調べられるようになってほしい。
- ◆**授業方法** 授業は講義形式で行っていく。
条文の確認は適宜行いたいので、六法は必ず持ってこること。
出席は毎回取る。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ガイダンス・授業の進め方 事前学修: テキスト第 1 講・2 講に目を通しておいてほしい。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
2 回	授業内容: 会社制度の存在意義 事前学修: 前回のノートを確認し、第 3 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
3 回	授業内容: 株式会社における株主の地位 事前学修: 前回のノートを確認し、第 4 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
4 回	授業内容: 株式に関する諸問題 事前学修: 前回のノートを確認し、第 5～12 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
5 回	授業内容: 株主総会 事前学修: 前回のノートを確認し、第 13～15 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
6 回	授業内容: 取締役・取締役会 事前学修: 前回のノートを確認し、第 16～19 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
7 回	授業内容: 役員報酬規制 事前学修: 前回のノートを確認し、第 20 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
8 回	授業内容: 監査役・監査役会 事前学修: 前回のノートを確認し、第 24 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
9 回	授業内容: 会計参与・会計監査人、会社の計算 事前学修: 前回のノートを確認し、第 24、25 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
10 回	授業内容: 指名委員会設置会社、監査等委員会設置会社 事前学修: 前回のノートを確認し、第 21 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
11 回	授業内容: 役員の責任と責任追及 事前学修: 前回のノートを確認し、第 22、23 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
12 回	授業内容: 持分会社 事前学修: 前回のノートを確認し、第 28 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
13 回	授業内容: 設立と解散 事前学修: 前回のノートを確認し、第 26、27 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
14 回	授業内容: 組織再編、罰則 事前学修: 前回のノートを確認し、第 29、30 講に目を通しておくこと。 事後学修: 板書をしていくので授業中ノートに写したこととテキストと照らし合わせて整理しておくこと
15 回	授業内容: 復習、試験 事前学修: 整理したノートを見直し書き漏らしたところがないかテキストと照らし合わせて確認しておくこと。 事後学修: ノートとテキストを見直し、自身の会社法に関する知識を再確認すること。

- ◆**教科書** 〔丸〕『会社法講義 30 講』 松嶋隆弘編著 中央経済社 2015 年 3,780 円（税込）（送料 350 円）
最新版（2020 年版）六法（出版社は特に指定しない）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** ①平常点（10%）、及び、②試験の採点結果（90%）を総合して評価をする。
なお、毎回出席することを前提とする。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語学演習C〕

山岡 洋

◆**授業概要** 日本語で書かれた文法書を読みながら、英語の様々な表現について、主に意味的な側面から、細かいニュアンスの違いなどを含めて考察してゆく。例えば、通常は進行形では用いられないとされる be 動詞が He was being silly. などのように敢えて進行形で用いられることがあるが、その場合にはどのような意味になるのか。このような英語の微妙な、しかしながら英語的な感覚を養うには非常に本質的な、違いについて学んでゆく。

◆**学修到達目標** 英語学の時間表現に関わる意味論的概念を、具体的な言語現象を通して理解する。具体的には、現在時制・過去時制・完了形・進行形・未来表現の表す様々な意味を理解する。

◆**授業方法** テキストに沿った説明を基本として授業を進めてゆく。日本語で書かれたテキストではあるが、重要箇所を熟読し、必要に応じて教員側から説明を加えていく。但し、教員側からできるだけ頻りに学生側に対して疑問を投げ掛け、極力「双方向的な」授業にしていく。予めテキストの該当箇所には目を通しておくこと。今回は「第9章 動詞の時制」を扱っていく。

◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容：現在時制 事前学修：教科書 § 141-43 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 141-43 を見ながら再確認する。
2回	授業内容：過去時制 事前学修：教科書 § 144 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 144 を見ながら再確認する。
3回	授業内容：未来表現：単純未来・意志未来 事前学修：教科書 § 145-47 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 145-47 を見ながら再確認する。
4回	授業内容：未来表現：will/shall の特殊用法 事前学修：教科書 § 148-49 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 148-49 を見ながら再確認する。
5回	授業内容：未来表現：be going to 事前学修：教科書 § 150-51 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 150-51 を見ながら再確認する。
6回	授業内容：未来表現：現在進行形と現在時制 事前学修：教科書 § 152 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 152 を見ながら再確認する。
7回	授業内容：現在進行形の基本用法 事前学修：教科書 § 153 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 153 を見ながら再確認する。
8回	授業内容：注意すべき現在進行形・状態動詞の進行形 事前学修：教科書 § 154-57 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 154-57 を見ながら再確認する。
9回	授業内容：現在完了とは 事前学修：教科書 § 158-59 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 158-59 を見ながら再確認する。
10回	授業内容：現在完了と過去時制 事前学修：教科書 § 160-62 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 160-62 を見ながら再確認する。
11回	授業内容：過去完了 事前学修：教科書 § 163-64 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 163-64 を見ながら再確認する。
12回	授業内容：未来完了・過去完了進行形・未来完了進行形 事前学修：教科書 § 165-66 を読んでおく。 事後学修：授業中にとったノートを、教科書 § 165-66 を見ながら再確認する。
13回	授業内容：理解度確認 事前学修：これまでの授業の内容を改めて見直し、特に日英語の共通点・相違点を確認する。 事後学修：最終試験に備えて、持ち込む参考資料の整理を行う。
14回	授業内容：最終試験とその解説 事前学修：最終試験に備えて、持ち込む参考資料のどこに何が書いてあるのかの確認をする。 事後学修：自分の試験の答案を確認し、教科書の該当箇所と照合する。
15回	授業内容：最終試験の解説 事前学修：自分の試験の答案を確認し、教科書の該当箇所と照合する。 事後学修：授業内容を確認して、自分の意味論に関する理解が適切かどうかを再確認する。

◆**教科書** 丸沼『英文法解説』江川泰一郎 改訂三版 金子書房 1991年 1,836円(税込)(送料500円)

◆**参考書** 丸沼『新英文法概説』山岡洋 開拓社 2014年 3,780円(税込)(送料500円)

丸沼『英文法総覧』安井稔 改訂版 開拓社 1996年 2,674円(税込)(送料500円)

◆**成績評価基準** 授業参加度(20%)、最終試験(80%)

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国際経済論〕

前野 高章

- ◆**授業概要** グローバル化の進展に伴い、国際貿易の拡大や海外直接投資が経済に与える影響は非常に大きいものとなっている。本講義では国際経済の発展過程をたどり、戦後の世界経済発展の歴史、国際分業の基礎理論としての比較優位論、貿易政策に関する基礎理論を学び、グローバル経済の進展および国際経済問題を理解する土台を作り上げることを目標とする。
- ◆**学修到達目標** 国際分業体制の変化・進展に沿って国際貿易理論がどのように展開されてきているのかを理論的に把握することを通じて、現在のグローバル経済の特徴や課題を理解することを目的とする。
- ◆**授業方法** 授業は講義形式を基本とする。教科書および配布資料にもとづき、板書とパワーポイントで講義を行う。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: 講義の進め方, オリエンテーション, 国際経済論とは? 事前学修: 経済学における国際経済論の位置づけについて把握する。 事後学修: 講義の内容を整理し、配布資料を読んで、講義内容を理解する。
2 回	授業内容: 現在の国際貿易の特徴 事前学修: 配布資料、参考書などから国際貿易の拡大の要因を確認する。 事後学修: 講義内容をもとに貿易の拡大要因について整理する。
3 回	授業内容: 世界経済の生成と発展 事前学修: 配布資料、参考書などから世界経済の生成時期を把握する。 事後学修: 講義内容をもとに世界経済の生成時期の経済について整理する。
4 回	授業内容: 両大戦間期の世界経済 事前学修: 配布資料、参考書などから両大戦間期の世界経済の低迷について確認する。 事後学修: 講義内容をもとに戦前の世界経済の生成と変遷について整理する。
5 回	授業内容: 戦後の世界経済の発展とその特徴 事前学修: 配布資料、参考書などから戦前と戦後の世界経済の特徴を確認する。 事後学修: 講義内容をもとに、第3回から第5回の内容を整理する。
6 回	授業内容: 1990 年代以降の世界経済の変貌 事前学修: 配布資料、参考書などから 1990 年代以降の世界経済の特徴を確認する。 事後学修: 講義内容をもとに、国際競争力とは何かを整理する。
7 回	授業内容: 伝統的貿易理論 事前学修: 参考書をもとに、伝統的貿易理論について確認する。 事後学修: 講義内容をもとに、貿易の利益について整理する。
8 回	授業内容: 新古典派の貿易理論 事前学修: 配布資料、参考書などから新古典派の貿易理論について確認する。 事後学修: 講義内容をもとに、比較優位論について整理する。
9 回	授業内容: 近代的貿易理論 事前学修: 配布資料、参考書などから新貿易理論の特徴を確認する。 事後学修: 講義内容をもとに、産業内貿易理論について整理する。
10 回	授業内容: 現代国際貿易理論の展開 事前学修: 配布資料、参考書などからフラグメンテーションやアグロメレーションについて確認する。 事後学修: 講義内容をもとに、伝統的貿易理論から現代の貿易理論について整理する。
11 回	授業内容: 貿易政策 事前学修: 配布資料、参考書などから貿易政策とは何かについて確認する。 事後学修: 講義内容をもとに、貿易政策が貿易に与える影響を整理する。
12 回	授業内容: 自由貿易と保護貿易 事前学修: 配布資料、参考書などから保護貿易について確認する。 事後学修: 講義内容をもとに、関税が経済厚生に与える影響を整理する。
13 回	授業内容: 経済統合 事前学修: 配布資料、参考書などから世界の地域経済統合を確認する。 事後学修: 講義内容をもとに、経済統合がもたらす影響を整理する。
14 回	授業内容: 理解度の確認 事前学修: これまで配布した資料を熟読し、要点をノートにまとめる。 事後学修: 講義内容の要点項目を再確認し、講義内容をノートに整理する。
15 回	授業内容: 試験および総まとめ 事前学修: 全配布資料から講義の要点をまとめる。 事後学修: 講義および試験をふまえ、国際分業の変遷について再確認する。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕講義初回到講義資料を配布する。
- ◆**参考書** 〔通材〕『国際経済論 R31100』通信教育教材（教材コード 000281）2,300 円（送料込）
〔丸沼〕『国際経済学（第3版）』若杉隆平 岩波書店 2009 年 3,132 円（税込）（送料 350 円）
- ◆**成績評価基準** 試験 80%、平常点 20%。毎回出席することを前提として評価する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

IV 夜間スクーリング

1 開講日程

開講期間	10月21日(月)～12月17日(火)					
授業時間	18:30～21:25					
受講形態	月曜日から金曜日までの各曜日に開講される講座から1講座を選び、同じ曜日の8回の授業を経て、最終日に試験を受けます。 また、すべての講義に出席が求められます。					
授業日程	月	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
①: 1回目	10月	① 21		① 23	① 24	① 25
②: 2回目		② 28	① 29	② 30	② 31	
③: 3回目	11月					② 1
④: 4回目			② 5	③ 6	③ 7	③ 8
⑤: 5回目		③ 11	③ 12	④ 13	④ 14	④ 15
⑥: 6回目		④ 18	④ 19	⑤ 20	⑤ 21	⑤ 22
⑦: 7回目		⑤ 25	⑤ 26	⑥ 27	⑥ 28	⑥ 29
⑧: 8回目	12月	⑥ 2	⑥ 3	⑦ 4	⑦ 5	⑦ 6
		⑦ 9	⑦ 10	⑧ 11	⑧ 12	⑧ 13
		⑧ 16	⑧ 17			

※各曜日から1講座のみの申込みで、最多合計5講座まで受講できます。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1号館
所 在 地	東京都千代田区九段南4-8-28
交 通 案 内	市ヶ谷駅から徒歩3分

※授業講堂は、当日1階の掲示板でご確認ください。

3 開講講座

月	講座名	担当講師名
	英語 E	岩城 久哲
	行政法 I	長谷川 福造
	宗教学概論	富田 真浩
	日本史入門	八馬 朱代
	社会政策論/社会政策	藤本 知彦
	国際金融論	谷川 孝美

火	講座名	担当講師名
	哲学	小山 英一
	英語 F	パトリック マッコイ
	刑法 II	上野 幸彦
	英米文学演習 D	石川 勝
	中小企業論	小林 世治
	教育制度論	高木 加奈絵
英語科教育法 I B	佐藤 恵一	

水	講座名	担当講師名
	法学	遠藤 清臣
	英語 G	小田井 勝彦
	国文学講義Ⅳ(近世)	高橋 啓之
	イギリス文学史 I	常名 朗央
	西洋古典	上滝 圭介
	考古学演習 I・II	小泉 龍人
	情報概論	戸塚 英臣
発達と学習	野村 康治	

木	講座名	担当講師名
	民法 II B	根本 晋一
	地方自治論	山田 光矢
	国文法	鈴木 浩
	アメリカ文学史	北原 安治
	哲学演習 I・II	金子 佳司
	経済地理学/経済地理	清水 和明
教育課程論	滝澤 雅彦	

金	講座名	担当講師名
	英語 H	賀美 真之介
	商法 I	中村 良
	文章表現法	山崎 泉
	英語学概説	田中 竹史
	英語学演習 D	小澤 賢司
会計学	青木 隆	

講座の
選定

東京
10月期

東京
11月期

東京
2月1期

東京
2月2期

仙台
9月期

大阪
9月期

大垣
10月期

福岡
10月期

夜間
月曜日

夜間
火曜日

夜間
水曜日

夜間
木曜日

夜間
金曜日

講座の
申込方法

申込講座の
許可と許可

受講料の
納入

受講準備

受講及び
試験

受講中の
学生生活

オープン
受講

各種用紙

付録

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 月曜日	時間	18:30～21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 〈試験を含む〉
		10/21	10/28	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16

※以下の月曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
				科目 コード	科目名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
B2A1	英 語 E	岩 城 久 哲	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III		2年		
				C10400	英 語 IV				
B2A2	行 政 法 I	長谷川 福造	2	K30900	行 政 法 I		2年		×
B2A3	宗 教 学 概 論	富田 真浩	2	P30400	宗 教 学 概 論		2年		
B2A4	日 本 史 入 門	八馬 朱代	2	Q20100	日 本 史 入 門		条件 参照	・ 史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	
B2A5	社会政策論/ 社会政策	藤本 知彦	2	R32100	社会政策論			2年	・ 文理・経済・商学部のみ申込可。
				R32100	社会政策		2年	・ 法学部のみ申込可。	
B2A6	国 際 金 融 論	谷川 孝美	2	S31200	国 際 金 融 論		2年		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座の
選定
10月
期京
11月
期京
2月
1期
東
京
2月
2期
東
京
9月
期
仙
台
9月
期
大
阪
10月
期
大
垣
10月
期
福
岡
月
曜
日
夜
間
火
曜
日
夜
間
水
曜
日
夜
間
木
曜
日
夜
間
金
曜
日
夜
間
申
込
方
法
許
可
不
可
講
座
の
申
込
講
座
の
受
講
料
の
納
入
受
講
準
備
受
講
及
び
試
験
受
講
中
の
学
生
生
活
オ
ー
プ
ン
受
講
各
種
用
紙
付
録

講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

(英語 E)

岩城 久哲

- ◆**授業概要** 辞書を使用しながらも、さまざまな英文 (過去と現在の世界) を理解できるようになる。
- ◆**学修到達目標** 我々を取り巻く過去と現在の世界を表現した英文を読み理解し、その内容に関して日本語と英語でプレゼンテーションができるようになる。
- ◆**授業方法** 輪番制で担当してもらう。提供した英文を困難と感じる学生には、別途補助教材も渡すので、挫折することなく、トライしてもらいたい。同時に英語の基礎知識のチェックも行う。
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	授業内容: 概要 地震と断層 文法チェック 1 (不定詞 動名詞 分詞) 事前学修: 地殻変動について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
2 回	授業内容: 火山 文法チェック 2 (不定詞 動名詞 分詞) 事前学修: 火山について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
3 回	授業内容: 惑星と準惑星 文法チェック 3 (接続詞 時制 態 仮定法) 事前学修: 惑星と準惑星について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
4 回	授業内容: 彗星 文法チェック 4 (接続詞 時制 態 仮定法) 事前学修: 彗星について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
5 回	授業内容: 人類と火の関係 文法チェック 5 (動詞 助動詞) 事前学修: 人類と火の関係について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
6 回	授業内容: 人類の起源 文法チェック 6 (動詞 助動詞) 事前学修: 人類の起源について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
7 回	授業内容: アメリカ先住民の文化 1 文法チェック 7 (形容詞 副詞 比較) 事前学修: アメリカ先住民の文化について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
8 回	授業内容: アメリカ先住民の文化 2 文法チェック 8 (形容詞 副詞 比較) 事前学修: アメリカ先住民の文化について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
9 回	授業内容: アメリカに初めて住み着いたヨーロッパ人 1 文法チェック 9 (名詞 冠詞 代名詞 比較) 事前学修: アメリカに植民したヨーロッパ人について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
10 回	授業内容: アメリカに初めて住み着いたヨーロッパ人 2 文法チェック 10 (名詞 冠詞 代名詞 比較) 事前学修: アメリカに植民したヨーロッパ人について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
11 回	授業内容: カウボーイ 文法チェック 11 (前置詞) 事前学修: 伝説の牛追いについて調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
12 回	授業内容: アメリカ南北戦争 文法チェック 12 (前置詞) 事前学修: アメリカ南北戦争について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
13 回	授業内容: Fダグラス 文法チェック 13 (総括) 事前学修: アメリカの奴隷制度について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
14 回	授業内容: Cクーリッジ大統領 文法チェック 14 (総括) 事前学修: 1920 年代のアメリカの政治状況について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておく。
15 回	授業内容: 詩人 Eディキンソン 小説家 Eヘミングウェイ 総括 事前学修: アメリカの文学 (小説・詩) について調べておく。 事後学修: 今日の内容に関してチェックしておくと共に、今後の英語との関わりについても点検しておく。

- ◆**教科書** 担当者がプリント教材などを準備する。
- ◆**参考書**
 - 丸沼『TOEIC テスト・サプリメント 文法・語法』南雲堂 756 円 (税込) (送料 215 円)
 - 丸沼『TOEIC TEST LISTENING 550』南雲堂 756 円 (税込) (送料 215 円)

図書館等を利用して、普段から英語で表現された新聞・雑誌などに接しておく。

 - 丸沼『英語ニューハンドブック』研究社 2,132 円 (税込) (送料 500 円)
 - 『英米風物資料辞典』開拓社

〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください〉
- ◆**成績評価基準** 自分の担当したところの成果 (50%)、小テスト (25%)、プレゼン (25%)

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔行政法 I〕 オープン受講：不可

長谷川 福造

- ◆**授業概要** 本講座で取り扱う主な領域は、多様な行政活動に共通する性質や理論的基盤を構成する行政法総論である。行政法の学習を展開する際に必要な各種用語の意義や、関係法令の骨組みを解説する。
- ◆**学修到達目標** 本講義は、行政法体系の概要、特にその制度と理論を理解し、理解した内容を受講生それぞれが文章や口頭で説明できるようにすることを目標としている。行政法 I では、主に「法律による行政の原理」や行政組織・行政作用を中心に、行政法理論をできる限り平易に取り扱う。講義を踏まえて、それぞれの受講生が行政と行政法に対する関心を深め、法的観点に基づいて、行政法総論に関する事項を理論的に説明できるようになることが到達水準である。
- ◆**授業方法** 主として講義が中心となります。指定教科書を素材に、関連する領域を含めて説明を行います。基本的に指定教科書『行政法（第3版）』を冒頭から順番に進めていく予定です。場面に応じて順序を工夫して解説します。プロジェクターの使用も予定しています。講義中に掲げるスライド資料については、必要に応じて紙媒体で配付を行います。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 (1) ガイダンス (2) 行政と法、行政法の法源 事前学修 教科書 P.23 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。
2 回	授業内容 行政活動の担い手 事前学修 教科書 P.46 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。 夜間スクーリング 1 日目に実施したガイダンスと講義を踏まえ、当期の学修計画を各自で具体的に組み立て、その計画を実施していくこと。
3 回	授業内容 行政過程、法律による行政の原理 事前学修 教科書 P.58 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。
4 回	授業内容 行政手続 事前学修 教科書 P.75 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。
5 回	授業内容 行政情報管理 事前学修 教科書 P.95 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。
6 回	授業内容 行政調査 事前学修 教科書 P.100 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。 夜間スクーリング 4 日目に実施する予定の中間テストの準備を行うこと。
7 回	授業内容 中間テスト 事前学修 教科書 P.100 までを総復習して中間テストの準備をすること。 中間テストは夜間スクーリング 4 日目の後半に実施する予定であるが、4 日目の事前学修事項に照応して、本授業計画においては「第 7 回」に掲げる。 事後学修 中間テストは夜間スクーリング 4 日目の後半に実施する予定である。 したがって、4 日目の講義後の事後学修事項（本授業計画「第 8 回」）に準拠して事後学修を行うこと。
8 回	授業内容 行政行為総論 事前学修 教科書 P.109 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。
9 回	授業内容 (1) 行政裁量 (2) 中間テストの解説 事前学修 教科書 P.123 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。 中間テストの結果と解説に基づいて、当期の前半に扱った行政法に関する学修事項を復習すること。各自で自己の到達水準を照らし合わせて、夜間スクーリング初頭に組み立てた学修計画を必要に応じて修正し、当期後半に係る計画を具体的に構築し、その計画を実施していくこと。
10 回	授業内容 行政行為の瑕疵、職権取消しと撤回、附款 事前学修 教科書 P.140 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。 中間テストの解説は、夜間スクーリング 5 日目の後半に実施する予定であることから、5 日目の講義後の事後学修は、本授業計画「第 9 回」及び「第 10 回」に基づいて行うこと。
11 回	授業内容 行政立法 事前学修 教科書 P.150 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。
12 回	授業内容 行政規則 事前学修 教科書 P.153 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。
13 回	授業内容 行政計画 事前学修 教科書 P.163 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。
14 回	授業内容 行政指導 事前学修 教科書 P.172 までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。 事後学修 講義で説明した内容を、教科書と各自の手控え等に基づいて復習すること。 夜間スクーリング 8 日目に実施する最終試験の準備をすること。 また、夜間スクーリング 7 日目までに、当期で説明してきた行政法 I の分野に関する総合的な解説を実施することから、時宜に応じてその復習も実施すること。特に、所定の法律上の問い掛けに対して、一定の時間内で理論的な文章や適切な文章を記述して解答を作成するために必要な読解力・思考力・知識・表現力を向上させること。
15 回	授業内容 行政法 I の総復習 事前学修 教科書と各自の手控え等に基づいて、教科書 P.172 までを総復習すること。 事後学修 当期の講義で説明した内容を復習すること。期末試験の準備をすること。

- ◆**教科書** 通材『行政法 I・II：K30900・K31000』通信教育教材（教材コード 000565）3,800 円（送料込）
 〈この教材は市販の『行政法 第 3 版（Next 教科書シリーズ）』池村正道編（弘文堂）（2017 年）と同一です。〉
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提にします。講義の際に実施する中間テスト（40%）及び最終試験（60%）で総合的に判断します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定
10月
期
東京
11月
期
東京
2月
1期
東京
2月
2期
東京
9月
期
仙台
9月
期
大阪
10月
期
大垣
10月
期
福岡
月
曜日
夜
間
火
曜日
夜
間
水
曜日
夜
間
木
曜日
夜
間
金
曜日
夜
間
申
込
方
法
講
座
の
許
可
受
講
料
の
納
入
受
講
準
備
受
講
及
び
試
験
受
講
料
の
納
入
生
活
受
講
の
受
講
各
種
用
紙
付
録

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔宗教学概論〕

富田 真浩

◆**授業概要** クリスマスやハロウィーンなど、本来の意義とは逸れていても日本人になじみのある宗教となっているキリスト教。キリスト教は、現在世界で最多の信者数を獲得する宗教となっている。そのキリスト教の成立の背景となったユダヤ教とキリスト教、そして姉妹の宗教とされるイスラームを宗教学的視点から学習する。その理解のために、本講義の主要なテーマとなっていない神道や仏教の内容もテキストで学習しておくことが望ましい。

◆**学修到達目標** 三大一神教の思想を宗教学的視点から学ぶことで、他の宗教に対しても学問的に観察する力を身につけることを第一の目標とし、自らの周りにある宗教的要素に目を向け、学問的・客観的に観察する宗教学的態度で、本講義で学習する三大一神教を理解する上で重要な用語や基本的な思想を把握し、その他の宗教との相違点を比較研究することができるようになることを第二の目標とする。

◆**授業方法** 教科書の内容を解説する講義形式で授業を進めることを中心とする。また、毎回の授業で学生に記入させるリアクションペーパーの内容に今回の授業の冒頭で回答する形式をとる。受講者数や授業進捗の関係で全てに回答できない場合もあるが、自分以外の多様な考え方を知り視野を広げ、受け身の姿勢ではなく、身近な宗教に関心をもって積極的に授業参加することを望む。

◆授業計画 (各 90 分)

1回	授業内容	ユダヤ教概論 まず本授業の進め方や成績評価方法などについて説明する。ユダヤ人とは何か、三大一神教とは何かを学習します。
	事前学修	テキスト 78～81 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
2回	授業内容	ユダヤ教の歴史 (1) と救いのシステム ユダヤ教の起源となる宗教から古代のユダヤ教成立までについて学習します。
	事前学修	テキスト 82～83、88～89 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
3回	授業内容	ユダヤ教の歴史 (2) 中世におけるユダヤ教の展開について学習します。
	事前学修	テキスト 84～85 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
4回	授業内容	ユダヤ教の歴史 (3) 近現代のユダヤ教の展開について学習します。
	事前学修	テキスト 86～87 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
5回	授業内容	キリスト教概論 キリスト教とはどのような宗教か。正統派とされる主要な教説である三位一体論について解説する。
	事前学修	テキスト 36～39 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
6回	授業内容	キリスト教の聖書 旧約聖書と新約聖書、四つの福音書について解説します。
	事前学修	テキスト 40～41 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
7回	授業内容	キリスト教の救いのシステム キリスト教の基本的な救われる仕組みと宗教行動などについて解説します。
	事前学修	テキスト 44～47 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
8回	授業内容	キリスト教の宗派 (1) 東方教会と東方諸教会について解説します。
	事前学修	テキスト 48～49 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
9回	授業内容	キリスト教の宗派 (2) ローマカトリック教会とプロテスタント諸教会について解説します。
	事前学修	テキスト 50～53 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
10回	授業内容	キリスト教の歴史 (1) 中世から近代までのキリスト教史の概要を学習します。
	事前学修	テキスト 54～57 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
11回	授業内容	キリスト教の歴史 (2) 近現代のキリスト教系新宗教と日本への伝道について学習します。
	事前学修	テキスト 58～61 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
12回	授業内容	イスラーム概論と救いのシステム イスラームとはどのような宗教か、その概要を三大宗教の比較を通して説明します。
	事前学修	テキスト 62～63、74～77 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
13回	授業内容	イスラームの開祖 イスラームの開祖であるムハンマドの生涯について学習します。
	事前学修	テキスト 64～67 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
14回	授業内容	イスラームの歴史 (1) イスラーム帝国の発展から近代までのイスラームの歴史について学習します。
	事前学修	テキスト 68～71 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、図書館などで調べて理解しておくこと。
15回	授業内容	イスラームの歴史 (2) イスラーム復興運動と現代の動向について学習します。
	事前学修	テキスト 72～73 頁を熟読しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し、分からない単語等があれば、その場で教員に質問をし、試験に備えること。

◆**教科書** 丸沼『エッセンシャル版 図解 世界5大宗教全史』中村圭志 ディスカバー・トゥエンティワン 1,296 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 通材『宗教学概論 P30400』通信教育教材 (教材コード 000139) 1,850 円 (送料込)

◆**成績評価基準** 毎回配布するリアクションペーパーを中心として授業への取り組みを平常点として評価します (40%)。なお、毎回出席することを前提として評価します。最後の授業で試験を実施します (60%)。試験は教科書・ノート等すべて持ち込み不可とします。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史入門〕

八馬 朱代

- ◆**授業概要** 日本史研究の基本は、史料に基づいて歴史を考察することにあります。本講義では、各時代の様々な史料の利用方法や特色について説明した上で、古代から近現代の制度、政治、経済、事件などについて史料を用いて解説していきます。史料を通して、歴史の様々な事柄を考察することにより、日本史を研究するために必要な知識や研究姿勢を学んでいきます。
- ◆**学修到達目標** 日本史を学ぶ意義や古代から現代までの史実やその解釈に至る方法を学び、史・資料を使用して日本史を学ぶための研究方法の知識を修得し、日本史研究の基礎知識や姿勢を修得することをめざします。史学専攻の学生が卒業論文作成のために必要な日本史研究の基礎知識を修得することを目的とします。教職をめざす学生にも参考になると思います。
- ◆**授業方法** 配布したプリントを使用する講義形式です。日本史研究の基礎となる史料を説明し、それぞれの時代の政治、制度や事件などを取り上げ、史料を使用して解説していきます。授業内で参考文献や史料を紹介するので、各自、図書館で実際に手にとってみるよう心がけてください。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	授業の進め方・オリエンテーション・歴史を学ぶこと・史料について 最初に授業の進め方を説明する。次に歴史を学ぶ意味、歴史を学ぶための基本的な知識を説明し、史料について解説する。
	事前学修	日本史の通史的な理解が必要なため、『日本の歴史』（講談社、集英社、小学館）などから関心のあるところを読み、日本史の理解を深めておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、配付資料を読み、授業内容を確認しておくこと。
2 回	授業内容	奈良時代の史料・制度について 奈良時代の史料を説明し、律令制度や政治について史料を使用して学ぶ。
	事前学修	『日本の歴史』などの概説書の奈良時代の部分を読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認し、ノートを整理しておくこと。
3 回	授業内容	奈良時代の事件・社会について 奈良時代の事件・社会について、史料を通して学ぶ。
	事前学修	配布資料の該当部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認し、授業内で扱った史料を読んで確認しておくこと。
4 回	授業内容	平安時代前期の史料と制度、政治について 平安時代の史料を解説し、制度の変化、政治について史料を使用して学ぶ。
	事前学修	配布資料と『日本の歴史』などの概説書の平安時代の部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認し、ノートを整理しておくこと。
5 回	授業内容	平安時代後期の史料と政治、社会について 平安時代の史料を説明し、政治状況や社会の変化について史料を通して学ぶ。
	事前学修	配布資料の該当部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認し、授業内で扱った史料を読んでおくこと。
6 回	授業内容	鎌倉時代の史料と制度、政治について この時代の政治、制度などについて、具体的な史料を使って学ぶ。
	事前学修	配布資料と『日本の歴史』などの概説書の鎌倉時代の部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認して、ノートを整理しておくこと。
7 回	授業内容	鎌倉時代の事件、社会について この時代の事件や社会の動きについて、史料を使用して学ぶ。
	事前学修	配布資料の該当部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認し、授業内で扱った史料を読んで確認すること。
8 回	授業内容	南北朝期の史料と政治、制度について 南北朝期の史料を解説して、当該期の政治、制度について史料を通して学ぶ。
	事前学修	配布資料と『日本の歴史』などの概説書の室町時代の部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認して、ノートを整理しておくこと。
9 回	授業内容	室町時代の史料と政治、制度、社会について 室町時代の史料を説明し、当該期の政治、制度、社会について学ぶ。
	事前学修	配布資料の該当部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認し、授業内で扱った史料を読んで確認すること。
10 回	授業内容	戦国・江戸時代前期の史料と政治、制度について 戦国・江戸時代前期の史料を解説し、この時代の政治や制度について史料を使って学ぶ。
	事前学修	配布資料と『日本の歴史』などの概説書の戦国・江戸時代の部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認して、ノートを整理しておくこと。
11 回	授業内容	江戸時代後期の史料と政治、社会について 江戸時代後期の史料を解説し、この時代の政治、社会、外交について史料を使用して解説する。
	事前学修	配布資料の該当部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認し、授業内で扱った史料を読んで確認すること。
12 回	授業内容	近現代の史料について 幕末期や明治、大正、昭和の史料を解説し、当該期の政治について史料を通して学ぶ。
	事前学修	配布資料と『日本の歴史』などの概説書の明治～昭和（戦後まで）の部分の部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認し、授業内で扱った史料を読んで確認すること。
13 回	授業内容	近現代の制度、社会、事件について 明治、大正、昭和の制度や社会、事件について、史料を使用して学ぶ。
	事前学修	配布資料の該当部分を事前に読んでおくこと。
	事後学修	資料と授業内容を確認して、ノートを整理しておくこと。
14 回	授業内容	理解度の確認
	事前学修	配布した資料を熟読し、重要な部分についてノートをまとめておくこと。
	事後学修	要点を再確認し、授業内容をノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	前回の授業で指摘した部分をノートにまとめておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し理解して、自身の卒論のテーマについて考えてみること。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕当日、プリントを配布します。
- ◆**参考書** 授業中に適宜紹介します。
『詳説日本史史料集』 山川出版社（購入しなくてよいです）
- ◆**成績評価基準** テスト 70% 平常点・小テスト 30% ※毎回出席することを前提として、総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔社会政策論 / 社会政策〕 オープン受講：不可

藤本 知彦

◆**授業概要** 社会政策は、労働政策、社会保障等を対象領域としています。中でも社会保障は、少子高齢化の進行等を背景として大きな転換期を迎えており、将来に向けた制度改革が最重要政策課題の一つとなっています。本講義では、社会政策と社会保障の基礎概念の理解を踏まえ、社会保障の歴史の変遷と現在の制度改革、社会経済状況の変化と社会保障との関係について学習します。

◆**学修到達目標** 1. 社会保障制度の変遷と現状について、社会的・経済的背景を踏まえて説明できる。
2. 社会保障・税一体改革の背景と概要を説明できる。

◆**授業方法** 基本的に講義形式で行います。指定テキストを参照しながら授業を進めますので、毎回持参してください。

◆**履修条件** 2018 年度夜間スクーリング（秋期）「社会政策論 / 社会政策」との積み重ね不可

◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容：ガイダンス、社会政策の概要（社会政策の意義、対象領域） 事前学修：シラバスを読んで授業の概要を理解しておくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
2 回	授業内容：労働政策の基礎：労働基準（賃金・労働時間等）、雇用保障、労働組合 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
3 回	授業内容：社会保障の基礎 1：社会保障と社会保険との関係、医療保険・介護保険の基礎概念 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
4 回	授業内容：社会保障の基礎 2：年金保険・労災保険・雇用保険の基礎概念 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
5 回	授業内容：社会保障の歴史 1：社会保障の生成と発展 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
6 回	授業内容：社会保障の歴史 2：社会保障制度の変遷（～昭和 20 年代） 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
7 回	授業内容：社会保障の歴史 3：社会保障制度の変遷（昭和 30 年代～ 40 年代） 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
8 回	授業内容：社会保障の歴史 4：社会保障制度の変遷（昭和 50 年代～平成 10 年） 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
9 回	授業内容：社会保障の歴史 5：社会保障制度の変遷（平成 10 年代） 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
10 回	授業内容：社会保障の歴史 6：社会保障制度の変遷（平成 20 年代前半） 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
11 回	授業内容：社会保障の歴史 7：社会保障制度の変遷（平成 20 年代後半） 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
12 回	授業内容：現代社会と社会保障 1：社会保障を取り巻く社会経済状況の変化 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
13 回	授業内容：現代社会と社会保障 2：社会保障・税一体改革の概要 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
14 回	授業内容：まとめ 事前学修：テキスト・参考書等のこれまでの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
15 回	授業内容：試験・解説 事前学修：これまでの学習内容の整理・定着を図ること。 事後学修：本講義を通して学んだ内容の理解を深める。

◆**教科書** 丸沼『社会保障法令便覧 2019』 社会保障法令便覧編集委員会編 労働調査会 1,944 円（税込）（送料 500 円）

◆**参考書** 授業時に適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、授業参加度と試験により総合的に評価します。
評価に関する詳細は初回授業時に説明します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国際金融論〕

谷川 孝美

◆**授業概要** この講義では、国際的な金融取引が行われる国際金融市場、外国為替取引が行われる外国為替市場、外国為替制度や国際収支などの国際金融に関する基礎的な事柄や、国際金本位制、IMF 体制などの国際通貨制度の歴史的な変遷、通貨危機問題などを学び、これらの理解をつうじて、現代の国際金融問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆**学修到達目標** 本講義では、国際金融および国際金融制度に対する理解を目指し、以下のことを具体的な目標とする。
 1. 国際金融市場、外国為替市場、国際収支などの国際金融に関する基礎を理解し、説明することができるようになる。
 2. 国際金本位制、IMF 体制などの国際通貨制度の歴史的変遷を理解し、説明できるようになる。
 3. 通貨危機、世界的な金融経済危機などの国際金融問題を理解し、説明できるようになる。

◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基礎的な概念や国際金融制度について平易な解説をする予定です。なお、授業計画を授業日数にあわせて分割しますが、講義の進捗状況によっては前後することもあります。また、為替レート決定などの国際金融理論の詳細については取り扱いません。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：授業の進め方・オリエンテーション・国際金融論の対象と課題 事前学修：テキストの「はしがき」をよく読むこと。 事後学修：授業内で用いられた専門用語や説明を確認し、理解すること。
2 回	授業内容：外国為替の仕組み 事前学修：テキスト第 1 章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
3 回	授業内容：外国為替市場と為替レート 事前学修：テキスト第 2 章をよく読んでおくこと。また、新聞などで為替レートの変化を調べておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
4 回	授業内容：国際収支統計と対外取引 事前学修：テキスト第 4 章をよく読んでおくこと。また、事前に配布する資料を良く確認しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時紹介する資料を確認すること。
5 回	授業内容：国際通貨制度の変遷 1（金本位制） 事前学修：テキスト第 7 章第 1、2 節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
6 回	授業内容：国際通貨制度の変遷 2（国際金本位制） 事前学修：テキスト第 7 章第 3、4 節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
7 回	授業内容：国際通貨制度の変遷 3（IMF 体制） 事前学修：テキスト第 8 章第 1、2 節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
8 回	授業内容：国際通貨制度の変遷 4（変動相場制、為替フロート） 事前学修：テキスト第 8 章第 3、4 節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
9 回	授業内容：経済通貨同盟と欧州単一通貨ユーロ 事前学修：テキスト第 9 章第 1、2、3 節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
10 回	授業内容：欧州中央銀行と欧州連合（EU） 事前学修：テキスト第 9 章第 3、4 節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時紹介する資料を確認すること。
11 回	授業内容：国際金融市場 事前学修：テキスト第 10 章をよく読んでおくこと。また、第 2、3、4 回の講義を確認しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
12 回	授業内容：国際協調と BIS 規制 事前学修：テキスト第 11 章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
13 回	授業内容：通貨危機と国際通貨制度改革 事前学修：テキスト第 12 章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
14 回	授業内容：理解度の確認 事前学修：配布された資料を熟読し、内容を確認しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書などで、講義内容をよく確認し理解すること。
15 回	授業内容：試験および解説 事前学修：前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修：今回の授業内容を再確認し、理解を深めること。

◆**教科書** 教材『国際金融論 S31200』通信教育教材（教材コード 000432）2,300 円（送料込）
〔当日資料配布〕必要に応じて当日プリント配布

◆**参考書** 丸沼『国際金融のしくみ 第 4 版（有斐閣アルマ）』秦忠夫・本田敬吉・西村陽造編 有斐閣 2,160 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『身近に感じる国際金融』飯島寛之・五百旗頭真吾・佐藤秀樹・菅原歩 有斐閣 1,944 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『国際金融論をつかむ』橋本優子・小川英治・熊本方雄 有斐閣 2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、小テストや平常点などにより総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 火曜日	時間	18:30～21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 〈試験を含む〉
		10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17

※以下の火曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位数	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受オープン講
				科目コード	科目名	併用	配当学年	受 講 条 件	
B2B1	哲 学	小 山 英 一	2	B10700	哲 学		1年		
B2B2	英 語 F	パトリック マッコイ	1	C10100	英 語 I	×	1年 2年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
B2B3	刑 法 II	上 野 幸 彦	2	K30800	刑 法 II		2年		
B2B4	英米文学演習D	石 川 勝	1	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
B2B5	中 小 企 業 論	小 林 世 治	2	S32700	中 小 企 業 論		2年		
B2B6	教 育 制 度 論	高 木 加 奈 絵	2	T20200	教 育 制 度 論	×	2年	・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
B2B7	英語科教育法 I B	佐 藤 恵 一	2	T20900	英語科教育法 I	×	2年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
				T23800	英語科教育法 I (新 免)				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学〕

小山 英一

- ◆**授業概要** 「哲学」という言葉の成り立ちと意味。西欧古代ギリシアの哲学思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、西洋近代の哲学思想（デカルト、ベーコン、カント、ベンサムとミル）を講義する。
- ◆**学修到達目標** 「哲学」の言葉の意味を説明できるようになる。古代ギリシアから近代までの西欧哲学の哲学思想の基本を説明できるようにする。さらに物事を、疑いの心をもって（批判的に、クリティカルに）、多面的に考えることができるようになる。
- ◆**授業方法** 下記の教科書（＋配布プリント）を中心に講義形式で行う（教科書を必ず購入すること。持っていない人は講義も試験も受けることはできない）。教科書を（指名して）読んでもらう（ゆっくり読みながら授業を進めていく）。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	「哲学」という言葉の成立とその意味について説明する。 テキストの 10 頁、93 頁、181 頁を読んでおくこと。 「哲学」の基本的な用語を押さえておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	ソフィストたち、特にゴルギアス、プロタゴラスらがどのような思想をもっていたかを説明する。 テキストの 184 頁、96 頁～98 頁、22、23 頁を読んでおくこと。 ソフィスト、ゴルギアス、プロタゴラスの主張をまとめておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	ソフィストたちに対してソクラテスはどのような問いを発したかを説明する。 テキストの 24 頁を読んでおくこと。 ソクラテスが魂のあり方をどう考えたかを理解しておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	ソクラテスはどのような目的でディアレクティケー（問答法）をおこなったかを説く。 テキストの 98 頁～99 頁を読んでおくこと。 「無知の知」「汝自身を知れ」「問答法」「産婆術・助産術」を理解しておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	ソクラテスは真の人間になるために、真の哲学者となるために生と死についてどのように考えたかを説明する。 テキストの 185 頁～186 頁を読んでおくこと。 「魂の世話」、ソクラテスの「生き方、死に方」、哲学の意味を理解しておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	プラトンのイデア論とはどのような主張なのかを説明する。 テキストの 25 頁～30 頁を読んでおくこと。 「認識の根拠」「存在の根拠」「価値の根拠」としてのイデアを理解しておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	プラトンは魂は不死だと考えているそれはどのようなことなのかを説明する。 テキストの 30 頁～31 頁を読んでおくこと。 プラトンはイデア論に基づいて魂をどのようなものと考えたかを理解しておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	プラトンはエロース（真知・イデアへの憧憬）として想起説について説いている。プラトンはイデアを想起することをどのように考えているかを説明する。 テキストの 99 頁～100 頁を読んでおくこと。 プラトンがイデア論に基づいてイデアをどのように捉えるかを理解しておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	プラトンが説く「死の練習」と哲人政治論、理想国家論について説明する。 テキストの 187 頁～188 頁を読んでおくこと。 「洞窟の比喩」の意味を押さえておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	アリストテレスが説く存在論と実体論、学問論と論理学、幸福説について説明する。 テキストの 32 頁～39 頁、100 頁～102 頁、189 頁～190 頁を読んでおくこと。 アリストテレスが存在、幸福、道徳どのように考えたかを押さえておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	デカルトは「神」についてどのように考えていたか、またデカルトの物心二元論、方法的懐疑、演繹法について説明する。 テキストの 64 頁～67 頁、114 頁～115 頁（217 頁）を読んでおくこと。 デカルトの「我おもう、我あり」の意味を理解しておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	ベーコンは中世のものからの見方から、自然科学への物の見方へと移行するためにイドラ論と帰納法を説いている。これらについて説明する。 テキストの 111 頁～120 頁を読んでおくこと。 ベーコンは自然を捉えるためにどのような方法をとったかを押さえておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	カントは人間理性のあり方と道徳法則について説いている。カントの認識論と徳論について説明する。 テキストの 76 頁～78 頁、126 頁～128 頁、225 頁～227 頁を読んでおくこと。 カントは認識論と道徳哲学について理解しておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	現代のものへの考え方に大きな影響をあたえたベンサムとミルの功利主義と自由について説明する。 テキストの 228 頁～230 頁を読んでおくこと。 功利主義とはどのような考え方なのかを押さえておくこと。講義の内容をノートに整理し理解しておくこと。自分なりの見解をまとめておくこと。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	授業の理解度を測るための試験とその試験の解説をする。 1 回から 14 回までの内容を試験に合わせて総復習しておくこと。 解説を通じて試験の内容を再確認し、理解の内容を深めること。

- ◆**教科書** 教材『哲学 B10700』通信教育教材（教材コード 000404）3,650 円（送料込）
〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齋藤隆（北樹出版）と同一です。〉
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 試験（80%、記述式 2 問）、授業参画度（20%）（発表、授業への参加など）により総合的に評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語 F〕

パトリック マッコイ

◆**授業概要** This course will focus on improving the students four skills abilities with a number of activities that give students practice speaking, reading, writing and listening.

◆**学修到達目標** 1. To use English for communication with a focus on fluency.
2. To review basic language to talk about general themes.
3. To reduce student apprehension towards communicating in English.

◆**授業方法** Students will have a variety of opportunities to improve their English skills in the four areas: speaking, listening, reading, and writing.

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 : Orientation: Introductions, Getting To Know You, etc. 事前学修 : None 事後学修 : Preview first unit.
2 回	授業内容 : Unit 1: Lesson A 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
3 回	授業内容 : Unit 1: Lesson B 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
4 回	授業内容 : Unit 2: Lesson A 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
5 回	授業内容 : Unit 2: Lesson B 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
6 回	授業内容 : Unit 3: Lesson A 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
7 回	授業内容 : Unit 3: Lesson B 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
8 回	授業内容 : Unit 4: Lesson A 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
9 回	授業内容 : Unit 4: Lesson B 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
10 回	授業内容 : Unit 5: Lesson A 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
11 回	授業内容 : Unit 5: Lesson B 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
12 回	授業内容 : Unit 6: Lesson A 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
13 回	授業内容 : Unit 6: Lesson B 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review today' s lesson. Preview next unit.
14 回	授業内容 : Unit 7: Lesson A 事前学修 : Preview this unit. 事後学修 : Review all previous units for test.
15 回	授業内容 : Test 事前学修 : Preview all units for test. 事後学修 : None

◆**教科書** 丸通『Pathways 1: Listening, Speaking, and Critical Thinking Chase & Folse』ISBN-13: 978-1-133-30767-9 3,466 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** Participation 70% Test 30%

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔刑法Ⅱ〕

上野 幸彦

◆**授業概要** 現代社会の状況・展開を踏まえて、新たに生起する課題に対して、刑法がどのように対応し、刑事規制を図っているのかという観点から、立法的な動向と適用例について学び、今日的な問題に対する刑法の取り組みについての理解を深めることを目指す。

◆**学修到達目標** ICT の高度化、グローバル化等により、国際的な取り組みの必要性が一層強くなるのにもない、国内刑法の対応も要請される中、日本の刑法も進化を遂げており、とくにこのような場面における刑法の対応を学修するプロセスを通じ、伝統的な刑事規制の限界を理解し、社会状況の大きな変化に対応する刑事立法の知識に基づいて、新たな問題に対しても刑法上の犯罪の成否を判断できるようにする。

◆**授業方法** テキスト、スライド等に基づきながら、授業を行う。

◆**履修条件** 2018 年度秋期夜間スクーリング（秋期）「刑法Ⅱ」との積み重ね不可

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 犯罪のタイポロジー：犯罪のタイプによる類型化 事前学修 テキスト 59～64 頁を参照し、法益に基づく分類を概観しておく。 事後学修 犯罪タイプ別の分類に適用される刑法典・特別刑法上の規定を確認する。
2 回	授業内容 日本の犯罪情勢：現在の犯罪情勢の特徴について学ぶ。 事前学修 平成 30 年の警察白書により、犯罪情勢をチェックする。 事後学修 現在の日本の犯罪情勢の特徴をまとめる。
3 回	授業内容 交通犯罪（1）：交通犯罪の推移を概観し、要因について分析する。 事前学修 平成 30 年の犯罪白書により、交通犯罪の推移をチェックする。 事後学修 減少傾向の要因として考えられることを整理する。
4 回	授業内容 交通犯罪（2）：自動車運転死傷処罰法について学ぶ。 事前学修 自動車運転死傷処罰法の規定をチェックする。 事後学修 飲酒による運転の場合に適用される規定を整理する。
5 回	授業内容 性犯罪：強制わいせつ・強制性交等罪について学ぶ。 事前学修 強制性交等罪の条文をチェックする。 事後学修 強制性交等罪導入の背景やその特徴を整理する。
6 回	授業内容 児童ポルノ・私事性的画像の刑事規制： 事前学修 児童ポルノ、リベンジポルノを規制する刑事立法をチェックする。 事後学修 児童ポルノの流通阻止を図る方策について検討する。
7 回	授業内容 コンピュータ利用と財産犯罪： 事前学修 電子計算機使用詐欺罪の構成要件をチェックする。 事後学修 口座データへの不正アクセスによる不正送金事案の罪責を検討する。
8 回	授業内容 知的財産権を侵害する犯罪： 事前学修 知的財産権とは何かをチェックする。 事後学修 企業秘密の保護についてまとめる。
9 回	授業内容 経済犯罪：会社法・独占禁止法・金融商品取引法違反を中心に学ぶ。 事前学修 最決平成 17 年 11 月 21 日の事案概要、争点、判旨をまとめる。 事後学修 特別背任罪に問われたケースを整理する。
10 回	授業内容 企業のコンプライアンスと犯罪： 事前学修 最決平成 24 年 2 月 8 日の事案概要、争点、判旨をまとめる。 事後学修 製造物責任と企業の刑事責任について検討する。
11 回	授業内容 サイバー犯罪（1）：サイバー犯罪条約と国内法の整備について学ぶ。 事前学修 サイバー犯罪条約の規定をチェックする。 事後学修 サイバー攻撃における犯罪の成立について整理する。
12 回	授業内容 サイバー犯罪（2）：サイバー関連の処罰規定について学ぶ。 事前学修 平成 30 年の犯罪白書により、サイバー犯罪の情勢をチェックする。 事後学修 本年上半期の情勢について分析する。
13 回	授業内容 組織犯罪（1）：組織犯罪処罰法を中心に学ぶ。 事前学修 2017 年の組織犯罪処罰法改正のポイントをチェックする。 事後学修 平成 30 年の警察白書により、組織犯罪の情勢について分析する。
14 回	授業内容 組織犯罪（2）：犯罪収益移転防止法を中心に学ぶ。 事前学修 警察庁の「犯罪収益移転防止法等の概要」を閲覧しておく。 事後学修 マネーロンダリングの規制に関する仕組みを整理する。
15 回	授業内容 試験と解説：授業のまとめとしての試験とその解説を行う。 事前学修 これまでの授業の復習をする。 事後学修 誤答をチェックして、見直しを行う。

◆**教科書** 関沼『刑事法入門』上野幸彦・太田茂 成文堂 2,376 円（税込）（送料 350 円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 提出レポート（5 回）：35%、リアクションペーパー（5 回）：20%、試験：45%

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英米文学演習D〕

石川 勝

- ◆**授業概要** 英米の短編小説を読み、時代背景を踏まえて、特に行間を読む、すなわち文章に書かれていない部分を理解できるようにする。
- ◆**学修到達目標** 第一に作品を正確に訳せるようになる。その上で文章に書かれていない部分を推測できるようになる。最終的に作品全体が理解できることを目標とする。
- ◆**授業方法** 事前に和訳しておくか所を指示するのでそこを全訳しておくこと。授業中はアトランダムに指名して訳してもらう。予習していない場合は単位を認めない。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：The Strawberry Season を読む 事前学修：p.15～19 を全訳しておく 事後学修：訳の訂正
2 回	授業内容：The Strawberry Season 続き、作品の解釈 事前学修：予習した箇所を読みなおす 事後学修：作者について少し調べてみる
3 回	授業内容：The End of Something を読む 事前学修：指示された箇所の和訳 事後学修：訳の訂正
4 回	授業内容：The End of Something 続き 事前学修：指示された箇所の和訳 事後学修：作者について調べてみる
5 回	授業内容：The End of Something 続き 事前学修：指示された箇所の和訳 事後学修：訳の訂正
6 回	授業内容：The End of Something 作品解釈 事前学修：作品を読み返す 事後学修：自分の作品解釈を考える
7 回	授業内容：A Rose for Emily について説明 事前学修：指示された箇所を訳しておく 事後学修：訳の訂正
8 回	授業内容：A Rose for Emily 続き 事前学修：作者について少し調べてみる 事後学修：訳の訂正
9 回	授業内容：A Rose for Emily 続き 事前学修：指示された箇所を訳しておく 事後学修：訳の訂正
10 回	授業内容：半分読み終わった時点での解釈 事前学修：指示された箇所を訳しておく 事後学修：自分の解釈を考えてみる
11 回	授業内容：A Rose for Emily 続き 事前学修：指示された箇所を訳しておく 事後学修：訳の訂正
12 回	授業内容：A Rose for Emily 続き 事前学修：指示された箇所を訳しておく 事後学修：訳の訂正
13 回	授業内容：A Rose for Emily 続き 事前学修：指示された箇所を訳しておく 事後学修：訳の訂正
14 回	授業内容：A Rose for Emily を読み終える 事前学修：指示された箇所を訳しておく 事後学修：作品の内容を振り返ってみる
15 回	授業内容：作品解釈 事前学修：自分の解釈をまとめておく 事後学修：得たもの、反省点を整理する

- ◆**教科書** 丸沼『愛の珠玉作品集』朝日出版社 1,080 円（税込）（送料 215 円）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 毎回の予習と皆出席を前提として。試験の結果で成績をつける。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔中小企業論〕

小林 世治

◆**授業概要** グローバル化時代の地域振興を担う、中小企業の多面的な役割と課題について学びます。とくに「多国籍化」する大企業と異なり、地域（経済）に密着する中小企業の特性とその可能性を探ります。

◆**学修到達目標** 1. 具体例を調査し、分析と検討を加え、地域ごとの差異や特徴に応じた政策を考えることができます。
2. 文化性に富んだ「デザイン志向」の、地域と産業に関する構想力を身につけます。

◆**授業方法** 前半はパワーポイント等を使って概略を説明し、後半は受講生と質疑応答やディスカッションを行います。とくに8回・10回・12～14回は、教科書2を使いディスカッションを多く行いたい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容：授業概要：中小企業の定義とそれが日本経済に占める地位・役割を概観する。 事前学修：教科書1・序章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
2回	授業内容：日本経済と中小企業：中小企業の現状を、『中小企業白書』などを参照し概観する。 事前学修：「中小企業白書 2019 年版を概観し質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
3回	授業内容：大企業と中小企業：大企業との比較また関係性によって中小企業の「構造的」特徴を掴む。 事前学修：教科書1・第2章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
4回	授業内容：下請けシステム：日本型生産システムの重要部分。その光と影を歴史的に追っていく。 事前学修：教科書1・第5章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
5回	授業内容：国際化と中小企業：グローバル化の課題は海外進出だけではない。「内なる国際化」の意義を明らかにする。 事前学修：教科書1・第6章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
6回	授業内容：地域経済と中小企業：地域経済と強く結びつく中小企業の存立条件・意義を確認する。 事前学修：教科書1・第3章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
7回	授業内容：地域経済学への誘い：日本における地域経済論の系譜と、最近の政策課題について概観する。 事前学修：最近の地域経済に関するトピックを調べておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
8回	授業内容：ローカル志向の時代：商店街・街づくりから現在の消費や働き方の変化、人口移動など新たな動きに注目する。 事前学修：教科書2・第1章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
9回	授業内容：起業と経済活性化：日本でなぜ企業活動が「不振」なのかを考える。 事前学修：教科書1・第13章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
10回	授業内容：「新たな自営」とローカル性：「帰属」の変化・多様化そして人々が集う「場」の意義を考える。 事前学修：教科書2・第2章をよく読んで、教科書1の該当箇所と比較する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
11回	授業内容：産業集積論：その定義と日本における「縮小」の実態を概観する。 事前学修：教科書1・第8章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
12回	授業内容：都市のものづくり：連携しネットワークを組む都市中小企業の新動向を探る。 事前学修：教科書2・第3章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
13回	授業内容：地域産業とまちづくり：波佐見焼やマイセンなどの事例から考える。 事前学修：教科書2・第4章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
14回	授業内容：地域経営のセンス：「価値創造」の場としての地域と、そこでの中小企業の役割を考える。 事前学修：教科書2・第5章をよく読んで質問を準備する。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、何がポイントか自ら考えること。
15回	授業内容：試験と解説 事前学修：前回の授業内で予告した学習のポイントやキーワードを調べ準備する。 事後学修：「解説」を参考に自らの答えを振り返り、今後の学習課題を明らかにする。

◆**教科書** 丸沼『中小企業・ベンチャー企業論（新版）』植田浩史ほか著 有斐閣 2,592 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『ローカル志向の時代』松永桂子著 光文社 799 円（税込）（送料 215 円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 平常点（発表・課題など）40%、最終日試験 60%

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔教育制度論〕

高木 加奈絵

◆**授業概要** 学校での教育活動には、意外にも多くの法律や制度が関わっている。そこで教員を目指す皆さんが知っておくべき「教育制度」や法的知識を、法令や判例、ケーススタディを通して習得することを目指す。

◆**学修到達目標** 1. 教育制度や教育法に関する基礎的知識を理解し、説明することができる。
2. 学校制度や教育行政・学校経営の仕組みを理解できる。
3. 学校と地域との連携のあり方を考察できる。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で行うが、場合によってはグループディスカッションを行う。

◆授業計画（各90分）

1回	授業内容: ガイダンス—なぜ教育制度を学ぶ必要があるのか？— 事前学修: シラバスをよく読み、かつ持参すること。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
2回	授業内容: 法令や判例の重要性と基礎的語句の習得 事前学修: 前回の授業ノートを確認し、出て来た法を一読しておくこと。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
3回	授業内容: 教育基本法の制定 事前学修: 「必携教職六法」にある旧教育基本法を一読しておくこと。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
4回	授業内容: 教育基本法の改正 事前学修: 「必携教職六法」にある現行の教育基本法を一読しておくこと。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
5回	授業内容: 教育委員会制度 事前学修: 何らかの形で教育委員会について調べ、何となくのイメージをもってくること。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
6回	授業内容: 変わる教育委員会制度 事前学修: 何らかの形で教育委員会について調べ、何となくのイメージをもってくること。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
7回	授業内容: 教科書検定制度 事前学修: 「必携教職六法」にある「教科用図書検定規則」を一読してくること。 事後学修: どの法規に何が書かれているのかをまとめておくこと。
8回	授業内容: 教育課程行政と教科書検定に関する諸判例 事前学修: 「必携教職六法」にある「伝習館高校事件最高裁判決」を一読してくること。 事後学修: 諸判例の論点をまとめておくこと。
9回	授業内容: 教員の資格・選考と教育法 事前学修: 「教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法」の該当ページを一読してくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。
10回	授業内容: 教員の身分と教育法 事前学修: 「教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法」の該当ページを一読してくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。
11回	授業内容: 教員の分限・懲戒・服務と教育法（1） 事前学修: 「教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法」の該当ページを一読してくること。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
12回	授業内容: 教員の分限・懲戒・服務と教育法（2） 事前学修: 「教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法」の該当ページを一読してくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。
13回	授業内容: 変わる学校経営—PDCAサイクルに着目して— 事前学修: PDCAサイクルについて何らかの形で調べてくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。
14回	授業内容: 変わる学校—学校選択制度・開かれた学校づくりに着目して— 事前学修: 学校選択制度、開かれた学校づくりについて、何らかの形で調べてくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。
15回	授業内容: 学校安全と教育法 事前学修: 「教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法」の該当ページを一読してくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。

◆**教科書** **当日資料配布**

◆**参考書** **丸沼**『法学シリーズ 職場最前線⑤ 教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法』篠原清昭
ミネルヴァ書房 2013年 3,024円（税込）（送料350円）
丸沼『必携教職六法（2019年度版）』高見茂他 共同出版 2018年 2,376円（税込）（送料500円）

◆**成績評価基準** 1. 授業後の小レポート（毎回）（30%）
2. 授業での積極的な発表・発言（20%）
3. 最終レポート（50%）
による総合成績で評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語科教育法 I B〕

佐藤 恵一

◆**授業概要** 理論面を中心に、これからの英語教師はどうあるべきか、3つの大きなテーマ①学習指導要領、②教授法、③これからの英語教師について考察します。

◆**学修到達目標** 学習指導要領についてはこれまでの変遷と現行の学習指導要領、2つ目の教授法ではその流れと現行の授業をどう進めるべきか、3つ目は英語教師として身につけるべき力とは何か、これらをどう高めるべきかを目標にします。

◆**授業方法** 講義形式で行い、必要に応じてグループ討議し、討議内容を踏まえ最終的に各自の意見をまとめることで授業を進めます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	英語教育とその目的
	事前学修	英語教育とその広がりについて
	事後学修	英語教育の目的確認
2 回	授業内容	学習指導要領(1)
	事前学修	概論
	事後学修	グループ討議後まとめ
3 回	授業内容	学習指導要領(2)
	事前学修	改訂毎の内容
	事後学修	ポイントをまとめる
4 回	授業内容	学習指導要領(3)
	事前学修	現行について
	事後学修	内容とそのポイント
5 回	授業内容	ヨーロッパ協議会とのコミュニケーション能力
	事前学修	復言語主義とイマージョン教育
	事後学修	コミュニケーションとは？討議後のまとめ
6 回	授業内容	第 2 言語習得論
	事前学修	仮説を知る
	事後学修	グループ討議後まとめ
7 回	授業内容	外国語教授法(1)
	事前学修	概論
	事後学修	グループ討議後まとめ
8 回	授業内容	外国語教授法(2)
	事前学修	現在の主流
	事後学修	内容のまとめ
9 回	授業内容	英語授業 中学校 DVD
	事前学修	事前に考察、学習指導要領と比較
	事後学修	グループ討議とまとめ
10 回	授業内容	英語授業 高校 DVD
	事前学修	事前に考察、学習指導要領と比較
	事後学修	グループ討議とまとめ
11 回	授業内容	英語指導案(1)
	事前学修	概論
	事後学修	作成
12 回	授業内容	英語指導案(2)
	事前学修	発表準備
	事後学修	発表まとめ
13 回	授業内容	英語指導案(3)
	事前学修	内容確認
	事後学修	グループ討議後まとめ
14 回	授業内容	英語教師論
	事前学修	英語学・比較文化・コミュニケーション力
	事後学修	ポイントとまとめ
15 回	授業内容	最終レポート
	事前学修	内容確認
	事後学修	必要事項の整理

◆**教科書** **教材** 『英語科教育法Ⅱ T 21000』 通信教育教材（教材コード 000490）3,600 円（送料込）
 〈この教材は市販の『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』 JACET 教育問題研究会（三修社）と同一です。〉

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 学習意欲・参加度：課題や小テスト 40%および最終課題レポート 60%

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 水曜日	時間	18:30～21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 〈試験を含む〉
		10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11

※以下の水曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受オ ー プ ン 講
				科目 コード	科目名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
B2C1	法 学	遠藤 清臣	2	B11500	法学（日本国憲法 2単位を含む）		1年		
B2C2	英 語 G	小田井 勝彦	1	C10100	英 語 I		1年	・I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
B2C3	国文学講義IV （近世）	高橋 啓之	2	M30800	国文学講義IV （近世）		2年		
B2C4	イギリス文学史I	常名 朗央	2	N20100	イギリス文学史I	条件 参照		・英文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申込 可。	×
B2C5	西 洋 古 典	上滝 圭介	2	N308S0	西 洋 古 典	×	2年		
B2C6	考古学演習I・II	小泉 龍人	1	Q407S0	考古学演習I	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・I, IIのどちらに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				Q408S0	考古学演習II				
B2C7	情 報 概 論	戸塚 英臣	2	R32300	情 報 概 論		2年		×
B2C8	発 達 と 学 習	野村 康治	2	T10500	発 達 と 学 習	×	1年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔法学〕

遠藤 清臣

- ◆**授業概要** 一般に法のない社会はないといわれる。法は人間社会に必然的な現象である。また、成立した法は、社会の中で実現される。法は空論ではなく実践を伴う存在である。法の成立と実現の過程を学び、受講者各自と社会とのかわり方を考える講義をする。
- ◆**学修到達目標** 授業概要のように、各受講者が法との関係を適切に理解できるように、今回のスクーリングでは、①法とは何か、②不文法的重要性、③法の解釈はなぜ必要なのか、の3点について理解することを目標とする。
- ◆**授業方法** 科目の性質上、講師が一方的に講義する、いわゆる講義形式を採らざるを得ない。限られた範囲においてではあるが、受講者の人数や講義の進捗状況をみながら、可能な限り受講者との意見交換や討論を行うつもりである。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	法の基本事項（1） 法 の 概念、法 と 他 の 社会 規 範
	事前学修	不要、当日の講義に集中すること。
	事後学修	プリントによる講義内容の復習、確認
2 回	授業内容	法の基本事項（2） 法 の 特質、社会 正義 の 変化、日本 の 法 の 沿革
	事前学修	不要、当日の講義に集中すること。
	事後学修	プリントによる講義内容の復習、確認
3 回	授業内容	法の基本事項（3） 権利 の 本 質 と 義務
	事前学修	前回の講義内容の確認、当日の講義に集中すること。
	事後学修	プリントによる講義内容の復習、確認
4 回	授業内容	法の基本事項（4） 権利 の 社会的 制限
	事前学修	当日の講義に集中すること。
	事後学修	配布する演習課題によるこれまでの内容の総復習
5 回	授業内容	法の基本事項（5） 権利 の 主体 と 客体
	事前学修	前回の講義内容の確認、当日の講義に集中すること。
	事後学修	プリントによる講義内容の復習、確認
6 回	授業内容	法の成立（1） 社会 の 法 と 国家 の 法、成 文 法 と 不 文 法
	事前学修	当日の講義に集中すること。
	事後学修	配布する演習課題によるこれまでの内容の総復習
7 回	授業内容	法の成立（2） 日本 の 成 文 法 の 種類、立 法 機 関 と 国会 の 二 院 制
	事前学修	前回の講義内容の確認、当日の講義に集中すること。
	事後学修	プリントによる講義内容の復習、確認
8 回	授業内容	法の成立（3） 不 文 法 の 種類 と 役割
	事前学修	当日の講義に集中すること。
	事後学修	配布する演習課題によるこれまでの内容の総復習
9 回	授業内容	法の成立（4） 国際 法 と 国際 私 法
	事前学修	前回の講義内容の確認、当日の講義に集中すること。
	事後学修	プリントによる講義内容の復習、確認
10 回	授業内容	法 の 実現（1） 実 体 法 と 手 続 き 法、法 の 実現 機 関
	事前学修	当日の講義に集中すること。
	事後学修	配布する演習課題によるこれまでの内容の総復習
11 回	授業内容	法 の 実現（2） 大 統 領 制 と 内 閣 制、議 院 内 閣 制 の 課題
	事前学修	前回の講義内容の確認、当日の講義に集中すること。
	事後学修	プリントによる講義内容の復習、確認
12 回	授業内容	法 の 実現（3） 法 の 実現 における 事 実 の 認定
	事前学修	当日の講義に集中すること。
	事後学修	配布する演習課題によるこれまでの内容の総復習
13 回	授業内容	法 の 実現（4） 法 の 解釈 の 必要性、解 釈 の 方法
	事前学修	前回の講義内容の確認、当日の講義に集中すること。
	事後学修	プリントによる講義内容の復習、確認
14 回	授業内容	法 の 実現（5） 概 念 法 論 と 自由 法 論、裁 判 制度 I
	事前学修	当日の講義に集中すること。
	事後学修	配布する演習課題によるこれまでの内容の総復習
15 回	授業内容	法 の 実現（6） 裁 判 制度 II 「筆記 試験」
	事前学修	前回の講義内容の確認
	事後学修	プリントによる講義内容の復習、確認

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 講義当日プリントを配布する。教科書は特に指定しない。
- ◆**参考書** **〔教材〕**『法学 B11500』通信教育教材（教材コード 000515）3,400 円（送料込）
〔丸沼〕『現代法学入門』三浦隆・石川信編著 北樹出版 3,132 円（税込）（送料 350 円）
 『ポケット六法』又は、その他の簡易な六法
 （上記は、いずれも学習の過程で必要に応じて参照すればよく、事前に準備、持参する必要はない。）
- ◆**成績評価基準** 筆記試験の成績による。これに講義中の課題、応答内容を加えて総合的に評価する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語G〕

小田井勝彦

◆**授業概要** 2018年訪日する外国人旅行者の数が初めて3000万人を突破し、東京五輪、大阪万博とさらに訪日客が増えることが予想され、世界的に日本文化への関心が高まっている。この授業では、英語で日本文化に関する文章を読むことで英語の読解力を向上させるとともに、英語の語彙や表現を修得し、外国人に日本文化を発信する英語力を培う。

◆**学修到達目標** 1. 基本的な語彙、表現を修得すること
 2. 英文構造を理解し、正確に英文を読めるようになること
 3. 日本文化を発信する表現力を身につけること

◆**授業方法** 事前に本文を読み、Listening以外のExerciseを解答してきてください。授業では、1文1文学生を指名し、日本語に和訳していただきます。また、各Exerciseに解答していただきます。

◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容：ガイドンス、Unit 8 Samurai Spirit 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
2回	授業内容：Unit 8 Samurai Spirit 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
3回	授業内容：Unit 9 Anime: A Japanese Soft Power 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
4回	授業内容：Unit 9 Anime: A Japanese Soft Power 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
5回	授業内容：Unit 10 Hot Spring: Let's Become Healthy and Beautiful 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
6回	授業内容：Unit 10 Hot Spring: Let's Become Healthy and Beautiful 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
7回	授業内容：Unit 11 Video Games for Everyone 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
8回	授業内容：Unit 11 Video Games for Everyone 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
9回	授業内容：Unit 12 Tranquility and Dynamism in Competitive Calligraphy 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
10回	授業内容：Unit 12 Tranquility and Dynamism in Competitive Calligraphy 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
11回	授業内容：Unit 13 Kawaii Going Global 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
12回	授業内容：Unit 13 Kawaii Going Global 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
13回	授業内容：Unit 14 Japanese Ceramics in Europe: Originality in Traditional Beauty 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
14回	授業内容：Unit 14 Japanese Ceramics in Europe: Originality in Traditional Beauty 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
15回	授業内容：試験および解説 事前学修：授業の総復習 事後学修：授業の総復習

◆**教科書** 丸沼『Let's Introduce Japanese Culture』英宝社 2014 1,944円(税込)(送料300円)

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点(予習の有無、発表など) 30%で評価します。
 ※すべて出席することを前提とします。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学講義Ⅳ（近世）〕

高橋 啓之

◆**授業概要** 本講義では、日本を代表する伝統芸能「歌舞伎」を扱う。特に後期の代表的作者鶴屋南北と河竹黙阿弥の描く「悪」について考えていく。「勸善懲惡」を標榜する近世文芸において、「悪」の美しさ格好良さを前面に押し出し、「悪の美学」ともいうべきキャラクターを創造した二人の作者について映像を用いつつ考え、小説・話芸をも取り込みつつ、広く講義したい。

◆**学修到達目標** ○近世文学について説明できる。○歌舞伎と時代背景について説明できる。

◆**授業方法** 講義を中心に進めるが、映像資料（DVD 等）も用いる。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 授業の進め方・オリエンテーション・近世文学の背景 事前学修 一般的な近世文学史について予習すること。 事後学修 内容をノートに整理しつつ、理解を深める。
2 回	授業内容 文学の商品化と近世出版史 事前学修 江戸時代の出版について予習すること。 事後学修 内容をノートに整理しつつ、理解を深める。
3 回	授業内容 歌舞伎の発生から元禄歌舞伎まで。 事前学修 事前に近世芸能史を予習すること。 事後学修 テーマごとに整理し、ノートにまとめること。
4 回	授業内容 歌舞伎の停滞と復興 事前学修 現行の歌舞伎について予習すること。 事後学修 テーマごとに整理し、ノートにまとめること。
5 回	授業内容 化政期から幕末に至る歌舞伎と世界観 事前学修 前回の内容を踏まえつつ、幕末歌舞伎を予習する。 事後学修 テーマごとに整理し、ノートにまとめること。
6 回	授業内容 南北作品の特徴―生世話物とケレンと― 事前学修 鶴屋南北の生涯について予習すること。 事後学修 講義を踏まえて、南北作品の特徴をノートにまとめる。
7 回	授業内容 『東海道四谷怪談』の構造を分析する。 事前学修 『仮名手本忠臣蔵』の内容を必ず予習しておくこと。 事後学修 『東海道四谷怪談』作品分析をノートにまとめる。
8 回	授業内容 『東海道四谷怪談』と『盟三五大切』―そのキャラクター― 事前学修 「色悪」、「悪婆」という役柄と二作品について予習する。 事後学修 テーマごとに整理し、ノートにまとめること。
9 回	授業内容 鑑賞『東海道四谷怪談』―DVDを観ながら解説― 事前学修 予め、各場面の粗筋を把握しておくこと。 事後学修 自分なりの作品分析をレポートにまとめること。
10 回	授業内容 黙阿弥作品の特徴―生世話の継承と白浪物― 事前学修 河竹黙阿弥の生涯を予習しておくこと。 事後学修 今回の講義を踏まえ、ノートにまとめること。
11 回	授業内容 黙阿弥の描く「悪」―『白浪五人男』と『三人吉三』 事前学修 二作品の内容を予習しておくこと。 事後学修 それぞれの作品分析をノートにまとめること。
12 回	授業内容 鑑賞『白浪五人男』―DVD鑑賞と解説― 事前学修 「浜松屋」「勢揃い」以外の粗筋を予習しておくこと。 事後学修 自分なりの作品分析をレポートにまとめること。
13 回	授業内容 黙阿弥の「悪」と南北の「悪」 事前学修 ここまでの授業を振り返り、自分の考えをまとめておくこと。 事後学修 今回の講義以外の作品について調べること。
14 回	授業内容 話芸と歌舞伎―それぞれの悪― 事前学修 講談と人情噺について予習しておくこと。 事後学修 テーマごとに整理し、ノートにまとめること。
15 回	授業内容 近世文学における「悪」―草双紙と歌舞伎 事前学修 合巻について予習しておくこと。 事後学修 講義全体を振り返り、理解の深度を確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日プリント配布

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 小テストおよびレポート（20%）平常点（20%）最終試験（60%）皆出席を前提として評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【イギリス文学史 I】 オープン受講：不可

常名 朗央

◆**授業概要** 毎回配布するプリントを基に、各時代の政治・文化的状況とその時代の文学作品を時系列ごとに学んでいきます。各講義の終わりに次回取り扱うテキストの説明をします。指定したテキスト(作品)を図書館などで見つけて熟読しておくことが望ましいですが(購入の必要はありません)、内容把握や評価等を調べておくだけでも十分です。興味を持った作品は是非翻訳本で読むようにしてください。

◆**学修到達目標** シェイクスピア、ミルトン、オースティン、ペトラルカ(イタリア語)、ラブレール(フランス語)などの作品(翻訳文)を抜粋して読むことで、18世紀までのイギリス文学史を欧州文学史的視点から時系列で理解できるようになる。さらに、各時代の主要作品を原文と日本語訳断点を対訳、考察することによって、各文学作品を時代背景や小説技法の観点から解釈、評価ができるようになる。

◆**授業方法** 授業前半は各時代の特徴を政治的・文化的アプローチから説明します。イギリス文学を理解するためには、ヨーロッパ史という観点から簡単な政治史と文化史の理解が不可欠なので併せて説明いたします。授業後半は、各時代の作品を抜粋して読んでいきます。それぞれの時代の特徴には違いがありますのでそれを理解してください。英語作品以外も読んでいきますが、すべて翻訳本です。

◆**履修条件** 2018年度夜間スクーリング(秋期)「イギリス文学史 I」との積み重ね不可

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 古英語の時代 ローマ人のブリタニア侵入によるラテン語の導入, キリスト教の布教, アングロ・サクソン族の建国などイギリス文学の黎明期に起きた出来事を解説します。 事前学修: 関心がある、あるいは内容を深く吟味したい作品を調べておいてください。イギリス文学でなくても構いません。 事後学修: プリントで紹介した古代イングランドの歴史(1066年まで)を各自まとめておくようにしてください。
2回	授業内容: ユリウス・カエサル『ガリア戦記』この旅行記(戦記)の中から、ブリタニア侵入の箇所を翻訳で読みます(原文はラテン語)。平明で簡潔な文章を感じ取ってください。 事前学修: ローマ時代の作品と作者を調べておきましょう。 事後学修: 『ガリア戦記』(第四巻 四年目の戦争)と(第五巻 五年目の戦争)を読んでおきましょう。
3回	授業内容: 中英語の時代 イギリス文学の誕生ともいえるこの時代には、騎士道や宮廷風恋愛を取り入れた文学作品が多く登場します。C.Sルイスの『愛とアレゴリー』を下地に「宮廷風恋愛」の解説をします。 事前学修: 『カンタベリー物語』の挿話をどれか一つ読んでおいてください。 事後学修: 宮廷風恋愛について各自まとめておきましょう。
4回	授業内容: トマス・マロリー『アーサー王の死』この作品は騎士道物語の集大成といえます。ランスロット卿と王妃グウィネヴィアとの逢瀬の箇所から、典型的な宮廷風恋愛を学んでいきます。 事前学修: 『サー・ガウェインと緑の騎士』(J.R.R.トールキン)を読んでおいてください。 事後学修: アーサー王の人物関係図を理解してください。
5回	授業内容: イタリアソネットの誕生 14世紀のルネサンス運動の中でペトラルカのソネット集『カンツォニエーレ』が後の欧州文学史に与えた影響は計り知れません。彼のソネットから、内容・スタイルを考察してその特徴を学びます。 事前学修: ボッカチオの『デカメロン』について調べておきましょう。 事後学修: イタリアルネサンスの文人について確認しておきましょう。
6回	授業内容: ペトラルカ『カンツォニエーレ』 宮廷風恋愛を下地に、独自の愛のソネットを生み出し中世ヨーロッパの規範となったペトラルカ風ソネットから数点を抜粋して読んでいきます。 事前学修: ルネサンスとは何か?簡単に調べてみましょう。 事後学修: 講義で扱ったイタリアルネサンスに関してまとめてください。
7回	授業内容: 小説の誕生① 16世紀に入り、これまでの劇詩、韻文に加えて新たな文学ジャンルとして「小説」が誕生しました。今回は小説の定義について学びます。 事前学修: 日本の小説の始めは何か調べてみましょう。 事後学修: 小説の定義についてまとめ、内容を確認してください。
8回	授業内容: ラブレール『ガルガンチュアとパンタグリユエル』、セルバンテス『ドン・キホーテ』 欧州小説の誕生として必ず挙げられるこの2作品を「小説」という視点から読んでいきます。 事前学修: 上記作品のどちらかについて内容を把握しておきましょう。 事後学修: 講義で解説した小説手法についてまとめてみましょう。
9回	授業内容: イギリス演劇の始まりとシェイクスピア 16世紀中頃に生まれたイギリス悲喜劇は文芸作品を庶民レベルまで広げましたが、その代表格がシェイクスピアでした。彼の生涯の解説に加えその代表格を抜粋して学習します。 事前学修: シェイクスピア以外のルネサンス期の劇作家を調べてみましょう。 事後学修: エリザベス朝のイングランド政治状況をまとめておきましょう。
10回	授業内容: シェイクスピア『ロミオとジュリエット』 当然扱うテーマは限りなくありますが、ここでは時代背景、人物関係図、中世の恋愛をテーマに作品解説をします。 事前学修: 『リア王』、『マクベス』、『ハムレット』、『オセロ』のいずれかを読みましょう。 事後学修: この作品の悲劇性と喜劇性について、自分の意見をまとめておいてください。
11回	授業内容: 革命詩人ジョン・ミルトン イギリス革命は、一時的に王政から共和制へ移行した変革時でした。『失楽園』の作者ミルトンはその革命期を生きた詩人であり、彼のソネットを読み政治と文学の関係について学習します。 事前学修: ミルトンの生涯について調べてください。 事後学修: イギリス革命について各自まとめてください。
12回	授業内容: 小説の誕生② 他の欧州諸国に遅れること百年、イングランドでも韻文に代わって散文体の文学が発展しました。小説という「ジャンル」について叙事詩や芝居と比較しながら学習します。 事前学修: 18世紀のイングランド小説について調べておきましょう。 事後学修: 小説とジャーナリズムとの関係をまとめて確認してください。
13回	授業内容: ジェーン・オースティン 19世紀には小説は新たな市民文学としての地位を得ましたが、その一つの完成形としてオースティンを取り上げます。全6作品のうち3作品を挙げ洗練された小説技法を学習します。 事前学修: 6作品のうち一つは読んでおいてください。 事後学修: 人物関係図を整理しましょう。
14回	授業内容: 『高慢と偏見』、『エマ』、『ノーザンガーアビー』を読む。 事前学修: 内容だけでも調べておいてください。 事後学修: 小説らしい人物描写についてまとめてください。
15回	授業内容: 全体のまとめと試験 事前学修: 指定された箇所をまとめて試験対策とすること。 事後学修: 扱った作品を出来るだけ多く読んでください。

◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『イギリス文学史』川崎寿彦著 成美堂 2,592円(税込)(送料300円)
丸沼『イギリス名詩選』平井正徳編 岩波文庫 993円(税込)(送料215円)

◆**成績評価基準** 授業への取り組み(発表等)、試験により総合的に判断します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋古典〕

上滝 圭介

◆**授業概要** 聖書各書を概観し、部分的に講読します。おもに The Authorized Version (1611) と The Revised English Bible (1989) を使用、適宜ほかの版や事典なども紹介。様々な形式で複雑に記述された、長大で深遠な聖書の世界に親しみながら、その思想に触れていく、その経験が文化作品の鑑賞や文学・語学研究といった折々の場面で活かされることもあるでしょう。

◆**学修到達目標** 1. 教材プリントの聖書本文を精読・読解し、人物や出来事や論点を説明できる。
2. 聖書、とくに英語聖書の成りたちや構成や版を把握し、必要に応じて図書館やインターネットで検索できる。
3. 聖書の用語や人物などについて、辞書や事典、インターネットなどで調査できる。
4. 欧米の文化作品にみられる、聖書やキリスト教に由来する表現を指摘できる。

◆**授業方法** みなさんの事前学修の成果を確認するかたちで進めます。たくさん発言してもらうので、しっかりと予習してください。授業においては、音読や発表課題はもちろん、ペアワーク、グループワーク、スキットなどといったアクティビティにも積極的に取り組んでください。事後学修では、授業をとおして芽生えた各自の興味や疑問をさらに掘りさげていくことで、聖書やキリスト教の理解がさらに深まることでしょう。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	オリエンテーション：授業方法などについて説明し、聖書の歴史や特徴、旧約・新約の各書について、さらに英語聖書や日本語聖書の様々な版について解説する。
	事前学修	図書館やインターネットで聖書について調べること
	事後学修	2 回から 15 回までにむけての学修計画をたてること
2 回	授業内容	Genesis：創世記を概説し、第 1 章などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
3 回	授業内容	Exodus：出エジプト記を概説し、第 2 章などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
4 回	授業内容	Numbers：民数記を概説し、第 22 章などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
5 回	授業内容	The Book of Judges：士師記を概説し、第 11 章などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
6 回	授業内容	The First Book of Samuel：サムエル記・上を概説し、第 16 章などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
7 回	授業内容	The Book of Job：ヨブ記を概説し、第 3 章などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
8 回	授業内容	Psalms：詩篇を概説し、第 1 巻 8 篇などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
9 回	授業内容	Proverbs：箴言を概説し、第 1 章などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
10 回	授業内容	Song of Songs：雅歌を概説し、第 2 篇などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
11 回	授業内容	Lamentations：哀歌を概説し、第 1 篇などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
12 回	授業内容	The Four Canonical Gospels：四福音書を概説し、マタイ伝第 28 章などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
13 回	授業内容	The Revelation of John：ヨハネの黙示録を概説し、第 22 章などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
14 回	授業内容	The Acts of the Apostles：使徒行伝を概説し、第 2 章などを精読する。
	事前学修	未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べる
	事後学修	用語や人物について、事典やインターネットなどで調査し、理解を深めること
15 回	授業内容	ここまでの学修のふりかえり：試験にそなえて
	事前学修	1 回から 15 回までの学修をふりかえること
	事後学修	試験にむけての学修計画をたてること

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日プリント配布

◆**参考書** 〔丸沼〕『聖書：新共同訳』 日本聖書協会〔種類は問いません〕

◆**成績評価基準** 出席課題 (15%)、アクティビティ (30%)、試験 (55%) を総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔考古学演習Ⅰ・Ⅱ〕

小泉 龍人

◆**授業概要** ワインやビールなどの「酒」は、古来より嗜好品としてだけでなく、神に捧げる御神酒や権力者の奢侈品としても、人びとの暮らしに密接にかかわってきました。「酒」の起源や利用の変遷をたどることで、その背景にある社会をある程度とらえることができます。本授業では、こうした身近な「酒」をとおして、さまざまな古代都市文明を考古学的に考察していきます。

◆**学修到達目標** 本授業では、現代の都市文明の起点となるメソポタミア都市文明をはじめとして、エジプト、インダス、ギリシア、ローマなどにいたる、古代都市文明における「酒」の起源と利用について注目していきます。それぞれの都市文明における「酒」の起源と利用の変遷について、おおまかな知識を身につけることを目標とします。そして、それぞれの「酒」を比較考察しながら、古代都市文明そのものを理解していくことを目標としています。

◆**授業方法** 初回にガイダンスをおこない、講師が専門としているメソポタミア都市文明のワインとビールについて概説します。2回目以降、毎回数名の発表・ディスカッション、最終回にまとめをおこないます。各自、興味のある古代都市文明の酒について、20～30分程度の発表後、出席者全員でディスカッションします。対象地域・時代はとくに限定しません。

◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容：授業の進め方・ガイダンス、講師による概説（メソポタミア都市文明） 事前学修：地図等を使って、メソポタミアの地理的位置を確認しておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、講師による概説の内容を整理し、確認しておくこと。
2回	授業内容：講師による概説（メソポタミアの酒） 事前学修：前回の授業内容を確認し、配布資料に目を通して置くこと。 事後学修：配布資料を読み返して、講師による概説の内容を整理し、確認しておくこと。
3回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（メソポタミアなど） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
4回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（メソポタミアなど） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
5回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（エジプトなど） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
6回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（エジプトなど） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
7回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（インダスなど） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
8回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（インダスなど） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
9回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（ギリシア、ローマなど） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
10回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（ギリシア、ローマなど） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
11回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（中国、日本など） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
12回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（中国、日本など） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
13回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（全般） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
14回	授業内容：受講者による発表・ディスカッション（全般） 事前学修：発表予定のおおまかな時代・地域について調べておくこと。 事後学修：配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
15回	授業内容：総合ディスカッション、まとめ 事前学修：各自発表した内容の補足、追加の課題等について調べておくこと。 事後学修：発表の内容について、各自で振り返り、より考察を深める。

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** とくに指定しません。初回は講師がプリントを配布する予定です。

◆**参考書** **〔丸〕** 適宜、お知らせする予定です。

◆**成績評価基準** 発表（50%）、ディスカッション（40%）、平常点（10%）

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔情報概論〕 オープン受講：不可

戸塚 英臣

◆授業概要 下記の項目について実習を進めていきます。

- 1) 文書作成
- 2) 表計算ソフトと統計処理
- 3) プレゼンテーション技術の基礎
- 4) HTML と JavaScript

◆学修到達目標 表計算ソフト、文書作成ソフト、プレゼンテーションソフト、HTML と JavaScript の利用を通じて、コンピュータによる問題解決の方法の基礎を学び、情報技術の基本的知識の習得を目指します。

◆授業方法 基本的にはコンピュータを用いて実習しますが、表計算ソフトの必要な知識については必要に応じて講義形式で学習します。

◆履修条件 文書作成ソフト (Word)、表計算ソフト (Excel)、プレゼンテーションソフト (PowerPoint)、テキストエディタ (メモ帳) の基本的な使い方を理解していること、さらに、メールで課題提出を行うので Nu-Mail が使えることが望ましい。令和元年度昼間スクーリング (前期) 「情報概論」、ならびに夏期スクーリング 「情報概論」との積み上げ不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 文書作成ソフトの基本操作の習得を目指します。 事前学修 文書作成ソフトの基本 (文字入力、ファイル操作等) について確認しておくこと。 事後学修 配布資料に基づき文書作成ソフトの基本操作について理解すること。
2 回	授業内容 表計算ソフトの基本操作の習得を目指します。 事前学修 表計算ソフトの基本 (相対参照・絶対参照) について確認しておくこと。 事後学修 配布資料に基づき相対参照・絶対参照について理解すること。
3 回	授業内容 表計算ソフトによるグラフの作成方法の習得を目指します。 事前学修 縦棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフの作成について理解しておくこと。 事後学修 配布資料に基づき各グラフの作成方法、ならびに用法について理解すること。
4 回	授業内容 表計算ソフトと文章作成ソフトによるレポート作成方法の習得を目指します。 事前学修 文書作成ソフトの基本 (文字入力やファイル操作) について再確認しておくこと。 事後学修 配布資料に基づきレポート作成方法について理解すること。
5 回	授業内容 表計算ソフトの基本関数の習得を目指します。 事前学修 表計算ソフトの基本関数 (平均、合計、順位等) について確認しておくこと。 事後学修 配布資料に基づき度数分布表・ヒストグラムの作成方法を理解すること。
6 回	授業内容 表計算ソフトによる度数分布表・ヒストグラムの作成の習得を目指します。 事前学修 度数分布表とヒストグラムについて理解しておくこと。 事後学修 配布資料に基づき度数分布表・ヒストグラムの作成方法を理解すること。
7 回	授業内容 表計算ソフトを用いて定義式に基づいた基本統計量 (平均、合計、分散、標準偏差) の計算方法の習得を目指します。 事前学修 平均、合計、分散、標準偏差などの基本統計量の定義式を理解しておくこと。 事後学修 配布資料に基づき基本統計量の計算方法を理解すること。
8 回	授業内容 表計算ソフトを用いて散布図の作成方法、ならびに定義式に基づいた相関係数の計算方法を習得します。 事前学修 散布図や相関係数について確認しておくこと。 事後学修 配布資料に基づき散布図の作成方法と定義式に基づいた相関係数の計算方法について理解すること。
9 回	授業内容 プレゼンテーションソフトの基本的操作の習得を目指します。 事前学修 プレゼンテーションソフトの基本について確認しておくこと。 事後学修 配布資料に基づきプレゼンテーションソフトの基本操作について理解すること。
10 回	授業内容 プレゼンテーションソフトを用いた発表資料の作成を行います。 事前学修 発表する時事問題を特定し、参考文献や論文、または Web を調べてくること。 事後学修 プレゼンテーションソフトを用いた発表資料の作成について理解すること。
11 回	授業内容 Web ページの基本概念である HTML の基本文法の習得を目指します。 事前学修 HTML の基本文法について確認しておくこと。 事後学修 配布資料に基づき HTML の基本文法について理解すること。
12 回	授業内容 HTML に動的な処理を加えることができるスクリプト言語である JavaScript の基本文法の習得を目指します。 事前学修 JavaScript の基本文法について理解しておくこと。 事後学修 配布資料に基づき JavaScript の基本文法を理解すること。
13 回	授業内容 12 回で習得した JavaScript を用いた Web ページの作成法の理解を目指します。 事前学修 HTML と JavaScript の基本文法について再確認しておくこと。 事後学修 配布資料に基づき HTML と JavaScript による動的 Web ページの作成法について理解すること。
14 回	授業内容 理解度の確認 事前学修 1 回～13 回までに配布した資料を再確認しておくこと。 事後学修 配布した資料に基づき 1 回～13 回までの授業内容について理解しておくこと。
15 回	授業内容 確認試験、および解説 事前学修 前回の授業内で指摘した基本的な事柄について確認しておくこと。 事後学修 授業内容を確認・理解し、表計算ソフトの活用法について再確認すること。

◆教科書 〔当日資料配布〕 授業当日に資料を配布します。

◆参考書 コンピュータに関してはインターネット上の情報が最新の場合が多いです。従って、そちらを参考にしてください。ただし、インターネット上の情報は必ずしも正しいとは限りません。ご自身で情報の真偽を判断し活用するようにして下さい。

◆成績評価基準 授業参加度 (30%)、平常課題 (50%)、授業内試験 (20%) により総合的に評価します。 ※ 演習形式の授業なので、毎回出席することを前提に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 木曜日	時間	18:30～21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12

※以下の木曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
B2D1	民 法 II B	根 本 晋 一	2	K30100	民 法 II		2年		
B2D2	地 方 自 治 論	山 田 光 矢	2	L30800	地 方 自 治 論		2年		
B2D3	国 文 法	鈴 木 浩	2	M30500	国 文 学 講 義 I (上 代)		2年		×
B2D4	アメリカ文学史	北 原 安 治	2	N30200	アメリカ文学史		2年		
B2D5	哲学演習 I・II	金 子 佳 司	1	P401S0	哲 学 演 習 I	×	3年	・哲学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				P402S0	哲 学 演 習 II				
B2D6	経 済 地 理 学 / 経 済 地 理	清 水 和 明	2	R32600	経 済 地 理 学		2年	・法・文理・経済学部のみ申込可。	
				S32200	経 済 地 理			・商学部のみ申込可。	
B2D7	教 育 課 程 論	滝 澤 雅 彦	2	T23300	教 育 課 程 論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔民法ⅡB〕

根本 晋一

- ◆**授業概要** 物権法総論、占有権、所有権、用益物権（地上権、永小作権、地役権、入会権）、法定担保物権（留置権、先取特権）、約定担保物権（質権、抵当権）、非典型担保、のうち、用益物権あたりまでを学修する。
- ◆**学修到達目標** 民法学における物権法の位置づけ、物権と債権の異同、物権に関する主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所ですした専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより、シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 根本の民法Ⅱ（後半・典型担保権他）や、根本以外の民法Ⅱとの積み重ね
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：GD【物権法総論】物権の意義 直接支配性 排他性 など 事前学修：必要なし 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
2 回	授業内容：物権の債権に対する優先的効力 物権的請求権 対抗力 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
3 回	授業内容：物権法定主義 債権（契約自由の原則）との差異 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
4 回	授業内容：物権変動 物権変動原因 意思に基づく場合 意思に基づかない場合 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
5 回	授業内容：物権変動意思主義の原則 形式主義との違い など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
6 回	授業内容：物権変動公示の原則 公信の原則 動産と不動産 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
7 回	授業内容：不動産物権変動と登記（民法第 117 条）登記を必要とする物権変動 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
8 回	授業内容：「第三者」とは 実体的無権利者 不法行為者 背信的悪意者 二重譲渡と登記 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
9 回	授業内容：動産物権変動 即時取得 その例外【占有権】 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
10 回	授業内容：【所有権】完全物権 相隣関係 所有権の効力 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
11 回	授業内容：所有権の取得原因 国庫帰属 無主物先占 遺失物拾得 遺失物法 埋蔵物発見 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
12 回	授業内容：添付 附合 混和 加工 その効果 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
13 回	授業内容：共有 狭義の共有 合有 総有 共有物の保存・管理・変更 準共有 建物区分所有法 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
14 回	授業内容：【用益物権】地上権 借地借家法との関係 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
15 回	授業内容：永小作権 地役権 永小作権 など 事前学修：前回授業時の板書事項の再確認 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み

- ◆**教科書** 指定しない
- ◆**参考書** 教材『民法Ⅱ K30100』通信教育教材（教材コード 000408）2,500 円（送料込）
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度や質疑応答 20%。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔地方自治論〕

山田 光矢

◆**授業概要** 日本の地方自治制度が現在どのような方向に向かっていこうとしているのかを、戦後日本の地方自治制度改革の流れ、特に昭和の大合併と広域市町村圏、平成の大合併と定住自立圏構想や地域自治組織や連携中枢都市圏等の関係から説明していく。具体的な事例として長野県の地方制度改革や大阪都構想等を用いて、実態を中心に解説していく。

◆**学修到達目標** 戦後日本の地方自治制度改革の歴史を通じて、現状の地方自治制度改革の目的や方向性を理解し、受講生が興味を持つ地方（出身地・居住地・興味のある地域など）を例に、その地方の自治制度の特徴や現状あるいは問題点などを分析し、どのような制度にすればより理想的な地方公共団体になれるかについて自分の考え方を確立する。

◆**授業方法** 講義形式で行います。受講生の興味や問題意識を勘案して講義を進めていくので、こちらからの質問にはきちんと答えてください。また質問などがある場合には積極的に発言してください。可能な限り相互の意見交換の中で受講生の知識を高めるとともに、受講生の理解を深めていくことを目的に講義を進めていきます。そのためにも、積極的な講義への参加を求めながら講義を進めていきます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：地方行政の現状：関係資料の配布 事前学修：地方行政に関する興味のあるテーマに関する資料を読んでくる 事後学修：現行の地方行政の特色や方向性などを整理する
2 回	授業内容：長野県の地域区分と地域的特性から日本の各地域の特質の共通性を探る 事前学修：前回配布した資料の関連部分を読んでくる 事後学修：長野県の地域区分と興味のある都道府県の地域区分を対比し整理する
3 回	授業内容：長野県の市町村の歴史を分析する 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：長野県の各地域や市町村の特色について整理する
4 回	授業内容：長野県の広域行政の歴史 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：長野県の全国総合開発計画と広域行政圏の関係を整理する
5 回	授業内容：長野県の平成の大合併への対応の特徴を分析する 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：長野県の平成の大合併を興味ある都道府県との比較内容を整理する
6 回	授業内容：長野県と三重県の平成の大合併に対する対応の相違を比較する 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：長野県と三重県と選択した都道府県の特徴を分析し整理する
7 回	授業内容：長野県内の広域連合の特徴や相違点を整理する 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：長野県の地域の相違を例に選択した都道府県の地域の相違を整理する
8 回	授業内容：長野県の定住自立圏や連携中枢都市圏の特色と相違点を分析する 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：長野県を例に選択した都道府県の広域行政の相違を整理する
9 回	授業内容：2019 年の地方行政の特色を示す資料を分析し地域の実態を分析する① 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：分析した内容について自分の視点から分析整理する
10 回	授業内容：2019 年の地方行政の特色を示す資料を分析し地域の実態を分析する② 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：分析した内容について自分の視点から分析整理する
11 回	授業内容：2019 年の地方行政の特色を示す資料を分析し地域の実態を分析する③ 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：分析した内容について自分の視点から分析整理する
12 回	授業内容：2019 年の地方行政の特色を示す資料を分析し地域の実態を分析する④ 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：分析した内容について自分の視点から分析整理する
13 回	授業内容：2019 年の地方行政の特色を示す資料を分析し地域の実態を分析する⑤ 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：分析した内容について自分の視点から分析整理する
14 回	授業内容：2019 年の地方行政の特色を示す資料を分析し地域の実態を分析する⑥ 事前学修：配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修：分析した内容について自分の視点から分析整理する
15 回	授業内容：これまでの講義の内容を概括する 事前学修：これまでの講義の中から興味のある事項を選択し整理してくる 事後学修：選択した項目を整理し、日本の地方自治制度の特徴や問題点を整理する

◆**教科書** 山田光矢著「長野県の地方自治制度の特質」『政経研究』
〔当日資料配布〕必要に応じて配布する

◆**参考書** 丸沼『地方自治論』福島康仁編・山田光矢他著 弘文堂 2,160 円（税込）（送料 300 円）
その他必要に応じて紹介する

◆**成績評価基準** 試験を 60%、平常点を 20%、小テストやレポート等を 20%程度で評価する

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」[学生番号] および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔アメリカ文学史〕

北原 安治

- ◆**授業概要** アメリカの建国から 20 世紀までのアメリカ文学の流れを学び、各作家の特徴を理解できるようになる。
- ◆**学修到達目標** テキストを最初から読んで行きます。文法構造を把握して、英文がしっかり読めるようになる。映像資料を活用などして米文学史の全体的な流れを把握できるようにする。村上春樹の新訳のフィッツジェラルドの『華麗なるギャツビー』の DVD など事前に見ておけば良い。28 章のヘミングウェイまでは行きたい。
- ◆**授業方法** 予習テストと予習ノート検査（教科書の書き込みだけでは不可）をする場合がある。テキストの英文を手書きでノートに写す。手書き以外は不可。理想として 28 章まで予習。40 人すべて予習してもよい。和訳を付ける。テキストの最後に参考文献があるので予習の参考にする。抜き打ちの実力テストをやる場合があるので辞書必携。試験は持ち込み無し。毎回テキストを間違っている学生がいるので注意。薄手のテキスト。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：映像資料、アメリカ先住民の文学およびジョン・スミス 事前学修：『アメリカ・インディアン』の詩（1977 年）（中公新書）金関寿夫著参照 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
2 回	授業内容：映像資料、『プリマス植民地』のブラッドフォードとアメリカ最初の詩人のブラッドストリート 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
3 回	授業内容：映像資料、『大いなる目覚め』のエドワーズと『ヤンキーズ』のフランクリン 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
4 回	授業内容：映像資料、ゴシック小説の先駆者のブロックデン・ブラウンと『リップ・ヴァン・ウィンクル』のアーヴィング 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。アーヴィングの映画『スリーピー・ホロウ』を見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
5 回	授業内容：映像資料、歴史ロマンスのクーバーとロマン派の詩人プライアント 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。クーバーの映画『モヒカン族の最後』を見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
6 回	授業内容：映像資料、怪奇・推理小説のボウと『超絶主義』のエマーソン 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。ボウの怪奇短編映画『世にも奇妙な物語』などを見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
7 回	授業内容：映像資料、『ウォールデン』のソーローとビューリタニズム批判のホーソン 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。ホーソンの映画『緋文字』を見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
8 回	授業内容：映像資料、『白鯨』のメルヴィルと米代表詩人のホイットマン 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。映画『白鯨』を見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
9 回	授業内容：映像資料、孤独な心境を詠ったディッキンソンとリアリズムのトウエイン 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
10 回	授業内容：映像資料、心理主義のジェイムズと自然主義のクレイン 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。ジェイムズの映画『ある貴婦人の肖像』を見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
11 回	授業内容：映像資料、環境決定論のドライサーとシカゴ・グループのサンドバーグ 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。ドライサーの映画テキスト『陽の当たる場所』を見ておく。47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
12 回	授業内容：映像資料、深層心理のアンダソンと自然を詠ったフロスト 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
13 回	授業内容：映像資料、ハーレム・ルネッサンスのヒューズと『パターソン』のウィリアムズ 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
14 回	授業内容：映像資料、『偉大なギャツビー』のフィッツジェラルドとノーベル賞作家ヘミングウェイ 事前学修：英文の自分なりの和訳をしておく。映画『偉大なギャツビー』を見ておく。ヘミングウェイの映画『老人と海』など見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修：講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
15 回	授業内容：アメリカ文学史の全体的まとめと試験 事前学修：講義の復習。正しい和訳と小論文の準備。 事後学修：アメリカ文学史の全体的な復習。

- ◆**教科書** 丸沼『セメスターシリーズ An Outline of American Literature（アメリカ文学概観）』井上謙治編著 南雲堂 1,296 円（税込）（送料 215 円）全 48 ページの薄いテキスト
- ◆**参考書** テキスト 47 ページ参照。中型辞書を持つこと。
通材『アメリカ文学史 N30200』通信教育教材（教材コード 00536）3,300 円（送料込）
この教材は市販の『アメリカ小説入門』井上謙治著（研究社）と同一です。この本は講義では使いません。図書館で参照。
『講義 アメリカ文学史 全 3 巻』渡辺利雄著 研究社 2007 年 この本は講義では使いません。図書館で参照。
- ◆**成績評価基準** 本年夏期のテストと形式は同じですが和訳の箇所と小論文のテーマを変えます。小テスト、試験などによる総合評価。手書きノート検査あり。必ず手書き。テキスト間違いや不携帯は不可。試験はテキストの和訳（テキスト全体からだと分量が多いので、講義中に指定する限定個所の和訳）と小論文（和訳がある程度できないと、小論文がいくらできてても不可とする）。試験用紙裏面すべてに小論文を当てる。1,000 字以上書くこと。試験時間は 100 分ほどの予定。小論文タイトルは「マーク・トウエインとヘンリー・ジェイムズのふたりの特徴と作品を論じる」。この 2 作家以外のことを書いてはいけません。書き方として全体論でも作品論でもよい。全体論は上の参考書の『アメリカ小説入門』にあるような 2 作家の全体的特徴と複数の代表作の説明を 1,000 字以上使い、浅く広く書くものである。作品論は二人の作品からひとつずつ選び（短編でも長編でもよい）、例えばトウエインの『ハックルベリーの冒険』とジェイムズの『ある貴婦人の肖像』の 2 冊に集中して深く論ずるものである（500 字以上ずつ合計 1,000 字以上）。どちらの論じ方でもよい。事前にまとめておくこと。辞書やノートなどの持ち込みなし。2 作家の作品名や登場人物名は日本語でよい。作品名はヒントとして試験の問題文に印刷しておく。皆出席を望むが、休む時や退出時間などについてはメールで相談してもらいたい。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定
10月
期
東京
11月
期
東京
2月
1期
東京
2月
2期
東京
9月
期
仙台
9月
期
大阪
10月
期
大垣
10月
期
福岡
月
曜日
夜
間
火
曜日
夜
間
水
曜日
夜
間
木
曜日
夜
間
金
曜日
夜
間
申
込
方
法
許
可
条
件
許
可
受
講
料
の
受
講
準
備
受
講
及
び
学
生
生
活
オ
ー
プ
ン
受
講
各
種
用
紙
付
録

講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

(哲学演習 I・II)

金子 佳司

◆**授業概要** 山口義久著「アリストテレス入門」の内容に従って、アリストテレスの知識論、論理学、自然学、形而上学、魂論、倫理学を中心にしてアリストテレス哲学を概観すると同時に、彼の考え方を検討していきます。

◆**学修到達目標** アリストテレスは万学の祖とも言われるように、様々な学問の基礎を築きましたが、それらの各分野についてのアリストテレスの考えを学び、彼の考え方の後世への影響を知るとともに、彼の考え方と現代的な考え方の違いについても学びます。

◆**授業方法** 授業は学生の発表とそれをもとにした質疑応答を中心に行ないますが、必要に応じて教員が追加説明も行ないます。また、授業中に小テストを行なって、知識の確認をしながら授業を進めていきます。

◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容: 授業の進め方の説明。 アリストテレスの著作の伝承と後世への影響について。 事前学修: 教科書 p.8~p.13 を読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの著作の伝承と後世への影響についての自分の理解を確認すること。
2 回	授業内容: アリストテレスの哲学的経歴について。 小テスト① 事前学修: 教科書 p.14~p.22 を読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの哲学的経歴についての自分の理解を確認すること。
3 回	授業内容: 学生による発表。テーマ:「知る」とはどういうことか。 事前学修: 教科書 p.24~p.39 を読んでおくこと。 事後学修: 知識に関するアリストテレスの考えについての自分の理解を確認すること。
4 回	授業内容: 学生による発表。テーマ: アリストテレスの論理学 (形式論理学)。 小テスト② 事前学修: 教科書 p.42~p.62 を読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの論理学についての自分の理解を確認すること。
5 回	授業内容: アリストテレスの論理学についての追加説明。 事前学修: 教科書 p.42~p.62 をもう一度読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの論理学についての自分の理解を再度確認すること。
6 回	授業内容: 学生による発表。テーマ: 論証と問答法について。 小テスト③ 事前学修: 教科書 p.64~p.81 を読んでおくこと。 事後学修: 論証と問答法についての自分の理解を確認すること。
7 回	授業内容: 学生による発表。テーマ: アリストテレスの自然学 (自然哲学)。 事前学修: 教科書 p.84~p.100 を読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの自然学についての自分の理解を確認すること。
8 回	授業内容: 学生による発表。テーマ: アリストテレスの形而上学 (第一哲学)。 小テスト④ 事前学修: 教科書 p.102~p.117 を読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの形而上学についての自分の理解を確認すること。
9 回	授業内容: 学生による発表。テーマ: アリストテレスの可能性と現実性の対概念。 事前学修: 教科書 p.120~p.137 を読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの可能性と現実性の対概念についての自分の理解を確認すること。
10 回	授業内容: アリストテレスの形而上学全体についての追加説明。 小テスト⑤ 事前学修: 教科書 p.102~p.137 をもう一度読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの形而上学全体についての自分の理解を再度確認すること。
11 回	授業内容: 学生による発表。テーマ: アリストテレスの魂論 (プシューケー論)。 事前学修: 教科書 p.140~p.155 を読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの魂論についての自分の理解を確認すること。
12 回	授業内容: 学生による発表。テーマ: アリストテレスの幸福論 (善, 幸福, 愛) について。 小テスト⑥ 事前学修: 教科書 p.158~p.173 を読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの善と幸福と愛に関する考えについての自分の理解を確認すること。
13 回	授業内容: 学生による発表。テーマ: アリストテレスの徳論 (思考の徳と性格の徳) について。 事前学修: 教科書 p.176~p.195 を読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの徳に関する考えについての自分の理解を確認すること。
14 回	授業内容: アリストテレスの倫理学全体についての追加説明。 小テスト⑦ 事前学修: 教科書 p.158~p.195 をもう一度読んでおくこと。 事後学修: アリストテレスの倫理学全体についての自分の理解を再度確認すること。
15 回	授業内容: これまでの授業内容のまとめと理解度の確認 (期末試験)。 事前学修: これまでの授業内容全体を見直すこと。 事後学修: これまでの授業内容の重要な点のうちで自分が理解できていなかったところを見直すこと。

◆**教科書** 丸沼『アリストテレス入門』山口義久 筑摩書房 (ちくま新書) 842 円 (税込) (送料 215 円)

◆**参考書** 授業中に随時紹介する。

◆**成績評価基準** 平常点 35% (授業中に行なう小テスト〔7 回行なう予定〕によって評価)、発表 15%、理解度確認の試験 (期末試験) 50% で評価します。なお、やむを得ず欠席する場合には必ず書面で報告してください。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経済地理学 / 経済地理〕

清水 和明

◆**授業概要** 経済地理学は、地表面上のあらゆる経済現象の地理的な広がりを対象とする学問である。本授業では、経済地理学の研究領域の中でも産業立地に関する領域を扱う。とくに、古典的な立地論を取り上げ、その特徴について理解を深める。また、特定の産業や地域を事例に、経済現象の地理的な差異が生じる要因について解説をしていく。

◆**学修到達目標** 経済地理学の研究領域について理解を深め、その学問的な意義を専門用語を駆使して説明できるようになる。古典的な立地論の特徴について、自らの言葉で説明できるようになる。産業立地に関する理論を応用して、現実の産業立地の要因を考察できるようになる。

◆**授業方法** 教科書の内容に基づいて、講義形式で進める。パソコンのプレゼンテーションソフトを利用する。随時、受講者に対して質問を行う。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	経済地理学の研究領域 授業の進め方を説明する。次に、近代地理学の歴史を説明し、経済地理学が登場した背景を解説する。合わせて、各時代の経済地理学の潮流についても解説する。 テキストを一読し、経済地理学が対象とする領域について大まかな知識を得ておくこと。 授業の内容をノートに整理するとともに、配布資料を読み直し、経済地理学が対象とする領域を理解しておくこと。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	農業立地論の基礎と応用—チューネンの農業立地論の特徴とその意義— チューネンの農業立地論の概要およびその意義について解説する。現代の農業への適用可能性について説明する。 テキストの該当箇所を読み、チューネンの農業立地論が登場する背景を把握しておくこと。 テキストと配布資料を利用して、農業立地に関する理論の長所と短所を整理しておくこと。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	工業立地論の基礎と応用—ウェーバーの工業立地論の特徴— ウェーバーの工業立地論について、「輸送費指向論」、「労働費指向論」、「工業集積論」を中心に解説する。現実の工業への適用事例について解説する。 チューネンの農業立地論の概要を整理するとともに、農業と工業の違いを整理しておくこと。 テキストと配布資料を利用して、ウェーバーの工業立地論の特徴を整理しておくこと。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	中心地地論の基礎と応用—クリスタラーとレッシュの立地論— クリスタラーとレッシュの立地論の特徴を説明するとともに、両者の理論を比較する。現代の商業・サービス業の立地との関係性についても解説する。 日本国内を例に、都市の階層区分図を作成しておくこと。 テキストと配布資料を利用して、それぞれの中心地理論の特徴を整理しておくこと。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	オフィス立地と都市システム論—本社立地と都市システム— オフィス立地に関する理論について説明する。企業の本社立地が特定の地域に集中する理由について解説する。 国による都市システムの違いについて情報収集しておくこと。 テキストと配布資料を利用して、オフィス立地の特徴と都市システムのパターンを整理しておくこと。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	集積の理論—集積論の系譜と新産業集積論— 古典的な集積論であるマーシャルとウェーバーの集積論について説明する。その上で 1980 年代後半以降に登場した新産業空間論(スコット)や産業クラスター論(ポーター)の内容について解説する。 ウェーバーの工業立地論における「工業集積論」の内容を復習しておくこと。 テキストと配布資料を利用して、それぞれの理論の特徴を整理しておくこと。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	空間経済学—地理学と経済学との関係— 空間経済学の概要について説明するとともに、経済地理学との関係性について解説する。 クルーグマンの新経済地理学について、テキストの該当箇所を読んでおくこと。 テキストと配布資料を利用して、空間経済学の主要なテーマと経済地理学との関係性を整理しておくこと。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	現代工業の立地調整と進化経済地理学—立地調整と進化— 企業が事業展開を行っていく上で行う施設・機能の新設または再編がいかなる理由の下で展開しているのか、具体的な事例を踏まえて解説する。 いわゆる「ロックイン効果」について、具体的な事例を調べておくこと。 テキストと配布資料を利用して、立地調整を構成する要素について整理しておくこと。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	グローバル化と多国籍企業の立地—プロダクトサイクル理論— 多国籍企業の基礎理論であるプロダクトサイクル理論について解説する。 テキストの該当箇所を読み、プロダクトサイクル理論と企業活動の関連性について整理しておくこと。 テキストと配布資料を利用して、多国籍企業の立地展開を整理しておくこと。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	知識フローと地域イノベーションの新展開—産学公連携と地域イノベーション— 産業集積内の知識創造やイノベーションの生成に関わる枠組みについて説明する。合わせて、産学公連携と地域イノベーションの具体例を解説する。 テキストの該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。 テキストと配布資料を利用して、地域イノベーションが具体的などのような現象を指すのかが理解しておくこと。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	商業立地の刷新と中心市街地の衰退問題—小売企業の出店地位の時代変化とそれに影響を与えた規制について説明する。中心市街地の衰退と「フードデザート（食の砂漠）」の関連性についても解説する。 テキストの該当箇所を読み、中心市街地の衰退が顕著になった要因を整理しておくこと。 中心市街地の活性化に取り組む事例を調べ、現状と課題を整理しておくこと。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	創造性と文化産業の立地—文化産業が目される背景について解説するとともに、具体的な産業を例にあげ、その立地特性を説明する。 テキストの該当箇所を読み、文化産業とはどのような産業なのか整理しておくこと。 テキストと配布資料を利用して、文化産業の立地特性について整理しておくこと。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	少子高齢化社会と福祉サービスの立地—福祉施設の立地格差をはじめ、保育サービスの立地について解説する。 テキストの該当箇所を読んでおくこと。授業の終了が近いので、これまでの授業内容を再確認しておくこと。 テキストと配布資料を利用して、これまでの授業で扱った内容を整理しておくこと。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	授業の総括 これまでの授業で扱った内容を熟読し、重要な点をノートに要約しておくこと。 テキストと配布資料を利用して、授業で扱った内容を整理しておくこと。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	試験の実施 これまでの授業で扱った内容を熟読し、重要な点をノートに要約しておくこと。 事後学修：授業の内容を確認・理解し、経済地理学とはどのような学問か、再確認すること。

◆**教科書** 丸沼『現代の立地論』松原宏編著 古今書院 3,024 円（税込）（送料 350 円）
〔当日資料配布〕必要に応じて配布する

◆**参考書** 丸沼『日本経済地理読本 第9版』竹内淳彦・小田宏信編著 東洋経済新報社 2,484 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『新版 地域と産業—経済地理学の基礎—』富田和暁著 原書房 2,160 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『新版 経済地理学入門—地域経済発展—』山本健児著 原書房 3,024 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 毎時間出席することを前提として、試験および小レポートの結果を踏まえ総合的に評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」[学生番号] および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔教育課程論〕

滝澤 雅彦

- ◆**授業概要** 各学校の教育活動・指導内容の土台となっている学習指導要領について学ぶ。各学校・園種の連続性や全体的理解のために、幼稚園・こども園の幼稚園要領から小学校、中学校、高等学校に至る長期的な視野から各校種の学習指導要領のポイントを理解し、各学校・園における具体的な教育課程を参考に、カリキュラム・マネジメントの実践について多角的に学ぶ。
- ◆**学修到達目標**
 1. 学習指導要領の変遷と、それらとの比較における新学習指導要領の特色について理解し説明することができる。
 2. 学校教育における教育課程の役割と、教育課程編成の実践について理解し説明することができる。
 3. 学校教育におけるマネジメントの意義・重要性とカリキュラム・マネジメントについて理解し説明することができる。
- ◆**授業方法**
 1. 本時の授業テーマに関連する話題についてグループ・ディスカッションを行い意見交換する。
 2. 前時に提出したレポートを返却し解説する。
 3. レジューメに基づいて解説する。
 4. 解説の中で行う発問についてグループ・ディスカッションを行い意見交換・指導する。
 5. 最後に、本時または次回に関する授業レポートを作成し提出する。
- ◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容：カリキュラムとは何か 事前学修：最近の教育関係の話題やニュースについて情報収集しておくこと。 事後学修：本時の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。
2 回	授業内容：学習指導要領とは何か 事前学修：前時の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：第 1 回および第 2 回の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。
3 回	授業内容：学習指導要領の変遷と新学習指導要領の特色 事前学修：前回から 1 週間の間の教育関係の話題やニュースについて情報収集しておくこと。 事後学修：本時の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。
4 回	授業内容：学習指導要領の内容と各学校の教育課程 事前学修：前時の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：第 3 回および第 4 回の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。
5 回	授業内容：教育課程編成の実践 事前学修：前回から 1 週間の間の教育関係の話題やニュースについて情報収集しておくこと。 事後学修：本時の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。
6 回	授業内容：児童生徒や地域の実態を踏まえた教育課程編成 事前学修：前時の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：第 5 回および第 6 回の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。
7 回	授業内容：幼小、小中、中高といった校・園種間の円滑な接続 事前学修：前回から 1 週間の間の教育関係の話題やニュースについて情報収集しておくこと。 事後学修：本時の配布レジューメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
8 回	授業内容：学校における 2 種類のマネジメントとは何か 事前学修：前時の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：第 7 回および第 8 回の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。
9 回	授業内容：カリキュラムをマネジメントするとはどういうことか 事前学修：前回から 1 週間の間の教育関係の話題やニュースについて情報収集しておくこと。 事後学修：本時の配布レジューメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
10 回	授業内容：各教科のカリキュラム・マネジメント 事前学修：前時の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：第 9 回から第 10 回の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。
11 回	授業内容：特別の教科 道徳のカリキュラム・マネジメント 事前学修：前回から 1 週間の間の教育関係の話題やニュースについて情報収集しておくこと。 事後学修：本時の配布レジューメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
12 回	授業内容：総合的な学習の時間のカリキュラム・マネジメント 事前学修：前時の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：第 11 回および第 12 回の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。
13 回	授業内容：特別活動のカリキュラム・マネジメント 事前学修：前回から 1 週間の間の教育関係の話題やニュースについて情報収集しておくこと。 事後学修：本時の配布レジューメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
14 回	授業内容：カリキュラム評価の意義と重要性 事前学修：前時の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：第 13 回および第 14 回の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。
15 回	授業内容：カリキュラム評価の実践 事前学修：前回から 1 週間の間の教育関係の話題やニュースについて情報収集しておくこと。 事後学修：返却された全授業レポート、全 15 回の配布レジューメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。

- ◆**教科書**（当日資料配布）
 1. 教科書は指定しない。
 2. 当日配布レジューメ
 3. 当日配布資料
- ◆**参考書** 高等学校学習指導要領（平成 30 年告示 文部科学省）819 円（税込）（送料 350 円）
（当日資料配布）
 1. 教科書は指定しない。
 2. 当日配布レジューメ
 3. 当日配布資料
- ◆**成績評価基準** 授業内小テストおよび授業レポート（80%）、グループ・ディスカッションおよび発表内容（20%）。毎回出席することを前提として評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の
選定
10 月
期 東
京
11 月
期 東
京
2 月
1 期 東
京
2 月
2 期 東
京
9 月
期 仙
台
9 月
期 阪
9 月
期 大
阪
10 月
期 大
阪
10 月
期 福
岡
月 夜
曜日 日
火 夜
曜日 日
水 夜
曜日 日
木 夜
曜日 日
金 夜
曜日 日
申 講
込 座
入 法 の
許 申
可 込 込 込
納 受
入 講
料 の
受 準
講 備
試 受
験 講
及 び
学 受
生 購
生 費
生 中
活 心
受 講
講 費
の
各 種
用 紙
付
録

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間	時間	18:30～21:25							
	金曜日	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
		10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13

※以下の金曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
B2E1	英 語 H	賀美 真之介	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III		2年		
				C10400	英 語 IV				
B2E2	商 法 I	中村 良	2	K30500	商 法 I		2年		
B2E3	文章表現法	山崎 泉	2	M31900	文章表現法		2年		
B2E4	英語学概説	田中 竹史	2	N30700	英語学概説		2年		
B2E5	英語学演習D	小澤 賢司	1	N401S0	英語学演習 I	×	3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
B2E6	会 計 学	青木 隆	2	S32800	会 計 学		2年		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座の
選定
10月
期京
11月
期京
2月
1期京
2月
2期京
9月
期台
9月
期阪
10月
期垣
10月
期福
岡
月曜
日
火曜
日
水曜
日
木曜
日
金曜
日
講座の
申込
方法
申込
講座の
許可
不許可
受講
料の
納入
受講
準備
受講
及び
試験
受講
料の
学生
生活
オープン
各種
用紙
付
録

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語H】

賀美 真之介

◆**授業概要** 基礎的な英文法を確認し、練習問題の解説を通して、知識の定着を図る。できる限り網羅的に英文法を確認し、文法項目ごとの関連性をも理解できるように、テキストとそれを補完する配布資料を用いて説明する。

◆**学修到達目標** テキストの練習問題には、知識の定着を確認する、基本的な英作文の問題も用意されている。この問題の例文を基礎として、それに修飾する要素を付加すれば、より高度な英文が完成する。この前段階として、まずは、修飾要素が最小限の基礎的な英文を書けるようになることを第一目標とする。

◆**授業方法** 各項目 (Part I) について、解説、演習 (練習問題) を行う。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容：1. 文の種類～5. 文の種類とその特徴 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
2 回	授業内容：1. 文の種類～5. 文の種類とその特徴 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
3 回	授業内容：6. 文を構成する要素(1)～10. 進行形 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
4 回	授業内容：6. 文を構成する要素(1)～10. 進行形 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
5 回	授業内容：11. 完了形(1)～15. 助動詞(3) 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
6 回	授業内容：11. 完了形(1)～15. 助動詞(3) 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
7 回	授業内容：16. 受動態(1)～20. 不定詞(2) 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
8 回	授業内容：16. 受動態(1)～20. 不定詞(2) 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
9 回	授業内容：21. 不定詞(3)～25. 動名詞(1) 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
10 回	授業内容：21. 不定詞(3)～25. 動名詞(1) 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
11 回	授業内容：26. 動名詞(2)～30. 関係詞(2) 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
12 回	授業内容：26. 動名詞(2)～30. 関係詞(2) 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
13 回	授業内容：31. 関係詞(3)～35. 仮定法(2) 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
14 回	授業内容：31. 関係詞(3)～35. 仮定法(2) 事前学修：テキストの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：テキスト及び配布プリントの要点を復習すること。理解できない点は、e-mail 等で質問すること。
15 回	授業内容：総復習と期末試験 事前学修：試験範囲の学習をしておくこと。 事後学修：授業を通して、理解できない点があった場合は、e-mail 等で質問すること。

◆**教科書** 丸沼『英文法の総復習とワンクラス上の英作文』野村忠夫・菅野悟・野村美由紀・外池滋生 DTP 出版
1,728 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 期末試験 6 割 授業への参画度 4 割

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔商法 I〕

中村 良

- ◆**授業概要** 商法は民法の特別法として、民法の基本原則を修正している。民法の基礎的知識・基本原則と比較しながら商法の基礎的知識・基本原則を学修する。講義は、テキストおよび配布資料を用いた講義と受講生同士の討論から構成されます。身につけた知識を口に出してもらい一層知識を身につけてもらう。この講義を通じて商法の世界を体感してもらえるように工夫する。
- ◆**学修到達目標** この授業を通じて、受講生は商法の基礎的知識および基本原則を学修し、それを事例に適切に適用し法的解答を得られるようになる。また、身につけた知識により、法的紛争回避・損害回復ができるようになる。具体的なビジネスモデルの法的問題について理解できるようになる。
- ◆**授業方法** 毎回講義の3分の2は、テキスト及び当日配布資料に沿って商法の基礎的な概念や基本原則について講義し、講義の3分の1で、学修した内容の応用を各自で議論しながら確認する。
- ◆**履修条件** 特にありませんが、民法を履修済であることが望まれる。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: 授業ガイダンス 私法入門 商法の形成と展開 商法の法源 商法の適用について説明する。 事前学修: 教科書 1-3pp.5-26pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
2 回	授業内容: 企業主体としての商人, 商人の意義, 商人資格の得喪, 営業能力, 営業について説明する。 事前学修: 教科書 27-51pp を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
3 回	授業内容: 商号について説明する。 事前学修: 教科書 52-67pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
4 回	授業内容: 商業帳簿について説明する。 事前学修: 教科書 68-93pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
5 回	授業内容: 商業使用人, 代理商, 仲立人, 問屋について説明する。 事前学修: 教科書 94-107pp.160-166pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
6 回	授業内容: 商業登記について説明する。 商行為の意義 内容 概念 種類 商行為の一般的通則について説明する。 事前学修: 教科書 108-125pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
7 回	授業内容: 企業取引総論, 商事売買取引について説明する。最後に全体をまとめる。 事前学修: 教科書 139-185pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
8 回	授業内容: 特約店, 代理店, フランチャイズ, について説明する。 事前学修: 教科書 186-192pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
9 回	授業内容: 消費者契約法, 消費者売買について説明する。 事前学修: 教科書 167-172pp.199-220pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
10 回	授業内容: 運送取引について説明する。 事前学修: 教科書 221-257pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
11 回	授業内容: 倉庫取引について説明する。 事前学修: 教科書 261-261pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
12 回	授業内容: 場屋取引 問屋営業 運送取扱営業について説明する。 事前学修: 教科書 262-265pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
13 回	授業内容: 金融取引 (交互計算, 匿名組合) について説明する。 事前学修: 教科書 266-271pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
14 回	授業内容: 証券取引について説明する。 事前学修: 教科書 278-294pp. を読んでおくこと。 事後学修: 指定教科書上記指定頁を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。
15 回	授業内容: 全体のまとめ 事前学修: 14 回分のノートを読み返しておくこと。 事後学修: 指定教科書全体を通読し、内容を自分の言葉で説明できるようにしておくこと。

- ◆**教科書** 丸沼『商法 I—総論・商行為』（第 6 版・有斐閣 S シリーズ）落合・大塚・山下著 有斐閣 2,268 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 丸沼『演習ノート 商法総論・商行為法・保険法・海商法〔第 4 版〕』稲田・中村編著 法学書院 2,592 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**成績評価基準** テスト（30%）、レポート（30%）、授業参加度（40%）により総合的に評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【文章表現法】

山崎 泉

- ◆**授業概要** 文章表現の基礎を学んでいきます。テーマの設定、素材の収集（調査・取材）、アウトラインの作成、原稿用紙の使い方といった基本的な知識の習得に始まり、自由な課題による文章の作成までを行いながら、わかりやすく明快な文章が書けるよう学修をすすめます。デジタル時代の今、敢えてアナログな文章作法の習得にこだわっていきます。
- ◆**学修到達目標** 文章を書くための基本的な技術が身につきます。文章を書く上で必要な読解力や要約力が身につきます。上記を踏まえた上で、明快かつ簡潔な内容の文章が書けるようになることを目的とします。
- ◆**授業方法** 主に演習形式で進めます。まず、前半2、3回は文章表現に関する基礎講義を行い、その後は毎回課題に基づいた文章を執筆、最後にまとめの文章を発表する合評会を行います。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 授業の進め方・オリエンテーション・文章を書くとは？ 授業の進め方について解説した後、文章を書くことの意味について解説します 事前学修: 本シラバスの内容をよく読んでおいて下さい。 事後学修: 授業の進め方を理解した上で、文章を書く上での心構えを養って下さい。
2回	授業内容: 文章を書く際の基礎知識 授業時に配布するレジュメを参照しつつ、文章を書く上での基本的な知識について具体的に学んでいきます。 事前学修: 前回の授業で学んだことを再確認しておいて下さい。 事後学修: 配布されたレジュメをよく読んでおいて下さい。
3回	授業内容: 基礎知識の再確認～自己紹介を書いてみよう～(1) 前回の授業で学んだ基本的な知識を確認するため、まずは自己紹介の文章を書いていきます。 事前学修: 前回の授業で指示した物を必ず用意しておいて下さい。 事後学修: 自己紹介の文章を書けるところまで書いておいて下さい。
4回	授業内容: 基礎知識の再確認～自己紹介を書いてみよう～(2) 引き続き自己紹介の文章を書き進めながら、文章による効果的な自己アピールの方法についても学んでいきます。 事前学修: 前回書いた文章を確認しておいて下さい。 事後学修: 自己紹介の文章を仕上げてください。
5回	授業内容: ～紹介文を書く～(1) 受講生同士でペアを作り、互いにインタビューを行った上で、それぞれの紹介文を作成しながら、聞き取り取材の基礎を学びます。 事前学修: 完成させた自己紹介の文章を持参して下さい。 事後学修: インタビューの内容を整理しておいて下さい。
6回	授業内容: ～紹介文を書く～(2) 再度インタビューを行い、より深く相手のことを理解した上で、紹介文の完成を目指します。 事前学修: 前回インタビューした内容を確認し、新たな質問事項を考えて下さい。 事後学修: 紹介文を仕上げてください。
7回	授業内容: もう一度、自己紹介を書いてみよう(1) 最初に書いた自己紹介の文章と紹介文の内容を吟味した上で、再度自己紹介の文章を作成し、リライトの重要性について学びます。 事前学修: 完成させた紹介文を持参して下さい。 事後学修: 自分の文章の問題点を洗い出して下さい。
8回	授業内容: もう一度、自己紹介を書いてみよう(2) 引き続きリライトを行いつつ、自分の文章にどのような問題点があり、それを改善するためにはどうしたらよいのかについて学んでいきます。 事前学修: リライトをする過程で見えてきた問題点を整理して下さい。 事後学修: 自己紹介の文章(リライト)を仕上げてください。
9回	授業内容: 要約力を身につけよう～あらすじを書く～(1) 文章を書く上で必要なスキルに読解力と要約力があります。ここでは、映像作品を鑑賞し、あらすじをまとめることでこれらのスキル向上を目指します。 事前学修: 完成させた自己紹介の文章(リライト)を持参して下さい。 事後学修: 鑑賞した映像作品の内容を確認しておいて下さい。
10回	授業内容: 要約力を身につけよう～あらすじを書く～(2) 鑑賞した映像作品の内容を再確認しながら、あらすじの完成を目指します。 事前学修: 映像作品の内容をノートにまとめておいて下さい。 事後学修: あらすじを仕上げてください。
11回	授業内容: ～自由な課題による文章を書く～(1) 自分がいま一番書きたいことをテーマとして取り上げ、それを文章化し、完成させることを目指します。 事前学修: 完成させたあらすじを持参して下さい。書きたいテーマを探しておいて下さい。 事後学修: 文章化するための資料収集・調査を行って下さい。
12回	授業内容: ～自由な課題による文章を書く～(2) これまでに行った資料収集及び調査を土台としてアウトラインを作成、文章の完成を目指します。 事前学修: 収集した資料の整理を行って下さい。 事後学修: 文章を完成させて下さい。
13回	授業内容: まとめの文章合評会(1) 11回及び12回の授業で完成させた文章を授業内で発表し、他の受講生のアドバイスも参考にしながら、今後のよりよい文章作成方法について考えていきます。 事前学修: 完成させた文章を持参して下さい。 事後学修: 発表時に受けたアドバイスを確認して下さい。
14回	授業内容: まとめの文章合評会(2) 引き続き合評会を行います。他の受講生が書いた文章を読むことで、自らの文章の問題点を発見することをも目指します。 事前学修: 他の受講生が書いた文章をよく読んでおいて下さい。 事後学修: 自分が受けたアドバイスだけでなく、他の受講生が受けたアドバイスも確認、その内容を整理して下さい。
15回	授業内容: これまでの復習とまとめ 合評会で受けたアドバイスを元に、この授業で自分が学んだこと及び今後の課題を確認、次のステップへと繋げていきます。 事前学修: これまでに作成した文章を全て持参して下さい。 事後学修: これまでの学修を振り返り、その内容を再確認して下さい。

- ◆**教科書** 当日資料配布
- ◆**参考書** 授業時に紹介します。
- ◆**成績評価基準** 平常点(30%)、レポート(20%)、授業参画度(50%)により、総合的に評価します。課題も全て提出することを原則として採点します。

注意 E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語学概説】

田中 竹史

- ◆**授業概要** 本講座では、英語学がどのような研究分野であるのかを学び、その上で、言語研究を行う上で必要な知識ならびにアプローチ方法がどのようなものがあるのかを学修する。扱う領域は、英語の文構造、音の構造（音韻論）、語の構造（形態論）、統語構造（統語論）、語や文の意味（意味論）、会話で生じる含意（語用論）、国際共通語と呼ばれるようになった英語の歴史の変遷、そして、近年の英語学研究の動向など多岐に渡る。最初の数回は、高等学校までに学修した英文法の知識を基に、「英語」（英語の習得）と「英語学」（英語の研究）の違いについて学ぶ。音韻についての講義では、日本語との違いに着目しながら、英語の音韻について学ぶ。語形成についての講義では、語を成り立たせている要素（形態素）に注目し、各形態素がどのような規則に基づき語を形成しているのかを学ぶ。統語構造について講義では、生成文法と機能的統語論の基礎を学ぶ。意味について講義では、語や文の多義性、形容詞や副詞の意味の考察に始まり、認知意味論の基礎を学ぶ。語用論についての講義では、グライスの含意論の基礎を学び、会話の含意が生じる仕組みについて考える。英語の歴史の変遷についての講義では、英語がどのように生じ、変化し、今日の国際共通語としての地位を確立するに至ったのかを、実例を通して学んでいく。なお、本講座では受講者の関心など必要に応じて取り上げる題材・項目に調整を行う。
- ◆**学修到達目標** 中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する、英語学的知見を身に付ける。具体的には、英語の音韻、形態、統語、意味、語用、そして、歴史の変遷及び国際共通語としての英語についての基礎的知識を修得することを目標とする。これら広範囲に渡る内容を、特に日本語と比較しながら学ぶことで、両言語にみられる様々な言語現象の不思議とそこに秘められたことばの面白さを感じてもらいたい。
- ◆**授業方法** 講義形式で進めますが、質疑応答を通じて受講生の積極的な発言を求めます。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容：英語学とはなにか 事前学修：教科書や参考書を読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
2 回	授業内容：英語の構造：品詞とその働き（語彙範疇を中心に） 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
3 回	授業内容：英語の構造：品詞とその働き（機能範疇を中心に） 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
4 回	授業内容：英語音韻論入門（1）：閉音節言語と開音節言語、音節中心言語とモーラ中心言語 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
5 回	授業内容：英語音韻論入門（2）：音素と異音、強弱アクセントと高低アクセント 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
6 回	授業内容：英語形態論入門：語形成のメカニズム、複合語と派生語、接辞 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
7 回	授業内容：英語統語論入門（1）：言語の階層構造、深層構造と表層構造 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
8 回	授業内容：英語統語論入門（2）：省略現象と視点現象を機能的に考える 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
9 回	授業内容：英語意味論入門（1）：多義性、形容詞の意味 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
10 回	授業内容：英語意味論入門（2）：副詞の意味、認知意味論について 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
11 回	授業内容：英語語用論入門（1）：文脈における言語の使用について、グライスの会話の公理 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
12 回	授業内容：英語語用論入門（2）：推論の原理、間接的発話行為 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
13 回	授業内容：英語の歴史の変遷（1）：通時的研究の大切さ、冠詞の発達について 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
14 回	授業内容：英語の歴史の変遷（2）：English as a Lingua franca 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
15 回	授業内容：英語学研究の新たな可能性：言語獲得理論、コーパス言語学 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。

- ◆**教科書** 当日資料配布 資料はオンラインストレージ経由で配布します。
教材 『英語学概説 N30700』 通信教育教材（教材コード 000567）2,750 円（送料込）
この教材は市販の『日英対照英語学の基礎』三原健一・高見健一編（くろしお出版）と同一です。
- ◆**参考書** 丸沼『探検！ことばの世界』大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『ことばに魅せられて 対話編』大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『日英対照による英語学概説』西光義弘編 くろしお出版 2,700 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『ファンダメンタル英語学 改訂版』中島平三著 ひつじ書房 1,512 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、質疑応答や意見表明などの授業に対する取り組みと授業終了後に提出のレポートにより総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語学演習D〕

小澤 賢司

◆**授業概要** 本授業では、「卒業論文」作成の一助となるよう、以下の項目について授業を展開していきます。

- ① 論文とは何かを知る。
- ② HAD BETTER に関する文献資料を精読する。
- ③ 精読後、疑問点等を整理する。
- ④ レポートを作成する。
- ⑤ 教員からのレポート添削（講評）を受ける。

◆**学修到達目標** 本授業では、以下の点を学修到達目標とします。

- (a) 論文の構成を理解し、説明することができる。
- (b) 文献資料（洋文献含む）を正確に読解することができる。
- (c) 文献の読み方とまとめ方を身につける。
- (d) 協働作業を通して、疑問点に対する解決策などを創出することができる。
- (e) わかりやすく体裁の整ったレポートを作成することができる。

◆**授業方法** 輪読形式でテキスト（プリント）を読み進めていきます。受講者の方に音読と和訳をしてもらいます。音読はとても重要です。既知の単語でも発音とアクセント（特にアクセント）はしっかりと調べ、発声できるようにしておいてください。和訳は、きれいな日本語にすることも重要ですが、それだけでなく、書かれている内容の理解を重視してください。8日間のスクーリングですので、全 15 回の授業計画は、1日で約 2 回分進むとお考え下さい。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容：論文とは何か、論文を読む (Can vs. May) 事前学修：本授業のシラバス全体を一読しておくこと。 事後学修：論文とは何かを正しく理解しておくこと。
2 回	授業内容：論文を読む (Will / Can / Would / Could) you ~ ? の意味の違い 事前学修：Will / Can / Would / Could you ~ ? の意味の違いについて、手持ちの辞書や文法書などで調べてくること。 事後学修：手持ちの辞書や文法書で、had better の意味を確認しておくこと (ミニレポート作成)。
3 回	授業内容：HAD BETTER に関する文献精読：意味論的特徴と語用論的特徴 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
4 回	授業内容：HAD BETTER に関する文献精読：「悪い結果」の含意 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：第 1 回レポート作成
5 回	授業内容：HAD BETTER に関する文献精読：OR 節との共起 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
6 回	授業内容：HAD BETTER に関する文献精読：「悪い結果」の非含意 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
7 回	授業内容：第 1 回レポートへの講評 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
8 回	授業内容：HAD BETTER に関する文献精読：発話環境 (特定の事態) 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：第 2 回レポート作成
9 回	授業内容：HAD BETTER に関する文献精読：非過去性条件、主観性・客観性 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
10 回	授業内容：HAD BETTER に関する文献精読：近未来指示、非第三者指向 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
11 回	授業内容：第 2 回レポートへの講評 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
12 回	授業内容：HAD BETTER に関する文献精読：比較表現としての HAD BETTER 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：第 3 回レポート作成
13 回	授業内容：HAD BETTER に関する文献精読：量的分析 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
14 回	授業内容：HAD BETTER に関する文献精読：質的分析 事前学修：配布したプリントを熟読しておくこと。 事後学修：学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
15 回	授業内容：第 3 回レポートへの講評 事前学修：これまでの学習内容を復習しておくこと。 事後学修：再度、全ての学習内容を復習しておくこと。

◆**教科書** [当日資料配布] 適宜、プリントを配布します。

◆**参考書** 特に指定はしませんが、大学生・社会人向けの辞書は必ず持参してください。出来れば、2000 年以降に発行された辞書が望ましいです。新しい辞書の購入をお考えの方は、授業中にいくつか紹介します。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（予習状況・出席状況・発表など）、および、レポートにより総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔会計学〕

青木 隆

- ◆**授業概要** この授業は、会計学の入門編として財務会計の基礎を学びます。財務会計とは、企業外部の利害関係者（株主・債権者等）を報告対象とする会計領域であり、その報告内容は、主に貸借対照表や損益計算書といった財務諸表です。この財務諸表の作成過程が複式簿記です。そのため、会計学の理論的な側面だけでなく、複式簿記における実際の仕訳例なども示しながら、計算的な側面でも理解できるように授業を進めていきます。
- ◆**学修到達目標** 1. 財務会計に関する基本的な考え方が理解できるとともに、それを説明できるようになる。
2. 財務会計の理論的な側面と計算的な側面を相互に連繋させて説明できるようになる。
3. 財務諸表の種類およびその内容について説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 授業冒頭に前回の授業内容をおさらいする小テストを行います（第2回以降）。その後、テキストおよび当日配布資料をもとに、財務会計の基本的な考え方を解説します。また授業の最後に、当日の授業内容に基づくテーマでリアクションペーパー（小論文）を提出してもらいます。ただし、これらの授業方法は受講人数により変更する場合があります。
- ◆**履修条件** 簿記論を履修済みまたは履修中であることが望ましい。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容	ガイダンス 財務会計の概要と基礎的前提 財務会計とは何か、また財務会計を学修するうえで必要不可欠な基礎的な前提を説明します。
	事前学修	（テキスト）3～13ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題1）（問題2）を解答
2回	授業内容	財務諸表の種類とその概要 複式簿記の基礎 貸借対照表や損益計算書といった主要財務諸表の概要を説明し、その作成プロセスとなる複式簿記の概要を説明します。
	事前学修	（テキスト）13～40ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題3・4・7～10）を解答
3回	授業内容	貸借対照表の様式と分類基準 貸借対照表の能力と評価 貸借対照表の表示の仕方や分類を説明したうえで、貸借対照表に表示される項目や金額の要件などを説明します。
	事前学修	（テキスト）41～55ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題11・13～15）を解答
4回	授業内容	流動資産の会計 貸借対照表の資産のうち比較的短期間に現金化される流動資産の会計について説明します。
	事前学修	（テキスト）56～70ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題21～24）を解答
5回	授業内容	有形固定資産の会計 貸借対照表の資産のうち使用や投資に用いる固定資産の中で、具体的な存在形態を有する有形固定資産の会計について説明します。
	事前学修	（テキスト）70～84ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題29～31）を解答
6回	授業内容	無形固定資産・投資その他の資産と繰延資産の会計 貸借対照表の資産のうち使用や投資に用いる固定資産の中で、具体的な存在形態を有しない無形固定資産や投資その他の資産、さらに資産の中では異質な特徴を有する繰延資産の会計について説明します。
	事前学修	（テキスト）84～96ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題29・30・39）を解答
7回	授業内容	流動負債と固定負債の会計 貸借対照表の負債のうち、引当金を除く流動負債および固定負債の会計について説明します。
	事前学修	（テキスト）96～102ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題43）を解答
8回	授業内容	引当金の会計 引当金の要件や根拠、各種引当金の概要について説明します。
	事前学修	（テキスト）103～113ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題44）を解答
9回	授業内容	純資産の会計（1）—資本金と資本剰余金の会計 貸借対照表の純資産の中で、株主に帰属する株主資本のうち、株主が払い込んだ部分を構成する資本金および資本剰余金の会計について説明します。
	事前学修	（テキスト）113～131ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題51・52）を解答
10回	授業内容	純資産の会計（2）—利益剰余金等の会計 貸借対照表の純資産の中で、株主に帰属する株主資本のうち、過去の利益の蓄積額である利益剰余金、また株主資本以外の純資産を構成する評価・換算差額等、新株予約権の会計について説明します。
	事前学修	（テキスト）131～146ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題51・52）を解答
11回	授業内容	損益計算書の分類と営業損益の計算 損益計算書の分類を概観したうえで、主たる営業活動から生じる損益である営業損益の計算について説明します。
	事前学修	（テキスト）151～170ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題67～69・71・72・77・78）を解答
12回	授業内容	営業外損益・特別損益・純損益の計算と損益計算に対する基本思考 主たる営業活動以外の活動から生じる損益である営業外損益、特別損益および当期純利益の計算について説明したうえで、損益計算に対する基本的考え方についても説明します。
	事前学修	（テキスト）170～186ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題82～84・86・90・91）を解答
13回	授業内容	その他の財務諸表等の概要 貸借対照表・損益計算書以外の財務諸表、とりわけ株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、附属明細表、中間財務諸表について説明します。
	事前学修	（テキスト）187～197ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題96・100・101）を解答
14回	授業内容	企業会計原則における一般原則 財務諸表の作成指針となる一般原則としての立場を有する、企業会計原則における一般原則について説明します。
	事前学修	（テキスト）199～207ページ通読
	事後学修	授業の内容を整理し、（問題集）の（問題105～111）を解答
15回	授業内容	授業のまとめおよび試験・解説 これまでの講義の総括を行った後に試験を行います。
	事前学修	これまでの授業の内容を整理し、（問題集）の内容を再確認してください。
	事後学修	授業内容および（問題集）の内容を再確認してください。

- ◆**教科書** 丸沼『（テキスト）基礎財務会計（第18版）』五十嵐邦正著 森山書店 3,456円（税込）（送料350円）
〔当日資料配布〕
- ◆**参考書** 丸沼『会計法規集（最新版）』中央経済社 2,268円（税込）（送料500円）
丸沼『（問題集）演習財務会計（第7版）』五十嵐邦正著 森山書店 3,456円（税込）（送料350円）
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、試験（50%）、小テスト（20%）、小論文（30%）により総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

V 講座の申込方法

1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学修要覧』を参照してください。

項 目		手 続 内 容
『手引』 入手 受講科目選択		・『手引』を読み、受講講座を決定する。
受講講座 科目の単位修得方式決定		・受講講座・科目の単位修得方式を決定する。 各修得方法の詳しい内容は『学修要覧』の「単位修得方式」のページを参照。
↓		
履修登録		・単位修得を希望する科目の履修登録をする。 以下の2通りのいずれかで登録。 ①ポータルサイト ②「履修届」用紙（本誌巻末付録）
↓		
スクーリング 併用試験方式 希望者のみ	レポート提出	・レポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でレポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。 ※期限を超過した場合、いかなる理由があっても併用の申請を受け付けることはできません。
↓		
受講希望の講座を申し込む		・受講を希望する講座・科目を「ポータルサイト」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。
↓		
スクーリング受講許可講座の 確認		・ポータルサイト上の『スクーリング・メディア授業情報一覧』にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認する。 ※「受講届」提出者は、郵送する「スクーリング受講資格審査結果通知」にて確認してください。
振込用紙の受け取り		・受講許可者に、スクーリング受講料の振込用紙を郵送します。 ※発送予定日から、5日経過しても振込用紙が届かない場合は、会計課に連絡してください。
許可講座の辞退 【許可講座の取消を行う場合のみ】		・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。
受講料の納入		・表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。 ※受講料未納者は受講できません。
使用教材の入手		・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。
↓		
授業開始		・各スクーリング会場やポータルサイトで、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。
↓		
スクーリング結果確認		・「ポータルサイト」で、受講した講座の結果を確認する。 （「受講届」提出者のみ結果を郵送。発送日程は表紙記載）

2 履修登録をする

履修登録上の注意事項

「ポータルサイト」と「履修届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。


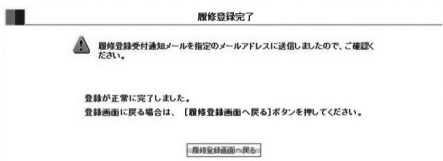
① 「ポータルサイト」による申込み

●履修登録の前に


1	履修登録には、IDとパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	履修登録の受付メールを受信するには、メールアドレスの登録が必要です。 「学生メニュー」の「学生情報照会・修正」より、メールアドレス及びメール送り先区分を事前に登録してください。

●履修登録方法

1	通信教育部公式ホームページ (URL: http://www.dld.nihon-u.ac.jp) の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録」をクリックしてください。	
3	履修登録科目の一覧から登録したい科目のチェックボックスを選択し、「登録確認」ボタンをクリックしてください。 ※一覧には学修が開始できる科目が表示されます。	


4	履修登録する科目を確認し、 登録実行 ボタンをクリックしてください。	
5	履修登録が完了すると、登録されているメールアドレスに受付通知メールが配信されます。	

●履修登録確認

1	履修登録方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録確認表」をクリックしてください。	

●履修登録の変更・取りやめ

同一履修年度かつまだ、学修を開始していない科目に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	履修登録方法の1・2の手順で、履修登録の画面まで進んでください。	
2	取り消したい科目の前の「消しゴム」部分をクリックし、「取消」に変わったら、 登録確認 ボタンをクリックし、履修登録方法の4・5の手順で変更を完了させてください。	

② 「履修届」による申込み

「履修届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「履修届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 履修登録年度 令和元 年度

(2) 提出年月日 令和元 年 4 月 1 日

履 修 届

学生番号 1:2:1:7:1:0:0:0 フリガナ ニシダ イハナ コ 氏名 日 大 花 子 電話番号 090-0000-0000 (必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)

科目コード	科目名	単位	科目コード	科目名	単位
1 B:1:0:7:0:0	哲学	4	14		
2 C:1:0:1:0:0	英語 I	2	15		
3 C:1:0:2:0:0	英語 II	2	16		
4 H:1:0:1:0:0	保健体育講義 I	1	17		
5 L:3:0:1:0:0	行政学	4	18		
6 K:2:0:1:0:0	憲法	4	19		
7 K:2:0:2:0:0	民法 I	4	20		
8 K:2:0:3:0:0	刑法 I	4	21		
9 J:1:0:1:5:0	体育実技 I	1	22		
10 B:1:1:7:0:0	政治学	4	23		
11 T:1:0:1:0:0	現代教職論	2	24		
12			25		
13					

記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

合計 28 単位 ← 年間 48 単位まで登録できます。教職生および2学年以上の教職コース登録者は年間 60 単位まで登録できます。

日本大学通信教育部

(3) (4) (5)

書き損じた場合は、修正テープ又は修正液で訂正してください。
訂正線で訂正する場合は、訂正印は不要です。

- (1) 登録年度
本履修届にて履修登録する場合は、「令和元年度」と記入してください。
- (2) 学生番号・氏名・提出年月日・電話番号
電話番号は、記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。
- (3) 科目コード・科目名
科目コード及び科目名は、『学修要覧』又は『コース履修の手引』を確認し（ポータルサイトにも掲載）、科目コード（6ケタ）を記入してください。不備がある場合は受理できませんので注意してください。
- (4) 単位
各科目の所定単位を記入してください。
- (5) 合計単位
必ず合計単位数を記入してください。

【よくある不備】

- ・科目コード及び科目名の記入漏れ
- ・科目コードと科目名の不一致
- ・不配当科目の記入（例：3 学年から履修登録できる科目を2 学年で「履修届」に記入する。）
学部や入学年度によって名称が異なる科目や登録できない科目があります。
特に教職コースの科目は注意が必要です。
- ・「卒業論文」、「教育実習」、「教育実践指導」、「教育実習前・事後指導」及び「教育実践演習②」、「博物館実習Ⅱ」及び「博物館実習Ⅲ」は履修登録する必要がありません。従って履修届には記載しないでください。
「履修届」とは別の手続きとなります。『学修要覧』及び『コース履修の手引』を確認してください。
- ・履修登録済みの科目の記入
一度履修登録した科目は在学中有効ですので、再度履修登録することはできません。
- ・スクーリング等で所定単位が4単位の科目で、2単位分修得している科目は登録できません。履修登録済みと同様の扱いとなります。
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『すでに履修登録済の科目です。』と表記されます。
- ・単位修得済み科目の記入
単位修得済み科目の登録はできません。
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『修得済みのため再履修できません。』と表記されます。
- ・年間登録単位を超過
年間 48 単位（教職生及び2 学年以上の教職コース履修生は 60 単位）まで履修できます。
もし超過して記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『履修制限単位を超えた履修登録はできません。』と表記されます。

③ 履修登録上の注意

- ・「履修届」の不備内容によっては、受理せず返却する場合があります（不受理）。したがって、科目修得試験やスクーリング併用試験方式等の履修登録締切日以前に「履修届」が大学に到着していても、不受理の場合は履修登録にならず、試験やスクーリングの申し込みができません。
- ・履修登録を行っただけでは、教科書の配本はありません。配本申請を別途行う必要があります。
- ・履修済みの科目の変更、取消しは同一履修年度かつ学修を行っていない（レポート未提出、スクーリング申込みなし等）場合のみ可能です。追加は上限に達していない場合、Web 履修登録や巻末の「履修届」をコピーして使用してください。
- ・履修登録を行っただけでは、スクーリングの申込みとなりません。127ページ以降の『3 講座を申し込む』を必ず行ってください。申込みが完了しておらず、受講料納入していない場合、受講は認めません。

3 講座を申し込む

申し込み上の注意事項	
「ポータルサイト」と「受講届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。	

① 「ポータルサイト」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、IDとパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアカウント）」を参照して登録してください。
3	事前に履修登録が必要です。 履修登録を行っていない科目は表示されません。123 ページ参照

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL: http://www.dld.nihon-u.ac.jp ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング申請・取消」をクリックしてください。	

【各スクーリングのポータルサイト申込期間】

スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間
地方スクーリング(9月期)	2019年 7月26日(金) 10:00～2019年 8月 9日(金) 24:00
東京スクーリング(10月期)	2019年 8月21日(水) 10:00～2019年 9月 6日(金) 24:00
夜間スクーリング(秋期)	2019年 9月 6日(金) 10:00～2019年 9月20日(金) 24:00
地方スクーリング(10月期)	2019年 9月 6日(金) 10:00～2019年 9月20日(金) 24:00
東京スクーリング(11月期)	2019年 10月 3日(木) 10:00～2019年 10月18日(金) 24:00
東京スクーリング(2月期) 第1・2期	2019年 12月 6日(金) 10:00～2019年 12月20日(金) 24:00

※申込開始日にならないと、各スクーリングの講座は表示されません。

<p>3 「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し、「申請」ボタンをクリックしてください。</p>	
--	--

●受付完了

申請受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は、「スクーリング・メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。

●申込確認

随時、「ポータルサイト」で確認することができます。

<p>1 申込方法の1の手順で、ログインしてください。</p>	
<p>2 「学生メニュー」を選択し、「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。</p>	
<p>3 申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので、内容を確認してください。</p>	

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

<p>1 申込方法の1～2の手順で、申請中のスクーリングの画面まで進んでください。</p>	
<p>2 「申請済みスクーリング一覧」より取消したいスクーリングのチェックボタンを選択し、「取消」ボタンをクリックしてください。申込内容を変更する場合は、いったん取消後、再度申請してください。</p>	

※申込期限後に、スクーリング申込はできません。

《記入例》（講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合）

講座コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 代 号	科 目 名
●●●●	英語 B	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV
▲▲▲▲	英語 C	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV

イ ▲▲▲▲
ア 英語 C
エ C10300
ウ 英語 III

- ア 希望する講座として「英語 C」を選択。
 イ 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「▲▲▲▲」となる。
 ウ その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
 エ 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「C10300」となる。
 オ 「受講届」の記入は、講座コードに「▲▲▲▲」、充当科目コードに「C10300」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。
 ※ 「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習Ⅰ」、「英語学演習Ⅱ」及び「英語学演習Ⅲ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・乱雑な記入
 - ・記入誤り、記入漏れ
 - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

(3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

ア 教務課窓口へ直接提出

教務課前に設置のポスト（白色）に投函してください。【提出期限は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」を封筒に入れ、切手貼付の上、郵送してください。【提出締切日必着】

郵送提出における注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講資格審査結果通知」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、レポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

4 受講講座の変更・追加（用紙で変更を行う場合）

① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、本紙巻末にある「スクーリング受講講座変更届」を受講申込期間中に提出してください。なお、ポータルサイトを利用することで、変更届を出さずに受講講座の変更・追加が可能です。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

また、変更届はスクーリング毎に用紙を分けてください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」を明記してください。また、自己の学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様、提出締切日までに必着です。

《記入例》

令和 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

令和元年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード
夜間(春期) 水曜	B1C1	英語K	C10100
夜間(春期) 木曜	B1D3	英文法B	N20200

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード
夜間(春期) 火曜	B1B1	経済学	B11800
夜間(春期) 水曜	B1C7	現代教諭論	T10100
夜間(春期) 木曜	B1D3	英文法B	N20200

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号	2	2	1	7	3	9	9	9
フリガナ	ニチ ダイ ケ ロウ							
氏 名	日 大 太 郎							
自宅電話番号	03-5275-8911							
緊急時電話番号	090-●●●●-●●●●							

教務課受付印

③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験方式の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

「併用手続」欄表示	許可・不許可	備 考
○	許 可	スクーリングを併用方式で受講できます。
—	不許可もしくは併用必要なし	スクーリング積み重ね方式で受講もしくはスクーリング 1 回のみで修得できる講座です。

※受講許可後は、一切の変更ができません。

【主な不備理由一覧】

○履修なし

受講届のみ提出している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○希望日程重複

ポータルサイトと受講届の両方で申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

○科目修得試験方式確定

科目修得試験にすでに合格している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○修得済み

既に単位修得をしている科目の申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。なお、この不備は受講届から申込みを行った場合にのみ発生します。
(ポータルサイトから申込みの場合、修得済の科目は表示されません)

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座を受講できないことになります。また、新たに代替りの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続きを行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代替りの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

3 許可講座を辞退する

この手続は、振込用紙を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

以下の(1)及び(2)を教務課試験係まで提出してください。

- (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】
- (2) 振込用紙
- (3) 362 円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4 判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

※(3)は、一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

※令和元年度後期新入生（10月生）は、申込延長期間の関係上、一部のスクーリングで辞退手続締切までに振込用紙が届かない場合があります。その際は振込用紙以外を送付してください。

② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

スクーリング名		受講申込辞退の手続期限
東 京	10 月期	9 月 24 日 (火)
	11 月期	11 月 6 日 (水)
	2 月期 第 1・2 期	1 月 22 日 (水)
夜 間 (秋期)		10 月 8 日 (火) 《事務取扱時間内必着》
地 方	9 月期	9 月 2 日 (月)
	10 月期	10 月 10 日 (木)

③ 提出先 教務課試験係

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

VII 受講料の納入

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。
納入がない場合、いかなる理由があっても受講はできず、成績も反映されません。

1 受講料

スクーリング名		受講料
東京	10月期	1講座 10,000円×受講講座数
	11月期	
	2月期 第1・2期	
夜間(秋期)		1講座 10,000円×受講講座数 「情報概論」のみ13,000円 (コンピュータ実習料を含むため)
地方	9月期・10月期	1講座 13,000円×受講講座数

2 振込用紙発送予定日

スクーリング名		在学生	令和元年度新入生(10月生)
東京	10月期	9月18日(水)	9月25日(水)
	11月期	10月29日(火)	11月7日(木)
	2月期 第1・2期	1月15日(水)	
夜間(秋期)		10月1日(火)	10月9日(水)
地方	9月期	8月26日(月)	申込できません
	10月期	10月3日(木)	10月11日(金)

発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課(電話03-5275-8925)に連絡してください。

3 納入期限

スクーリング名		納入期限
東京	10月期	10月1日(火)
	11月期	11月13日(水)
	2月期 第1・2期	1月29日(水)
夜間(秋期)		10月16日(水)
地方	9月期	9月9日(月)
	10月期	10月18日(金)

4 納入方法

2018年7月より、ATM・インターネットバンキングからも納入ができるようになりました。

大学から送付される振込用紙を使用し銀行窓口から納入、または、ATM・インターネットバンキングで納入してください。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- (1) ゆうちょ銀行窓口、会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 振込用紙に記載された事項（納入金額等）を修正した納入は受け付けません。
- (3) ATM・インターネットバンキングで納入する場合は、138～139ページの「三菱UFJ銀行ATMでの振込のお取扱いについて」及び「三菱UFJ銀行以外のATM、各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合」を参照し、手続きしてください。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 領収書・明細書等は、受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。受講期間中は、学生証と共に常に携帯してください。
なおATM・インターネットバンキングからの納入については、ATMから発行される「明細書」、インターネットバンキング上の振込完了画面を印刷したのものをもって領収書に代えます。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

三菱UFJ銀行ATMでの振込のお取扱いについて

スクーリング受講料及び年度授業料については、三菱UFJ銀行ATMでのキャッシュカード（振込金額100万円以下）および現金（振込金額10万円以下）による振込が可能となります。

大学から送付された振込用紙を持参し、以下の手順に従い振込を行ってください。

なお、三菱UFJ銀行ATMから納入いただいた場合は振込手数料が無料となります。

ATM利用手数料については、注意事項をご覧ください。

【振込手順】

1. 振込方法の選択

「お振り込み」より、現金またはキャッシュカードを選択し、キャッシュカードの場合は暗証番号を入力してください。

2. 振込先口座の選択・入力

振込用紙に記載の口座情報を選択・入力し、確認してください。

3. お振込金額の入力

今回納入する金額を入力してください。

4. 依頼人番号=管理番号（10桁）の入力

振込用紙に記載の管理番号（10桁）を入力してください。

なお、管理番号（10桁）は振込用紙ごとに毎回異なります。

依頼日	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	振込依頼書
銀行名	三菱UFJ	三菱UFJ	神保町	店番	013	金額	200,000
振金種目	普通預金	口座番号	0686723	内訳	現金		
お受取人	ニホンダイガクツウシンキョウイック		口座名	日本大学通信教育部		取扱期限	20XX年X月XX日
依頼人	フリガナ	氏名	日本 太郎	住所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内4-1-2	電話番号	03-5275-8925

5. 依頼人名の確認及び振込実行

キャッシュカード名義が学生本人でない場合、学生氏名に変更してください。

銀行キャッシュカードが学生本人の名義でない場合、「いいえ」を選択

学生氏名(カナ)を入力

「依頼人名」が、学生氏名であることを確認

6. 明細票の受取

銀行の出納印は不要です。「明細票」をもって領収書に代えますので、振込用紙とともに、大切に保管してください。

※注意事項

- ①ATM指定時間外（8:45～21:00 外）のお手続や、他の金融機関のキャッシュカードによるお手続には「ATM利用手数料」がかかります。
- ②振込用紙に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。
- ③振込内容が複数ある場合は、1件ごとに送金してください。
- ④やむを得ずコンビニATMや三菱UFJ銀行以外の金融機関のATM及びインターネットバンキングを利用する場合は、別途「三菱UFJ銀行以外のATM、各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合」を参照し、手続きしてください。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課（電話）03-5275-8925

三菱UFJ銀行以外のATM, 各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合

振込用紙を参照の上, 以下の内容を入力し, 振込してください。

(切り取らないで銀行窓口へ提出してください)

電信扱 (B) 20XX年度 昼間 (前期) 受講料振込依頼書		3. 振込金額		振込依頼書	
2. 振込先口座		振替科目		金額	
依頼日	年 月 日	振込指定	電信扱	千	円
銀行名	三菱UFJ	ジンボウチョウ	店番	013	
銀行名	三菱UFJ	神保町	金額	20000	
預金種目	普通預金	口座番号	0686723		
口座名	ニホンダイガクツウシンキョウイクブ			内訳	
お受取人	日本大学通信教育部			現金	
管理番号	*****			当店券	
フリガナ	ニチダイ タロウ			他店券	
氏名	日大 太郎			取扱期限厳守	
住所	〒102-8005 東京都千代田区九段南 4-8-28			納入期限 20XX年 X月XX日	
電話番号	03-5275-8925			取納印または振替印	
ご依頼人			(取扱銀行保管)		

(お振込時のお願い)

1. 管理番号(10桁)の部分は全て打電してください。
2. 納入期限の過ぎたものは受付できません。
3. 金額, 納入期限, 管理番号, 氏名を訂正したものは受付できません。
4. 三菱UFJ銀行本・支店窓口及び三菱UFJ銀行ATMご利用の場合, 振込手数料は無料となります。

1. 管理番号(10桁), 依頼人名

1. 管理番号(10桁), 依頼人名

管理番号(10桁)を入力した後, 学生氏名を入力してください。

なお, 「管理番号(10桁)」は振込用紙ごとに毎回異なります。

2. 振込先口座

振込先の講座情報を選択・入力し, 確認してください。

3. 振込金額

今回納入する金額を入力してください。

例) 上の振込用紙の内容を振込する場合は, 以下のとおり入力することとなります。

依頼人名 : *****ニチダイ タロウ

(振込用紙記載の10桁の管理番号を入力した後, 学生氏名を入力)

振込先 : 三菱UFJ銀行 神保町支店 普通 0686723 日本大学通信教育部

振込金額 : 20,000円

※注意事項

- ①銀行の出納印は不要です。振込完了後, ATMから発行される「明細票」(インターネットバンキングの場合は振込完了の画面を印刷したもの)を大切に保管し, 受講期間中は学生証と共に常に携帯してください。
- ②振込用紙に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。
- ③振込内容が複数ある場合は, 1件ごとに送金してください。
- ④振込に係る手数料は, 全て依頼人(学生)の負担となります。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課 (電話) 03-5275-8925

1 使用教材の入手

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材入手方法の見分け方」を参照してください。

注 意 事 項

既に所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合があります。科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を入手してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材配本申請書」を使用し配本申請又は「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材配本申請書」又は「教材購入願」によって入手する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、受講許可を確認した後、速やかに手続を行ってください。

なお、『通信教育教材』を購入する場合、通信教育部の規定により送料が含まれるため、本体価格が高額になります。

不明な点は、研究事務課（電話 03-5275-8890）にお問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-8-12

（電 話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日は10：00～19：00）

（購入方法）直接店頭（202ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

（1）代金引換払（手数料460円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

（2）為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は普通為替を同封して上記宛に郵送してください。

（3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して上記宛に郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『使用教材』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。消費税の増税が実施された場合及び改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

2 「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行

① 休暇依頼状（勸奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、公益財団法人 私立大学通信教育協会長名で通信教育の主旨等を記載した「勸奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勸奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勸奨状）申込書」により庶務課宛てに申し込んでください。

② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。ポータルサイトの「資料・申請書」からのダウンロード又は本誌巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課宛てに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

3 通学定期券の購入（通学証明書の発行）

通学定期券は、正科生（教職生含む）がスクーリング受講を目的とし、スクーリング期間中、乗車券にて通学するより、定期券で通学する方が安価な場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

学生証裏面シールへの記入	<ul style="list-style-type: none"> ①「学生番号」、「氏名」、「現住所」を黒のボールペンで記入してください。 ②「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。
必要書類 学生課窓口にて記入	<ul style="list-style-type: none"> ①通学定期乗車券発行控<全員必要> ②通学証明書<都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合及び水道橋キャンパスに通学する場合に必要>
対象区間	自宅（又は滞在先）の最寄駅から以下「通信教育部最寄駅」までの最短経路
購入手続き	<ul style="list-style-type: none"> ①学生証及び「スクーリング受講許可通知書」持参で事務取扱時間内に学生課窓口にて、所定の用紙に記入の上、「経路確認」印の押印を受けてください。 ②通学定期券取扱駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。
その他 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ①通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出てください。 ②年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出てください。 ③「経路確認」印は、スクーリング期間内に限り有効です。 ④科目履修生は対象外です。

<通信教育部最寄り駅>

鉄道会社	最寄り駅（市ヶ谷キャンパス）	最寄り駅（水道橋キャンパス）
JR東日本	市ヶ谷駅	水道橋駅
都営地下鉄	市ヶ谷駅（新宿線）	水道橋駅（三田線） 神保町駅（三田線・新宿線）
東京メトロ	市ヶ谷駅（有楽町線・南北線）	後楽園駅（丸の内・南北線） 神保町駅（半蔵門線）

※最短経路とは所要の時間が最短，交通費が最安，乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

注意事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると，鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また，大学自体も通学定期券発行の指定から外され，他の学生に多大な迷惑をかけることになります。不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

①通学以外の目的で使用すること。	③記名人以外が使用すること。
②現住所及び通学区間を偽ること。	④他人に譲渡・貸与すること。

4 「学割証」の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）

「学割証」は，科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席するため，片道101kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り，使用することができます。

申込方法	巻末の「学割証交付願」に必要事項を記入し，学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。郵送の場合は，返信用封筒（82円切手貼付，宛名明記）を同封してください。
発行条件	<p>以下の全項目に該当すること</p> <p>①正科生（教職生含む）であること。 ※科目履修生は対象外</p> <p>②科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席することが目的であること。</p> <p>③JR各社の鉄道又はバスを使用すること。 ※JR以外の会社における学割証の適応の可否は，当該会社に各自で問い合わせてください。</p> <p>④乗車距離が片道101km以上であること。</p>
割引額	普通乗車券運賃の2割（特急券・指定券は割引対象外）
乗車日（有効期間）	乗車日は当該行事初日の10日前から最終日の5日後までの間で選択できます。学割証には交付願に記載された乗車日が「有効期間」として記載されますが，この「有効期間」とは乗車券を購入できる期間のことです。その期間内でなければ，乗車券は購入できません。
発行枚数	原則として1枚（1枚で往復が購入できます）。 ただし，毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

往復乗車券 有効期間	片道の距離(km)	200km まで	400km まで	600km まで	800km まで	1000km まで
	有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間
	※学割証の申請枚数は、目的地までの距離と滞在期間によります。例えば、名古屋在住の方が、東京で開講されるスクーリング（3日間）を受講するのに、東京～名古屋間（366km）の学割を申請する場合、有効期間は6日間となり、往復1枚の申請で済みますが、有効期間を越えて乗車する場合は片道乗車券を2枚購入することになり、学割証も2枚必要です。					
発行所要期間	<p>各行事ごとに定められた発行開始日以降、「学割証交付願」を受理してから2日後（事務取扱休業日を除く）に発行します（即日発行はできません）。郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。</p> <p>※急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も362円分の切手を貼ってください。また、「郵送料>割引額」とならないように注意してください。</p>					
購入方法	JR各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、学生割引の切符（乗車券）が購入できます。					

<発行開始日>

スクーリング名	日 程
東京スクーリング（10月期）	9月18日（水）
東京スクーリング（11月期）	10月29日（火）
夜間スクーリング（秋期）	10月1日（火）
地方スクーリング（9月期） 【仙台・大阪】	8月26日（月）
地方スクーリング（10月期） 【大垣・福岡】	10月3日（木）
東京スクーリング（2月期）第1期	1月15日（水）
東京スクーリング（2月期）第2期	1月15日（水）

注意事項

学割証を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、学割証の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされ、他の学生に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。なお、学割証を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

【不正使用例】

①記載事項を改変すること。	④購入した乗車券を他人に譲渡すること。
②記名人以外が使用すること。	⑤鉄道会社等の規則に違反して使用すること。
③有効期間外に使用すること。	⑥その他、不正に使用すること。

◆よくある質問

Q 1. 複数のスクーリングで学割証を利用する場合は、巻末の「学割証交付願」も複数必要ですか？
→A 1. 複数必要です。返信用封筒も複数必要な場合があるので、学生課に問い合わせてください。

Q 2. スクーリングに毎日（4月1日～3日の3日間）通学しますが、乗車日はどう記入すれば良いですか？
→A 2. 乗車日欄に行4月1日, 帰4月3日と記入し, 必要枚数欄に3枚, 理由欄に「毎日通学します。」と記載してください。

Ⅸ 受講及び試験

1 講座の受講

- ① スクーリングは全日程への出席が成績評価の前提となります。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」及び「受講料の領収書・明細書等」を必ず携帯してください。

2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。なお、スクーリング試験を受験できなかったり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「受講料の領収書・明細書等」を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
- 3 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
- 4 持ち込みを許可されたもの以外は机の上に置かないこと。
- 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- 7 試験開始後 20 分以上遅刻した者は受験することができない。
- 8 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始 30 分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。

※試験中の参照物等の貸し借りは不正行為とみなす。

3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、令和元年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトでお知らせします。ただし、スクーリングの申込みを「受講届」にて行った場合には、教務課から、結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので、あらかじめご了承ください。掲載の開始はポータルサイトの「お知らせ」に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、スクーリング結果通知の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、スクーリング結果通知を紛失した場合などはポータルサイトで確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

結果内容に疑義がある場合は、結果通知日から3ヶ月以内に教務課まで問い合わせてください。なお、それ以降の疑義に関しては対応いたしません。

スクーリング名		結果発送時期
東京	10月期	11月中旬
	11月期	12月下旬
	2月期 第1・2期	3月末日
夜間（秋期）		1月下旬
地方	9月期	10月下旬
	10月期	12月上旬

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

「未受講」の場合は、成績評価に一切算入しません。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたりポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が表示（記載）されます。

X 受講期間中の学生生活

1 受講にあたっての諸注意

① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯する必要があります。スクーリング受講の際は、必ず携帯してください。なお、学生証を紛失した場合は必ず再発行手続きをしてください。

② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないように注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出てください。

⑤ 紛失及び落とし物の拾得

校舎内で所持品を紛失、あるいは他人の落とし物を拾得した場合には、速やかに学生課まで届け出てください。届けられたものは学生課で保管します。

⑥ 自動車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

⑦ インフルエンザ等感染症予防について

大学では、様々な地域・年齢層の学生が出入りしており、スクーリング等でのインフルエンザ等の集団感染が危惧されます。

学生の皆さんは、日常生活での手洗いの励行、うがい等の予防策を徹底し、互いに感染を予防する気構え、行動が必要です。万が一感染してしまった場合、感染症の種類によっては出校停止となる場合がありますので、速やかに学生課へ連絡し、状況に応じて病院での受診や自宅療養をとる等の対策を講じてください。

⑧ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙、歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。
なお、試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は、保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

2 「千代田区生活環境条例」について

通信教育部の所在地である千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR市ヶ谷、JR水道橋及びスクーリング実施校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

3 緊急時の避難行動の指示について

学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが、授業中に起きる不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、以下のとおりの対応について行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

① 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装を心がける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携帯など。また日頃から自分で準備しておくの良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携帯していることが望ましい。

② 避難について

(1) 地震発生時

ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。

イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機械等の下からは退避する。

(2) 避難時

ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

イ 救援を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて行動してください。」

—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けること。—

(3) 避難場所

避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。

(4) あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関の運行情報等によって判断し、帰宅が困難な場合には避難場所で待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。

また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

XI オープン受講

通信教育部の在學生で既に修得した科目の受講を希望する場合もしくは社会人等（卒業生を含む）で受講を希望する場合、オープン受講の申込をすることで受講することができます。下記、流れに従い、手続きを行ってください。

項目	手続内容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。 ※シラバスにて、「オープン受講：不可」と記載がある場合は、受講することはできません。
↓	
受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座を本誌巻末の「オープン受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。 【申込に必要な書類等】 ①スクーリングオープン受講届（本誌巻末） ②身分証明書コピー（学生証、運転免許証等）
↓	
受講資格審査	・各講座の申込者数等確認し、受講に支障がないか教務課にて資格審査を行う。 ・在學生は、受講予定の科目を現学籍で修得済みでない場合、オープン受講は許可されません。
↓	
許可通知書兼納金票の受け取り	・受講許可者に、「受講許可通知書兼納金票」を郵送します。 なお、受講学生の調整等により、「受講許可通知書兼納金票」の発送は納入期限の1週間前頃になります。あらかじめご了承ください。
↓	
受講料の納入	①窓口で手続きを行う場合 納金票と共にスクーリング受講料を会計課窓口にて現金で納入してください。 ②郵送で手続きを行う場合 (1)定額小為替または普通為替で納入する場合 納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 (2)現金で納入する場合 納金票と共に現金書留便にて会計課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 ※受講料未納者は受講できません。
↓	
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。
↓	
授業開始	・各スクーリング会場で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。 ※成績の評価は行わず、単位は付与しません。

- ・履修届
- ・＜受講届＞
 - ・東京スクーリング（10月期）
 - ・東京スクーリング（11月期）
 - ・東京スクーリング（2月期） 第1・2期
 - ・地方スクーリング（9月期）
 - ・地方スクーリング（10月期）
 - ・夜間スクーリング（秋期）
- ・オープン受講届（在学生用）
- ・オープン受講届（社会人等（卒業生用））
- ・スクーリング受講講座変更届
- ・＜受講申込辞退願＞
 - ・東京スクーリング（10月期）
 - ・東京スクーリング（11月期）
 - ・東京スクーリング（2月期） 第1・2期
 - ・地方スクーリング（9月期）
 - ・地方スクーリング（10月期）
 - ・夜間スクーリング（秋期）
- ・教材配本申請書
- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材用）
- ・通学定期乗車券発行控
- ・学割証交付願
- ・証明書交付願
- ・教員免許状取得見込証明書用確認書
- ・休暇依頼状（勸奨状）申込書

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。

注意事項①
「証書」と「払渡票」は切り離さないでください。

見本表	定額小為替証書	定額小為替払渡票
	01234-567890	01234-567890
	指定受取人 おなまえ	300円
	おとこ おなまえ	300円
	発行日付印	発行日付印

注意事項②
これらの欄には何も記入しないでください。

「普通為替証書」も同様に、何も記入しないでください。

注意事項④
この欄には何も記入しないでください。

注意事項③
為替の有効期間は発行日から6か月以内ですが、金融機関への手続き等があるため、有効期間が2週間以上残っているものを送付してください。

見本裏	ご 注 意
	<ol style="list-style-type: none"> この証書をお受取人に送られる際は、表面の指定受取人欄にお受取人のおなまえをご記入下さい。なお、お受取人の指定がない証書については、証書の持参人にお受取人のおなまえをご記入下さい。これにより生じた損害については、当行及び郵便局株式会社（郵便局株式会社）が委託した者を含みます。は責任を負いません。 この証書は、他の銀行等の銀行の定める金融機関以外の銀行に振り出すことができません。 当行または当行と同一の手形交換所に参加している他の銀行等の金融機関にお受取人のご名義の口座をお持ち等の場合、同日中の振金への入金等を行うことができます。なお、証書の発行日から一定期間経過後は、このお取扱いができません。 為替金をお受け取りになるときは、表面の所定の欄におとこ、おなまえを記入し、押印またはご署名をしてください。 為替金をお受け取りを代理の方に委任される場合は、委任欄に代理の方のおなまえと委任者（お受取人）のおとこ、おなまえを記入し、押印を押ししてください。 代理の方がお受取人をお受け取りになるときは、表面の所定の欄に「〇〇〇〇代理人」のように肩書をつけて、代理の方のおとこ、おなまえを記入し、押印を押ししてください。 ゆうちょ銀行または郵便局内では、お受取人本人であることをご確認させていただくため、運転免許証または健康保険証等の書類のご提示をお願いすることがあります。なお、代理の方が為替金をお受け取りになる場合は、代理の方の書類のご提示をお願いすること、お受取人と代理の方両方の書類のご提示をお願いすることがあります。 発行の日から6か月以内に為替金をお受け取りにならないときは、お申請により証書を再交付いたします。なお、発行の日から5年間が過ぎた場合は、再交付の請求を請求する権利及び為替金を受け取る権利がなくなります。
	委任欄
	(代理人) おなまえ 上記の者を代理人としてこの証書の金額を受け取ることを委任します。 (委任者) おとこ 干 おなまえ

注意事項⑤
右「受領書」は送付せず、各自で保管してください。郵便事故等で「為替」が行方不明になった場合、この「受領書」が必要になりますので、各種手続が完了するまで大切に保管してください。

見本表	定額小為替金受領証書
	01234-567890
	300円
	料金 100円
	発行日付印

(お客さま控)

(お客さま控)



提出年月日	年 月 日
-------	-------

履 修 届

履修登録年度	年度
--------	----

学生番号	フリガナ 氏名	電話番号 <small>(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)</small>
------	------------	--

	科目コード	科目名	単位
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

記入例	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

	科目コード	科目名	単位
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

合計	単位	←	年間 48 単位まで登録できます。 教職生および2 学年以上の教職コース登録者は 年間 60 単位まで登録できます。
----	----	---	--

□内をすべて記入してください。

令和 年 月 日作成

令和元年度東京スクーリング (10月期) 受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
10月期			

- 提出締切日 〔令和元年9月6日(金)〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、東京スクーリング (10月期) の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。
必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

教務課受付印

□内をすべて記入してください。

令和 年 月 日作成

令和元年度東京スクーリング (11月期) 受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
11月期			

- 提出締切日 〔令和元年10月18日(金)〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、東京スクーリング (11月期) の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。
必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

--

□内をすべて記入してください。

令和 年 月 日作成

令和元年度東京スクーリング（2月期）第1・2期受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
第1期			
第2期			

- 提出締切日 〔令和元年12月20日（金）〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、東京スクーリング（2月期）第1・2期の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

--

地方S（9月期）

□内をすべて記入してください。

令和 年 月 日作成

令和元年度地方スクーリング（9月期）受講届

開催地	講座コード	講座名	充当科目コード
仙 台 大 阪			



開催地を○で囲んでください。

- 提出締切日 〔令和元年8月9日（金）〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、地方スクーリング（9月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

--

地方S（10月期）

□内をすべて記入してください。

令和 年 月 日作成

令和元年度地方スクーリング（10月期）受講届

開催地	講座コード	講座名	充当科目コード
大垣 福岡			



開催地を○で囲んでください。

- 提出締切日 〔令和元年9月20日（金）〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、地方スクーリング（10月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

--

夜間 S (秋期)

□内をすべて記入してください。

令和 年 月 日作成

令和元年度夜間スクーリング (秋期) 受講届

曜日	講座コード	講座名	充当科目コード
月			
火			
水			
木			
金			



■ 提出締切日 〔令和元年9月20日(金)〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着

■ 郵送又は窓口にて、提出してください。

■ **これは、夜間スクーリング (秋期) の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

■ 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

■ 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。

■ スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

学部・学科	学部	学科 専攻（ ）
学 年	年	学生番号
フリガナ		
氏 名		

【希望スクーリング】

スクーリング種別	開催地	
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

学生証コピー貼付欄

【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 学生証コピー

教務課受付印

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

卒業時 学部・学科	学部	学科 専攻 ()	学 外
住所等	〒 - - - - - Tel: - - - - -		
フリガナ			
氏 名			

【希望スクーリング】

スクーリング種別		開催地
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

身分証明書コピー貼付欄

【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 身分証明書コピー

教務課受付印

※ 身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、確認してください。

令和 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

令和元年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号							
フリガナ	-----						
氏 名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

教務課受付印

--

併せて提出するもの

振込用紙

令和 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

令和元年度東京スクーリング（10月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名（フリガナ） _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
10月期		

5 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】9 / 24（火） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「令和元年度東京スクーリング（10月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

振込用紙

令和 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

令和元年度東京スクーリング（11月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名（フリガナ） _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
11月期		

5 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】11 / 6（水） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「令和元年度東京スクーリング（11月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続には使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続は1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの	
全講座辞退	⇒振込用紙
一部講座辞退	⇒振込用紙 返信用封筒（長形3号，362円切手貼付）

令和 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

令和元年度東京スクーリング（2月期）第1・2期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名（フリガナ） _____

3 連絡先電話番号 _____

- 4 辞 退 内 容 全講座辞退
 (□にチェック) ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合
一部講座辞退
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合，辞退講座のみを
 以下へ記入

期	講座コード	講座名
1期		
2期		

5 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】1 / 22（水） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「令和元年度東京スクーリング（2月期）第1・2期」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので，各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合，362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

振込用紙

令和 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

令和元年度地方スクーリング（9月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名（フリガナ） _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
9月期		

5 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】9 / 2（月） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「令和元年度地方スクーリング（9月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

振込用紙

令和 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

令和元年度地方スクーリング（10月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名（フリガナ） _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
10月期		

5 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】10 / 10（木） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「令和元年度地方スクーリング（10月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

全講座辞退	⇒振込用紙
一部講座辞退	⇒振込用紙
	返信用封筒（長形3号，362円切手貼付）

令和 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

令和元年度夜間スクーリング（秋期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名（フリガナ） _____

3 連絡先電話番号 _____

- 4 辞 退 内 容 全講座辞退
 ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合
一部講座辞退
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合，辞退講座のみを
 以下へ記入

曜日	講座コード	講座名
月		
火		
水		
木		
金		

5 辞退理由（詳述）

※ **提出期限【教務課必着】10 / 8（火）** ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ **この「辞退願」は「令和元年度夜間スクーリング（秋期）」専用です。**他のスクーリングの辞退手続には使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合，362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。

※ **辞退手続は1回しかできません。**

教務課受付印	会計課受付印

配本申請（無料）

令和	年	月	日
----	---	---	---

日本大学通信教育部 御中
 （提出先：研究事務課）

教材配本申請書

学 生 番 号	氏 名
連絡先電話番号	- -

（太線枠内にボールペンで記入してください）

No	教材コード (科目コードではありません)	教材名	配本 単位数
1	0 0		単位
2	0 0		単位
3	0 0		単位
4	0 0		単位
5	0 0		単位
6	0 0		単位
7	0 0		単位
8	0 0		単位
9	0 0		単位
10	0 0		単位
合 計			単位



ポータルサイト「教材発送申請・照会」の「配本申請」から申請できます。
 ポータルサイトから申請できない方は、この用紙を使用してください。
 ※年度内2回まで、計32単位分まで教材の申請ができます。
 ※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。
 ※消えないボールペンを使用し、記入してください。
 ※書ききれない場合には、用紙をコピーして2枚用いてください。
 ※「教材コード」は『教材要綱』、『各種スクーリングの手引』で確認し、記入してください。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。
 ※2冊組教材はセットコードを記入してください。
 ※スクーリング等で指定する丸沼表記の教材は、対象外です。

事務局使用欄

教材入手の手続き

1 教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は、「通信授業」（在宅学修）を目的とした教材です。
一部のスクーリング等で、通信教育教材（**通材**と表記）を使う場合も、対象となります。
通信教育部で扱う教材の入手方法は、2通りあります。
なお、教材コード・販売価格等は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』に掲載されます。

① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。
所定の「教材配本申請書」で申請してください。
一度提出した書類の追加・変更はできません。
ポータルサイトの学生メニューの「教材発送申請・照会」画面の「配本申請（無料）」からも申請できます。

② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。
科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。
教材を購入する場合、「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手続により購入してください。
ポータルサイトの学生メニューの「教材発送申請・照会」画面の「教材購入（有料）」からも用紙を作成・出力できます。

(1) 窓口の場合

会計課窓口にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

(2) 郵送の場合

『スクーリングの手引』巻末の「教材購入願」に必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

※ 「教材購入願」による教材購入の場合、通信教育部の規定により送料が含まれるため、本体価格より高額になります。お近くの書店でお求めになることをお勧めいたします。

なお、市販本のISBNは教材要綱（ポータルサイトにも掲載）で確認できますので、書店での購入の際にご活用ください。

2 注意事項

- ① 教材は「通信教育教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（**丸沼**表記の教材）は、対象外です。
- ② 手続後の変更・取消し、納入金額の返還はできません。
- ③ 印刷教材は、大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで約1週間を要しますので、余裕をもって手続をしてください。
- ④ 窓口での教材のお渡しはできません。

教材購入用紙 (丸沼書店用)

市販教材 (市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。
 詳細は、「使用教材の入手」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

令和元年度 スクーリング (9月～2月)			
申 込 日	令和元年 月 日		
科 目 名	書 名	教材費 (税込)	送 料
小 計		円	円
合 計		円	
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換 ②定額小為替・郵便為替 ③現金書留		

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 ー
	氏 名	
	電 話 番 号	()

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
 ※不足する場合は複写の上、使用してください。

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ～ (3) の方法での購入も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 460 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので、郵便為替・現金書留の場合、ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については、ご返金いたします。また、代金引換払の場合、書籍代 + 送料（実費） + 手数料（460 円）を受取時にお支払いください。

※使用教材について

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。消費税の増税が実施された場合及び改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

（書 店 名）（株）丸沼書店

（所 在 地）〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町 2-8-12

（電 話）03-3261-4540

（F A X）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日は10：00～19：00）

通 材

令和 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先：会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号				氏 名	フリガナ
連絡先電話番号				- -	

(太線枠内にボールペンで記入してください)

	教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別 講 座 名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			
合計科目数		合計金額		
_____ 科目		_____ 円		

※消えないボールペンで記入してください。

※「教材コード・科目名・金額」は『ポータルサイト』・『手引』で確認し、必ず記入してください。
「教材コード (6桁)」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。

※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。

※『手引』における各講座の教科書(参考書)欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

--

「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』は「配本申請」又は「教材購入」で入手できます。

「教材購入」をする場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。

スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（1号館2階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課宛に送付してください。**その際、必ず釣り銭のないようにしてください。**

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。**為替には何も記入せず送付してください。**

※ 「教材購入願」による教材購入の場合、通信教育部の規定により送料が含まれてしまい、本体価格より高額になります。お近くの書店でお求めになることをお勧めいたします。

なお、市販本のISBNは教材要綱（ポータルサイトに掲載）で確認できますので、書店での購入の際にご活用ください。

2 注意事項

① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もいたしませんので注意してください。

② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**

教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講資格審査結果通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。

③ 『通信教育教材』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。消費税の増税が実施された場合及び改定等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。



通学定期乗車券発行控

		令和 年 月 日	
学 科	学 年	学 生 番 号	
大 学 院			
フリガナ		性 別	年 齢
氏 名		男・女	才
現 住 所			
電 話	()		
通学区間	会社線名	駅～ 駅	經由
	会社線名	駅～ 駅	經由

※記入後、学生課に提出すること。

日本大学通信教育部長 殿

令和元年度スクーリング受講に係る通学定期券の使用について

私は、令和元年度 以下のスクーリングを受講する予定です。
つきましては、当該スクーリングを受講しなくなった場合には、学生課に申し出た上、通学定期券の使用を中止いたします。

なお、万一、不正使用した場合は、学則に基づき処分を受けることを誓約いたします。

また、本件について、大学から呼び出しされた場合は、その指示に従うことを併せて誓約いたします。

受講スクーリング：

学生番号

氏 名

以 上

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

			令和	年	月	日	申請
学部		学科（専攻）		学生番号			
氏名						年齢	歳
現住所 〒 -							
TEL ()							
申請事由（該当箇所に○を記入してください）							
東京スクーリング（ 月期）				卒業論文指導（ 月 日）			
夏期スクーリング（第 期）				総合面接試験			
地方スクーリング（ 月期）			開講地 （ ）	科目修得試験（第 回）			
昼間・夜間スクーリング（ 曜日 時限）				その他（ ）			
乗車区間	自	線 駅		至	線 駅		
乗車日	行	令和	年	月	日	帰	令和 年 月 日
必要枚数	枚（1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること）						
	※理由						
利用交通機関	鉄道・バス・その他（ ）			受取方法	窓口・郵送		

【注意事項】

- ・鉄道会社等の規定により、科目履修生は学割対象外です。
- ・大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- ・乗車区間が101kmを超える場合に限り発行します。
- ・郵送で受取希望の場合は、返信用封筒（あて名明記、82円切手貼付）を同封してください。
- ・1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ・この交付願では通学定期券の購入はできません。
- ・乗車日欄に記載の日程が、「有効期間」として学割証に記載され、乗車券を購入できる期間となりますので、購入日等を踏まえて記入してください。

注 意 事 項

- ① 郵送での申し込みによる証明書発行までの日数は、返送するまでに約1週間を要します。また、手数料は、現金書留又は為替にて納入してください。窓口で申し込む場合は、申込時に発行日を確認してください（原則は申込から3日後の発行）。申請時に本学通信教育部HP又はポータルサイトにて事務取扱日時を確認の上、期限内に余裕をもって申請してください。
- ② 郵送での請求の場合、学生証（離籍者は運転免許証・パスポート・健康保険証等の公的身分証明書）のコピーを同封してください（コピーが同封されていない場合は、本人確認をしてから受理することとなりますので、証明書発行に時間がかかります）。また、窓口での手続の場合は、申請時及び受取時に学生証または公的身分証明書を提示してください。
また、身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、教務課へ確認してください。
- ③ 「英文証明書」の場合には、この交付願ではなく、所定の用紙にて手続きが必要となります。本学通信教育部HP又はポータルサイトに掲載している「英文証明書作成依頼書」にて請求をしてください。
- ④ ※印の証明書は科目履修生には発行しておりません。また、主な証明書の種類及び発行条件は以下のとおりです。

種類	発行条件
成績証明書	最低1科目は修得済みであること。
単位照合票	在籍中であること。
※卒業証明書	本学を卒業していること。
※退学証明書	大学からの退学許可通知又は除籍通知を受け取っていること。
※在学証明書	請求時に年度授業料等を納入していること（スクーリング受講料ではない）。
教員免許状申請用学力に関する証明書	最低1科目は修得済みであること。
※卒業見込証明書	A) 4学年であること。 B) 3月卒業の場合、前年の4月1日現在で80単位以上、若しくは10月1日現在で90単位以上修得していること。 C) 9月卒業の場合、前年の10月1日現在で80単位以上、若しくは当年の4月1日現在で90単位以上修得していること。 D) 希望する時期の卒業手続を行っていること。
教員免許状取得見込証明書	・4学年であること。 ・別紙「教員免許状取得見込証明書用確認書」を必ず提出すること。
※2学年修了証明書	A) 本学通信教育部に2年以上在籍していること。 B) 総合教育科目20単位、外国語科目いずれか1外国語8単位（文学専攻（英文学）は英語10単位）、保健体育科目2単位（保健体育講義1単位、体育実技1単位）、専門教育科目を含めて合計62単位以上修得済みであること。
※スクーリング出席証明書	該当するスクーリングの受講料を納入済みで、受講が終了していること。
※人物考査書	教員採用試験受験の際、教育委員会から請求があった場合のみ発行します。発行ができるか確認しますので、申請の際、教務課担当者に確認してください。
※大学院受験用「調査書」	各大学の所定の用紙を添付してください。発行ができるか確認しますので、申請の際、教務課担当者に事前に確認してください。

- ⑤ 「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合は、別紙「教員免許状取得見込証明書用 確認書」を必ず提出してください。記載内容に不備があった場合、提出がない場合は発行できませんので十分注意してください。
- ⑥ 「教員免許状取得見込証明書」の取得見込年月日は、前期生は3月31日、後期生は9月30日となりますが、後期生で3月31日付けでの取得見込年月日記載を希望する学生は、その旨を明記してください。ただし、その場合は、年度授業料納付後の10月1日以降に発行可能となります。
- ⑦ 「教員免許状申請用学力に関する証明書」を申請する場合、教科（国語・社会など）、種類（中1・高1など）を明記してください（1教科であっても2種類の場合は2通扱いとなります）。
- ⑧ 郵送で証明書を受領する場合は、「返信用切手」を貼付した「返信用封筒」（自己の郵便番号、住所、氏名を明記）を添付してください。返送料（普通郵便）は下表を目安にしてください。なお、封筒（切手貼付）の添付がない場合は、教務課で保管することとなりますので、注意してください。

	2通まで	3～5通	6～10通	11～20通		4通まで	5～10通	11～20通
厳封あり	82円 〔定形〕	92円 〔定形〕	140円 〔定形外〕	205円 〔定形外〕	厳封なし	82円 〔定形〕	92円 〔定形〕	140円 〔定形外〕

注：「教員免許状申請用学力に関する証明書」又は「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合、証明方法欄のいずれかに必ず○印を付し、別表第1（初めての申請）又は別表第4（他教科申請）の区別も必ず○印を付してください。誤って記入した場合、確認に時間を要し、免許状申請等ができない場合がありますので、留意してください。

教員免許状取得見込証明書 確認書

日本大学通信教育部

いずれかに必ず○を付してください	
入 学 時 期 (取 得 見 込 年 月 日)	4月入学 ・ 10月入学 (3月31日) (9月30日)
取 得 希 望 学 校 種 (複 数 選 択 可)	中学校2種 ・ 中学校1種 ・ 高等学校1種
取 得 希 望 教 科 (複 数 選 択 可)	国語科 ・ 英語科 ・ 社会科 ・ 地理歴史科 ・ 公民科 ・ 商業科
取 得 申 請 法 令	別表第1 ・ 別表第4 ・ その他(別表第)
教 育 実 習 時 期	今年度春期 ・ 今年度秋期 ・ 実施済み ・ 出身校にて実施済み
介 護 等 体 験 時 期 (中学校種免許状の申請の場合のみ選択)	今年度実施予定 ・ 実施済み ・ 出身校にて実施済み(体験証明書が手元にある)
教 職 実 践 演 習 ② 受 講 時 期	今年度8月 ・ 今年度12月 ・ 受講済み 出身校にて受講済み ・ 平成24年度以前に総合演習を修得済
出 身 大 学 の 修 得 単 位	免許申請に使用する ・ 免許申請に使用しない
不 足 単 位 の 確 認	不足単位(教育実習及び介護等体験含む)がある ・ 不足単位はない

以下の該当する項目に☑を入れてください。
(該当する欄に☑がない場合、発行できない場合があります)

確 認 事 項	☐	【出身大学の修得単位を「免許申請に使用する」と回答した方のみ】 出身大学等の「学力に関する証明書」を確認し、本学で修得した単位数と併せて不足又は充足するか単位数の確認を自身で、または申請を予定している都道府県教育委員会で行っている。
	☐	【「不足単位がある」と回答した方のみ】 不足単位を理解しており、取得見込年月日までに修得することができる。
	☐	【教員としての経験年数や海外大学卒業等により教員免許を申請される方のみ】 申請を予定している都道府県教育委員会から免許状申請における単位数及び基礎資格等について指導を受けており、現状の修得科目及び修得予定科目により免許状申請に問題がないことを確認している。
	☐	【編入学(教職生含む)及び転部・転籍にて本学に入学された方のみ】 入学時に認定された単位は、卒業所定単位としての認定であり、教員免許状申請に有効な単位ではないことを理解している。

※必要単位修得後、退学の手続きをする場合は、退学手続後に不足単位が発覚する等のトラブルのないよう、教員免許状の取得が確実になった時点で退学手続きをしてください。

※本証明書の発行は、教員免許状の取得を確実に保証するものではありませんので、注意してください。

【最後に必ず下欄を記入してください】

「コース履修の手引」を読み、教員免許状の申請方法及び充足・不足単位の確認、教員免許状申請における注意等を把握したうえで、上記内容に相違がない旨確認されましたら、必ず右欄にチェックをし、下記に氏名及び学生番号を記載して下さい。		☐
フリガナ		学生番号
氏 名		

休暇依頼状(勸奨状)申込書

スクーリング受講のため、休暇依頼状(勸奨状)の発行をお願いいたします。

年 月 日 申請

申 込 者	学 部		学科(専攻)	
	学 生 番 号		学 年	
	氏 名			
	日中連絡先 電 話 番 号			
	勤 務 先 正 式 名 称			
	所 属 部 署			
受 講 す る ス ク ー リ ン グ	種 別		開 催 地	
	受 講 期 間			
提 出 先	勤 務 先 正 式 名 称			
	代 表 者 名 役 職 名			
	代 表 者 名 氏			

【注意事項】

- * スクーリング受講許可後に発行します。
- * 勤務先に対してのみ発行します。
- * 提出先には勤務先の代表者名を記入してください。
- * 休暇依頼状に記載する受講期間は、スクーリング開講期間となります。
- * 送付先を明記した返信用封筒(長形3号・82円切手貼付)を必ず同封してください。
- * 複数のスクーリングで発行を希望する場合には、この用紙をコピーして使用してください。

庶務課受付印

② 校舎案内

市ヶ谷キャンパス

【所在地】〒102-8005 東京都千代田区九段南 4-8-28



JR 中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩3分

都営地下鉄新宿線，東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩2分

水道橋キャンパス

【所在地】〒101-8375 東京都千代田区神田三崎町 2-3-1

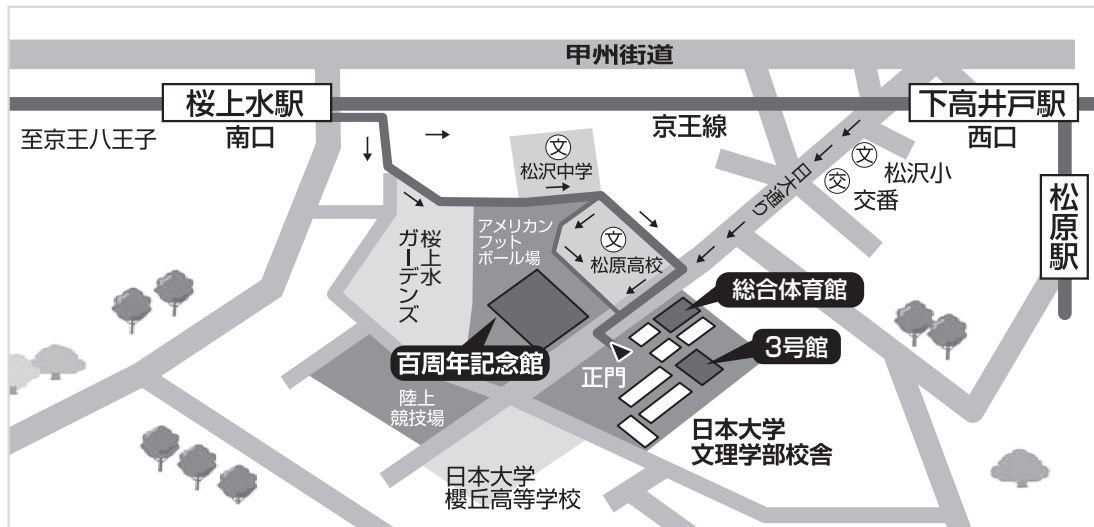


JR 中央・総武線（各駅停車），都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩3分

都営地下鉄三田線・新宿線，東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4 出口から 徒歩5分

講座の選定
10月期 東京
11月期 東京
2月1期 東京
2月2期 東京
9月期 仙台
9月期 大阪
10月期 大垣
10月期 福岡
月曜日 夜間
火曜日 夜間
水曜日 夜間
木曜日 夜間
金曜日 夜間
申込方法
許可と許可
受講料の納入
受講準備
試験及び
受講中の学生生活
オープン受講
各種用紙
付録

世田谷キャンパス 【所在地】 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40



京王線下高井戸駅 又は、桜上水駅から 徒歩約 10 分

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チェック項目	参照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 希望する科目の履修登録は済んでいますか	V-2 履修登録をする表紙（履修登録締切日）
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	巻末「受講届」
<input type="checkbox"/> <input type="text"/> 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	V-3 講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目の受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	I-3 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講期、開講地、開講曜日は間違っていないですか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (ポータルサイト)
◆併用	
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のリポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	V-1 受講手続の流れ表紙（リポート提出締切日）
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙（受講届提出締切日） V-3 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 申込内容の控えはありますか（受講届のコピー）	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか（ポータルサイトからの申込の場合のみ）	
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 特定記録郵便で発送しましたか	V-3 講座を申し込む
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は、受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	VI-1 受講資格審査結果通知を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VII 受講料の納入



各種連絡先

- | | |
|---------------------------------------|--|
| ○スクーリングの手續等に関する事項
教務課 03-5275-8911 | ○各種学修相談に関する事項
学修支援センター 03-5275-8857 |
| ○受講料の振込に関する事項
会計課 03-5275-8925 | ○通学定期・学割に関する事項
学生課 03-5275-8921 |
| ○教材（教科書）に関する事項
研究事務課 03-5275-8890 | ○休暇依頼状（勸奨状）に関する事項
庶務課 03-5275-8901 |

DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY

〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部